学校コード F133310109607
注３

設置年度　　平成　　31年度

計画の区分：　学部の設置
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学　リハビリテーション学部　理学療法学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　○○大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部

＜理学療法学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
学 部 長	（ タネムラ　ジュン ） 種村　純 （平成31年４月）	（クニヤス　カツシ ） 國安　勝司 （令和３年４月）	人事異動のため（３）
学科長等	（クニヤス　カツシ ） 國安　勝司 （平成31年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
リハビリテーション学部 理学療法学科 学士（理学療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4 年	60 人	年次 — 人	240 人		医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	1.19倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	568 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	522 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	368 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	401 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	567 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	519 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	363 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	397 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	113 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	107 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	92 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	115 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	71 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	67 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	68 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	82 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A			1.18		1.11		1.13		1.36				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	71 [－] (－)	－ [－] (－)	67 [－] (－)	－ [－] (－)	68 [－] (－)	－ [－] (－)	82 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	70 [－] (－)	－ [－] (－)	66 [－] (－)	－ [－] (－)	66 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	69 [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	69 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		71 [－] (－)		137 [－] (－)		203 [－] (－)		279 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	71 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
令和2年度	137 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	転学科(1人)を除く
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和3年度	203 人	5 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	4 人	0 人	進路変更(3人)、精神的問題(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、転学科(1人)を除く
令和4年度	279 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		7 人		7 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 1 / 71 = 1.4 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 1 / 137 = 0.72 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 5 / 203 = 2.46 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 279 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜リハビリテーション学部　理学療法学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	ー	16	67	0	0	0	0	0	0	34

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学**（未開講）**	1前後		2							
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								**1**
	基礎英語Ⅱ	1後	2								**1**
	英会話**（未開講）**	1前後		2							
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング**（未開講）**	1前後		2							
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論**（未開講）**	1前後		2							
	生活環境論**（未開講）**	1前		2							
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	ー	16	67	0	0	0	0	0	0	**34**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2				1			
	解剖学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ	1前	1			1					
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1			1					
	解剖学実習	2後	1				4	5	1		7
	生理学Ⅰ	1前	1			1					
	生理学Ⅱ	1前	1			1		1			
	生理学Ⅲ	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1		1			2
	運動学	2後	2				2	3			
	運動学実習	3前	1				2	3			3
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							1
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2			1					
	内科学	2後	2			1					
	整形外科学Ⅰ	2前	2								1
	整形外科学Ⅱ	2後	2								1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								3
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							1
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1		1			6
	救命救急医学	3後		2							1
	理学療法学総論	1前	2				1				
	作業療法学総論	1後	2								2
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							3
	機能障害運動学	3前	1					1			
	理学療法評価学Ⅰ	2前	1				1	2			
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1				1	3			
	理学療法評価学実習Ⅰ	2前	1				4	5	1		
	理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1				4	5	1		
	小児発達論	3前		2			1				
	運動治療学総論	2前	1				1				
	物理治療学	2後	1				1				
	理学治療学A	3前	1					2			
	理学治療学B	3後	1				1				
	理学治療学C	3後	1					2			
	理学治療学D	3前	1			1					
	理学治療学E	3後	1			1					
	理学療法技術実習Ⅰ	2後	1				1	2	1		
	理学療法技術実習Ⅱ	3後	1				4	5			
	理学療法技術実習Ⅲ	3前	1				1		1		
	日常生活活動学	3前	1			1	1				1
	日常生活活動学実習	3後	1			1		1			
	地域生活環境論	3後	1								2
	地域理学療法学	2後	1				2				
	高齢期障害作業治療学	3後		2							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2			1				1
	解剖学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ	1前	1			1					
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1			1					
	解剖学実習	2後	1			2	3	5	2		6
	生理学Ⅰ	1前	1			1					
	生理学Ⅱ	1前	1			1		1			
	生理学Ⅲ	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1		2			2
	運動学	2後	2			1					
	運動学実習	3前	1			1	1	1	2		2
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							2
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2			1					
	内科学	2後	2								1
	整形外科学Ⅰ	2前	2			2					2
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								2
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							3
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1					
	救命救急医学	3後		2							1
	理学療法学総論	1前	2				1				
	作業療法学総論	1後	2								3
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							2
	機能障害運動学	3前	1					1			
	理学療法評価学Ⅰ	2前	1			3	3	5	2		1
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1			3	3	5	2		1
	理学療法評価学実習Ⅰ	2前	1			3	4	5	2		1
	理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1			3	4	5	2		1
	小児発達論	3前		2			1				
	運動治療学総論	2前	1			1					
	物理治療学	2後	1			1					
	理学治療学A	3前	1				1	1			
	理学治療学B	3後	1				1				1
	理学治療学C	3後	1				1	2			
	理学治療学D	3前	1					1	2		
	理学治療学E	3後	1					2			
	理学療法技術実習Ⅰ	2後	1					3	2		1
	理学療法技術実習Ⅱ	3後	1			2	4	5	2		1
	理学療法技術実習Ⅲ	3前	1			1					1
	日常生活活動学	3前	1			1					5
	日常生活活動学実習	3後	1			1	2	1			1
	地域生活環境論	3後	1			1					1
	地域理学療法学	2後	1			1	1				4
	高齢期障害作業治療学	3後		2							2

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	補装具治療学	2後	1				1				1
	補装具治療学実習	3前	1				1		1		
	臨床基礎実習Ⅰ	3前	1			1	5	5	1		
	臨床基礎実習Ⅱ	3後	1			1	5	5	1		
	理学療法臨床実習Ⅰ	4前	2			1	5	5	1		
	理学療法臨床実習Ⅱ	4前	8			1	5	5	1		
	理学療法臨床実習Ⅲ	4前	8			1	5	5	1		
	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		1	1				5
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1			4	1			7
	理学療法研究Ⅰ	1後	1					1			
	理学療法研究Ⅱ	2前	1				2				
	卒業研究Ⅰ	3前	1			3	5	5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			3	5	5			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			3	5	5			
	小計（ 68 科目）	－	84	23	0	4	5	5	1	0	34
合計（112科目）		－	100	90	0	4	5	5	1	0	68

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択8単位以上、「理学療法分野」、「卒業研究科目」から必修51単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修84単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修100単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	補装具治療学	2後	1				1				1
	補装具治療学実習	3前	1				1				
	臨床基礎実習Ⅰ	3前	1			4	4	5	2		1
	臨床基礎実習Ⅱ	3後	1			4	3	5	2		1
	理学療法臨床実習Ⅰ	4前	2			4	3	6	2		1
	理学療法臨床実習Ⅱ	4前	8			4	4	6	2		1
	理学療法臨床実習Ⅲ	4前	8			4	4	6	2		1
	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		1		1			6
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		2	2	1			7
	理学療法研究Ⅰ	1後	1					1	1		
	理学療法研究Ⅱ	2前	1			1					
	卒業研究Ⅰ	3前	1			5	4	5	2		1
	卒業研究Ⅱ	3後	1			5	4	5	2		1
	卒業研究Ⅲ	4後	2			5	4	5	2		1
	小計（ 68 科目）	－	84	23	0	8	4	6	2	0	34
合計（112科目）		－	100	90	0	8	4	6	2	0	66

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択8単位以上、「理学療法分野」、「卒業研究科目」から必修51単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修84単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修100単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	0	0	0	0	0	34

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	0	0	0	0	0	39

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2				1			
	解剖学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ	1前	1			1					
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1			1					
	解剖学実習	2後	1			1	3	5	1		7
	生理学Ⅰ	1前	1			1					
	生理学Ⅱ	1前	1			1		1			
	生理学Ⅲ	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1		1			2
	運動学	2後	2				2	3			
	運動学実習	3前	1				2	3			3
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							1
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2			1					
	内科学	2後	2			1					
	整形外科学Ⅰ	2前	2								1
	整形外科学Ⅱ	2後	2								1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								3
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							1
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1		1			6
	救命救急医学	3後		2							1
	理学療法学総論	1前	2				1				
	作業療法学総論	1後	2								3
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							3
	機能障害運動学	3前	1					1			
	理学療法評価学Ⅰ	2前	1				1	2			
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1				1	3			
	理学療法評価学実習ｰ	2前	1			1	3	5	1		
	理学療法評価学実習ｰ	2後	1			1	3	5	1		
	小児発達論ﾏ	3前		2			1				
	運動治療学総論	2前	1				1				
	物理治療学	2後	1			1					
	理学治療学A	3前	1					2			
	理学治療学B	3後	1				1				
	理学治療学C	3後	1					2			
	理学治療学D	3前	1			1					
	理学治療学E	3後	1			1					
	理学療法技術実習Ⅰ	2後	1			1		2	1		
	理学療法技術実習Ⅱ	3後	1			1	3	5			
	理学療法技術実習Ⅲ	3前	1			1			1		
	日常生活活動学	3前	1			2					1
	日常生活活動学実習	3後	1			1		1			
	地域生活環境論	3後	1								2
	地域理学療法学	2後	1				2				
	高齢期障害作業治療学	3後		2							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2				1			1
	解剖学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ	1前	1			1					
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1			1					
	解剖学実習	2後	1			2	3	5	1		7
	生理学Ⅰ	1前	1			1					
	生理学Ⅱ	1前	1			1		1			
	生理学Ⅲ	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1		1			2
	運動学	2後	2			1	2				1
	運動学実習	3前	1			1	2	2			3
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							2
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2			1					
	内科学	2後	2			1					
	整形外科学Ⅰ	2前	2			1					1
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								2
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							1
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1		1			6
	救命救急医学	3後		2							1
	理学療法学総論	1前	2				1				
	作業療法学総論	1後	2								3
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							2
	機能障害運動学	3前	1					1			
	理学療法評価学Ⅰ	2前	1			2	3	5	3		
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1			2	3	5	3		
	理学療法評価学実習ｰ	2前	1			2	3	5	3		
	理学療法評価学実習ｰ	2後	1			2	3	5	3		
	小児発達論ﾏ	3前		2			1				
	運動治療学総論	2前	1			1					
	物理治療学	2後	1			1					
	理学治療学A	3前	1					2			
	理学治療学B	3後	1				1				
	理学治療学C	3後	1				1	1			
	理学治療学D	3前	1			1					
	理学治療学E	3後	1			1					
	理学療法技術実習Ⅰ	2後	1				1	2	1		
	理学療法技術実習Ⅱ	3後	1			2	3	4			
	理学療法技術実習Ⅲ	3前	1			1			1		
	日常生活活動学	3前	1			2					1
	日常生活活動学実習	3後	1			1	1				
	地域生活環境論	3後	1								2
	地域理学療法学	2後	1			1	2				4
	高齢期障害作業治療学	3後		2							2

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	補装具治療学	2後	1				1				1
	補装具治療学実習	3前	1				1		1		
	臨床基礎実習Ⅰ	3前	1			2	4	5	1		
	臨床基礎実習Ⅱ	3後	1			2	4	5	1		
	理学療法臨床実習Ⅰ	4前	2			2	4	5	1		
	理学療法臨床実習Ⅱ	4前	8			2	4	5	1		
	理学療法臨床実習Ⅲ	4前	8			2	4	5	1		
	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		2					5
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		1	3	1			7
	理学療法研究Ⅰ	1後	1			1		1			
	理学療法研究Ⅱ	2前	1				2				
	卒業研究Ⅰ	3前	1			4	4	5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	4	5			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			4	4	5			
	小計（ 68 科目）	－	84	23	0	5	4	5	1	0	34
合計（112科目）		－	100	90	0	5	4	5	1	0	68

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択8単位以上、「理学療法分野」、「卒業研究科目」から必修51単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修84単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修100単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	補装具治療学	2後	1				1				1
	補装具治療学実習	3前	1				1		1		
	臨床基礎実習Ⅰ	3前	1			3	4	4	1		
	臨床基礎実習Ⅱ	3後	1			3	4	4	1		
	理学療法臨床実習Ⅰ	4前	2			3	4	4	1		
	理学療法臨床実習Ⅱ	4前	8			3	4	4	1		
	理学療法臨床実習Ⅲ	4前	8			3	4	4	1		
	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		2					5
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		2	3				7
	理学療法研究Ⅰ	1後	1			1		1			
	理学療法研究Ⅱ	2前	1				2				
	卒業研究Ⅰ	3前	1			5	4	4			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	4	4			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			4	4	4			
	小計（ 68 科目）	－	84	23	0	6	4	5	3	0	31
合計（112科目）		－	100	90	0	6	4	5	3	0	69

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択8単位以上、「理学療法分野」、「卒業研究科目」から必修51単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修84単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修100単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	40

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2			1				1
	解剖学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ	1前	1			1					
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1			1					
	解剖学実習	2後	1			2	3	3	2		9
	生理学Ⅰ	1前	1			1					
	生理学Ⅱ	1前	1			1		1			
	生理学Ⅲ	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1		1	1		2
	運動学	2後	2			1					
	運動学実習	3前	1			1	2		2		2
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							2
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2			1					
	内科学	2後	2			1					
	整形外科学Ⅰ	2前	2			2					2
	整形外科学Ⅱ	2後	2			2					
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								2
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							3
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1					
	救命救急医学	3後		2							1
	理学療法学総論	1前	2				1				
	作業療法学総論	1後	2								2
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							2
	機能障害運動学	3前	1								1
	理学療法評価学Ⅰ	2前	1			3	3	3	3		2
	理学療法評価学Ⅱ	2後	1			3	3	3	3		2
	理学療法評価学実習	2前	1			3	4	3	3		2
	理学療法評価学実習	2後	1			3	4	3	3		2
	小児発達論	3前		2			1				
	運動治療学総論	2前	1			1					
	物理治療学	2後	1			1					
	理学治療学A	3前	1				1	1			
	理学治療学B	3後	1				1				1
	理学治療学C	3後	1				1	1	1		
	理学治療学D	3前	1					1	2		
	理学治療学E	3後	1					2			
	理学療法技術実習Ⅰ	2後	1					1	3		2
	理学療法技術実習Ⅱ	3後	1			2	4	3	3		2
	理学療法技術実習Ⅲ	3前	1			1					1
	日常生活活動学	3前	1			1					5
	日常生活活動学実習	3後	1			1	2	1			1
	地域生活環境論	3後	1			1					1
	地域理学療法学	2後	1			1	1				4
	高齢期障害作業治療学	3後		2							2

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	補装具治療学	2後	1				1				1
	補装具治療学実習	3前	1				1				
	臨床基礎実習Ⅰ	3前	1			4	4	3	3		2
	臨床基礎実習Ⅱ	3後	1			4	3	3	3		2
	理学療法臨床実習Ⅰ	4前	2			4	4	3	1		
	理学療法臨床実習Ⅱ	4前	8			4	4	3	1		
	理学療法臨床実習Ⅲ	4前	8			4	4	3	1		
	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		1		1			6
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		3	2				7
	理学療法研究Ⅰ	1後	1			1		1			
	理学療法研究Ⅱ	2前	1			1					
	卒業研究Ⅰ	3前	1			5	3	3	3		2
	卒業研究Ⅱ	3後	1			5	3	3	3		2
	卒業研究Ⅲ	4後	2			6	4	3			
	小計（ 68 科目）	－	84	23	0	8	4	3	3	0	32
合計(112科目)		－	100	90	0	8	4	3	3	0	71

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修33単位及び選択8単位以上、「理学療法分野」、「卒業研究科目」から必修51単位及び選択6単位以上(「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上)。専門科目の卒業要件は必修84単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修100単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・昇任のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「准教授４・講師５・助教１・兼７」から「教授１・准教授３・講師５・助教１・兼７」に変更。
・教育内容充実のため、「作業療法学総論」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼３」に変更。
・昇任のため、「理学療法評価学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授４・講師５・助教１」から「教授１・准教授３・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法評価学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授４・講師５・助教１」から「教授１・准教授３・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「物理治療学」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・昇任のため、「理学療法技術演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２・助教１」から「教授１・講師２・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法技術演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授４・講師５」から「教授１・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「理学療法技術演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１・助教１」から「教授１・助教l」に変更。
・昇任のため、「日常生活活動学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼１」から「教授２・兼１」に変更。
・昇任のため、「臨床基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授５・講師５・助教１」から「教授２・准教授4・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「臨床基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授５・講師５・助教１」から「教授２・准教授4・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授５・講師５・助教１」から「教授２・准教授4・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授５・講師５・助教１」から「教授２・准教授4・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授５・講師５・助教１」から「教授２・准教授4・講師５・助教１」に変更。
・昇任のため、「老年医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼５」から「教授２・兼５」に変更。
・昇任のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「准教授４・講師１・兼７」から「教授１・准教授３・講師１・兼７」に変更。
・昇任のため、「理学療法研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１」から「教授１・講師l」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授５・講師５」から「教授４・准教授４・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授５・講師５」から「教授４・准教授４・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授５・講師５」から「教授４・准教授４・講師５」に変更。

【令和２年度】

・昇任のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師５・助教１・兼７」から「教授２・准教授３・講師５・助教１・兼７」に変更。
・昇任のため、「運動学」の専任教員等の配置を「准教授２・講師３」から「教授１・准教授２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「整形外科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「整形外科学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１・兼１」に変更。
・配置変更のため、「精神医学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「理学療法評価学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２」から「教授２・准教授３・講師５・助教３」に変更。
・教育内容充実のため、「理学療法評価学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３」から「教授２・准教授３・講師５・助教３」に変更。
・教育内容充実のため、「理学療法評価学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師５・助教１」から「教授３・准教授３・講師５・助教３」に変更。
・教育内容充実のため、「理学療法評価学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師５・助教１」から「教授３・准教授３・講師５・助教３」に変更。
・昇任のため、「運動治療学総論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・配置変更のため、「理学療法技術実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１」から「准教授１・講師２・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「地域理学療法学」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１・准教授２・兼４」に変更。
・昇任のため、「運動学実習」の専任教員等の配置を「准教授２・兼３」から「教授１・准教授２・講師２・兼３」に変更。
・教員変更のため、「障害者福祉論」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・昇任のため、「理学治療学Ｃ」の専任教員等の配置を「講師２」から「准教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「理学療法技術学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師５」から「教授２・准教授３・講師４」に変更。
・昇任のため、「日常生活活動学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。
・昇任のため、「臨床基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師５・助教１」から「教授３・准教授４・講師４・助教１」に変更。
・昇任のため、「臨床基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師５・助教１」から「教授３・准教授４・講師４・助教１」に変更。

・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師５・助教１」から「教授３・准教授４・講師４・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師５・助教１」から「教授３・准教授４・講師４・助教１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師５・助教１」から「教授３・准教授４・講師４・助教１」に変更。
・昇任のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師１・兼７」から「教授２・准教授３・兼７」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師５」から「教授５・准教授３・講師４」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師５」から「教授５・准教授３・講師４」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師５」から「教授５・准教授３・講師４」に変更。

【令和３年度】

・昇任のため、「医学英語」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「准教授１・兼１」に変更。
・配置変更及び教育内容充実のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師５・助教１・兼７」から「教授２・准教授３・講師３・助教２・兼９」に変更。
・教育内容充実のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・兼２」から「教授１・講師１・助教１・兼２」に変更。
・教員変更のため、「運動学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・兼１」から「教授１」に変更。
・教員変更のため、「運動学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師２・兼３」から「教授１・准教授２・助教２・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「整形外科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「教授２・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「整形外科学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「教授２」に変更。
・教育内容充実のため、「心理療法」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼３」に変更。
・教員変更のため、「人間発達学」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・兼６」から「教授１」に変更。
・教員変更のため、「作業療法学総論」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・配置変更のため、「機能障害運動学」の専任教員等の配置を「講師１」から「兼１」に変更。
・昇任、配置変更及び教育内容充実のため、「理学療法評価学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師５・助教３」から「教授３・准教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任、配置変更及び教育内容充実のため、「理学療法評価学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師５・助教３」から「教授３・准教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任、配置変更及び教育内容充実のため、「理学療法評価学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師５・助教３」から「教授３・准教授４・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任、配置変更及び教育内容充実のため、「理学療法評価学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師５・助教３」から「教授３・准教授４・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任のため、「理学治療学Ａ」の専任教員等の配置を「講師２」から「准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「理学治療学Ｂ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「理学治療学Ｃ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「理学治療学Ｄ」の専任教員等の配置を「教授１」から「講師１・助教２」に変更。
・教育内容充実のため、「理学治療学Ｅ」の専任教員等の配置を「教授１」から「講師２」に変更。

・教育内容充実のため、「理学療法技術実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２・助教１」から「講師１・助教３・兼２」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「理学療法技術実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師４」から「教授２・准教授４・講師３・助教３・兼２」に変更。
・配置変更のため、「理学療法技術実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１・助教１」から「教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「日常生活活動学」の専任教員等の配置を「教授２・兼１」から「教授１・兼５」に変更。
・昇任のため、「日常生活活動学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「教授１・准教授２・講師１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「地域生活環境論」の専任教員等の配置を「兼２」から「教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「地域理学療法学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・兼４」から「教授１・准教授１・兼４」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４・助教１」から「教授４・准教授４・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４・助教１」から「教授４・准教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４・助教１」から「教授４・准教授４・講師３・助１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４・助教１」から「教授４・准教授４・講師３・助１」に変更。
・昇任のため、「理学療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４・助教１」から「教授４・准教授４・講師３・助１」に変更。
・教育内容充実のため、「老年医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授２・兼５」から「教授１・講師１・兼６」に変更。
・昇任のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・兼７」から「教授３・准教授２・兼７」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「理学療法研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１」に変更。
・昇任、配置変更及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授４・講師４」から「教授５・准教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任、配置変更及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師４」から「教授５・准教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師４」から「教授６・准教授４・講師３」に変更。

【令和４年度】

・開講科目削減のため、「基礎英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・開講科目削減のため、「基礎英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・教員変更のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師３・助教２・兼９」から「教授２・准教授３・講師５・助教２・兼６」に変更。
・昇任のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・助教１・兼２」から「教授１・講師２・兼２」に変更。
・教員変更のため、「運動学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・助教２・兼２」から「教授１・准教授１・講師１・助教２・兼２」に変更。
・教員変更のため、「内科学」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「整形外科学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「作業療法学総論」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼３」に変更。
・教員発令変更のため、「機能障害運動学」の専任教員等の配置を「兼１」から「講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「理学療法評価学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授３・准教授３・講師５・助教２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「理学療法評価学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授３・准教授３・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教員発令変更のため、「理学療法評価学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師３・助教３・兼２」から「教授３・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教員発令変更のため、「理学療法評価学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師３・助教３・兼２」から「教授３・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任のため、「理学治療学Ｃ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・助教１」から「准教授１・講師２」に変更。
・昇任及び教員発令変更のため、「理学療法技術実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１・助教３・兼２」から「講師３・助教２・兼１」に変更
・昇任及び教員発令変更のため、「理学療法技術実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師３・助教３・兼２」から「教授２・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教員発令変更のため、「臨床基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師３・助教３・兼２」から「教授４・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教員発令変更のため、「臨床基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授４・准教授３・講師５・助教２・兼１」に変更。

・昇任及び教育内容充実のため、「理学療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師３・助教１」から「教授４・准教授３・講師６・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「理学療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師３・助教１」から「教授４・准教授４・講師６・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「理学療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師３・助教１」から「教授４・准教授４・講師６・助教２・兼１」に変更。
・「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・兼７」から「教授２・准教授２・講師１・兼７」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「理学療法研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「講師１・助教１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授５・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授５・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授６・准教授４・講師３」から「教授５・准教授４・講師５・助教２・兼１」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
64 科目	49 科目	0 科目	113 科目	64 科目 [0]	49 科目 [0]	0 科目 [0]	113 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	経済学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
2	英会話	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
3	英語リーディング	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
4	情報学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
5	生活環境論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年度より基礎教育科目のカリキュラム改正に伴う科目の未開講について、令和3年度履修登録時に学生には周知済み。また、既存の学生の単位修得状況を確認し、他開講科目で充足可能と判断した。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{113} = \boxed{4.42}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
（1）校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	

（2）校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	79,854.22㎡	0㎡	0㎡	79,854.22㎡	
	（79,854.22㎡）	（　　0㎡）	（　　0　㎡）	（79,854.22㎡）	

（3）教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため（2）（3） 職員構成変更のため（4） 大学全体
	50室 ~~48室~~	49室 ~~45室~~ ~~46室~~	130室 ~~132室~~ ~~135室~~	4室 ~~2室~~ （補助職員5人 ~~4人~~ ~~1人~~）	2室 （補助職員3人 ~~2人~~ ~~1人~~）	

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	1室を2人で使用する場合がある 教員構成変更のため（4）
	リハビリテーション学部　理学療法学科	12 ~~11~~　室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	リハビリテーション学部　理学療法学科	6,589〔911〕 (7,125〔911〕) ~~(6,940〔901〕)~~ ~~(6,755〔895〕)~~ ~~(6,603〔881〕)~~ ~~(6,589〔911〕)~~	25〔11〕 (25〔11〕) ~~(24〔11〕)~~ ~~(25〔11〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	13 ~~(13)~~	1,628 ~~1,699~~ (1,685) ~~(1,652)~~ ~~(1,602)~~ ~~(1,628)~~ ~~(1,699)~~	302 ~~200~~ (251) ~~(260)~~ ~~(262)~~ ~~(302)~~ ~~(200)~~	電子ジャーナルは大学全体 既存備品の整理と拡充を図ったため （元）（2）（3）（4）
	計	6,589〔911〕 (7,125〔911〕) ~~(6,940〔901〕)~~ ~~(6,755〔895〕)~~ ~~(6,603〔881〕)~~ ~~(6,589〔911〕)~~	25〔11〕 (25〔11〕) ~~(24〔11〕)~~ ~~(25〔11〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	13 ~~(13)~~	1,628 ~~1,699~~ (1,685) ~~(1,652)~~ ~~(1,602)~~ ~~(1,628)~~ ~~(1,699)~~	302 ~~200~~ (251) ~~(260)~~ ~~(262)~~ ~~(302)~~ ~~(200)~~	

（6）図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	2,482.94㎡	606	210,275	

（7）体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡	温水プール　25ｍ×7コース	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄ含む）を含む 教員構成変更のため（2）（4）
		教員１人当り研究費等	528千円	624千円 ~~525千円~~ ~~485千円~~	図書購入費	―　千円	3,405千円	3,405千円	
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	10,000千円	5,000千円	5,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,700 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「（５）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士（医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士（臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士（子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士（保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士（保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士（理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士（作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士（言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士（視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士（臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士（診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士（臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士（臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士（健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士（医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士 （臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士 （医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士 （医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士 （医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学部	6	126	―	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	―	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	―	752	学士 （医学）	1.00	1.00	―	昭和45		
医学研究科	4	25	―	100	博士	0.63	0.88	―	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	
医科学専攻	4	25	―	100	（医学）	0.63	0.88	―	昭和51		
大学院全体	―	25	―	100	―	0.63	0.88	―	―		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	―	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	―	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	―	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜リハビリテーション学部　理学療法学科＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専任	教授	國安　勝司 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 人間発達学 理学治療学D 理学治療学E 日常生活活動学 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	古我　知成 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	椿原　彰夫 (65) ＜平成31年4月＞ 医学博士 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
専任	教授	平岡　崇 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） リハビリテーション総論 内科学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	石田　弘 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動治療学総論 理学療法技術実習Ⅱ 地域理学療法学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専任	教授	國安　勝司 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 人間発達学 理学治療学D 理学治療学E 日常生活活動学 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	古我　知成 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	椿原　彰夫 (65) ＜平成31年4月＞ 医学博士 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
専任	教授	平岡　崇 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） リハビリテーション総論 内科学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	石田　弘 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動治療学総論 理学療法技術実習Ⅱ 地域理学療法学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専任	教授	國安　勝司 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 人間発達学 理学治療学D 理学治療学E 日常生活活動学 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
専任	教授	古我　知成 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	椿原　彰夫 (66) ＜平成31年4月＞ 医学博士 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
専任	教授	平岡　崇 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） リハビリテーション総論 内科学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	石田　弘 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動治療学総論 理学療法技術実習Ⅱ 地域理学療法学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専任	教授	國安　勝司 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 人間発達学 ~~理学治療学D~~ ~~理学治療学E~~ 日常生活活動学 ~~日常生活活動学実習~~ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ ~~老年医学とリハビリテーション医療~~ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
専任	教授	古我　知成 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	椿原　彰夫 (67) ＜平成31年4月＞ 医学博士 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
専任	教授	平岡　崇 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） リハビリテーション総論 内科学 ~~卒業研究Ⅰ~~ ~~卒業研究Ⅱ~~ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	中西　一夫 (48) ＜令和2年8月＞ 医学博士 整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
専任	教授	石田　弘 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動治療学総論 ~~理学療法技術実習Ⅱ~~ ~~地域理学療法学~~ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専任	教授	國安　勝司 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 人間発達学 ~~理学治療学D~~ ~~理学治療学E~~ 日常生活活動学 ~~日常生活活動学実習~~ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ ~~老年医学とリハビリテーション医療~~ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 整形外科学Ⅰ ~~整形外科学Ⅱ~~
専任	教授	古我　知成 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	椿原　彰夫 (68) ＜平成31年4月＞ 医学博士 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
専任	教授	平岡　崇 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） リハビリテーション総論 ~~内科学~~ ~~卒業研究Ⅰ~~ ~~卒業研究Ⅱ~~ ~~卒業研究Ⅲ~~
専任	教授	中西　一夫 (49) ＜令和2年8月＞ 医学博士 整形外科学Ⅰ ~~整形外科学Ⅱ~~
専任	教授	石田　弘 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動治療学総論 ~~理学療法技術実習Ⅱ~~ ~~地域理学療法学~~ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ ~~保健医学とリハビリテーション医療~~ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	小原　謙一 （42） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 地域理学療法学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	藤田　大介 （47） ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 物理治療学 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅲ 日常生活活動学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	矢吹　眞弓 （63） ＜令和3年4月＞ 教育学士	小児発達論 理学治療学Ｂ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	吉村　洋輔 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 補装具治療学 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	小原　謙一 （41） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 地域理学療法学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	**教授**	藤田　大介 （46） ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 物理治療学 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅲ 日常生活活動学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法研究Ⅰ**
専任	准教授	矢吹　眞弓 （61） ＜令和3年4月＞ 教育学士	小児発達論 理学治療学Ｂ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	吉村　洋輔 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 補装具治療学 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	小原　謙一 （42） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 地域理学療法学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	**教授**	藤田　大介 （47） ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 物理治療学 ~~理学療法技術実習Ⅰ~~ 理学療法技術実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅲ 日常生活活動学 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法研究Ⅰ** **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ** **地域理学療法学**
専任	准教授	矢吹　眞弓 （62） **＜令和2年4月＞** 教育学士	小児発達論 理学治療学Ｂ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学実習Ⅰ** **理学療法評価学実習Ⅱ**
専任	准教授	吉村　洋輔 （40） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 補装具治療学 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**教授**	小原　謙一 （43） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ **地域理学療法学** 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **日常生活活動学実習** **地域生活環境論**
専任	**教授**	藤田　大介 （48） ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	**解剖学実習** 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 物理治療学 **~~理学療法技術実習Ⅰ~~** 理学療法技術実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅲ **日常生活活動学** 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法研究Ⅰ** **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ** **地域理学療法学**
専任	准教授	矢吹　眞弓 （63） **＜令和2年4月＞** 教育学士	小児発達論 理学治療学Ｂ 臨床基礎実習Ⅰ **~~臨床基礎実習Ⅱ~~** 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ **~~卒業研究Ⅰ~~** **~~卒業研究Ⅱ~~** 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学実習Ⅰ** **理学療法評価学実習Ⅱ** **日常生活活動学実習** **理学療法技術実習Ⅱ**
専任	准教授	吉村　洋輔 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 補装具治療学 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 **~~理学療法研究Ⅱ~~** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**教授**	小原　謙一 （44） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ **地域理学療法学** 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 理学療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **日常生活活動学実習** **地域生活環境論**
専任	**教授**	藤田　大介 （49） ＜令和2年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	**解剖学実習** 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 物理治療学 **~~理学療法技術実習Ⅰ~~** 理学療法技術実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅲ **日常生活活動学** 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **~~理学療法研究Ⅰ~~** **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ** **地域理学療法学**
専任	准教授	矢吹　眞弓 （64） **＜令和2年4月＞** 教育学士	小児発達論 理学治療学Ｂ 臨床基礎実習Ⅰ **~~臨床基礎実習Ⅱ~~** **~~理学療法臨床実習Ⅰ~~** 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **卒業研究Ⅲ** **理学療法評価学実習Ⅰ** **理学療法評価学実習Ⅱ** **日常生活活動学実習** **理学療法技術実習Ⅱ**
専任	准教授	吉村　洋輔 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅱ 補装具治療学 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 **~~理学療法研究Ⅱ~~** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	伊藤　智崇 （44） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	大坂　裕 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	木村　大輔 （37） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 人間発達学 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	末廣　忠延 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	伊藤　智崇 （43） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	大坂　裕 （37） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	木村　大輔 （37） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 人間発達学 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	末廣　忠延 （37） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	伊藤　智崇 （43） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 **運動学** 運動学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ**
専任	講師	大坂　裕 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **地域理学療法学**
専任	講師	木村　大輔 （38） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 人間発達学 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ**
専任	講師	末廣　忠延 （38） **＜令和4年4月＞** 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**准教授**	伊藤　智崇 （44） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 **運動学** 運動学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ**
専任	**准教授**	大坂　裕 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C ~~**理学療法技術実習Ⅰ**~~ 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **地域理学療法学**
専任	講師	木村　大輔 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** **人間発達学** 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ**
専任	講師	末廣　忠延 （39） **＜令和4年4月＞** 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅱ** **保健医学とリハビリテーション医療**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**准教授**	伊藤　智崇 （45） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 **運動学** **運動学実習** 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ**
専任	**准教授**	大坂　裕 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C **理学療法技術実習Ⅰ** 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **地域理学療法学**
専任	講師	木村　大輔 （40） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** **人間発達学** 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学A 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅰ** **理学療法評価学Ⅱ**
専任	講師	末廣　忠延 （40） **＜令和4年4月＞** 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **理学療法評価学Ⅱ** **保健医学とリハビリテーション医療**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	高橋　尚 （39） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	助教	永田　裕恒 （39） 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	高橋　尚 （39） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	助教	永田　裕恒 （38） 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	末廣　恵蔵 （38） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 理学療法評価学Ⅱ
専任	講師	高橋　尚 （40） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ
専任	講師	松本　浩実 （45） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ
専任	助教	永田　裕恒 （39） 〈令和4年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	末廣　恵蔵 （39） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 理学療法評価学Ⅱ 保健医学とリハビリテーション医療
専任	講師	高橋　尚 （41） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学治療学E
専任	講師	松本　浩実 （46） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 老年医学とリハビリテーション医療 理学治療学D 理学治療学E 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ
専任	助教	永田　裕恒 （40） 〈令和4年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 理学治療学B 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学 日常生活活動学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	高橋　尚 （42） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学治療学C 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学治療学E
専任	講師	松本　浩実 （47） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 老年医学とリハビリテーション医療 理学治療学D 理学治療学E 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
専任	講師	杉　優子 （52） 〈令和4年4月〉 修士（リハビリテーション学）	理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担	助教	永田　裕恒 (39) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	兼担	助教	永田　裕恒 (40) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	兼担	講師	永田　裕恒 (41) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）
								解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ			解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 理学治療学Ｂ 日常生活活動学 日常生活活動学実習			解剖学実習 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅲ 補装具治療学実習 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 理学治療学Ｂ 理学療法技術実習Ⅱ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 卒業研究Ⅲ
						専任	助教	潟　昴佑 (34) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	専任	助教	潟　昴佑 (35) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	専任	助教	潟　昴佑 (36) 〈令和2年4月〉 博士（医学）
								理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ			理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動学実習 理学治療学Ｄ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ			理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動学実習 理学治療学Ｄ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 卒業研究Ⅲ 解剖学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
						専任	助教	岸本　智也 (28) 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	専任	助教	岸本　智也 (29) 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	専任	助教	岸本　智也 (30) 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）
								理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ			理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 解剖学実習 理学治療学Ｄ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ			理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 解剖学実習 理学治療学Ｄ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
											氏川　拓也 (33) 〈令和2年4月〉 博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）			氏川　拓也 (34) 〈令和2年4月〉 博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）
											解剖学実習 生理学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学治療学Ｃ 運動学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			解剖学実習 生理学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 理学療法技術実習Ⅰ 理学療法技術実習Ⅱ 臨床基礎実習Ⅰ 臨床基礎実習Ⅱ 理学治療学Ｃ 運動学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
兼担	教授	飯田　淳子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (48) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (49) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (50) 〈平成31年4月〉 博士（文学）
		人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	井上　桂子 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 （67） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 （68） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **医学英語**			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **医学英語** **日常生活活動学**			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **医学英語** **日常生活活動学**
兼担	教授	伊禮　功 （54） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 （53） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 （54） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 （55） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 （56） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		病理学			病理学			病理学			病理学			病理学
兼担	教授	梅田　勝 （63） ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼担	教授	梅田　勝 （63） ＜平成31年4月＞ 医学博士									
		医学概論			医学概論									
兼担	教授	柏原　洋子 （61） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 （61） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 （62） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 （63） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 （64） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング			基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング			~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ **実践英会話** 英語インテンシブリーディング **英語リーディング**			~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ **実践英会話** 英語インテンシブリーディング **英語リーディング**			~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ **実践英会話** 英語インテンシブリーディング **英語リーディング**
兼担	教授	姜　波 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 （62） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 （63） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解
兼担	教授	進藤　貴子 （55） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 （54） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 （55） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 （56） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 （57） ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		老人心理学			老人心理学			老人心理学			老人心理学			老人心理学
兼担	教授	鈴木　幸一郎 （72） ＜令和3年4月＞ 医学博士	**兼任**	**講師**	鈴木　幸一郎 （70） ＜令和3年4月＞ 医学博士	**兼任**	**講師**	鈴木　幸一郎 （71） ＜令和3年4月＞ 医学博士	**兼任**	**講師**	鈴木　幸一郎 （72） ＜令和3年4月＞ 医学博士	**兼任**	**講師**	鈴木　幸一郎 （73） ＜令和3年4月＞ 医学博士
		救命救急医学			救命救急医学			救命救急医学			救命救急医学			救命救急医学
兼担	教授	妹尾　勝利 （50） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	妹尾　勝利 （49） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	妹尾　勝利 （50） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	妹尾　勝利 （51） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	妹尾　勝利 （52） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		解剖学実習 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療			解剖学実習 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療			解剖学実習 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療 **整形外科学Ⅰ** **整形外科学Ⅱ**			解剖学実習 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療 **整形外科学Ⅰ** **整形外科学Ⅱ** **日常生活活動学**			**解剖学実習** 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療 **整形外科学Ⅰ** **整形外科学Ⅱ** **日常生活活動学**
兼担	教授	田口　豊郁 （65） ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼担	教授	田口　豊郁 （65） ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼担	教授	田口　豊郁 （66） ＜平成31年4月＞ 医学博士	**兼任**	**講師**	田口　豊郁 （67） ＜平成31年4月＞ 医学博士			
		生活環境論			生活環境論			生活環境論			生活環境論			
兼担	教授	武井　祐子 （51） ＜令和3年4月＞ 博士（臨床心理学）	兼担	教授	武井　祐子 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（臨床心理学）									
		心理療法			心理療法									
兼担	教授	種村　純 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	種村　純 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）									
		医療と福祉 医療福祉学概論			医療と福祉 医療福祉学概論									
兼担	教授	野澤　亮平 （64） ＜平成31年4月＞ 理学博士	兼担	教授	野澤　亮平 （64） ＜平成31年4月＞ 理学博士									
		統計学			統計学									
兼担	教授	橋本　勇人 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 （62） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
兼担	教授	長谷川　徹 （65） ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	長谷川　徹 （64） ＜令和2年4月＞ 医学博士									
		整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ			整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ									
兼担	教授	林　明弘 （60） ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼担	教授	林　明弘 （60） ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼担	教授	林　明弘 （61） ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼担	教授	林　明弘 （62） ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼担	教授	林　明弘 （63） ＜平成31年4月＞ 文学修士
		哲学			哲学			哲学			哲学			哲学
兼担	教授	平井　敏弘 （68） ＜平成31年4月＞ 医学博士	**兼任**	**講師**	平井　敏弘 （68） ＜平成31年4月＞ 医学博士									
		入門医学概論			入門医学概論									
兼担	教授	福意　武史 （57） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	福意　武史 （57） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	福意　武史 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	福意　武史 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	福意　武史 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）
		人間発達学 地域生活環境論 老年医学とリハビリテーション医療			人間発達学 地域生活環境論 老年医学とリハビリテーション医療			人間発達学 地域生活環境論 老年医学とリハビリテーション医療 **地域理学療法学**			**人間発達学** 地域生活環境論 老年医学とリハビリテーション医療 **地域理学療法学** **日常生活活動学**			**人間発達学** 地域生活環境論 老年医学とリハビリテーション医療 **地域理学療法学** **日常生活活動学**
兼担	教授	福岡　欣治 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 （51） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		心理学			心理学			心理学			心理学			心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	保野　孝弘 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		睡眠学			睡眠学			睡眠学			睡眠学			睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （69） ＜平成31年4月＞ 理学士	兼担	教授	益田　芳樹 （69） ＜平成31年4月＞ 理学士	兼担	教授	益田　芳樹 （70） ＜平成31年4月＞ 理学士	兼担	教授	益田　芳樹 （71） ＜平成31年4月＞ 理学士			
		生物学			生物学			生物学			生物学			
兼担	教授	虫明　基 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	兼担	教授	虫明　基 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）									
		数学 物理学			数学 物理学									
兼担	教授	矢野　博己 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 （54） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 （56） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		健康科学論			健康科学論			健康科学論			健康科学論			健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） ＜平成31年4月＞ 修士（比較文化）	兼担	教授	吉岡　リサ （66） ＜平成31年4月＞ 修士（比較文化）									
		英会話 英語リーディング			英会話 英語リーディング									
						兼担	**教授**	**竹内　仁司 （70） ＜令和2年4月＞ 医学博士**						
								医学概論 入門医学概論						
						兼担	**教授**	**宮川　健 （59） ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）**	**兼担**	**教授**	**宮川　健 （60） ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）**	**兼担**	**教授**	**宮川　健 （61） ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）**
								医療福祉学概論 医療と福祉			**医療福祉学概論 医療と福祉**			**医療福祉学概論 医療と福祉**
						兼担	**教授**	**文谷　知明 （61） ＜令和2年4月＞ 教育学修士**	**兼担**	**教授**	**文谷　知明 （62） ＜令和2年4月＞ 教育学修士**	**兼担**	**教授**	**文谷　知明 （63） ＜令和2年4月＞ 教育学修士**
								健康体育基礎演習			**健康体育基礎演習**			**健康体育基礎演習**
									兼担	**教授**	**宮本　修 （65） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）**	**兼担**	**教授**	**宮本　修 （66） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）**
											入門医学概論 医学概論			**入門医学概論 医学概論**
									兼担	**教授**	**米谷　正造 （60） ＜令和3年4月＞ 教育学修士**	**兼担**	**教授**	**米谷　正造 （61） ＜令和3年4月＞ 教育学修士**
											健康体育実技（レクリエーション系）			**健康体育実技（レクリエーション系）**
												兼担	**教授**	**石原　克彦 （65） ＜令和4年4月＞ 医学（博士）**
														内科学
												兼担	**教授**	**長谷川　健二郎 （63） ＜令和4年4月＞ 医学（博士）**
														整形外科学Ⅱ
												兼担	**教授**	**泰山　浩司 （66） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）**
														生物学
兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） ＜平成31年4月＞ 文学修士									
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ									
兼担	准教授	大野　宏明 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	准教授	大野　宏明 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	准教授	大野　宏明 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	准教授	大野　宏明 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	教授	大野　宏明 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）
		作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **地域理学療法学**			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **地域理学療法学 心理療法**			作業療法学総論 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **地域理学療法学 心理療法**
兼担	准教授	岡本　宣雄 （54） ＜令和3年4月＞ 修士（社会福祉学）	兼担	准教授	岡本　宣雄 （52） ＜令和3年4月＞ **博士（医療福祉学）**	兼担	准教授	岡本　宣雄 （52） ＜令和3年4月＞ **博士（医療福祉学）**	兼担	准教授	岡本　宣雄 （53） ＜令和3年4月＞ **博士（医療福祉学）**	兼担	教授	岡本　宣雄 （54） ＜令和3年4月＞ **博士（医療福祉学）**
		老人福祉論			老人福祉論			老人福祉論			老人福祉論			老人福祉論
兼担	准教授	黒住　千春 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	准教授	黒住　千春 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	准教授	黒住　千春 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	教授	黒住　千春 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	兼担	教授	黒住　千春 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）
		生理学実習 人間発達学 日常生活活動学 高齢期障害作業治療学			生理学実習 人間発達学 日常生活活動学 高齢期障害作業治療学			**生理学実習** 人間発達学 日常生活活動学 高齢期障害作業治療学 **地域理学療法学**		**教授**	**生理学実習 人間発達学** 日常生活活動学 高齢期障害作業治療学 **地域理学療法学 老年医学とリハビリテーション医療**		**教授**	**生理学実習 人間発達学** 日常生活活動学 高齢期障害作業治療学 **地域理学療法学 老年医学とリハビリテーション医療**
兼担	准教授	佐々木　新 （46） ＜令和3年4月＞ 修士（臨床心理学）	兼担	准教授	佐々木　新 （44） ＜令和3年4月＞ 修士（臨床心理学）	兼担	准教授	佐々木　新 （45） ＜令和3年4月＞ 修士（臨床心理学）	兼担	准教授	佐々木　新 （46） ＜令和3年4月＞ 修士（臨床心理学）			
		障害者心理学			障害者心理学			障害者心理学			障害者心理学			
兼担	准教授	澤原　光彦 （61） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	澤原　光彦 （60） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	澤原　光彦 （61） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	澤原　光彦 （62） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	澤原　光彦 （63） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ			精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ			精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ			精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ			精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼担	准教授	園田　祐治 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	園田　祐治 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	園田　祐治 （51） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	園田　祐治 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	**教授**	園田　祐治 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		解剖学Ⅲ			解剖学Ⅲ			解剖学Ⅲ			解剖学Ⅲ			解剖学Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田中　順子 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	田並　尚恵 (52) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 (52) 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	福島　康弘 (46) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	山内　泰子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	講師	荒井　佐和子 (38) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	講師	植田　嘉好子 (44) 〈令和3年4月〉 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	岡崎　利治 (43) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	岡本　幸 (44) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学
兼担	講師	小田桐　早苗 (37) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小野　健一 (39) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	金山（小野）　祐里 (39) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	北澤　正志 (58) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田中　順子 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	田並　尚恵 (52) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 (50) 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	谷野　宏典 (44) 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	福島　康弘 (46) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	山内　泰子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	講師	荒井　佐和子 (37) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	准教授	植田　嘉好子 (42) 〈令和3年4月〉 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	岡崎　利治 (42) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	岡本　幸 (44) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学
兼担	講師	小田桐　早苗 (36) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小野　健一 (40) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	金山（小野）　祐里 (38) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法学総論
兼担	准教授	北澤　正志 (58) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	田中　順子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	田並　尚恵 (53) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 (51) 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	谷野　宏典 (45) 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	福島　康弘 (47) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	山内　泰子 (59) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	クレミンソン，T，J (45) 〈令和2年4月〉 修士（MASTER　OF RESEARCH）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	クレメニック，M．J (53) 〈令和2年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	土家　鎮夫 (61) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	准教授	矢納　陽 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	物理学
兼担	講師	荒井　佐和子 (38) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	准教授	植田　嘉好子 (43) 〈令和3年4月〉 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	岡崎　利治 (43) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	障害者福祉論 ボランティア入門
兼担	講師	岡本　幸 (45) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学
兼担	講師	小田桐　早苗 (37) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小野　健一 (40) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	金山（小野）　祐里 (39) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法学総論
兼担	准教授	北澤　正志 (59) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	田中　順子 (62) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 心理療法
兼担	准教授	田並　尚恵 (54) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 (52) 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	教授	福島　康弘 (48) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	山内　泰子 (60) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	クレミンソン，T，J (46) 〈令和2年4月〉 修士（MASTER　OF RESEARCH）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	クレメニック，M．J (54) 〈令和2年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	土家　鎮夫 (62) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	赤松　直美 (48) 〈令和3年4月〉 博士（増観学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	荒井　佐和子 (39) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	准教授	植田　嘉好子 (44) 〈令和3年4月〉 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	岡崎　利治 (44) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	障害者福祉論 ボランティア入門
兼担	講師	岡本　幸 (46) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 心理療法
兼担	講師	小田桐　早苗 (38) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小野　健一 (41) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	北澤　正志 (60) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	田中　順子 (63) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 心理療法
兼担	准教授	田並　尚恵 (55) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 (53) 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	教授	福島　康弘 (49) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	山内　泰子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	土家　鎮夫 (63) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 (48) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	赤松　直美 (49) 〈令和3年4月〉 博士（増観学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	荒井　佐和子 (40) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	准教授	植田　嘉好子 (45) 〈令和3年4月〉 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	岡崎　利治 (45) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	障害者福祉論 ボランティア入門
兼担	講師	岡本　幸 (47) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 心理療法 障害者心理学
兼担	講師	小田桐　早苗 (39) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小野　健一 (42) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	金山（小野）　祐里 (41) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	保健医学とリハビリテーション医療 作業療法学総論 高齢期障害作業治療学
兼担	准教授	北澤　正志 (61) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　茜 (39) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	桃原　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	根来　麻子 (38) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	講師	秦　久美子 (59) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	平田　淳也 (35) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	藤原　有子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	講師	山形　隆造 (36) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	用稲　丈人 (43) 〈令和3年4月〉 博士（リハビリテーション学）	地域生活環境論 高齢期障害作業治療学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 (52) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　茜 (38) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	~~桃原（羽原）　司~~ (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田　淳也 (35) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	~~中尾　有子~~ (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	講師	山形　隆造 (36) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	用稲　丈人 (41) 〈令和3年4月〉 博士（リハビリテーション学）	地域生活環境論 高齢期障害作業治療学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	國弘　保明 (44) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 (52) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　茜 (39) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 (48) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	谷川　智宏 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	~~桃原（羽原）　司~~ (44) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	~~健康体育実技（スポーツ系）~~
兼担	講師	西脇　藍 (43) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田　淳也 (36) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 運動学
兼担	講師	平田（森）　智子 (38) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山形　隆造 (37) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	山根　真由美 (53) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	講師	用稲　丈人 (42) 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	地域生活環境論 高齢期障害作業治療学 解剖学実習 地域理学療法学
兼担	講師	プレバッテ,J (55) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	英会話 実践英会話

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	國弘　保明 (45) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	准教授	小池　大介 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	准教授	小崎　順子 (53) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　茜 (40) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 (49) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	谷川　智宏 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	平田　淳也 (37) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 運動学 運動学実習 整形外科学Ⅰ
兼担	講師	平田（森）　智子 (39) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山形　隆造 (38) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	山根　真由美 (54) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	講師	用稲　丈人 (43) 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	地域生活環境論 高齢期障害作業治療学 解剖学実習 地域理学療法学
兼担	講師	プレバッテ,J (56) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	英会話 実践英会話

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	國弘　保明 (46) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	准教授	小池　大介 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	下田（山本）　茜 (41) 〈令和2年4月〉 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 (50) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	平田　淳也 (38) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 運動学 運動学実習 整形外科学Ⅰ
兼担	講師	山形　隆造 (39) 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	山根　真由美 (55) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ 英会話（海外研修）
兼担	講師	用稲　丈人 (44) 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	地域生活環境論 高齢期障害作業治療学 解剖学実習 地域理学療法学 運動学実習
兼担	講師	プレバッテ,J (57) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	英会話 実践英会話 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	大岸　太一 (38) 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	小池　康弘 (31) 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼任	講師	大石　智洋 (50) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼任	講師	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	村上　伸治 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼任	講師	村上　龍文 (62) 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学
兼任	講師	和迩　大樹 (43) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	大岸　太一 (38) 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	小池　康弘 (30) 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	准教授	橋本　美香 (51) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼任	講師	大石　智洋 (48) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼任	講師	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	村上　伸治 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼任	講師	村上　龍文 (61) 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学
兼任	講師	和迩　大樹 (42) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	大岸　太一 (39) 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	小池　康弘 (31) 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習
兼担	准教授	橋本　美香 (52) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	助教	池内　由子 (42) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	臨床心理学
兼担	助教	門利　知美 (34) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	助教	兵藤　史貴 (35) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	統計学
兼担	助教	福井　夕希子 (34) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	文章表現
兼担	助教	吉村　学 (33) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	生理学実習
兼担	助教	山形　高司 (38) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼任	講師	大石　智洋 (48) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (67) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	村上　伸治 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼担	教授	村上　龍文 (62) 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	大岸　太一 (40) 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	小池　康弘 (32) 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習
兼担	助教	後藤　大輔 (34) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	橋本　美香 (53) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	助教	池内　由子 (43) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	臨床心理学
兼担	助教	門利　知美 (35) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	助教	兵藤　史貴 (36) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	統計学
兼担	助教	福井　夕希子 (35) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	文章表現
兼担	助教	吉村　学 (34) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	生理学実習
兼担	助教	山形　高司 (39) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼任	講師	大石　智洋 (49) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	村上　伸治 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼担	教授	村上　龍文 (63) 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	大岸　太一 (41) 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	小池　康弘 (33) 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習
兼担	助教	後藤　大輔 (35) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	橋本　美香 (54) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	助教	池内　由子 (44) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	臨床心理学
兼担	助教	門利　知美 (36) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	助教	兵藤　史貴 (37) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	統計学
兼担	助教	吉村　学 (35) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	生理学実習
兼担	助教	山形　高司 (40) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼任	講師	大石　智洋 (50) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (69) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	村上　伸治 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼担	教授	村上　龍文 (64) 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・兼担教員の根来麻子、秦久美子が辞任。後任として兼担教員の橋本美香、谷野宏美が就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の澤原光彦、園田祐治、山内泰子が准教授から教授に、植田嘉好子、金山(小野)　祐里、北澤正志が講師から准教授に昇任。また、兼担教員の平井敏弘が兼任教員に、兼任教員の谷本泰正が兼担教員に変更。

【令和２年度】

・教育内容充実のため、専任教員として松本浩実講師、澳昴佑助教、岸本智也助教、氏川拓也助教が就任。また、令和3年度就任予定だった矢吹眞弓准教授が令和2年4月に前倒して就任。
・専任教員の石田弘が准教授から教授に昇任、大坂裕が講師から准教授に昇任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の武井祐子、種村純、野澤亮平、長谷川徹、虫明基、吉岡リサ、伊藤隆男、佐々木新、中尾有子、後藤大輔、兼任教員の平井敏弘、和迩大樹が辞任。後任として、兼担教員に竹内仁司、宮川健、文谷知明、クレミンソン,T.J、クレメニック,M.J、土家槙夫、矢納陽、プレバッテ,J、池内由子、門利知美、兵藤史武、福井夕希子、吉村学、山形高司が就任。
・旧学科及び新学科との教員調整のため、末廣忠延講師、永田裕恒助教の専任発令を2年延期。

【令和３年度】

・教育内容充実のため、専任教員として中西一夫教授が就任。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の武井祐子、竹内仁司、谷野宏美、金山（小野）祐理、桃原（羽原）司が辞任。後任として、兼担教員に米谷正造、宮本修、赤松恵美が就任した。

【令和４年度】

・教育内容充実のため杉優子講師が就任。
・氏川拓也助教が講師に昇任。学科内の教育体制充実のため担当科目を再配置した。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の益田芳樹、佐々木新、谷川智宏、平田智子、福井夕希子、兼任講師の田口豊郁が辞任。後任として、兼担教員の石原克彦、長谷川健二郎、泰山浩司、金山（小野）祐里が就任。
・旧学科及び新学科との教員調整のため、末廣忠延講師が就任。永田裕恒助教の専任発令を延期。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
4	5	5	1	15	0	8	4	6	2	20	0
(4)	(1)	(2)	(0)	(7)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
8	4	6	2	20	0	8	4	6	2	20	0
[4]	[△1]	[1]	[1]	[5]	[0]	[4]	[△1]	[1]	[1]	[5]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 （平成27年4月採用より） 歳	1 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{15} = 133.33\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{20} = 5\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	講師	永田　裕恒	R4.4	必修	卒業研究Ⅰ	②	R4.3旧学科に専任として発令されているため就任辞退（４）
				必修	卒業研究Ⅱ	②	
				必修	解剖学実習	②	
				必修	卒業研究Ⅲ	②	
				必修	理学療法評価学Ⅰ	②	
				必修	理学療法評価学Ⅱ	②	
				必修	理学療法評価学実習Ⅰ	②	
				必修	理学療法評価学実習Ⅱ	②	
				必修	理学治療学Ｂ	②	
				必修	理学療法技術実習Ⅰ	②	
				必修	理学療法技術実習Ⅱ	②	
				必修	理学療法技術実習Ⅲ	②	
				必修	日常生活活動学	②	
				必修	日常生活活動学実習	②	
				必修	臨床基礎実習Ⅰ	②	
				必修	臨床基礎実習Ⅱ	②	
				必修	理学療法臨床実習Ⅰ	②	
				必修	理学療法臨床実習Ⅱ	②	
				必修	理学療法臨床実習Ⅲ	②	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1 人	必修	19	科目	必修	0 科目	必修	19	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	19	科目	計	0 科目	計	19	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		変更なし					

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0 人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1 人	必修	19	科目	必修	0 科目	必修	19	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	19	科目	計	0 科目	計	19	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{\text{（3）－③合計（D）+（F）}}{\text{（2）－②設置時の計画（A）}} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1	人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		変更なし				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
○○　　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・永田裕恒講師については、発令上の問題のため旧学科の専任としている。本学科では兼担として本来専任として担当する予定の科目全てを担当しているため、実質の教育内容には変更はない。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜リハビリテーション学部　理学療法学科＞

（1） 設置計画変更事項等　※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）

（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。

（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。

（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する－系統的実習教育の実現に向けた取り組み－」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学Ⅰ・Ⅱ』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　－効果的なリメディアル教育を目指して－」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。
今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。
各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。
また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

リハビリテーション学部理学療法学科は、高齢者や障がい者の機能回復や生活の自立及び社会参加を支援するリハビリテーション医療の一端を担う専門職として、知識・技術と豊かな人間性の備わった理学療法士を養成することを目的に設置された。新型コロナウイルス感染症は収束していないが、徹底した予防対策を行い、対面での講義、実習を継続している。附属病院が隣接する環境を最大限活用し、1・2 年次の臨床見学で将来像をイメージさせ、3年次の臨床基礎実習では専門職としての意識付けを図っている。4年次の臨床実習では、現場での実習期間を最大限確保し、さらに学内での演習を加えて、臨床能力の向上を図っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ （公表後２～３ヶ月以内） ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 （ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F133310109607
注３

設置年度　　平成　　31年度

計画の区分：　学部の設置
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部

＜作業療法学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
学 部 長	（ タネムラ　ジュン ） 種村　純 （平成31年４月）	（クニヤス　カツシ ） 國安　勝司 （令和３年４月）	人事異動のため（３）
学科長等	（イノウエ　ケイコ ） 井上　桂子 （平成31年４月）	（セノオ　カツトシ ） 妹尾　勝利 （令和３年４月）	人事異動のため（３）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
リハビリテーション学部 作業療法学科 学士（作業療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	60人	年次 — 人	240人		医療技術学部リハビリテーション学科作業療法専攻

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	1.10倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	267 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	283 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	155 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	171 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	267 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	281 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	155 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	171 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	126 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	113 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	104 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	136 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	64 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	63 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	64 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	76 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A			1.06		1.05		1.06		1.26				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] ( )	[　] ( )	64 [－] (－)	－ [－] (－)	63 [－] (－)	－ [－] (－)	64 [－] (－)	－ [－] (－)	76 [－]	－ [－]	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	60 [－] (－)	－ [－] (－)	60 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	61 [－] (－)	－ [－] (－)	57 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	61 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] ( )		64 [－] (－)		125 [－] (－)		185 [－] (－)		254 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	64 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	進路変更(1人)、転学科(1人)を除く
令和2年度	125 人	3 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	転学科(1人)を除く
			令和2年度	3 人	0 人	進路変更(3人)
令和3年度	185 人	5 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	2 人	0 人	進路変更(2人)、転学科(1人)を除く
			令和3年度	3 人	0 人	進路変更(1人)、就学意欲の低下(1人)、他大学へ進学(1人)、転学科(1人)を除く
令和4年度	254 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		9 人		9 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 1 / 64 = 1.56 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 3 / 125 = 2.4 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 5 / 185 = 2.7 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 254 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜リハビリテーション学部　作業療法学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2			1				
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	―	16	67	0	0	1	0	0	0	34

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学**（未開講）**	1前後		2							
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								**1**
	基礎英語Ⅱ	1後	2								**1**
	英会話**（未開講）**	1前後		2							
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング**（未開講）**	1前後		2							
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								**2**
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論**（未開講）**	1前後		2							
	生活環境論**（未開講）**	1前		2							
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2		**1**					
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	―	16	67	0	1	0	0	0	0	**32**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2		1					1
	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1前	1								1
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1								1
	解剖学実習	2後	1			1		4	2		9
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1前	1								2
	生理学Ⅲ	1後	1								1
	生理学実習	1後	1				1		1		2
	運動学	2後	2					1			4
	運動学実習	3前	1					1	2		5
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							1
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2								1
	内科学	2後	2								1
	整形外科学Ⅰ	2前	2			1					
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								3
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							1
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1	2	3			2
	救命救急医学	3後		2							1
	作業療法学総論Ⅰ	1後	2			1	1				
	理学療法学総論	1前	2								1
	作業療法学総論Ⅱ	2前	1				1	1			
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							3
	基礎作業学	2前	1			1	2				
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1				1	4	1		
	基礎作業学実習Ⅱ	3前	1			1	2	5			
	作業療法評価学ＡⅠ	2前	1					1			
	作業療法評価学ＡⅡ	2前	1					4			
	作業療法評価学Ｂ	2前	1				2	1			
	作業療法評価学実習	2後	1			1		5	1		
	作業治療学総論	2後	1				3				
	身体障害作業治療学Ⅰ	3前	1				1				
	身体障害作業治療学Ⅱ	3前	1			1					
	運動治療学総論	2前		2							1
	精神障害作業治療学Ⅰ	3前	1				2				
	精神障害作業治療学Ⅱ	3後	1				1	1			
	発達障害作業治療学	3後	1			2	1	1			
	高齢期障害作業治療学	3後	1				1	1			
	小児発達論	3前		2							1
	臨床基礎実習ＡⅠ	3前	1			2	1	5	2		
	臨床基礎実習ＡⅡ	3後	1			2	1	5	2		
	臨床基礎実習Ｂ	3後	2				2	2			
	日常生活活動学	3前	1			2	1				1
	地域生活環境論	3後	1			1		1			
	地域作業療法学	2後	1			1	1	1			1
	補装具治療学	2後	1			1					1
	機能障害運動学	3前		2							1
	日常生活活動学実習	3後	1					2	1		
	補装具治療学実習	3前	1			1		2	1		
	作業療法臨床実習Ⅰ	4前	2			3	3	6	2		
	作業療法臨床実習Ⅱ	4前	8			3	3	6	2		
	作業療法臨床実習Ⅲ	4前	8			3	3	6	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2		1					1
	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1前	1								1
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1								1
	解剖学実習	2後	1				1	3			14
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1前	1								2
	生理学Ⅲ	1後	1								1
	生理学実習	1後	1					1	1		3
	運動学	2後	2								1
	運動学実習	3前	1				1	1			5
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							2
	障害者心理学	3前		2				1			
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2								1
	内科学	2後	2								1
	整形外科学Ⅰ	2前	2			1		1			2
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								2
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2		2		1			
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2								1
	救命救急医学	3後		2							1
	作業療法学総論Ⅰ	1後	2			2	1				
	理学療法学総論	1前	2								1
	作業療法学総論Ⅱ	2前	1			1	1	1			
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							2
	基礎作業学	2前	1			3					
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1			1		2	3		1
	基礎作業学実習Ⅱ	3前	1			3	1	3	1		1
	作業療法評価学ＡⅠ	2前	1				2	2			
	作業療法評価学ＡⅡ	2前	1					4			
	作業療法評価学Ｂ	2前	1			2		1			
	作業療法評価学実習	2後	1				2	2	2		1
	作業治療学総論	2後	1			3					
	身体障害作業治療学Ⅰ	3前	1			1					
	身体障害作業治療学Ⅱ	3前	1					2			
	運動治療学総論	2前		2							1
	精神障害作業治療学Ⅰ	3前	1			2					
	精神障害作業治療学Ⅱ	3後	1			1		1			
	発達障害作業治療学	3後	1			2		2	1		
	高齢期障害作業治療学	3後	1			1	1				
	小児発達論	3前		2							1
	臨床基礎実習ＡⅠ	3前	1			3	2	5	2		1
	臨床基礎実習ＡⅡ	3後	1			3	2	5	2		1
	臨床基礎実習Ｂ	3後	2			2		2	1		
	日常生活活動学	3前	1			4					2
	地域生活環境論	3後	1			1		1			
	地域作業療法学	2後	1			3		1			2
	補装具治療学	2後	1			1					1
	機能障害運動学	3前		2							1
	日常生活活動学実習	3後	1			1	1	3	1		
	補装具治療学実習	3前	1			1		1	1		1
	作業療法臨床実習Ⅰ	4前	2			6	2	6	3		1
	作業療法臨床実習Ⅱ	4前	8			6	2	6	3		1
	作業療法臨床実習Ⅲ	4前	8			6	2	6	3		1

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		2	2	1			2
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		2	2	3			5
	作業療法研究Ⅰ	1前	1			1					
	作業療法研究Ⅱ	2後	1			2	3	6	2		
	卒業研究Ⅰ	3前	1			3	3	6			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			3	3	6			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			3	3	6			
	小計（ 70 科目）	－	86	25	0	4	3	6	2	0	33
合計（114科目）		－	102	92	0	4	3	6	2	0	67

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択6単位以上、「作業療法分野」、「卒業研究科目」から必修53単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修86単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修102単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		5		1			2
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		4	2	1			5
	作業療法研究Ⅰ	1前	1				1				
	作業療法研究Ⅱ	2後	1			5	2	5			
	卒業研究Ⅰ	3前	1			5	2	5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			5	2	5			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			6	1	4			
	小計 70 科目）	－	86	25	0	7	2	6	3	0	38
合計（114科目）		－	102	92	0	7	2	6	3	0	70

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択6単位以上、「作業療法分野」、「卒業研究科目」から必修53単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修86単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修102単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2			1				
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	0	1	0	0	0	34

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2		1					
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	1	0	0	0	0	39

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2		1					1
	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1前	1								1
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1								1
	解剖学実習	2後	1			1	1	3	2		9
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1前	1								2
	生理学Ⅲ	1後	1								1
	生理学実習	1後	1				1		1		2
	運動学	2後	2					1			4
	運動学実習	3前	1					1	2		5
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							1
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2								1
	内科学	2後	2								1
	整形外科学Ⅰ	2前	2			1					
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								3
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							1
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			1	2	3			2
	救命救急医学	3後		2							1
	作業療法学総論Ⅰ	1後	2			1	2				
	理学療法学総論	1前	2								1
	作業療法学総論Ⅱ	2前	1				1	1			
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							3
	基礎作業学	2前	1			1	2				
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1				1	4	1		
	基礎作業学実習Ⅱ	3前	1			1	3	4			
	作業療法評価学ＡⅠ	2前	1				1				
	作業療法評価学ＡⅡ	2前	1					4			
	作業療法評価学Ｂ	2前	1				2	1			
	作業療法評価学実習	2後	1			1	1	4	1		
	作業治療学総論	2後	1				3				
	身体障害作業治療学Ⅰ	3前	1				1				
	身体障害作業治療学Ⅱ	3前	1			1					
	運動治療学総論	2前		2							1
	精神障害作業治療学Ⅰ	3前	1				2				
	精神障害作業治療学Ⅱ	3後	1				1	1			
	発達障害作業治療学	3後	1			2	1	1			
	高齢期障害作業治療学	3後	1				1	1			
	小児発達論	3前		2							1
	臨床基礎実習ＡⅠ	3前	1			2	2	4	2		
	臨床基礎実習ＡⅡ	3後	1			2	2	4	2		
	臨床基礎実習Ｂ	3後	2				2	2			
	日常生活活動学	3前	1			2	1				1
	地域生活環境論	3後	1			1		1			
	地域作業療法学	2後	1			1	1	1			1
	補装具治療学	2後	1			1					1
	機能障害運動学	3前		2							1
	日常生活活動学実習	3後	1					2	1		
	補装具治療学実習	3前	1			1	1	1	1		
	作業療法臨床実習Ⅰ	4前	2			3	4	5	2		
	作業療法臨床実習Ⅱ	4前	8			3	4	5	2		
	作業療法臨床実習Ⅲ	4前	8			3	4	5	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2		1					1
	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1前	1								1
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1								1
	解剖学実習	2後	1			1		4	2		11
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1前	1								2
	生理学Ⅲ	1後	1								1
	生理学実習	1後	1						2		2
	運動学	2後	2					1			3
	運動学実習	3前	1					1	2		5
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							2
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2								1
	内科学	2後	2								1
	整形外科学Ⅰ	2前	2			1					1
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								2
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2							1
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2			2	1	3			2
	救命救急医学	3後		2							1
	作業療法学総論Ⅰ	1後	2			1	2				
	理学療法学総論	1前	2								1
	作業療法学総論Ⅱ	2前	1				1	2			
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							2
	基礎作業学	2前	1			2	1				
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1			1		3	2		
	基礎作業学実習Ⅱ	3前	1			2	2	4			
	作業療法評価学ＡⅠ	2前	1				1	3	1		
	作業療法評価学ＡⅡ	2前	1					4			
	作業療法評価学Ｂ	2前	1			1	1	1			
	作業療法評価学実習	2後	1			1	1	4	2		
	作業治療学総論	2後	1			1	2				
	身体障害作業治療学Ⅰ	3前	1				1				
	身体障害作業治療学Ⅱ	3前	1			1					
	運動治療学総論	2前		2							1
	精神障害作業治療学Ⅰ	3前	1				1	1			
	精神障害作業治療学Ⅱ	3後	1				1	1			
	発達障害作業治療学	3後	1			2	1	1			
	高齢期障害作業治療学	3後	1				1	1			
	小児発達論	3前		2							1
	臨床基礎実習ＡⅠ	3前	1			2	2	4	2		
	臨床基礎実習ＡⅡ	3後	1			2	2	4	2		
	臨床基礎実習Ｂ	3後	2			1	1	2			
	日常生活活動学	3前	1			2	1				1
	地域生活環境論	3後	1			1		1			
	地域作業療法学	2後	1			1	3	1			2
	補装具治療学	2後	1			1					1
	機能障害運動学	3前		2							1
	日常生活活動学実習	3後	1					2	1		
	補装具治療学実習	3前	1			1	1	1	1		
	作業療法臨床実習Ⅰ	4前	2			4	3	5	2		
	作業療法臨床実習Ⅱ	4前	8			4	3	5	2		
	作業療法臨床実習Ⅲ	4前	8			4	3	5	2		

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		2	2	1			2
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		2	3	2			5
	作業療法研究Ⅰ	1前	1			2					
	作業療法研究Ⅱ	2後	1			2	4	5	2		
	卒業研究Ⅰ	3前	1			3	4	5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			3	4	5			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			3	4	5			
	小計　70　科目）	－	86	25	0	3	4	5	2	0	33
合計（114科目）		－	102	92	0	3	4	5	2	0	67

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択6単位以上、「作業療法分野」、「卒業研究科目」から必修53単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修86単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修102単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		3	1	1			2
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		3	2	2			5
	作業療法研究Ⅰ	1前	1			1					
	作業療法研究Ⅱ	2後	1			3	3	5			
	卒業研究Ⅰ	3前	1			4	3	5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	3	5			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			4	3	5			
	小計　70　科目）	－	86	25	0	4	3	5	3	0	34
合計（114科目）		－	102	92	0	4	3	5	3	0	72

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修33単位及び選択6単位以上、「作業療法分野」、「卒業研究科目」から必修53単位及び選択6単位以上（「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上）。専門科目の卒業要件は必修86単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修102単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2		1					
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	1	0	0	0	0	39

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2								1
	医学英語	2前		2		1					1
	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1前	1								1
	解剖学Ⅲ	1後	1								1
	解剖学Ⅳ	1後	1								1
	解剖学実習	2後	1			1		3	1		14
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1前	1								2
	生理学Ⅲ	1後	1								1
	生理学実習	1後	1						2		3
	運動学	2後	2								1
	運動学実習	3前	1					2			5
	病理学	2前	1								1
	臨床心理学	2後		2							2
	障害者心理学	3前		2							1
	老人心理学	2後		2							2
	リハビリテーション総論	1後	2								1
	内科学	2後	2								1
	整形外科学Ⅰ	2前	2			1		1			2
	整形外科学Ⅱ	2後	2			1					1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学Ⅰ	2前	2								2
	精神医学Ⅱ	2後	2								1
	心理療法	3前		2		2		1			
	小児科学	3後	2								1
	人間発達学	1後	2								1
	救命救急医学	3後		2							1
	作業療法学総論Ⅰ	1後	2			2					
	理学療法学総論	1前	2								1
	作業療法学総論Ⅱ	2前	1			1		2			
	老人福祉論	3前		2							2
	障害者福祉論	2前		2							2
	基礎作業学	2前	1			3					
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1			1		3	2		1
	基礎作業学実習Ⅱ	3前	1			3		4			1
	作業療法評価学ＡⅠ	2前	1					3			1
	作業療法評価学ＡⅡ	2前	1					3			1
	作業療法評価学Ｂ	2前	1			2		1			
	作業療法評価学実習	2後	1			1		3	2		2
	作業治療学総論	2後	1			3					
	身体障害作業治療学Ⅰ	3前	1			1					
	身体障害作業治療学Ⅱ	3前	1			1					
	運動治療学総論	2前		2							1
	精神障害作業治療学Ⅰ	3前	1			2					
	精神障害作業治療学Ⅱ	3後	1			1		1			
	発達障害作業治療学	3後	1			3		1			
	高齢期障害作業治療学	3後	1			1					1
	小児発達論	3前		2							1
	臨床基礎実習ＡⅠ	3前	1			3		3	3		2
	臨床基礎実習ＡⅡ	3後	1			3		3	3		2
	臨床基礎実習Ｂ	3後	2			2		2	1		
	日常生活活動学	3前	1			4					2
	地域生活環境論	3後	1			1					1
	地域作業療法学	2後	1			3					3
	補装具治療学	2後	1			1					1
	機能障害運動学	3前		2							1
	日常生活活動学実習	3後	1			1		3	3		1
	補装具治療学実習	3前	1			1		1	1		1
	作業療法臨床実習Ⅰ	4前	2			6	1	5	2		

	作業療法臨床実習Ⅱ	4前	8			6	1	5	2		
	作業療法臨床実習Ⅲ	4前	8			6	1	5	2		

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	老年医学とリハビリテーション医療	3後		1		5		1			2
	スポーツ医学とリハビリテーション医療	3前		1							1
	保健医学とリハビリテーション医療	3前		1		4		2			6
	作業療法研究Ⅰ	1前	1			1					
	作業療法研究Ⅱ	2後	1			5		4	1		1
	卒業研究Ⅰ	3前	1			6		5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			6		5			
	卒業研究Ⅲ	4後	2			6	1	5			
	小計　70　科目）	－	86	25	0	6	1	4	4	0	39
	合計(114科目)	－	102	92	0	6	1	4	4	0	77

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修33単位及び選択6単位以上、「作業療法分野」、「卒業研究科目」から必修53単位及び選択6単位以上(「老年医学とリハビリテーション医療」「スポーツ医学とリハビリテーション医療」「保健医学とリハビリテーション医療」から2単位以上)。専門科目の卒業要件は必修86単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修102単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

(注)
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・昇任のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師４・助教２・専9」から「教授１・准教授1・講師３・助教２・専９」に変更。
・昇任のため、「基礎作業学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師５」から「教授１・准教授３・講師４」に変更。
・昇任のため、「作業療法評価学AⅠ」の専任教員等の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・昇任のため、「作業療法評価学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師５・助教１」から「教授１・准教授１・講師４・助教１」に変更。
・昇任のため、「臨床基礎実習AⅡ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師５・助教２」から「教授２・准教授２・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「補装具治療学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１」から「教授１・准教授1・講師１・助教１」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師６・助教２」から「教授３・准教授４・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師６・助教２」から「教授３・准教授４・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師６・助教２」から「教授３・准教授４・講師５・助教２」に変更。

・昇任のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師３・兼５」から「教授２・准教授３・講師２・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「作業療法研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・昇任のため、「作業療法研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師６・助教２」から「教授２・准教授４・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・講師６」から「教授３・准教授４・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・講師６」から「教授３・准教授４・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・講師６」から「教授３・准教授４・講師５」に変更。
・教育内容充実のため、「作業療法学総論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「教授１・講師２」に変更。

【令和2年度】

・昇任のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教２・兼９」から「教授１・講師４・助教２・兼１１」に変更。
・配置変更のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「准教授１・助教１・兼２」から「助教２・兼２」に変更。
・配置変更のため、「運動学」の専任教員等の配置を「講師１・兼４」から「講師１・兼３」に変更。
・教育内容拡充のため、「臨床心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育内容拡充のため、「整形外科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１・兼１」に変更。
・教育内容拡充のため、「整形外科学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１・兼１」に変更。
・配置変更のため、、「精神医学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容拡充のため、「精神医学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼９」に変更。
・昇任のため、「人間発達学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・兼２」から「教授２・准教授１・兼２」に変更。
・教育内容拡充のため、「作業療法学総論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「准教授１・講師２」に変更。
・配置変更のため、、「障害者福祉論」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・昇任のため、「基礎作業学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・昇任のため、「基礎作業学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師４・助教１」から「教授１・講師３・助教２」に変更。
・昇任のため、「基礎作業学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・教育内容拡充のため、「作業療法評価学AⅠ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授１・講師３・助教１」に変更。
・昇任のため、「作業療法評価学B」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師４」から「教授２・准教授２・講師４」に変更。
・教育内容拡充のため、「作業療法評価学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師４・助教１」から「教授１・准教授１・講師４・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業治療学総論」の専任教員等の配置を「准教授３」から「教授１・准教授２」に変更。
・昇任のため「臨床基礎実習B」の専任教員等の配置を「准教授２・講師２」から「教授１・准教授１・講師２」に変更。
・教育内容拡充のため、「地域作業療法学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・兼１」から「教授１・准教授３・講師１・兼２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師５・助教２」から「教授４・准教授３・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師５・助教２」から「教授４・准教授３・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師５・助教２」から「教授４・准教授３・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「老年医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師１」から「教授３・准教授１・講師１」に変更。

・昇任のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師２」から「教授３・准教授２・講師１」に変更。
・配置変更のため、「作業療法研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」に変更。
・昇任のため、「作業療法研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師５・助教２」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師５」から「教授４・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師５」から「教授４・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師５」から「教授４・准教授３・講師５」に変更。

【令和３年度】

・教員変更のため、「健康体育基礎演習」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容拡充のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師４・助教２・兼１１」から「教授１・講師３・助教１・兼１４」に変更。
・教育内容拡充のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「助教２・兼２」から「助教２・兼３」に変更。
・教員変更のため、「運動学」の専任教員等の配置を「講師１・兼３」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「運動学実習」の専任教員等の配置を「講師１・助教２・兼５」から「講師２・兼５」に変更。
・教育内容拡充のため、「整形外科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「教授１・講師１・兼２」に変更。
・教育内容拡充のため、「心理療法」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授２・講師１」に変更。
・教員変更のため、「人間発達学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師３・兼２」から「兼１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「作業療法学総論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２」に変更。
・昇任のため、「作業療法学総論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２」から「教授１・講師２」に変更。
・昇任のため、「基礎作業学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１」から「教授３」に変更。
・教育内容拡充のため、「基礎作業学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・助教２」から「教授１・講師３・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「基礎作業学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師４」から「教授３・講師４・兼１」に変更。
・教員変更及び配置変更のため、「作業療法評価学AⅠ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１」から「講師３・兼１」に変更。
・配置変更のため、「作業療法評価学AⅡ」の専任教員等の配置を「講師４」から「講師３・兼１」に変更。
・昇任のため、「作業療法評価学B」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１」から「教授２・講師１」に変更。
・配置変更及び教員変更のため、「作業療法評価学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師４・助教２」から「教授１・講師３・助教２・兼２」に変更。
・昇任のため、「作業治療学総論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授３」に変更。
・昇任のため、「身体障害作業治療学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・昇任のため、「精神障害作業治療学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「教授２」に変更。
・昇任のため、「精神障害作業治療学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「発達障害作業治療学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１」から「教授３・講師１」に変更。
・昇任及び配置変更のため、「高齢期障害作業治療学」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「教授１・兼１」に変更。
・昇任、配置変更、及び教育内容拡充のため、「臨床基礎実習AⅠ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師４・助教２」から「教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。

・昇任、配置変更、及び教育内容拡充のため、「臨床基礎実習AⅡ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師４・助教２」から「教授３・講師３・助教３・兼２」に変更。
・昇任及び教育内容拡充のため、「臨床基礎実習B」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「教授２・講師２・助教１」に変更。
・昇任及び教育内容拡充のため、「日常生活活動学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・兼１」から「教授４・兼２」に変更。

・配置変更のため、「地域生活環境論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・兼１」に変更。
・昇任、配置変更及び教員変更のため、「地域作業療法学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師１・兼２」から「教授３・兼３」に変更。
・教育内容拡充のため、「日常生活活動学実習」の専任教員等の配置を「講師２・助教１」から「教授１・講師３・助教３・兼１」に変更。
・教員変更のため、「補装具治療学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・助教１」から「教授１・講師１・助教１・兼１」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５・助教２」から「教授６・准教授１・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５・助教２」から「教授６・准教授１・講師５・助教２」に変更。
・昇任のため、「作業療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５・助教２」から「教授６・准教授１・講師５・助教２」に変更。
・昇任及び教育内容拡充のため、「老年医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授３・准教授１・講師１・兼２」から「教授５・講師１・兼２」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・講師２・兼５」から「教授４・講師２・兼６」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「作業療法研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授５・講師４・助教１・兼１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５」から「教授６・講師５」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５」から「教授６・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５」から「教授６・准教授１・講師５」に変更。

【令和４年度】

・開講科目数削減のため、「基礎英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・開講科目数削減のため、「基礎英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・助教１・兼１４」から「准教授１・講師３・助教２・兼１２」に変更。
・昇任のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「助教２・兼３」から「講師１・助教１・兼３」に変更。
・昇任のため、「運動学実習」の専任教員等の配置を「講師２・兼５」から「准教授１・講師１・兼５」に変更。
・教員変更のため、「障害者心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「作業療法学総論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・昇任のため、「作業療法学総論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「基礎作業学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・助教２・兼１」から「教授１・講師２・助教１・兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「基礎作業学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・講師４・兼１」から「教授３・准教授１・講師３・助教１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「作業療法評価学AⅠ」の専任教員等の配置を「講師３・兼１」から「准教授２・講師２」に変更。
・教員発令変更のため、「作業療法評価学AⅡ」の専任教員等の配置を「講師３・兼１」から「講師４」に変更。
・昇任及び教員発令変更のため、「作業療法評価学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・助教２・兼２」から「准教授２・講師２・助教２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「身体障害作業治療学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「講師２」に変更。
・教育内容充実のため、「発達障害作業治療学」の専任教員等の配置を「教授３・講師１」から「教授２・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「高齢期障害作業治療学」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「教授１・准教授１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床基礎実習AⅠ」の専任教員等の配置を「教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授３・准教授２・講師５・助教２・兼１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床基礎実習AⅡ」の専任教員等の配置を「教授３・講師３・助教３・兼２」から「教授３・准教授２・講師５・助教２・兼１」に変更。
・教員発令変更のため、「地域生活環境論」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「教授１・講師１」に変更。
・教員発令変更のため、「地域作業療法学」の専任教員等の配置を「教授３・兼３」から「教授３・講師１・兼２」に変更。
・昇任、教員発令及び教員配置変更のため、「日常生活活動学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・助教３・兼１」から「教授１・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・昇任、教員発令変更及び教育内容充実のため、「作業療法臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授６・准教授１・講師５・助教２」から「教授６・准教授２・講師６・助教３・兼１」に変更。

・昇任、教員発令変更及び教育内容充実のため、「作業療法臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授６・准教授１・講師５・助教２」から「教授６・准教授２・講師６・助教３・兼１」に変更。
・昇任、教員発令変更及び教育内容充実のため、「作業療法臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授６・准教授１・講師５・助教２」から「教授６・准教授２・講師６・助教３・兼１」に変更。
・昇任、教員発令変更及び教育内容充実のため、「保健医学とリハビリテーション医療」の専任教員等の配置を「教授４・講師２・兼６」から「教授４・准教授２・講師１・兼５」に変更。
・教員変更のため、「作業療法研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
・教員発令変更及び教育内容充実のため「作業療法研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授５・講師４・助教１・兼１」から「教授５・准教授２・講師５」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授６・講師５」から「教授５・准教授２・講師５」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授６・講師５」から「教授５・准教授２・講師５」に変更。
・教員変更のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授６・准教授１・講師５」から「教授６・准教授１・講師４」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
65 科目	49 科目	0 科目	114 科目	65 科目 [0]	49 科目 [0]	0 科目 [0]	114 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	経済学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
2	英会話	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
3	英語リーディング	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
4	情報学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
5	生活環境論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年度より基礎教育科目のカリキュラム改正に伴う科目の未開講について、令和3年度履修登録時に学生には周知済み。また、既存の学生の単位修得状況を確認し、他開講科目で充足可能と判断した。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{114} = \boxed{4.38}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	
(2) 校　　舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
		79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	0㎡ (　　0㎡)	0㎡ (　　0　㎡)	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	50室 ~~48室~~	49室 ~~45室~~ ~~46室~~	130室 ~~132室~~ ~~135室~~	4室 ~~2室~~ (補助職員5人 ~~4人 1人~~)	2室 (補助職員3人 ~~2人 1人~~)	教室等の使用用途を一部変更したため (2) (3) 職員構成変更のため (4) 大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	備考
	リハビリテーション学部　作業療法学科	10.5 ~~9.5~~ ~~8.5~~ 室	1室を2名で使用する場合がある 教員構成変更のため (2) (4)

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	リハビリテーション学部 作業療法学科	5,167〔908〕 (5,801〔920〕) ~~(5,605〔910〕)~~ ~~(5,474〔909〕)~~ ~~(5,337〔904〕)~~ ~~(5,167〔908〕)~~	31〔7〕 (31〔7〕) ~~(27〔7〕)~~ ~~(29〔7〕)~~ ~~(30〔7〕)~~ ~~(31〔7〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	14 (14)	1,628 ~~1,693~~ (1,628) ~~(1,638)~~ ~~(1,612)~~ ~~(1,628)~~ ~~(1,693)~~	251 ~~198~~ (263) ~~(270)~~ ~~(260)~~ ~~(251)~~ ~~(198)~~	電子ジャーナルは大学全体 既存備品の整理と拡充を図ったため（元）(2)　(3)　(4)
	計	5,167〔908〕 (5,801〔920〕) ~~(5,605〔910〕)~~ ~~(5,474〔909〕)~~ ~~(5,337〔904〕)~~ ~~(5,167〔908〕)~~	31〔7〕 (31〔7〕) ~~(27〔7〕)~~ ~~(29〔7〕)~~ ~~(30〔7〕)~~ ~~(31〔7〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	14 (14)	1,628 ~~1,693~~ (1,628) ~~(1,638)~~ ~~(1,612)~~ ~~(1,628)~~ ~~(1,693)~~	251 ~~198~~ (263) ~~(270)~~ ~~(260)~~ ~~(251)~~ ~~(198)~~	

(6) 図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	2,482.94㎡	606	210,275	

(7) 体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡ 温水プール　25ｍ×7コース	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要		区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
	経費の見積り	教員１人当り研究費等	528千円	605千円 ~~501千円~~ ~~485千円~~	図書購入費	― 千円	3,198千円	3,198千円	共同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費(運用ｺｽﾄ含む)を含む 教員構成変更のため (2) (4)
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	10,000千円	5,000千円	5,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,700 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士（医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士（臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士（子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士（保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士（保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士（理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士（作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士（言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士（視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士（臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士（診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士（臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士（臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士（健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士（医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士（医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士（臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士（保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士（医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士（臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士（臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士（医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士（医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士（医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学部	6	126	－	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	－	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	－	752	学士 （医学）	1.00	1.00	－	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	
医学研究科	4	25	－	100	博士	0.63	0.88	－	昭和51		
医科学専攻	4	25	－	100	（医学）	0.63	0.88	－	昭和51		
大学院全体	－	25	－	100	－	0.63	0.88	－	－		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	—	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	—	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	—	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜リハビリテーション学部　作業療法学科＞

（1）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	井上　桂子 （66） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学英語 作業療法学総論Ⅰ 発達障害作業治療学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	妹尾　勝利 （50） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 作業療法評価学実習 身体障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 補装具治療学 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	長谷川　徹 （65） 〈令和2年4月〉 医学博士	整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
専任	教授	福意　武史 （57） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 地域生活環境論 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	井上　桂子 （66） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学英語 作業療法学総論Ⅰ 発達障害作業治療学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	妹尾　勝利 （49） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 作業療法評価学実習 身体障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 補装具治療学 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法研究Ⅰ**
専任	教授	長谷川　徹 （64） 〈令和2年4月〉 医学博士	整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
専任	教授	福意　武史 （57） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 地域生活環境論 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	井上　桂子 （67） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学英語 作業療法学総論Ⅰ 発達障害作業治療学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	教授	妹尾　勝利 （50） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 作業療法評価学実習 身体障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 補装具治療学 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ ~~作業療法研究Ⅰ~~ ~~整形外科学Ⅰ~~ ~~整形外科学Ⅱ~~
専任	教授	福意　武史 （58） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 地域生活環境論 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	井上　桂子 （68） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学英語 作業療法学総論Ⅰ 発達障害作業治療学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **日常生活活動学**
専任	教授	妹尾　勝利 （51） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 作業療法評価学実習 身体障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 補装具治療学 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ ~~作業療法研究Ⅰ~~ **整形外科学Ⅰ** ~~整形外科学Ⅱ~~
専任	教授	福意　武史 （59） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 地域生活環境論 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **日常生活活動学実習**
専任	**教授**	**長谷川　徹二郎 （62） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）**	**整形外科学Ⅱ**

【令和4年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	井上　桂子 （69） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学英語 作業療法学総論Ⅰ 発達障害作業治療学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 ~~作業療法研究Ⅰ~~ **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** 卒業研究Ⅲ **日常生活活動学**
専任	教授	妹尾　勝利 （52） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	~~解剖学実習~~ ~~作業療法評価学実習~~ ~~身体障害作業治療学Ⅱ~~ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 補装具治療学 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ ~~作業療法研究Ⅰ~~ **整形外科学Ⅰ** ~~整形外科学Ⅱ~~
専任	教授	福意　武史 （60） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	~~人間発達学~~ 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学 地域生活環境論 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **日常生活活動学実習**
専任	**教授**	**長谷川　徹二郎 （63） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）**	**整形外科学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	大野　宏明 （46） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	作業療法学総論Ⅰ 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	黒住　千春 （42） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	生理学実習 人間発達学 作業治療学総論 身体障害作業治療学Ⅰ 発達障害作業治療学 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習Ａⅰ 臨床基礎実習Ａⅱ 日常生活活動学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	田中　順子 （60） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	岡本　幸 （44） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	大野　宏明 （46） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	作業療法学総論Ⅰ 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	黒住　千春 （42） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	生理学実習 人間発達学 作業治療学総論 身体障害作業治療学Ⅰ 発達障害作業治療学 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習Ａⅰ 臨床基礎実習Ａⅱ 日常生活活動学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	田中　順子 （60） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	岡本　幸 （44） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	大野　宏明 （47） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	作業療法学総論Ⅰ 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	黒住　千春 （43） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**生理学実習** 人間発達学 作業治療学総論 身体障害作業治療学Ⅰ 発達障害作業治療学 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習Ａⅰ 臨床基礎実習Ａⅱ 日常生活活動学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **地域作業療法学**
専任	**教授**	田中　順子 （61） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 人間発達学 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	岡本　幸 （45） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法学総論Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**教授**	大野　宏明 （48） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	作業療法学総論Ⅰ 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **心理療法**
専任	**教授**	黒住　千春 （44） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**生理学実習** **人間発達学** 作業治療学総論 身体障害作業治療学Ⅰ 発達障害作業治療学 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習Ａⅰ 臨床基礎実習Ａⅱ 日常生活活動学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **地域作業療法学** **老年医学とリハビリテーション医療**
専任	**教授**	田中　順子 （62） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 **人間発達学** 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **心理療法**
専任	講師	岡本　幸 （46） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**人間発達学** 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法学総論Ⅱ** **日常生活活動学実習** **心理療法**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**教授**	大野　宏明 （49） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	作業療法学総論Ⅰ 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 地域作業療法学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **心理療法**
専任	**教授**	黒住　千春 （45） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**生理学実習** **人間発達学** 作業治療学総論 身体障害作業治療学Ⅰ **発達障害作業治療学** 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習Ａⅰ 臨床基礎実習Ａⅱ 日常生活活動学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **地域作業療法学** **老年医学とリハビリテーション医療**
専任	**教授**	田中　順子 （63） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽 **人間発達学** 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 作業治療学総論 精神障害作業治療学Ⅰ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **心理療法**
専任	講師	岡本　幸 （47） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**人間発達学** 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学Ｂ 精神障害作業治療学Ⅱ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法学総論Ⅱ** **日常生活活動学実習** **心理療法** **障害者心理学**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	小野　健一 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	金山（小野）　祐里 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅠ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	講師	平田　淳也 （35） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	小野　健一 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専任	准教授	金山（小野）　祐里 （38） **＜平成31年4月＞** 博士（保健学）	解剖学実習 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅠ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法学総論Ⅰ**
専任	講師	平田　淳也 （35） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	小野　健一 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ**
専任	准教授	金山（小野）　祐里 （39） **＜平成31年4月＞** 博士（保健学）	**解剖学実習** 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅠ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法学総論Ⅰ**
専任	講師	平田　淳也 （36） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ** **運動学**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	小野　健一 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ**
専任	准教授	金山（小野）　祐里 （40） **＜平成31年4月＞** 博士（保健学）	**解剖学実習** ~~基礎作業学実習Ⅱ~~ ~~作業療法評価学ＡⅠ~~ ~~作業療法評価学実習~~ ~~臨床基礎実習ＡⅠ~~ ~~臨床基礎実習ＡⅡ~~ **補装具治療学実習** 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ **保健医学とリハビリテーション医療** **作業療法研究Ⅱ** ~~卒業研究Ⅰ~~ ~~卒業研究Ⅱ~~ 卒業研究Ⅲ **作業療法学総論Ⅰ**
専任	講師	平田　淳也 （37） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 **人間発達学** 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ** **運動学** **運動学実習** **整形外科学Ⅰ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	小野　健一 （41） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 作業療法学総論Ⅱ 基礎作業学実習Ⅱ ~~作業療法評価学ＡⅡ~~ 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ** **作業療法研究Ⅰ**
専任	准教授	金山（小野）　祐里 （41） **＜平成31年4月＞** 博士（保健学）	**解剖学実習** ~~基礎作業学実習Ⅱ~~ **作業療法評価学ＡⅠ** **作業療法評価学実習** **臨床基礎実習ＡⅠ** **臨床基礎実習ＡⅡ** **補装具治療学実習** 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ **保健医学とリハビリテーション医療** **作業療法研究Ⅱ** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **卒業研究Ⅲ** **作業療法学総論Ⅰ** **高齢期障害作業治療学**
専任	講師	平田　淳也 （38） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 **人間発達学** ~~基礎作業学実習Ⅰ~~ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ **作業療法評価学実習** 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ** **運動学** **運動学実習** **整形外科学Ⅰ** **身体障害作業治療学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	講師	山形　隆造 （36） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ	山形　隆造 （36） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ	山形　隆造 （37） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 人間発達学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ**	山形　隆造 （38） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学） 解剖学実習 **人間発達学** 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ** **日常生活活動学実習**	山形　隆造 （39） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学） **解剖学実習** **人間発達学** ~~**基礎作業学実習Ⅰ**~~ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 発達障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 臨床基礎実習Ｂ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **作業療法評価学ＡⅠ** **日常生活活動学実習**
専任	講師	用稲　丈人 （42） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学） 基礎作業学実習Ⅰ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 地域生活環境論 地域作業療法学 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ	用稲　丈人 （41） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学） 基礎作業学実習Ⅰ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 地域生活環境論 地域作業療法学 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ	用稲　丈人 （42） **〈令和4年4月〉** 博士（リハビリテーション学） ~~**基礎作業学実習Ⅰ**~~ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 地域生活環境論 地域作業療法学 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **解剖学実習**	用稲　丈人 （43） **〈令和4年4月〉** 博士（リハビリテーション学） ~~**基礎作業学実習Ⅰ**~~ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 高齢期障害作業治療学 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 地域生活環境論 地域作業療法学 **日常生活活動学実習** 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **解剖学実習**	用稲　丈人 （44） **〈令和4年4月〉** 博士（リハビリテーション学） ~~**基礎作業学実習Ⅰ**~~ 作業療法評価学ＡⅡ 作業療法評価学実習 **高齢期障害作業治療学** 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 地域生活環境論 地域作業療法学 **日常生活活動学実習** 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **解剖学実習** **運動学実習** **身体障害作業治療学Ⅱ**
				用稲　丈人 （42） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**用稲　丈人 （43） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）**	
				兼担　講師 **作業療法評価学ＡⅡ** **作業療法評価学実習** **高齢期障害作業治療学** **臨床基礎実習ＡⅠ** **臨床基礎実習ＡⅡ** **地域生活環境論** **地域作業療法学** **日常生活活動学実習** **作業療法研究Ⅱ** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **解剖学実習**	**兼担　講師** **作業療法評価学ＡⅡ** **作業療法評価学実習** **高齢期障害作業治療学** **臨床基礎実習ＡⅠ** **臨床基礎実習ＡⅡ** **地域生活環境論** **地域作業療法学** **日常生活活動学実習** **作業療法研究Ⅱ** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **解剖学実習**	
						谷口　嘉美 （45） 〈令和4年4月〉 専門士
						専任　講師 **発達障害作業治療学** **臨床基礎実習ＡⅠ** **臨床基礎実習ＡⅡ** **作業療法臨床実習Ⅰ** **作業療法臨床実習Ⅱ** **作業療法臨床実習Ⅲ**
専任	助教	大岸　太一 （38） 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学） 解剖学実習 生理学実習 運動学実習 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ	大岸　太一 （38） 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学） 解剖学実習 生理学実習 運動学実習 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ	大岸　太一 （39） 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学） 解剖学実習 生理学実習 運動学実習 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ ~~**作業療法研究Ⅱ**~~	大岸　太一 （40） 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学） 解剖学実習 生理学実習 **運動学実習** 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ **補装具治療学実習** 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ **作業療法研究Ⅱ** **日常生活活動学実習**	大岸　太一 （41） 〈平成31年4月〉 修士（作業療法学） 解剖学実習 生理学実習 **運動学実習** 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ **補装具治療学実習** 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ **作業療法研究Ⅱ** **日常生活活動学実習** **作業療法評価学ＡⅡ** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	小池　康弘 （31） 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ
兼担	教授	飯田　淳子 （47） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	伊禮　功 （54） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病理学
兼担	教授	梅田　勝 （63） 〈平成31年4月〉 医学博士	医学概論
兼担	教授	柏原　洋子 （61） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	小池　康弘 （30） 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法研究Ⅱ
兼担	教授	飯田　淳子 （47） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	伊禮　功 （53） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病理学
兼担	教授	梅田　勝 （63） 〈平成31年4月〉 医学博士	医学概論
兼担	教授	柏原　洋子 （61） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	小池　康弘 （31） **〈令和4年4月〉** 修士（作業療法学）	解剖学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ ~~作業療法研究Ⅱ~~ **基礎作業学実習Ⅰ** **作業療法評価学ＡⅠ**
兼担	**助教**	**小池　康弘 （31） 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）**	**解剖学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 基礎作業学実習Ⅰ 作業療法評価学ＡⅠ**
専任	**助教**	**吉村　学 （33） 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）**	**生理学実習 作業療法評価学実習**
兼担	教授	飯田　淳子 （48） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	伊禮　功 （54） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病理学
兼担	教授	柏原　洋子 （62） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ **実践英会話** **英語リーディング** 英語インテンシブリーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	小池　康弘 （32） **〈令和4年4月〉** 修士（作業療法学）	解剖学実習 **運動学実習** 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ ~~作業療法研究Ⅱ~~ **基礎作業学実習Ⅰ** **作業療法評価学ＡⅠ** **補装具治療学実習** **基礎作業学実習Ⅱ**
兼担	**助教**	**小池　康弘 （32） 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）**	**解剖学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 基礎作業学実習Ⅰ 作業療法評価学ＡⅠ 補装具治療学実習 基礎作業学実習Ⅱ**
専任	**助教**	**吉村　学 （34） 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）**	**生理学実習 作業療法評価学実習 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 日常生活活動学実習**
専任	**助教**	**笹地　亮 （43） 〈令和3年4月〉 博士（医学）**	**作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 基礎作業学実習Ⅰ 日常生活活動学実習**
専任	**助教**	**真鍋　圭 （21） 〈令和3年4月〉 学士（リハビリテーション学）**	**臨床基礎実習Ｂ**
兼担	教授	飯田　淳子 （49） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	伊禮　功 （55） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病理学
兼担	教授	柏原　洋子 （63） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ **実践英会話** **英語リーディング** 英語インテンシブリーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**助教**	**小池　康弘 （33） 〈令和2年4月〉 修士（作業療法学）**	**解剖学実習 運動学実習 作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 日常生活活動学実習 基礎作業学実習Ⅰ ~~作業療法評価学ＡⅠ~~ 補装具治療学実習 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ**
専任	**助教**	**吉村　学 （35） 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）**	**生理学実習 作業療法評価学実習 基礎作業学実習Ⅰ 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 補装具治療学実習 日常生活活動学実習 発達障害作業治療学 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ**
専任	**助教**	**笹地　亮 （44） 〈令和3年4月〉 博士（医学）**	**作業療法評価学実習 臨床基礎実習ＡⅠ 臨床基礎実習ＡⅡ 基礎作業学実習Ⅰ 日常生活活動学実習 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ**
専任	**助教**	**真鍋　圭 （22） 〈令和3年4月〉 学士（リハビリテーション学）**	**臨床基礎実習Ｂ 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ**
兼担	教授	飯田　淳子 （50） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	伊禮　功 （56） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	病理学
兼担	教授	柏原　洋子 （64） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ **実践英会話** **英語リーディング** 英語インテンシブリーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	姜　波 （60） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	國安　勝司 （56） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 日常生活活動学 老年医学とリハビリテーション医療
兼担	教授	古我　知成 （59） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習
兼担	教授	進藤　貴子 （55） 〈令和2年4月〉 教育学修士	老人心理学
兼担	教授	鈴木　幸一郎 （72） 〈令和3年4月〉 医学博士	救命救急医学
兼担	教授	田口　豊郁 （65） 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （51） 〈令和3年4月〉 博士（臨床心理学）	心理療法
兼担	教授	種村　純 （66） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	椿原　彰夫 （65） 〈平成31年4月〉 医学博士	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
兼担	教授	野澤　亮平 （64） 〈平成31年4月〉 理学博士	統計学
兼担	教授	橋本　勇人 （59） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 （60） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼担	教授	平井　敏弘 （68） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （47） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	リハビリテーション総論 内科学
兼担	教授	福岡　欣治 （50） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （58） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （69） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	虫明　基 （69） 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数学 物理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	姜　波 （60） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	國安　勝司 （56） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 日常生活活動学 老年医学とリハビリテーション医療
兼担	教授	古我　知成 （59） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習
兼担	教授	進藤　貴子 （54） 〈令和2年4月〉 教育学修士	老人心理学
兼任	**講師**	鈴木　幸一郎 （70） 〈令和3年4月〉 医学博士	救命救急医学
兼担	教授	田口　豊郁 （65） 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （49） 〈令和3年4月〉 博士（臨床心理学）	心理療法
兼担	教授	種村　純 （66） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	椿原　彰夫 （65） 〈平成31年4月〉 医学博士	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
兼担	教授	野澤　亮平 （64） 〈平成31年4月〉 理学博士	統計学
兼担	教授	橋本　勇人 （59） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 （60） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼任	**講師**	平井　敏弘 （68） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （47） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	リハビリテーション総論 内科学
兼担	教授	福岡　欣治 （50） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （58） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （69） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	虫明　基 （69） 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数学 物理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	姜　波 （61） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	國安　勝司 （57） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 日常生活活動学 老年医学とリハビリテーション医療 **整形外科学Ⅰ** **整形外科学Ⅱ**
兼担	教授	古我　知成 （60） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習
兼担	教授	進藤　貴子 （55） 〈令和2年4月〉 教育学修士	老人心理学
兼任	**講師**	鈴木　幸一郎 （71） 〈令和3年4月〉 医学博士	救命救急医学
兼担	教授	田口　豊郁 （66） 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （50） 〈令和3年4月〉 博士（臨床心理学）	心理療法
兼担	教授	椿原　彰夫 （66） 〈平成31年4月〉 医学博士	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
兼担	教授	橋本　勇人 （60） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 （61） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼担	教授	平岡　崇 （48） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	リハビリテーション総論 内科学
兼担	教授	福岡　欣治 （51） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （59） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （70） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	姜　波 （62） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	國安　勝司 （58） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 日常生活活動学 **老年医学とリハビリテーション医療** **整形外科学Ⅰ** **整形外科学Ⅱ**
兼担	教授	古我　知成 （61） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習
兼担	教授	進藤　貴子 （56） 〈令和2年4月〉 教育学修士	老人心理学
兼任	**講師**	鈴木　幸一郎 （72） 〈令和3年4月〉 医学博士	救命救急医学
兼任	**講師**	田口　豊郁 （67） 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	椿原　彰夫 （67） 〈平成31年4月〉 医学博士	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
兼担	教授	橋本　勇人 （61） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 （62） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼担	教授	平岡　崇 （49） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	リハビリテーション総論 内科学
兼担	教授	福岡　欣治 （52） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （60） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （71） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	姜　波 （63） 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	國安　勝司 （59） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	人間発達学 日常生活活動学 **老年医学とリハビリテーション医療** **整形外科学Ⅰ** **整形外科学Ⅱ**
兼担	教授	古我　知成 （62） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学実習
兼担	教授	進藤　貴子 （57） 〈令和2年4月〉 教育学修士	老人心理学
兼任	**講師**	鈴木　幸一郎 （73） 〈令和3年4月〉 医学博士	救命救急医学
兼担	教授	椿原　彰夫 （68） 〈平成31年4月〉 医学博士	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅳ
兼担	教授	橋本　勇人 （62） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 （63） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼担	教授	平岡　崇 （50） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	リハビリテーション総論 **内科学**
兼担	教授	福岡　欣治 （53） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （61） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	矢野　博己 （53） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） 〈平成31年4月〉 修士（比較文化）	英会話 英語リーディング
兼担	准教授	石田　弘 （43） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 運動治療学総論 地域作業療法学 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） 〈平成31年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	岡本　宣雄 （54） 〈令和3年4月〉 修士（社会福祉学）	老人福祉論
兼担	准教授	小原　謙一 （42） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	佐々木　新 （46） 〈令和3年4月〉 修士（臨床心理学）	障害者心理学
兼担	准教授	澤原　光彦 （61） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼担	准教授	園田　祐治 （50） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	解剖学Ⅲ
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 （52） 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	福島　康弘 （46） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	藤田　大介 （47） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	矢吹　眞弓 （63） 〈令和3年4月〉 教育学士	小児発達論
兼担	准教授	山内　泰子 （58） 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	吉村　洋輔 （39） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	矢野　博己 （53） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） 〈平成31年4月〉 修士（比較文化）	英会話 英語リーディング
兼担	准教授	石田　弘 （42） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 運動治療学総論 地域作業療法学 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） 〈平成31年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	岡本　宣雄 （52） 〈令和3年4月〉 **博士（医療福祉学）**	老人福祉論
兼担	准教授	小原　謙一 （41） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	**教授**	澤原　光彦 （60） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼担	**教授**	園田　祐治 （50） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	解剖学Ⅲ
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 （50） 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	福島　康弘 （46） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	**教授**	藤田　大介 （46） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	矢吹　眞弓 （61） 〈令和3年4月〉 教育学士	小児発達論
兼担	**教授**	山内　泰子 （58） 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	吉村　洋輔 （39） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	矢野　博己 （54） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	**教授**	石田　弘 （43） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 運動治療学総論 **地域作業療法学** 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	岡本　宣雄 （53） 〈令和3年4月〉 **博士（医療福祉学）**	老人福祉論
兼担	准教授	小原　謙一 （42） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	准教授	佐々木　新 （45） 〈令和3年4月〉 修士（臨床心理学）	障害者心理学
兼担	**教授**	澤原　光彦 （61） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼担	**教授**	園田　祐治 （51） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	解剖学Ⅲ
兼担	准教授	田並　尚恵 （53） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 （51） 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	福島　康弘 （47） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	**ボランティア入門** **生命倫理学**
兼担	**教授**	藤田　大介 （47） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	准教授	矢吹　眞弓 （62） 〈令和3年4月〉 教育学士	小児発達論
兼担	**教授**	山内　泰子 （59） 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	**生命倫理学** 生命科学
兼担	准教授	吉村　洋輔 （40） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	矢野　博己 （55） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	**教授**	石田　弘 （44） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 運動治療学総論 **地域作業療法学** 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	准教授	岡本　宣雄 （54） 〈令和3年4月〉 **博士（医療福祉学）**	老人福祉論
兼担	**教授**	小原　謙一 （43） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	准教授	佐々木　新 （45） 〈令和3年4月〉 修士（臨床心理学）	障害者心理学
兼担	**教授**	澤原　光彦 （62） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼担	**教授**	園田　祐治 （52） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	解剖学Ⅲ
兼担	准教授	田並　尚恵 （54） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 （52） 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	**教授**	福島　康弘 （48） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	**ボランティア入門** **生命倫理学**
兼担	**教授**	藤田　大介 （48） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**解剖学実習** 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	准教授	矢吹　眞弓 （63） 〈令和3年4月〉 教育学士	小児発達論
兼担	**教授**	山内　泰子 （60） 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	**生命倫理学** 生命科学
兼担	准教授	吉村　洋輔 （41） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	矢野　博己 （56） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	**教授**	石田　弘 （45） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 運動治療学総論 **地域作業療法学** **保健医学とリハビリテーション医療**
兼担	**教授**	岡本　宣雄 （55） 〈令和3年4月〉 **博士（医療福祉学）**	老人福祉論
兼担	**教授**	小原　謙一 （44） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	**教授**	澤原　光彦 （63） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ
兼担	**教授**	園田　祐治 （53） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	解剖学Ⅲ
兼担	准教授	田並　尚恵 （55） 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	西本　哲也 （53） 〈令和3年4月〉 修士（学術）	スポーツ医学とリハビリテーション医療
兼担	**教授**	福島　康弘 （49） 〈平成31年4月〉 博士（理学）	**ボランティア入門** **生命倫理学**
兼担	**教授**	藤田　大介 （49） 〈令和2年4月〉 博士（リハビリテーション学）	**解剖学実習** 老年医学とリハビリテーション医療 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	准教授	矢吹　眞弓 （64） 〈令和3年4月〉 教育学士	小児発達論
兼担	**教授**	山内　泰子 （61） 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	**生命倫理学** 生命科学
兼担	准教授	吉村　洋輔 （42） 〈平成31年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 理学療法学総論 補装具治療学 保健医学とリハビリテーション医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	荒井　佐和子 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	講師	伊藤　智崇 （44） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 運動学実習
兼担	講師	植田　嘉好子 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	大坂　裕 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	岡崎　利治 （43） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小田桐　早苗 （37） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	北澤　正志 （58） ＜平成31年4月＞ 文学士	文章表現
兼担	講師	木村　大輔 （37） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 人間発達学
兼担	講師	國弘　保明 （43） ＜平成31年4月＞ 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 （51） ＜平成31年4月＞ 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　薗 （39） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	末廣　忠延 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学
兼担	講師	高橋　尚 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習
兼担	講師	谷川　智宏 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	桃原　司 （43） ＜平成31年4月＞ 修士（体育学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	荒井　佐和子 （37） ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	講師	伊藤　智崇 （43） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 運動学実習
兼担	准教授	植田　嘉好子 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	講師	大坂　裕 （37） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療
兼担	講師	岡崎　利治 （42） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	小田桐　早苗 （36） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	准教授	北澤　正志 （58） ＜平成31年4月＞ 文学士	文章表現
兼担	講師	木村　大輔 （37） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 人間発達学
兼担	講師	國弘　保明 （43） ＜平成31年4月＞ 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 （51） ＜平成31年4月＞ 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　薗 （38） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	末廣　忠延 （37） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学
兼担	講師	高橋　尚 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習
兼担	講師	谷川　智宏 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	**桃原（羽原）　司** （43） ＜平成31年4月＞ 修士（体育学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	荒井　佐和子 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	講師	伊藤　智崇 （44） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 運動学実習
兼担	准教授	植田　嘉好子 （43） ＜令和3年4月＞ 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	准教授	大坂　裕 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 運動学 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	講師	岡崎　利治 （43） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	**障害者福祉論** **ボランティア入門**
兼担	講師	小田桐　早苗 （37） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	准教授	北澤　正志 （59） ＜平成31年4月＞ 文学士	文章表現
兼担	講師	木村　大輔 （38） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 人間発達学
兼担	講師	國弘　保明 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 （52） ＜平成31年4月＞ 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　薗 （39） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（健康科学）	**健康体育基礎理論** ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ **健康体育実技（スポーツ系）**
兼担	講師	末廣　忠延 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学
兼担	講師	高橋　尚 （40） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習
兼担	講師	谷川　智宏 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	荒井　佐和子 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	**准教授**	伊藤　智崇 （45） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 運動学実習
兼担	**准教授**	植田　嘉好子 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	**准教授**	大坂　裕 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	講師	岡崎　利治 （44） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	**障害者福祉論** **ボランティア入門**
兼担	講師	小田桐　早苗 （38） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	**准教授**	北澤　正志 （60） ＜平成31年4月＞ 文学士	文章表現
兼担	講師	木村　大輔 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** **人間発達学**
兼担	講師	國弘　保明 （45） ＜平成31年4月＞ 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	**准教授**	小池　大介 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	**准教授**	小崎　順子 （53） ＜平成31年4月＞ 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	下田（山本）　薗 （40） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（健康科学）	**健康体育基礎理論** ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ **健康体育実技（スポーツ系）**
兼担	講師	末廣　忠延 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 **保健医学とリハビリテーション医療**
兼担	講師	高橋　尚 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習
兼担	講師	谷川　智宏 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**准教授**	荒井　佐和子 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）	臨床心理学 老人心理学
兼担	**准教授**	伊藤　智崇 （46） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	医学英語 解剖学実習 **運動学実習**
兼担	**准教授**	植田　嘉好子 （45） ＜令和3年4月＞ 博士（医療福祉学）	老人福祉論
兼担	**准教授**	大坂　裕 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 **運動学** 運動学実習 保健医学とリハビリテーション医療 **地域作業療法学**
兼担	講師	岡崎　利治 （45） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	**障害者福祉論** **ボランティア入門**
兼担	講師	小田桐　早苗 （39） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	**准教授**	北澤　正志 （61） ＜平成31年4月＞ 文学士	文章表現
兼担	講師	木村　大輔 （40） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	解剖学実習 **運動学** **運動学実習** **人間発達学**
兼担	講師	國弘　保明 （46） ＜平成31年4月＞ 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	**准教授**	小池　大介 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	下田（山本）　薗 （41） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論
兼担	講師	朱　容仁 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（健康科学）	**健康体育基礎理論** ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ **健康体育実技（スポーツ系）**
兼担	講師	末廣　忠延 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	解剖学実習 機能障害運動学 **保健医学とリハビリテーション医療**
兼担	講師	高橋　尚 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学Ⅱ 生理学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	根来　麻子 (38) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	講師	秦　久美子 (59) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	藤原　有子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	中尾　有子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	准教授	谷野　宏美 (44) 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	橋本　美香 (51) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (43) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田（森）　智子 (38) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山根　真由美 (53) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	助教	後藤　大輔 (33) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	文谷　知明 (61) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習
兼担	教授	宮川　健 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	竹内　仁司 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士	入門医学概論 医学概論
兼担	准教授	谷野　宏美 (45) 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	橋本　美香 (52) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	~~文章表現~~ 日本語リテラシー
兼担	准教授	クレメニック，M．J (53) 〈令和2年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (44) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田（森）　智子 (39) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山根　真由美 (54) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	助教	後藤　大輔 (34) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	文谷　知明 (62) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習
兼担	教授	宮川　健 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	中西　一夫 (48) 〈令和2年10月〉 医学博士	整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
兼担	教授	米谷　正造 (60) 〈令和3年4月〉 教育学修士	健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	教授	宮本　修 (65) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	入門医学概論 医学概論
兼担	教授	橋本　美香 (53) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	~~文章表現~~ 日本語リテラシー
兼担	准教授	クレメニック，M．J (54) 〈令和2年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (45) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	中尾　有子 (43) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育実技（フィットネス系）
兼担	准教授	山根　真由美 (55) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ 英会話（海外研修）
兼担	助教	後藤　大輔 (35) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	文谷　知明 (63) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習
兼担	教授	宮川　健 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	中西　一夫 (49) 〈令和2年10月〉 医学博士	整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ
兼担	教授	米谷　正造 (61) 〈令和3年4月〉 教育学修士	健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	教授	宮本　修 (66) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	~~入門医学概論~~ 医学概論
兼担	教授	石原　克彦 (65) 〈令和4年4月〉 医学博士	内科学
兼担	教授	塩田　充 (64) 〈令和4年4月〉 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	泰山　浩司 (65) 〈令和4年4月〉 博士（理学）	生物学
兼担	教授	橋本　美香 (54) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	准教授	クレメニック，M．J (55) 〈令和2年4月〉 文学修士	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ 実践英会話

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (50) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼任	講師	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (48) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	土家　槙夫 (61) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	准教授	矢納　陽 (47) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	物理学
兼担	講師	クレミンソン,T.J (45) 〈令和2年4月〉 修士（MASTER　OF RESEARCH)	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	藤本　誠 (50) 〈令和2年4月〉 修士（体育学）	健康体育基礎演習
兼担	講師	プレパッテ，J (55) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design)	英会話 実践英会話
兼担	講師	松本　浩実 (45) 〈令和2年4月〉 博士(保健学)	解剖学実習
兼担	助教	池内　由子 (42) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	臨床心理学
兼担	助教	永田　裕恒 (39) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習
兼担	助教	兵藤　史武 (35) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼担	助教	福井　夕希子 (34) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	文章表現
兼担	助教	山形　高司 (38) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（フィットネス系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼任	講師	大石　智洋 (49) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (67) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	土家　槙夫 (62) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 (48) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	赤松　恵美 (48) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	クレミンソン,T.J (46) 〈令和2年4月〉 修士（MASTER　OF RESEARCH)	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	プレパッテ，J (56) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design)	英会話 実践英会話
兼担	講師	松本　浩実 (46) 〈令和2年4月〉 博士(保健学)	解剖学実習 老年医学とリハビリテーション医療
兼担	助教	池内　由子 (43) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	臨床心理学
兼担	助教	永田　裕恒 (40) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習 日常生活活動学
兼担	助教	兵藤　史武 (36) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼担	助教	福井　夕希子 (35) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	文章表現
兼担	助教	山形　高司 (39) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（フィットネス系） ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~
兼担	助教	岸本　智也 (29) 〈令和3年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習
兼担	助教	氏川　拓也 (33) 〈令和3年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	澳　昴佑 (34) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	運動学実習
兼任	講師	大石　智洋 (50) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	土家　槙夫 (63) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 (49) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	赤松　恵美 (49) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	石本　恭子 (42) 〈令和4年4月〉 博士（社会健康医学）	健康体育基礎理論
兼担	講師	プレパッテ，J (57) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design)	英会話 実践英会話 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	松本　浩実 (47) 〈令和2年4月〉 博士(保健学)	解剖学実習 老年医学とリハビリテーション医療
兼担	助教	池内　由子 (44) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	臨床心理学
兼担	講師	永田　裕恒 (41) 〈令和2年4月〉 修士（リハビリテーション学）	解剖学実習 日常生活活動学
兼担	助教	兵藤　史武 (37) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼担	助教	岸本　智也 (30) 〈令和3年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 運動学実習
兼担	講師	氏川　拓也 (34) 〈令和3年4月〉 博士（リハビリテーション学）	解剖学実習 生理学実習 運動学実習
兼担	助教	澳　昴佑 (35) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	運動学実習 解剖学実習
兼任	講師	大石　智洋 (51) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児科学
兼担	准教授	谷本　泰正 (69) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	村上　伸治 （56） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼任	講師	村上　龍文 （62） 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学
兼任	講師	和迩　大樹 （43） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	村上　伸治 （55） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼任	講師	村上　龍文 （61） 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学
兼任	講師	和迩　大樹 （42） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	村上　伸治 （56） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼担	**教授**	村上　龍文 （62） 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	村上　伸治 （57） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼担	**教授**	村上　龍文 （63） 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	村上　伸治 （58） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学Ⅰ
兼担	**教授**	村上　龍文 （64） 〈令和2年4月〉 医学博士	神経内科学

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・令和2年4月就任予定だった金山（小野）祐里講師が、科目分担の変更に伴い、准教授に昇任し平成31年4月に専任教員として就任。
・兼担教員の根来麻子、秦久美子が辞任。後任として兼担教員の橋本美香、谷野宏美が就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の園田祐治、澤原光彦、藤田大介、山内泰子が准教授から教授に、植田嘉好子、北澤正志が講師から准教授に昇任。また、兼担教員の平井敏弘が兼任教員に、兼任教員の谷本泰正が兼担教員に変更。

【令和２年度】

・他施設への就任のため、専任教員の長谷川徹教授が就任辞退。後任として、専任教員に吉村学助教が採用。また、田中順子准教授が教授に昇任。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の梅田勝、種村純、野澤亮平、虫明基、吉岡リサ、桃原（羽原）司、中尾有子、兼任教員の和迩健太が辞任。後任として、兼担教員に文谷知明、宮川健、竹内仁司、谷野宏美、橋本美香、クレメニック,M.J、土家槙夫、矢納陽、クレミンソン, T.J、藤本誠、プレバッテ,J、松本浩実、池内由子、永田裕恒、兵藤史武、福井夕希子、山形高司が就任した。
・旧学科及び新学科との教員調整のため、用稲丈人講師、小池康弘助教の専任発令を２年延期。

【令和３年度】

・教育内容充実のため長谷川健二郎教授、徳地亮助教、真鍋圭助教が専任教員に採用。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の武井祐子、竹内仁司、谷野宏美、藤本誠が辞任。後任として、兼担教員に中西一夫、米谷正造、宮本修、赤松恵美、岸本智也、氏川拓也、澳昴佑が就任した。
・旧学科及び新学科との教員調整のため、用稲丈人講師、小池康弘助教の専任発令を１年延期。

【令和４年度】

・教育内容充実のため谷口恵美講師が就任。
・小野健一講師が准教授、大岸太一助教が講師に昇任。学科内の教育体制充実のため担当科目を再配置した。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の益田芳樹、佐々木新、小﨑順子、谷川智宏、平田智子、クレミンソン,T.J、福井夕希子、山形高司、兼任講師の田口豊郁が辞任。後任として、兼担教員の中尾有子、石原克彦、塩田充、泰山浩司、石本恭子が就任。
・旧学科及び新学科との教員調整のため、用稲丈人講師が就任。小池康弘助教の専任教員就任辞退。

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
4	3	6	2	15	0	7	2	6	3	18	0
(2)	(4)	(3)	(1)	(10)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
7	2	6	3	18	0	7	2	6	3	18	0
[3]	[△1]	[0]	[1]	[3]	[0]	[3]	[△1]	[0]	[1]	[3]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 （平成27年4月採用より） 歳	1 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{15} = 120\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{18} = 5.55\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）			

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●●	●●	●●			

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]			

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	長谷川徹	R2.3	必修	整形外科学Ⅰ	①	R2.3他大学就任のため就任辞退。（２）
				必修	整形外科学Ⅱ	①	
2	助教	小池　康弘	R3.4	必修	解剖学実習	②	R4.3旧学科に専任として発令されているため就任辞退（４）
				必修	作業療法評価学実習	②	
				必修	臨床基礎実習ＡⅠ	②	
				必修	臨床基礎実習ＡⅡ	②	
				必修	日常生活活動学実習	②	
				必修	作業療法臨床実習Ⅰ	②	
				必修	作業療法臨床実習Ⅱ	②	
				必修	作業療法臨床実習Ⅲ	②	
				必修	基礎作業学実習Ⅰ	②	
				必修	作業療法評価学Ａⅰ	②	
				必修	補装具治療学実習	②	
				必修	基礎作業学実習Ⅱ	②	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2 人	必修	14	科目	必修	2 科目	必修	12 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	14	科目	計	2 科目	計	12 科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		変更なし					

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2 人	必修	14	科目	必修	2 科目	必修	12 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	14	科目	計	2 科目	計	12 科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{15} = \boxed{13.33}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

$\boxed{1}$ 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		変更なし				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・教育内容充実のため、長谷川健二郎教授、徳地亮助教、真鍋圭助教を専任教員として採用し、学科内教員を昇任させ教員充足率を落とすことなく進行している。この採用に伴い、実習や演習科目において学生に対する、教育の質の向上が期待できると考える。なお、これらの担当教員の変更にかかる情報については、年度初めのガイダンス等で学生への周知を図っている。
・小池康弘助教については、発令上の問題のため旧学科の専任としている。本学科では兼担として本来専任として担当する予定の科目全てを担当しているため、実質の教育内容には変更はない。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜リハビリテーション学部　作業療法学科＞

（1） 設置計画変更事項等　※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）

（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。
（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。
（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。
（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する一系統的実習教育の実現に向けた取り組み一」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学I・II』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　－効果的なリメディアル教育を目指して－」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。
今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。
各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。
また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【2022年度記載内容】
作業療法学科は、高齢者や障がい者の機能回復や、生活の自立及び社会参加を支援できる専門的知識・技術と豊かな人間性の備わった、チーム医療を担うことのできる作業療法士を養成する目的で設置された。
4年度目の現段階では、すべての学年で新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、対面にて講義・演習・実習を行っている。新入生には効果的に初年次教育を行うため、本学の教育目標と教育目標に基づく教育課程の編成・実施方針を理解させることに努めた。5月現在は、基礎教育科目と学科専門科目における基礎分野の科目が中心に展開されている。2年次以降の専門分野の履修に繋ぐことができるよう段階的な教育を行っている。2年次生においては、隣接している川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンターでの見学実習や学科専門科目における基礎分野と作業療法分野の科目が中心に展開されている。今後は学内での実習科目の履修も予定されている。3年次生においては、隣接している川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンターでの臨床基礎実習やその他の学科専門科目における作業療法分野の科目が中心に展開されている。4年次の臨床実習の履修に繋ぐことができるよう段階的な教育を行っている。4年次生においては、学科専門科目の臨床実習を川崎学園関連施設及び学外臨床実習施設で行っている。臨床実習後には卒業研究の仕上げや国家試験対策を行っていく予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画
・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 〔 (有) ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ (公表後２～３ヶ月以内) ・ 公表後３ヶ月以降 〕
c 公表方法 〔 (ウェブサイトへの掲載) ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F133310109607
注３

設置年度　　平成　　31年度

計画の区分：　学部の設置
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部　　言語聴覚療法学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部

＜言語聴覚療法学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）	（ フ リ ガ ナ ） 氏　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
学 部 長	（ タネムラ　ジュン ） 種村　純 （平成31年４月）	（クニヤス　カツシ ） 國安　勝司 （令和３年４月）	人事異動のため（３）
学科長等	（ シオミ　マサシ ） 塩見　将志 （平成31年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科 学士（言語聴覚療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	60人	年次 —人	240人		医療技術学部 感覚矯正学科 言語聴覚専攻

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	0.95倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	209 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	145 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	79 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	89 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	208 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	144 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	76 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	85 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	97 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	96 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	72 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	73 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	58 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	64 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	53 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	55 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A			0.96		1.06		0.88		0.91				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] (　)	[　] (　)	58 [－] (－)	－ [－] (－)	64 [－] (－)	－ [－] (－)	53 [－] (－)	－ [－] (－)	55 [－]	－ [－]	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	57 [－] (－)	－ [－] (－)	64 [－] (－)	－ [－] (－)	53 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	55 [－] (－)	－ [－] (－)	63 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	55 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] (　)		58 [－] (－)		121 [－] (－)		172 [－] (－)		226 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	58 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	精神的問題(1人)
令和2年度	121 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	転学科(2人)を除く
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	172 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	226 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		2 人		2 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 1 / 58 = 1.72 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 121 = 0 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 1 / 172 = 0.58 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 226 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜リハビリテーション学部　言語聴覚療法学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1			1					
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2			1					
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	ー	16	67	0	1	0	0	0	0	34

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学(未開講)	1前後		2							
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								1
	基礎英語Ⅱ	1後	2								1
	英会話(未開講)	1前後		2							
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング(未開講)	1前後		2							
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論(未開講)	1前後		2							
	生活環境論(未開講)	1前		2							
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（ 44 科目）	ー	16	67	0	0	0	0	0	0	36

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2			2					13
	生物学実習	1前	1								2
	教育心理学	1前		2							2
	感覚矯正学概論(関係法規を含む)	1前	1			3	1				7
	解剖学	1前	1								2
	解剖学実習	1後	1								2
	脳と発声発語器官の解剖学	2前	1								2
	生理学	1前	1								2
	生理学実習	1後	1								2
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	脳機能学	2前		2							2
	画像診断学	2前		2							4
	内科学	2後	2								1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前	2								3
	小児病学	2前	1								5
	音声言語医学	2後	2			1					
	リハビリテーション医学・総論	2後	2								1
	保育	1後		2							2
	精神保健学	1後		2							1
	発達心理学	2後	2								1
	言語発達心理学	2前	1			2					
	心理測定法	1後	1			1					
	学習・認知心理学	2前	2								1
	臨床心理学	2後	2								1
	言語心理学	2後		2							1
	聴覚心理学	2前	1				1				
	音響心理学	1後	1				1				
	社会福祉(含実習)	1前	2					1			3
	耳鼻咽喉科学	2前	1			2					
	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	2前	2			1					5
	言語学Ⅰ	1後	1								1
	言語学Ⅱ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅰ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅱ	2後	1								1
	言語聴覚障害概論	1前	2			3	3	4			
	言語聴覚診断学	1後	2			3	3	4			
	言語聴覚診断学演習	2前	2			3	3	4			
	失語症Ⅰ	2後	1			1	2				
	失語症Ⅱ	3前	1			1	2				
	高次脳機能障害学	3前	2			1	2				
	言語発達障害Ⅰ	2後	2			2					
	言語発達障害Ⅱ	3前	2			1		1			
	吃音	2前	1			2					
	音声障害	3後	2			1		1	1		
	嚥下障害Ⅰ	2後	1			1		1			
	嚥下障害Ⅱ	3前	1					2	1		
	構音障害Ⅰ	2後	1					1			
	構音障害Ⅱ	3前	1					1			
	聴覚障害Ⅰ	2後	2				1	1			
	聴覚障害Ⅱ	3前	1				1	1			
	聴覚障害Ⅲ	3後	1				1	1			
	聴覚障害Ⅳ	3後	1			2					
	言語聴覚臨床実習Ⅰ	3前	3			4	3	4	1		
	言語聴覚臨床実習Ⅱ	3後	3			4	3	4	1		
	言語聴覚臨床実習Ⅲ	4前	6			4	3	4	1		
	地域言語聴覚学	2後		2		4	2	2			1
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1			1	2				
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1			1	2				
	言語発達障害学演習Ⅰ	3前	1			2		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2			2	1				11
	生物学実習	1前	1						1		3
	教育心理学	1前		2							1
	感覚矯正学概論(関係法規を含む)	1前	1			1	4				6
	解剖学	1前	1								1
	解剖学実習	1後	1						1		5
	脳と発声発語器官の解剖学	2前	1								2
	生理学	1前	1								2
	生理学実習	1後	1						1		3
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1						1		3
	脳機能学	2前		2							2
	画像診断学	2前		2			1		1		7
	内科学	2後	2								1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前	2								2
	小児病学	2前	1								4
	音声言語医学	2後	2			1					
	リハビリテーション医学・総論	2後	2								1
	保育	1後		2							2
	精神保健学	1後		2							1
	発達心理学	2後	2								1
	言語発達心理学	2前	1			1			1		1
	心理測定法	1後	1			1		1	1		
	学習・認知心理学	2前	2								1
	臨床心理学	2後	2								2
	言語心理学	2後		2		1	1		2		1
	聴覚心理学	2前	1				1				
	音響心理学	1後	1				1				
	社会福祉(含実習)	1前	2				3		1		5
	耳鼻咽喉科学	2前	1			2			1		
	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	2前	2			1			1		4
	言語学Ⅰ	1後	1						1		2
	言語学Ⅱ	2前	1						1		2
	音声学・音響学Ⅰ	2前	1						1		2
	音声学・音響学Ⅱ	2後	1						1		2
	言語聴覚障害概論	1前	2			3	5	3	5		1
	言語聴覚診断学	1後	2			3	6	3	5		1
	言語聴覚診断学演習	2前	2			3	5	3	5		1
	失語症Ⅰ	2後	1			1	1				
	失語症Ⅱ	3前	1			1	2		1		
	高次脳機能障害学	3前	2			1	2		1		1
	言語発達障害Ⅰ	2後	2			1		2	2		
	言語発達障害Ⅱ	3前	2					1	1		
	吃音	2前	1			2			1		
	音声障害	3後	2			1	1				1
	嚥下障害Ⅰ	2後	1				1	1			
	嚥下障害Ⅱ	3前	1				2				
	構音障害Ⅰ	2後	1					2			
	構音障害Ⅱ	3前	1				1	1			
	聴覚障害Ⅰ	2後	2					1			
	聴覚障害Ⅱ	3前	1					1			
	聴覚障害Ⅲ	3後	1				1		1		
	聴覚障害Ⅳ	3後	1			2			1		
	言語聴覚臨床実習Ⅰ	3前	3			3	6	3	5		1
	言語聴覚臨床実習Ⅱ	3後	3			3	6	3	5		1
	言語聴覚臨床実習Ⅲ	4前	6			3	5	3	5		1
	地域言語聴覚学	2後		2		1	3	2	2		
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1			1	2		3		1
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1			1	2				1
	言語発達障害学演習Ⅰ	3前	1			1		1	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語発達障害学演習Ⅱ	3後	1			2		1			
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ	3前	1			1		2	1		
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ	3後	1			1		2	1		
	聴覚障害学演習Ⅰ	3前	1				1	1			
	聴覚障害学演習Ⅱ	3後	1				1	1			
	言語聴覚障害学演習	4後	2			4	3	4	1		6
	保育実習	3前		1							1
	卒業研究Ⅰ	3前	1			3	3	4	1		
	卒業研究Ⅱ	3後	1			3	3	4	1		
	卒業研究Ⅲ	4前	2			3	3	4	1		
	卒業研究Ⅳ	4後	2			3	3	4	1		
	小計（ 72 科目）	－	95	15	0	6	3	4	1	0	50
合計（116科目）		－	111	82	0	6	3	4	1	0	83

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。ただし、系統A人文科学から2科目以上、B社会科学から2科目以上、C自然科学から「統計学」及び「生物学」を含む2科目以上を必修とする。

専門科目：「専門基礎分野」「専門分野」「卒業研究科目」から必修科目を含む98単位以上。専門科目の卒業要件は必修95単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修111単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語発達障害学演習Ⅱ	3後	1			1		1	2		
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ	3前	1			1	2	1	1		
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ	3後	1			1	2	1	1		
	聴覚障害学演習Ⅰ	3前	1					1	1		
	聴覚障害学演習Ⅱ	3後	1					1	1		
	言語聴覚障害学演習	4後	2			5	5	3	5		5
	保育実習	3前		1							8
	卒業研究Ⅰ	3前	1			2	5	3	5		1
	卒業研究Ⅱ	3後	1			2	5	3	5		1
	卒業研究Ⅲ	4前	2			2	5	3	5		1
	卒業研究Ⅳ	4後	2			2	5	3	5		1
	小計（ 72 科目）	－	95	15	0	5	6	3	5	0	57
合計（116科目）		－	111	82	0	5	6	3	5	0	92

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。ただし、系統A人文科学から2科目以上、B社会科学から2科目以上、C自然科学から「統計学」及び「生物学」を含む2科目以上を必修とする。

専門科目：「専門基礎分野」「専門分野」「卒業研究科目」から必修科目を含む98単位以上。専門科目の卒業要件は必修95単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修111単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1			1					
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2			1					
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	1	0	0	0	0	34

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	0	0	0	0	0	41

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2			2			1		13
	生物学実習	1前	1								2
	教育心理学	1前		2							1
	感覚矯正学概論(関係法規を含む)	1前	1			3	1		1		7
	解剖学	1前	1								2
	解剖学実習	1後	1								4
	脳と発声発語器官の解剖学	2前	1								2
	生理学	1前	1								2
	生理学実習	1後	1								2
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	脳機能学	2前		2							2
	画像診断学	2前		2							4
	内科学	2後	2								1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前	2								3
	小児病学	2前	1								5
	音声言語医学	2後	2			1					
	リハビリテーション医学・総論	2後	2								1
	保育	1後		2							2
	精神保健学	1後		2							1
	発達心理学	2後	2								1
	言語発達心理学	2前	1			2					
	心理測定法	1後	1			1					
	学習・認知心理学	2前	2								1
	臨床心理学	2後	2								1
	言語心理学	2後		2							1
	聴覚心理学	2前	1				1				
	音響心理学	1後	1				1				
	社会福祉(含実習)	1前	2				1	2			6
	耳鼻咽喉科学	2前	1			2					
	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	2前	2			1					5
	言語学Ⅰ	1後	1								1
	言語学Ⅱ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅰ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅱ	2後	1								1
	言語聴覚障害概論	1前	2			3	2	4			
	言語聴覚診断学	1後	2			3	3	5			
	言語聴覚診断学演習	2前	2			3	3	4			
	失語症Ⅰ	2後	1			1	2				
	失語症Ⅱ	3前	1			1	2				
	高次脳機能障害学	3前	2			1	2				
	言語発達障害Ⅰ	2後	2			2					
	言語発達障害Ⅱ	3前	2			1		1			
	吃音	2前	1			2					
	音声障害	3後	2			1		1	1		
	嚥下障害Ⅰ	2後	1			1		1			
	嚥下障害Ⅱ	3前	1					2	1		
	構音障害Ⅰ	2後	1					1			
	構音障害Ⅱ	3前	1					1			
	聴覚障害Ⅰ	2後	2				1	1			
	聴覚障害Ⅱ	3前	1				1	1			
	聴覚障害Ⅲ	3後	1				1	1			
	聴覚障害Ⅳ	3後	1			2					
	言語聴覚臨床実習Ⅰ	3前	3			4	3	4	1		
	言語聴覚臨床実習Ⅱ	3後	3			4	3	4	1		
	言語聴覚臨床実習Ⅲ	4前	6			4	3	4	1		
	地域言語聴覚学	2後		2		4	2	2			1
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1			1	2				
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1			1	2				
	言語発達障害学演習Ⅰ	3前	1			2		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2			2					13
	生物学実習	1前	1								2
	教育心理学	1前		2							1
	感覚矯正学概論(関係法規を含む)	1前	1			1	3				7
	解剖学	1前	1								1
	解剖学実習	1後	1								6
	脳と発声発語器官の解剖学	2前	1								2
	生理学	1前	1								2
	生理学実習	1後	1						1		3
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	脳機能学	2前		2							2
	画像診断学	2前		2			1				8
	内科学	2後	2								1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前	2								2
	小児病学	2前	1								5
	音声言語医学	2後	2			1					
	リハビリテーション医学・総論	2後	2								1
	保育	1後		2							2
	精神保健学	1後		2							2
	発達心理学	2後	2								1
	言語発達心理学	2前	1			1					1
	心理測定法	1後	1			1					
	学習・認知心理学	2前	2								1
	臨床心理学	2後	2								2
	言語心理学	2後		2							1
	聴覚心理学	2前	1				1				
	音響心理学	1後	1				1				
	社会福祉(含実習)	1前	2			1	1	1	2		5
	耳鼻咽喉科学	2前	1			2					
	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	2前	2			1					5
	言語学Ⅰ	1後	1								1
	言語学Ⅱ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅰ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅱ	2後	1								1
	言語聴覚障害概論	1前	2			2	2	5			
	言語聴覚診断学	1後	2			2	3	6	1		
	言語聴覚診断学演習	2前	2			2	3	5	2		
	失語症Ⅰ	2後	1			1	2				
	失語症Ⅱ	3前	1			1	2				
	高次脳機能障害学	3前	2			1	2				
	言語発達障害Ⅰ	2後	2			1		2	2		
	言語発達障害Ⅱ	3前	2			1		1			
	吃音	2前	1			2			1		
	音声障害	3後	2			1		2			
	嚥下障害Ⅰ	2後	1					2			
	嚥下障害Ⅱ	3前	1					3			
	構音障害Ⅰ	2後	1					2			
	構音障害Ⅱ	3前	1					1			
	聴覚障害Ⅰ	2後	2					1			
	聴覚障害Ⅱ	3前	1				1	1			
	聴覚障害Ⅲ	3後	1				1	1			
	聴覚障害Ⅳ	3後	1			2					
	言語聴覚臨床実習Ⅰ	3前	3			3	3	5			
	言語聴覚臨床実習Ⅱ	3後	3			3	3	5			
	言語聴覚臨床実習Ⅲ	4前	6			3	3	5			
	地域言語聴覚学	2後		2		2	2	3	1		
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1			1	2				
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1			1	2				
	言語発達障害学演習Ⅰ	3前	1			1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語発達障害学演習Ⅱ	3後	1			2		1			
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ	3前	1			1		2	1		
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ	3後	1			1		2	1		
	聴覚障害学演習Ⅰ	3前	1				1	1			
	聴覚障害学演習Ⅱ	3後	1				1	1			
	言語聴覚障害学演習	4後	2			4	3	4	1		6
	保育実習	3前		1							1
	卒業研究Ⅰ	3前	1			3	3	4	1		
	卒業研究Ⅱ	3後	1			3	3	4	1		
	卒業研究Ⅲ	4前	2			3	3	4	1		
	卒業研究Ⅳ	4後	2			3	3	4	1		
	小計（ 72 科目）	－	95	15	0	6	3	5	3	0	53
合計（116科目）		－	111	82	0	6	3	5	3	0	102

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。ただし、系統A人文科学から2科目以上、B社会科学から2科目以上、C自然科学から「統計学」及び「生物学」を含む2科目以上を必修とする。

専門科目：「専門基礎分野」「専門分野」「卒業研究科目」から必修科目を含む98単位以上。専門科目の卒業要件は必修95単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修111単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語発達障害学演習Ⅱ	3後	1			1		1			
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ	3前	1			1		3			
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ	3後	1			1		3			
	聴覚障害学演習Ⅰ	3前	1				1	1			
	聴覚障害学演習Ⅱ	3後	1				1	1			
	言語聴覚障害学演習	4後	2			4	3	5			6
	保育実習	3前		1							1
	卒業研究Ⅰ	3前	1			3	3	5			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			3	3	5			
	卒業研究Ⅲ	4前	2			3	3	5			
	卒業研究Ⅳ	4後	2			3	3	5			
	小計（ 72 科目）	－	95	15	0	5	3	6	5	0	59
合計（116科目）		－	111	82	0	5	3	6	5	0	118

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。ただし、系統A人文科学から2科目以上、B社会科学から2科目以上、C自然科学から「統計学」及び「生物学」を含む2科目以上を必修とする。

専門科目：「専門基礎分野」「専門分野」「卒業研究科目」から必修科目を含む98単位以上。専門科目の卒業要件は必修95単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修111単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44 科目)	―	16	67	0	0	0	0	0	0	40

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1後	2			2					12
	生物学実習	1前	1						1		2
	教育心理学	1前		2							1
	感覚矯正学概論(関係法規を含む)	1前	1			1	4				6
	解剖学	1前	1								1
	解剖学実習	1後	1						2		4
	脳と発声発語器官の解剖学	2前	1								2
	生理学	1前	1								2
	生理学実習	1後	1						1		3
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	脳機能学	2前		2							2
	画像診断学	2前		2			1		1		7
	内科学	2後	2								1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前	2								2
	小児病学	2前	1								4
	音声言語医学	2後	2			1					
	リハビリテーション医学・総論	2後	2								1
	保育	1後		2							2
	精神保健学	1後		2							1
	発達心理学	2後	2								1
	言語発達心理学	2前	1			1					1
	心理測定法	1後	1			1					
	学習・認知心理学	2前	2								1
	臨床心理学	2後	2								2
	言語心理学	2後		2		1	1		3		
	聴覚心理学	2前	1				1				
	音響心理学	1後	1				1				
	社会福祉(含実習)	1前	2			1	2		2		5
	耳鼻咽喉科学	2前	1			2					
	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	2前	2			1					5
	言語学Ⅰ	1後	1								1
	言語学Ⅱ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅰ	2前	1								1
	音声学・音響学Ⅱ	2後	1								1
	言語聴覚障害概論	1前	2			2	3	4			
	言語聴覚診断学	1後	2			2	5	4	2		
	言語聴覚診断学演習	2前	2			2	4	3	2		
	失語症Ⅰ	2後	1			1	1				
	失語症Ⅱ	3前	1			1	2		1		
	高次脳機能障害学	3前	2			1	2		2		
	言語発達障害Ⅰ	2後	2			1		2	2		
	言語発達障害Ⅱ	3前	2					1	1		
	吃音	2前	1			2			1		
	音声障害	3後	2			1		1			1
	嚥下障害Ⅰ	2後	1				1	1			
	嚥下障害Ⅱ	3前	1				1	1			
	構音障害Ⅰ	2後	1					2			
	構音障害Ⅱ	3前	1					2			
	聴覚障害Ⅰ	2後	2					1			
	聴覚障害Ⅱ	3前	1					1			
	聴覚障害Ⅲ	3後	1				1		1		
	聴覚障害Ⅳ	3後	1			2					
	言語聴覚臨床実習Ⅰ	3前	3			3	5	4	6		
	言語聴覚臨床実習Ⅱ	3後	3			3	5	4	6		
	言語聴覚臨床実習Ⅲ	4前	6			3	4	4			
	地域言語聴覚学	2後		2		2	3	2	1		
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	3前	1			1	2		1		1
	失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3後	1			1	2				1
	言語発達障害学演習Ⅰ	3前	1			1		1	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語発達障害学演習Ⅱ	3後	1			1		1	2		
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ	3前	1			1	1	2	1		
	発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ	3後	1			1	1	2	1		
	聴覚障害学演習Ⅰ	3前	1					1	1		
	聴覚障害学演習Ⅱ	3後	1					1	1		
	言語聴覚障害学演習	4後	2			4	4	3			5
	保育実習	3前		1							7
	卒業研究Ⅰ	3前	1			2	4	4	5		1
	卒業研究Ⅱ	3後	1			2	4	4	5		1
	卒業研究Ⅲ	4前	2			3	4	4			
	卒業研究Ⅳ	4後	2			3	4	4			
	小計（ 72 科目）	－	95	15	0	5	5	4	5	0	58
合計(116科目)		－	111	82	0	5	5	5	5	0	118

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。ただし、系統A人文科学から2科目以上、B社会科学から2科目以上、C自然科学から「統計学」及び「生物学」を含む2科目以上を必修とする。

専門科目:「専門基礎分野」「専門分野」「卒業研究科目」から必修科目を含む98単位以上。専門科目の卒業要件は必修95単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修111単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

（注）・ 報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・退職のため、「教育心理学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼４」に変更。
・教育内容充実のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「講師１・兼３」から「准教授１・講師２・兼６」に変更。
・配置変更のため、「言語聴覚障害概論」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４」から「教授３・准教授２・講師４」に変更。
・教育内容充実のため、「言語聴覚診断学」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・教育内容充実のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「感覚矯正概論（関係法規を含む）」の専任教員等の配置を「教授３・准教授１」から「教授３・准教授１・助教１」に変更。

【令和２年度】

・教員変更のため、「医療と福祉」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「医療福祉学概論」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
・退職のため、「感覚矯正学概論（関係法規を含む）」の専任教員等の配置を「教授３・准教授１・助教１」から「教授１・准教授３」に変更。
・教員変更のため、「解剖学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼６」に変更。
・教育内容充実のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「兼２」から「助教１・兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「画像診断学」の専任教員等の配置を「兼４」から「准教授１・兼８」に変更。
・教員変更のため、「精神医学」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・退職のため、「言語発達心理学」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２・兼６」から「教授１・准教授１・講師１・助教２・兼５」に変更。
・退職のため、「言語聴覚障害概論」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・講師４」から「教授２・准教授２・講師５」に変更。
・退職のため、「言語聴覚診断学演習」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４」から「教授２・准教授３・講師５・助教２」に変更。
・退職のため、「言語発達障害Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１・講師２・助教２」に変更。
・教育内容充実のため、「吃音」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・助教１」に変更。
・昇任のため、「音声障害」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・助教１」から「教授１・講師２」に変更。
・退職のため、「嚥下障害Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「講師２」に変更。
・昇任のため、「嚥下障害Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師２・助教１」から「講師３」に変更。
・教育内容充実のため、「構音障害Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。
・退職・昇任のため、「言語聴覚臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・退職・昇任のため、「言語聴覚臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・退職・昇任のため、「言語聴覚臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・退職のため、「地域言語聴覚学」の専任教員等の配置を「教授４・准教授２・講師２・兼１」から「教授２・准教授２・講師３・助教１」に変更。
・退職のため、「言語発達障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・講師１」から「教授１・講師１」に変更。

・退職のため、「言語発達障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・講師１」から「教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１」から「教授１・講師３」に変更。
・昇任のため、「発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１」から「教授１・講師３」に変更。
・昇任のため、「言語聴覚障害学演習」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師４・助教１・兼６」から「教授４・准教授３・講師５・兼６」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師４・助教１」から「教授３・准教授３・講師５」に変更。

【令和３年度】

・教員変更のため、「健康体育基礎演習」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教員変更のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授２・兼１３」から「教授２・兼１２」に変更。
・教育内容充実のため「生物学実習」の専任教員等の配置を「兼２」から「助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため「感覚矯正学概論（関係法規を含む）」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・兼７」から「教授１・准教授４・兼６」に変更。
・教員変更のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「兼６」から「助教２・兼４」に変更。
・教員変更のため、「画像診断学」の専任教員等の配置を「准教授１・兼８」から「准教授１・助教１・兼７」に変更。
・教員変更のため、「小児病学」の専任教員等の配置を「兼５」から「兼４」に変更。
・教員変更のため、「精神保健学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため「言語心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１・准教授１・助教３」に変更
・昇任のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・助教２・兼５」から「教授１・准教授２・助教２・兼５」に変更。
・昇任のため、「言語聴覚障害学概論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師５」から「教授２・准教授３・講師４」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「言語聴覚診断学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師６・助教１」から「教授２・准教授５・講師４・助教２」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「言語聴覚診断学演習」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師５・助教２」から「教授２・准教授４・講師３・助教２」に変更。
・教員変更のため、「失語症Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授１・准教授１」に変更。
・教育内容充実のため、「失語症Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授１・准教授２・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「高次脳機能障害学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授１・准教授２・助教２」に変更。
・教員変更のため、「言語発達障害学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「講師１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「音声障害」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・講師１・兼１」に変更。
・昇任のため、「嚥下障害Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師２」から「准教授１・講師１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「嚥下障害Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師３」から「准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「構音障害Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。
・教員変更のため、「音声障害」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・講師１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「聴覚障害Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「講師１」に変更。
・教員変更のため、「聴覚障害Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「准教授１・助教１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「言語聴覚臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授３・准教授５・講師４・助教６」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「言語聴覚臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授３・准教授５・講師４・助教６」に変更。

・昇任のため、「言語聴覚臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授３・准教授４・講師４」に変更。
・昇任のため、「地域言語聴覚学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師３・助教１」から「教授２・准教授３・講師２・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「失語・高次機能障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授１・准教授２・助教２」に変更。
・教育内容充実のため、「失語・高次機能障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授１・准教授２・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「言語発達障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・講師１・助教２」に変更。
・教育内容充実のため、「言語発達障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・講師１・助教２」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師３」から「教授１・准教授１・講師２・助教１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師３」から「教授１・准教授１・講師２・助教１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「言語聴覚障害学演習」の専任教員等の配置を「教授４・准教授３・講師５・兼６」から「教授４・准教授４・講師３・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「保育実習」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼７」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授２・准教授４・講師４・助教６」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授２・准教授４・講師４・助教６」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授３・准教授４・講師４」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授３・講師５」から「教授３・准教授４・講師４」に変更。

【令和４年度】

・開講科目数削減のため、「基礎英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・開講科目数削減のため、「基礎英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授２・兼１２」から「教授２・准教授１・兼１１」に変更。
・教育内容充実のため、「生物学実習」の専任教員等の配置を「助教１・兼２」から「助教１・兼３」に変更。
・教員変更のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「助教２・兼４」から「助教１・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「病理学実習」の専任教員等の配置を「兼１」から「助教１・兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「言語発達心理学」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「教授１・助教１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「心理測定法」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１・講師１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「言語心理学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・助教３」から「教授１・講師１・助教２・兼１」に変更。
・教員変更のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・助教２・兼５」から「准教授３・助教１・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「耳鼻咽喉科学」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「口腔科学・臨床歯科学・形成外科学」の専任教員等の配置を「教授１・兼５」から「教授１・助教１・兼４」に変更。
・教育内容充実のため、「言語学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「言語学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「音声学・音響学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「音声学・音響学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「言語聴覚障害概論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師４」から「教授３・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「言語聴覚診断学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授５・講師４・助教２」から「教授３・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「言語聴覚診断学演習」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師３・助教２」から「教授３・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・教員変更のため、「高次脳機能障害学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・助教２」から「教授１・准教授２・助教１・兼１」に変更。
・昇任のため、「音声障害」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・兼１」から「教授１・准教授１・兼１」に変更。
・昇任のため、「嚥下障害Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「准教授２」に変更。
・昇任のため、「構音障害Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師２」から「准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「聴覚障害Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・助教１」に変更。

・昇任のため、「言語聴覚臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授５・講師４・助教５・兼１」から「教授３・准教授６・講師３・助教５・兼１」に変更。
・昇任のため、「言語聴覚臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授５・講師４・助教５・兼１」から「教授３・准教授６・講師３・助教５・兼１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「言語聴覚臨床実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４」から「教授３・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・教員変更のため、「地域言語聴覚学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授３・講師２・助教１」から「教授１・准教授３・講師２・助教２」に変更。
・教育内容充実のため、「失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・助教１・兼１」から「教授１・准教授２・助教３・兼１」に変更。
・昇任のため、「発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・助教１」から「教授１・准教授２・講師１・助教１」に変更。
・昇任のため、「発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・助教１」から「教授１・准教授２・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「言語聴覚障害学演習」の専任教員等の配置を「教授４・准教授４・講師３・兼５」から「教授５・准教授５・講師３・助教５・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「保育実習」の専任教員等の配置を「兼７」から「兼８」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師４・助教５・兼１」から「教授２・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・昇任のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授４・講師４・助教５・兼１」から「教授２・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４」から「教授２・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４・講師４」から「教授２・准教授５・講師３・助教５・兼１」に変更。

（注）・　２（１）一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
73 科目	43 科目	0 科目	116 科目	73 科目 [0]	43 科目 [0]	0 科目 [0]	116 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	経済学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
2	英会話	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
3	英語リーディング	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
4	情報学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
5	生活環境論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年度より基礎教育科目のカリキュラム改正に伴う科目の未開講について、令和3年度履修登録時に学生には周知済み。また、既存の学生の単位修得状況を確認し、他開講科目で充足可能と判断した。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{116} = \boxed{4.31}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	

(2) 校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0 ㎡)	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため (2) (3) 職員構成変更のため (4) 大学全体
	50室 ~~48室~~	49室 ~~45室~~ ~~46室~~	130室 ~~132室~~ ~~135室~~	4室 ~~2室~~ (補助職員5人 ~~4人 1人~~)	2室 (補助職員3人 ~~2人 1人~~)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	1室を2名で使用する場合がある 教員構成変更のため (2) (4)
	リハビリテーション学部　言語聴覚療法学科	9.5 ~~8.5~~ ~~9~~ 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科	6,189〔1,590〕 (7,047〔1,642〕) ~~(6,843〔1,639〕)~~ ~~(6,643〔1,617〕)~~ ~~(6,343〔1,596〕)~~ ~~(6,189〔1,590〕)~~	23〔13〕 (23〔13〕) ~~(20〔12〕)~~ ~~(18〔12〕)~~ ~~(23〔13〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	25 26 ~~(25)~~	2,141 ~~2,224~~ (1,579) (2,016) ~~(2,091)~~ ~~(2,141)~~ ~~(2,224)~~	60 ~~67~~ (46) ~~(57)~~ ~~(64)~~ ~~(60)~~ ~~(67)~~	電子ジャーナルは大学全体 既存備品の整理と拡充を図ったため（元） (2) (3) (4)
	計	6,189〔1,590〕 (7,047〔1,642〕) ~~(6,843〔1,639〕)~~ ~~(6,643〔1,617〕)~~ ~~(6,343〔1,596〕)~~ ~~(6,189〔1,590〕)~~	23〔13〕 (23〔13〕) ~~(20〔12〕)~~ ~~(18〔12〕)~~ ~~(23〔13〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	25 26 ~~(25)~~	2141 ~~2224~~ (1,579) (2,016) ~~(2,091)~~ ~~(2,141)~~ ~~(2,224)~~	60 ~~67~~ (46) ~~(57)~~ ~~(64)~~ ~~(60)~~ ~~(67)~~	

(6) 図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	2,482.94㎡	606	210,275	

(7) 体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52 ㎡ 第２武道場　262.11 ㎡	温水プール　25ｍ×7コース	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	528千円	562千円 ~~498千円~~ ~~485千円~~	図書購入費	－ 千円	4,271千円	4,271千円	共同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄ含む）を含む 教員構成変更のため (2) (4)
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	10,000千円	5,000千円	5,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,700 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 （医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 （臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士 （子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士 （保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士 （保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士 （理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士 （作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士 （言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士 （視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士 （臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士 （診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士 （臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 （臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士 （健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 （医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士 （臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士 （医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士 （医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士 （医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
医学部	6	126	－	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	－	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	－	752	学士 （医学）	1.00	1.00	－	昭和45		
医学研究科	4	25	－	100	博士	0.63	0.88	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	
医科学専攻	4	25	－	100	（医学）	0.63	0.88	－	昭和51		
大学院全体	－	25	－	100	－	0.63	0.88	－	－		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	―	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	―	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	―	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜リハビリテーション学部　言語聴覚療法学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	秋定　健 (61) 〈令和2年4月〉 医学博士	耳鼻咽喉科学 聴覚障害Ⅳ 言語聴覚障害学演習
専任	教授	宇野　雅子 (52) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 耳鼻咽喉科学 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 聴覚障害Ⅳ
専任	教授	小坂　美鶴 (65) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ 嚥下障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ
専任	教授	塩見　将志 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ 言語発達障害Ⅱ 吃音 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	種村　純 (66) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	秋定　健 (60) 〈令和2年4月〉 医学博士	耳鼻咽喉科学 聴覚障害Ⅳ 言語聴覚障害学演習
専任	教授	宇野　雅子 (52) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 耳鼻咽喉科学 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 聴覚障害Ⅳ
専任	教授	小坂　美鶴 (65) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ 嚥下障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ
専任	教授	塩見　将志 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ 言語発達障害Ⅱ 吃音 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	種村　純 (66) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	秋定　健 (61) 〈令和2年4月〉 医学博士	耳鼻咽喉科学 聴覚障害Ⅳ 言語聴覚障害学演習
専任	教授	宇野　雅子 (53) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 耳鼻咽喉科学 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 聴覚障害Ⅳ
専任	教授		
専任	教授	塩見　将志 (48) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ 言語発達障害Ⅱ 吃音 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	種村　純 (67) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	**医療と福祉** **医療福祉学概論** 医学概論 心理測定法 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	秋定　健 (62) 〈令和2年4月〉 医学博士	耳鼻咽喉科学 聴覚障害Ⅳ 言語聴覚障害学演習
専任	教授	宇野　雅子 (54) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 耳鼻咽喉科学 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 聴覚障害Ⅳ
専任	教授		
専任	教授	塩見　将志 (49) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ **言語発達障害Ⅱ** 吃音 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	種村　純 (68) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	**医療と福祉** **医療福祉学概論** 医学概論 心理測定法 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 **~~卒業研究Ⅰ~~** **~~卒業研究Ⅱ~~** 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **言語心理学**

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	秋定　健 (63) 〈令和2年4月〉 医学博士	耳鼻咽喉科学 聴覚障害Ⅳ 言語聴覚障害学演習
専任	教授	宇野　雅子 (55) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 耳鼻咽喉科学 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 聴覚障害Ⅳ **言語聴覚障害学演習**
専任	教授		
専任	教授	塩見　将志 (50) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語発達心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅰ **言語発達障害Ⅱ** 吃音 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	種村　純 (69) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	**医療と福祉** **医療福祉学概論** 医学概論 心理測定法 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ **地域言語聴覚学** 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ **言語聴覚障害学演習** **~~卒業研究Ⅰ~~** **~~卒業研究Ⅱ~~** **~~卒業研究Ⅲ~~** **~~卒業研究Ⅳ~~** **言語心理学**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	福永　真哉 (55) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 音声言語医学 吃音 音声障害 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	太田　信子 (56) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	時田　春樹 (38) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	福永　真哉 (55) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 音声言語医学 吃音 音声障害 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	太田　信子 (56) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	時田　春樹 (38) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	福永　真哉 (56) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 音声言語医学 吃音 音声障害 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ **地域言語聴覚学** 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **社会福祉（含実習）**
専任	准教授	太田　信子 (57) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	**言語聴覚障害概論** 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**
専任	准教授	時田　春樹 (39) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **画像診断学** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	福永　真哉 (57) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 音声言語医学 吃音 音声障害 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ **地域言語聴覚学** 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **社会福祉（含実習）**
専任	准教授	太田　信子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	**言語聴覚障害概論** 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 ~~**失語症Ⅰ**~~ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **感覚矯正学概論（関係法規を含む）** **言語心理学**
専任	准教授	時田　春樹 (40) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	福永　真哉 (58) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 音声言語医学 吃音 音声障害 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ **地域言語聴覚学** 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~**社会福祉（含実習）**~~ **言語聴覚障害概論** **言語聴覚診断学** **言語聴覚診断学演習**
専任	准教授	太田　信子 (59) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	**言語聴覚障害概論** 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 ~~**失語症Ⅰ**~~ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **感覚矯正学概論（関係法規を含む）** **言語心理学** **医学概論**
専任	准教授	時田　春樹 (41) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 失語症Ⅰ 失語症Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **画像診断学** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）** **社会福祉（含実習）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	八田　徳高 (57) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 聴覚心理学 音響心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	池野　雅裕 (35) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	川上　紀子 (46) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	社会福祉（含実習） 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	三村　邦子 (53) 〈平成31年4月〉 社会学士	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅱ 構音障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	八田　徳高 (57) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 聴覚心理学 音響心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習）
専任	講師	池野　雅裕 (35) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	川上　紀子 (46) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	社会福祉（含実習） 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	三村　邦子 (53) 〈平成31年4月〉 社会学士	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅱ 構音障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	八田　徳高 (58) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 聴覚心理学 音響心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 ~~聴覚障害Ⅰ~~ 聴覚障害Ⅱ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習）
専任	講師	池野　雅裕 (36) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習） 地域言語聴覚学
専任	講師	川上　紀子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	~~社会福祉（含実習）~~ 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	三村　邦子 (54) 〈平成31年4月〉 社会学士	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅱ 構音障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ 言語発達障害Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	八田　徳高 (59) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 聴覚心理学 音響心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 ~~聴覚障害Ⅰ~~ ~~聴覚障害Ⅱ~~ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 ~~聴覚障害学演習Ⅰ~~ ~~聴覚障害学演習Ⅱ~~ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習）
専任	准教授	池野　雅裕 (37) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習） 地域言語聴覚学 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
専任	講師	川上　紀子 (48) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	~~社会福祉（含実習）~~ 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ ~~聴覚障害Ⅲ~~ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	三村　邦子 (55) 〈平成31年4月〉 社会学士	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅱ 構音障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ 言語発達障害Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	八田　徳高 (60) 〈平成31年4月〉 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 聴覚心理学 音響心理学 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 ~~聴覚障害Ⅰ~~ ~~聴覚障害Ⅱ~~ 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 ~~聴覚障害学演習Ⅰ~~ ~~聴覚障害学演習Ⅱ~~ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習）
専任	准教授	池野　雅裕 (38) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ 地域言語聴覚学 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~
専任	講師	川上　紀子 (49) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	~~社会福祉（含実習）~~ 言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ ~~聴覚障害Ⅲ~~ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	三村　邦子 (56) 〈平成31年4月〉 社会学士	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 言語発達障害Ⅱ 構音障害Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ ~~言語発達障害Ⅰ~~

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	矢野　実郎 (34) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 音声障害 嚥下障害Ⅱ 構音障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	宮崎　彰子 (48) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	言語聴覚診断学
専任	助教	永見　慎輔 (36) 〈令和3年4月〉 修士（人間文化学）	音声障害 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
兼担	助教	永見　慎輔 (34) 〈平成31年4月〉 修士（人間文化学）	社会福祉（含実習）
専任	助教	原山　秋 (28) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学）	医学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	矢野　実郎 (35) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 音声障害 嚥下障害Ⅱ 構音障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	宮崎　彰子 (49) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	言語聴覚診断学
専任	講師	永見　慎輔 (35) 〈令和2年4月〉 修士（人間文化学）	音声障害 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ 言語聴覚障害概論 言語発達障害Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 構音障害Ⅰ
専任	助教	原山　秋 (29) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学）	医学概論 社会福祉（含実習） 地域言語聴覚学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	矢野　実郎 (36) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 音声障害 嚥下障害Ⅱ 構音障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	宮崎　彰子 (50) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	言語聴覚診断学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ
専任	講師	永見　慎輔 (36) 〈令和2年4月〉 修士（人間文化学）	~~音声障害~~ ~~嚥下障害Ⅱ~~ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ 言語聴覚障害概論 言語発達障害Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 構音障害Ⅰ 構音障害Ⅱ
専任	助教	原山　秋 (30) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学）	医学概論 社会福祉（含実習） 地域言語聴覚学 言語心理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 画像診断学 解剖学実習 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 失語症Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	矢野　実郎 (37) 〈平成31年4月〉 博士（歯学）	言語聴覚障害概論 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 音声障害 嚥下障害Ⅱ 構音障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 社会福祉（含実習）
専任	准教授	宮崎　彰子 (51) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	言語聴覚診断学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ
専任	講師	永見　慎輔 (37) 〈令和2年4月〉 修士（人間文化学）	音声障害 嚥下障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 言語聴覚障害学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ ~~社会福祉（含実習）~~ 言語聴覚障害概論 言語発達障害Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 嚥下障害Ⅰ 構音障害Ⅰ 構音障害Ⅱ 心理測定法
専任	助教	原山　秋 (31) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学）	医学概論 ~~社会福祉（含実習）~~ 地域言語聴覚学 言語心理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 画像診断学 解剖学実習 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ 発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ 失語症Ⅱ 病理学実習 心理測定法 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 言語聴覚障害概論 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 言語聴覚障害学演習 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	山崎　忠雄 (25) ＜平成31年4月＞ 修士（感覚矯正学）	~~感覚矯正概論（関係法規を含む）~~ 感覚矯正概論（関係法規を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	山崎　忠雄 (26) ＜平成31年4月＞ 修士（感覚矯正学）	~~感覚矯正概論（関係法規を含む）~~ 社会福祉（含実習） 言語発達障害Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習
専任	助教	飯村　大智 (31) ＜令和2年4月＞ 修士（情報学）	言語発達障害Ⅰ 吃音 言語聴覚診断学演習
専任	助教	小浜　尚也 (35) ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	生理学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	山崎　忠雄 (27) ＜平成31年4月＞ 修士（感覚矯正学）	~~感覚矯正概論（関係法規を含む）~~ 社会福祉（含実習） 言語発達障害Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ
専任	助教	飯村　大智 (32) ＜令和2年4月＞ 修士（情報学）	言語発達障害Ⅰ 吃音 言語聴覚診断学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語発達障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚診断学
専任	助教	小浜　尚也 (36) ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語心理学 高次脳機能障害学 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ
専任	助教	小谷　優平 (32) ＜令和3年4月＞ 修士（感覚矯正学）	生物学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	山崎　忠雄 (28) ＜平成31年4月＞ 修士（感覚矯正学）	~~感覚矯正概論（関係法規を含む）~~ 社会福祉（含実習） 言語発達障害Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 言語発達心理学 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害概論 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学演習 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ
専任	助教	飯村　大智 (33) ＜令和2年4月＞ 修士（情報学）	言語発達障害Ⅰ 吃音 言語聴覚診断学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語発達障害Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 言語発達障害学演習Ⅰ 言語発達障害学演習Ⅱ 言語聴覚診断学 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 言語聴覚障害概論 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学演習
専任	助教	小浜　尚也 (37) ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語心理学 高次脳機能障害学 聴覚障害Ⅲ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 聴覚障害学演習Ⅰ 聴覚障害学演習Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 耳鼻咽喉科学 言語聴覚障害概論 聴覚障害Ⅳ 言語聴覚臨床実習Ⅲ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 言語聴覚障害学演習 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習
専任	助教	小谷　優平 (33) ＜令和3年4月＞ 修士（感覚矯正学）	生物学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 言語聴覚障害概論 言語聴覚臨床実習Ⅲ 地域言語聴覚学 言語聴覚障害学演習 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (48) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (49) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	教授	飯田　淳子 (50) 〈平成31年4月〉 博士（文学）
		人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）			人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	井上　桂子 (66) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 (66) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 (67) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	井上　桂子 (68) 〈平成31年4月〉 博士（医学）			
		医学概論			医学概論			医学概論			医学概論			
兼担	教授	伊禮　功 (53) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 (53) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 (54) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 (55) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	伊禮　功 (56) 〈平成31年4月〉 博士（医学）
		感覚矯正学概論（関係法規を含む） 病理学 病理学実習 言語聴覚障害学演習			~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 病理学 病理学実習 言語聴覚障害学演習			~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 病理学 病理学実習 言語聴覚障害学演習			~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 病理学 病理学実習 言語聴覚障害学演習			~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 病理学 病理学実習 **言語聴覚障害学演習**
兼担	教授	岡　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 博士（保健科学）	兼担	教授	岡　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 博士（保健科学）	兼担	教授	岡　真由美 (53) 〈平成31年4月〉 博士（保健科学）	兼担	教授	岡　真由美 (54) 〈平成31年4月〉 博士（保健科学）	兼担	教授	岡　真由美 (55) 〈平成31年4月〉 博士（保健科学）
		感覚矯正学概論（関係法規を含む）			感覚矯正学概論（関係法規を含む）			感覚矯正学概論（関係法規を含む） **解剖学実習**			感覚矯正学概論（関係法規を含む） **解剖学実習** **医学概論**			感覚矯正学概論（関係法規を含む） **解剖学実習** **医学概論**
兼担	教授	柏原　洋子 (61) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 (61) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 (62) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 (63) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	教授	柏原　洋子 (64) 〈平成31年4月〉 修士（文学）
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング			基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング			~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ ~~実践英会話~~ 英語インテンシブリーディング ~~英語リーディング~~			~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ ~~実践英会話~~ 英語インテンシブリーディング ~~英語リーディング~~			~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ ~~実践英会話~~ 英語インテンシブリーディング ~~英語リーディング~~
兼担	教授	北中　明 (55) 〈令和2年4月〉 医学博士	兼担	教授	北中　明 (54) 〈令和2年4月〉 医学博士	兼担	教授	北中　明 (55) 〈令和2年4月〉 医学博士	兼担	教授	北中　明 (56) 〈令和2年4月〉 医学博士	兼担	教授	北中　明 (57) 〈令和2年4月〉 医学博士
		内科学			内科学			内科学			内科学			内科学
兼担	教授	姜　波 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 (61) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 (62) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	兼担	教授	姜　波 (63) 〈平成31年4月〉 博士（学術）
		初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解			初修外国語 異文化理解
兼担	教授	進藤　貴子 (54) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 (54) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 (55) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 (56) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	進藤　貴子 (57) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		医学概論			医学概論			医学概論			医学概論			医学概論
兼担	教授	高崎　裕子 (65) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	高崎　裕子 (65) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	教授	高崎　裕子 (66) 〈平成31年4月〉 博士（医学）				**兼担**	**教授**	**高崎　裕子** **(67)** **〈平成4年4月〉** **博士（医学）**
		医学概論			医学概論 **解剖学実習** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**			医学概論 **解剖学実習** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**						**社会福祉（含実習）**
兼担	教授	田口　豊郁 (65) 〈平成31年4月〉 医学博士	兼担	教授	田口　豊郁 (65) 〈平成31年4月〉 医学博士	兼担	教授	田口　豊郁 (66) 〈平成31年4月〉 医学博士	**兼任**	**講師**	田口　豊郁 (67) 〈平成31年4月〉 医学博士			
		生活環境論			生活環境論			生活環境論			生活環境論			
兼担	教授	武井　祐子 (50) 〈令和2年4月〉 博士（臨床心理学）	兼担	教授	武井　祐子 (49) 〈令和2年4月〉 博士（臨床心理学）	兼担	教授	武井　祐子 (50) 〈令和2年4月〉 博士（臨床心理学）	兼担	教授	武井　祐子 (51) 〈令和2年4月〉 博士（臨床心理学）	兼担	教授	武井　祐子 (52) 〈令和2年4月〉 博士（臨床心理学）
		発達心理学			発達心理学			発達心理学			発達心理学			発達心理学
兼担	教授	竹田(国光)　恵子 (57) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	兼担	教授	竹田(国光)　恵子 (57) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	兼担	教授	竹田(国光)　恵子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）						
		医学概論			医学概論			医学概論						
兼担	教授	谷原　弘之 (56) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）												
		教育心理学												
兼担	教授	寺本　房子 (67) 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	兼担	教授	寺本　房子 (67) 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	兼担	教授	寺本　房子 (68) 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	兼担	教授	寺本　房子 (69) 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）			
		医学概論			医学概論			医学概論			医学概論			
兼担	教授	野澤　亮平 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士	兼担	教授	野澤　亮平 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士									
		統計学			統計学									
兼担	教授	橋本　勇人 (59) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 (59) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 (60) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 (61) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	兼担	教授	橋本　勇人 (62) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）
		日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	林　明弘 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼担	教授	林　明弘 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼担	教授	林　明弘 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼担	教授	林　明弘 (62) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼担	教授	林　明弘 (63) 〈平成31年4月〉 文学修士
		哲学			哲学			哲学			哲学			哲学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	彦坂　和雄 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	彦坂　和雄 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	彦坂　和雄 (66) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	彦坂　和雄 (67) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	彦坂　和雄 (68) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医学概論 生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習			医学概論 生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習			医学概論 生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習			~~医学概論~~ 生物学実習 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習			医学概論 生物学実習 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習 病理学実習
兼担	教授	平井　敏弘 (68) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	平井　敏弘 (68) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	平井　敏弘 (69) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	平井　敏弘 (70) ＜平成31年4月＞ 医学博士	兼任	教授	平井　敏弘 (71) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		入門医学概論 医学概論			入門医学概論 医学概論			入門医学概論 医学概論			入門医学概論 医学概論			入門医学概論 医学概論
兼担	教授	平岡　崇 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	平岡　崇 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	平岡　崇 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	平岡　崇 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	平岡　崇 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医学概論 リハビリテーション医学・総論			医学概論 リハビリテーション医学・総論			医学概論 リハビリテーション医学・総論			医学概論 リハビリテーション医学・総論			医学概論 リハビリテーション医学・総論
兼担	教授	福岡　欣治 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	福岡　欣治 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		心理学			心理学			心理学			心理学			心理学
兼担	教授	保野　孝弘 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	兼担	教授	保野　孝弘 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		睡眠学			睡眠学			睡眠学			睡眠学			睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 (69) ＜平成31年4月＞ 理学士	兼担	教授	益田　芳樹 (69) ＜平成31年4月＞ 理学士	兼担	教授	益田　芳樹 (70) ＜平成31年4月＞ 理学士	兼担	教授	益田　芳樹 (71) ＜平成31年4月＞ 理学士			
		生物学			生物学			生物学			生物学			
兼担	教授	升野　光雄 (62) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	升野　光雄 (61) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	升野　光雄 (62) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	升野　光雄 (63) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	升野　光雄 (64) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		小児病学			小児病学			小児病学			小児病学			小児病学
兼担	教授	三木　淳司 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	三木　淳司 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	三木　淳司 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	三木　淳司 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	三木　淳司 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医学概論 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			医学概論 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			医学概論 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			医学概論 感覚矯正学概論（関係法規を含む）			医学概論 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	虫明　基 (69) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	兼担	教授	虫明　基 (69) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）									
		数学 物理学			数学 物理学									
兼担	教授	矢野　博己 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	矢野　博己 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		健康科学論			健康科学論			健康科学論			健康科学論			健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ (66) ＜平成31年4月＞ 修士（比較文化）	兼担	教授	吉岡　リサ (66) ＜平成31年4月＞ 修士（比較文化）									
		英会話 英語リーディング			英会話 英語リーディング									
						兼担	教授	荒尾　信一 (54) ＜令和2年4月＞ 学士（保健衛生学）	兼担	教授	荒尾　信一 (55) ＜令和2年4月＞ 学士（保健衛生学）	兼担	教授	荒尾　信一 (56) ＜令和2年4月＞ 学士（保健衛生学）
								画像診断学			画像診断学			画像診断学
						兼担	教授	小野（木村）　敏 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	小野（木村）　敏 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	小野（木村）　敏 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
								画像診断学			画像診断学			画像診断学
						兼担	教授	杉原　尚 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	杉原　尚 (68) ＜令和2年4月＞ 医学博士	兼担	教授	杉原　尚 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士
								入門医学概論			入門医学概論			入門医学概論
						兼担	教授	圓田　祐治 (51) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	圓田　祐治 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼担	教授	圓田　祐治 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
								解剖学			解剖学			解剖学
						兼担	教授	長崎　和則 (60) ＜令和2年4月＞ 文学修士						
								精神保健学						
						兼担	教授	三村　浩朗 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	三村　浩朗 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	兼担	教授	三村　浩朗 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
								画像診断学			画像診断学			画像診断学
						兼担	教授	文谷　知明 (61) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼担	教授	文谷　知明 (62) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	兼担	教授	文谷　知明 (63) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
								健康体育基礎演習			健康体育基礎演習			健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	伊藤　隆男 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	河本　けい（健一郎） (48) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会福祉（含実習）
兼担	准教授	小原　謙一 (41) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	准教授	澤原　光彦 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼担	准教授	竹中　麻由美 (58) 〈平成31年4月〉 社会学修士	医学概論
兼担	准教授	田中　順子 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (52) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	中川　智之 (42) 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	保育
兼担	准教授	福島　康弘 (46) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	細川　貴之 (41) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習
兼担	准教授	山下　力 (41) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	伊藤　隆男 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	河本　けい（健一郎） (48) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会福祉（含実習）
兼担	准教授	小原　謙一 (41) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	澤原　光彦 (60) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 (58) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	准教授	田中　順子 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (52) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	中川　智之 (42) 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	保育
兼担	准教授	福島　康弘 (46) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	細川　貴之 (41) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習
兼担	准教授	山下　力 (41) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮川　健 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	村上　龍文 (62) 〈令和2年4月〉 医学博士	脳・神経学
兼担	准教授	河本　けい（健一郎） (49) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会福祉（含実習） 生理学実習
兼担	准教授	小原　謙一 (42) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	澤原　光彦 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 (59) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	教授	田中　順子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (53) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	中川　智之 (43) 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	保育
兼担	准教授	福島　康弘 (47) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	准教授	細川　貴之 (42) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習
兼担	准教授	山下　力 (42) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学実習
兼担	准教授	石本　恭子 (42) 〈令和2年4月〉 博士（社会健康医学）	健康体育基礎理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮川　健 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	村上　龍文 (63) 〈令和2年4月〉 医学博士	脳・神経学
兼担	准教授	河本　けい（健一郎） (50) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会福祉（含実習） 生理学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	小原　謙一 (43) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	澤原　光彦 (62) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 (60) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	教授	田中　順子 (62) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (54) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	教授	中川　智之 (44) 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	保育 保育実習
兼担	教授	福島　康弘 (48) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	米谷　正造 (61) 〈令和3年4月〉 修士（教育学）	健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	准教授	細川　貴之 (43) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習
兼担	准教授	山下　力 (43) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学実習
兼担	准教授	石本　恭子 (43) 〈令和2年4月〉 博士（社会健康医学）	健康体育基礎理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宮川　健 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	村上　龍文 (64) 〈令和2年4月〉 医学博士	脳・神経学
兼担	教授	武政　睦子 (59) 〈令和4年4月〉 博士（健康科学）	医学概論
兼担	教授	泰山　浩司 (65) 〈令和4年4月〉 博士（理学）	生物学
兼担	准教授	河本　けい（健一郎） (51) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	社会福祉（含実習） 生理学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	澤原　光彦 (63) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 (61) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	教授	田中　順子 (63) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (55) 〈平成31年4月〉 修士（社会学）	社会学
兼担	教授	中川　智之 (45) 〈平成31年4月〉 博士（学校教育学）	保育 保育実習
兼担	教授	福島　康弘 (49) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	米谷　正造 (62) 〈令和3年4月〉 修士（教育学）	健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	准教授	細川　貴之 (44) 〈平成31年4月〉 博士（理学）	生物学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学 解剖学実習 脳と発声発語器官の解剖学 生理学 生理学実習 脳機能学 言語聴覚障害学演習 病理学実習
兼担	教授	山下　力 (44) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 解剖学実習
兼担	准教授	石本　恭子 (44) 〈令和2年4月〉 博士（社会健康医学）	健康体育基礎理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山内　泰子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	講師	荒井　佐和子 (38) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	入江　慶太 (42) 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	保育
兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (39) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	精神保健学
兼担	講師	北澤　正志 (58) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現
兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小﨑　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	瀧川　真也 (38) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	学習・認知心理学
兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	桃原　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	山内　泰子 (58) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	講師	荒井　佐和子 (37) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	入江　慶太 (42) 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	保育
兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (39) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	精神保健学
兼担	講師	北澤　正志 (58) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現
兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小﨑　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	瀧川　真也 (37) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	学習・認知心理学
兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	桃原（羽原）　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	クレメニック，M．J (53) 〈令和2年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	五反田　龍宏 (39) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	画像診断学
兼担	准教授	松田　英治 (62) 〈令和2年4月〉 修士（学術）	画像診断学
兼担	准教授	土家　禎夫 (61) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	准教授	矢納　陽 (47) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	物理学
兼担	教授	山内　泰子 (59) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	講師	荒井　佐和子 (38) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	入江　慶太 (43) 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	保育 言語発達心理学
兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (40) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	精神保健学
兼担	准教授	北澤　正志 (59) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現
兼担	講師	國弘　保明 (44) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	講師	小池　大介 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	小﨑　順子 (52) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	朱　容仁 (48) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	瀧川　真也 (38) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	学習・認知心理学
兼担	講師	谷川　智宏 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	クレメニック，M．J (54) 〈令和2年4月〉 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	五反田　龍宏 (40) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	画像診断学
兼担	准教授	松田　英治 (63) 〈令和2年4月〉 修士（学術）	画像診断学
兼担	准教授	土家　禎夫 (62) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 (48) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	赤松　恵美 (48) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	石田　寛知子 (58) 〈令和3年4月〉 博士（保健看護学）	医学概論
兼担	教授	山内　泰子 (60) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	講師	荒井　佐和子 (39) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	精神保健学
兼担	准教授	北澤　正志 (60) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現
兼担	講師	國弘　保明 (45) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	准教授	小池　大介 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	准教授	小﨑　順子 (53) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	朱　容仁 (49) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	准教授	瀧川　真也 (39) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	学習・認知心理学
兼担	講師	谷川　智宏 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	情報学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	クレメニック，M．J (55) 〈令和2年4月〉 文学修士	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ 実践英会話
兼担	准教授	五反田　龍宏 (41) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	画像診断学
兼担	准教授	松田　英治 (64) 〈令和2年4月〉 修士（学術）	画像診断学
兼担	准教授	土家　禎夫 (63) 〈令和2年4月〉 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 (49) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	赤松　恵美 (49) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	准教授	石田　寛知子 (59) 〈令和3年4月〉 博士（保健看護学）	医学概論
兼担	教授	山内　泰子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	荒井　佐和子 (40) 〈令和2年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (42) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	精神保健学
兼担	准教授	北澤　正志 (61) 〈平成31年4月〉 文学士	文章表現
兼担	講師	國弘　保明 (46) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	文章表現
兼担	准教授	小池　大介 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習 コンピュータ活用演習
兼担	講師	朱　容仁 (50) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（スポーツ系）
兼担	准教授	瀧川　真也 (40) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	学習・認知心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	講師	中尾　竜二 (40) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	講師	中尾　竜二 (40) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	講師	中尾　竜二 (41) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	准教授	中尾　竜二 (42) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	准教授	中尾　竜二 (43) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）
		医学概論			医学概論			医学概論			医学概論			医学概論
兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (43) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (44) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (45) 〈平成31年4月〉 博士（文学）
		医療福祉の歴史 和の伝統文化			医療福祉の歴史 和の伝統文化			医療福祉の歴史 和の伝統文化			医療福祉の歴史 和の伝統文化			医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	根来　麻子 (38) 〈平成31年4月〉 博士（文学）												
		文章表現 日本語リテラシー												
兼担	講師	秦　久美子 (59) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）												
		ヒューマンセクシャリティー論												
兼担	講師	平田(森)　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	兼担	講師	平田(森)　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	兼担	講師	平田(森)　智子 (38) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	兼担	講師	平田(森)　智子 (39) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）			
		経済学			経済学			経済学			経済学			
兼担	講師	藤森　旭人 (36) 〈平成31年4月〉 博士（医学）												
		教育心理学												
兼担	講師	藤原　有子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	**中尾　有子** (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）							**兼担**	**講師**	**中尾　有子** **(43)** **〈平成4年4月〉** **博士（健康科学）**
		健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）			健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）									**健康体育実技（フィットネス系）**
兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	講師	山根　真由美 (53) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	講師	山根　真由美 (54) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	准教授	山根　真由美 (55) 〈平成31年4月〉 修士（文学）
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ **英会話（海外研修）**			基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ **英会話（海外研修）**			**~~基礎英語Ⅰ~~** **~~基礎英語Ⅱ~~** **英会話（海外研修）**
兼担	講師	米田　剛 (39) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	講師	米田　剛 (39) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	講師	米田　剛 (40) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	講師	米田　剛 (41) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	兼担	准教授	米田　剛 (42) 〈平成31年4月〉 博士（医学）
		社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習） **保創学実習**
						兼担	**講師**	**岡崎　利治** **(43)** **〈令和2年4月〉** **修士（社会福祉学）**	**兼担**	**講師**	**岡崎　利治** **(44)** **〈令和2年4月〉** **修士（社会福祉学）**	**兼担**	**講師**	**岡崎　利治** **(45)** **〈令和2年4月〉** **修士（社会福祉学）**
								ボランティア入門			**ボランティア入門**			**ボランティア入門**
						兼担	**講師**	**クレミンソン,T.J** **(45)** **〈令和2年4月〉** **修士（MASTER　OF RESEARCH）**	**兼担**	**准教授**	**クレミンソン,T.J** **(46)** **〈令和2年4月〉** **修士（MASTER　OF RESEARCH）**			
								基礎英語Ⅰ **基礎英語Ⅱ**			**基礎英語Ⅰ** **基礎英語Ⅱ**			
						兼担	**講師**	**藤本　誠** **(50)** **〈令和2年4月〉** **修士（体育学）**						
								健康体育基礎演習						
						兼担	**講師**	**プレパッテ，J** **(55)** **〈令和2年4月〉** **修士（MA TESOL/Curriculum Design）**	**兼担**	**講師**	**プレパッテ，J** **(56)** **〈令和2年4月〉** **修士（MA TESOL/Curriculum Design）**	**兼担**	**講師**	**プレパッテ，J** **(57)** **〈令和2年4月〉** **修士（MA TESOL/Curriculum Design）**
								英会話 **実践英会話**			**英会話** **実践英会話**			**英会話** **実践英会話** **基礎英語Ⅰ** **基礎英語Ⅱ**
									兼担	**講師**	**大江　由美** **(68)** **〈令和3年4月〉** **準学士**	**兼担**	**講師**	**大江　由美** **(69)** **〈令和3年4月〉** **準学士**
											保育 **保育実習** **言語発達心理学**			**保育** **保育実習** **言語発達心理学**
									兼担	**講師**	**三宅　美智子** **(65)** **〈令和3年4月〉** **準学士**	**兼担**	**講師**	**三宅　美智子** **(66)** **〈令和3年4月〉** **準学士**
											保育実習			**保育実習**
									兼担	**講師**	**藤澤（中西）智子** **(45)** **〈令和3年4月〉** **博士（健康科学）**	**兼担**	**講師**	**藤澤（中西）智子** **(46)** **〈令和3年4月〉** **博士（健康科学）**
											保育実習			**保育実習**
												兼担	**講師**	**三宅（井關）　沙知** **(36)** **〈令和4年4月〉** **博士（健康科学）**
														医学概論
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	兼担	助教	後藤　大輔 (33) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	兼担	助教	後藤　大輔 (34) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	兼担	助教	後藤　大輔 (35) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）
		健康体育基礎演習			健康体育基礎演習			健康体育基礎演習			健康体育基礎演習			健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
兼担	准教授	橋本　美香 (51) 〈平成31年4月〉 博士（文学） 文章表現 日本語リテラシー
兼担	准教授	谷野　宏美 (44) 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） ヒューマンセクシャリティ論
兼担	講師	林　泰子 (40) 〈平成31年4月〉 博士（医学） 解剖学実習
兼担	助教	山根　嵩史 (31) 〈平成31年4月〉 博士（心理学） 教育心理学
兼担	助教	田邉　聖 (43) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習）
兼担	助教	藤田　美佳 (24) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
兼担	准教授	橋本　美香 (52) 〈平成31年4月〉 博士（文学） 文章表現 日本語リテラシー
兼担	准教授	谷野　宏美 (45) 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） ヒューマンセクシャリティ論
兼担	助教	山根　嵩史 (32) 〈平成31年4月〉 博士（心理学） 教育心理学
兼担	助教	田邉　聖 (44) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習）
兼担	助教	池内　由子 (42) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学） 臨床心理学
兼担	助教	植谷　利英 (43) 〈令和2年4月〉 感覚矯正学修士 解剖学実習
兼担	助教	戸田　淳氏 (38) 〈令和2年4月〉 修士（保健医療学） 解剖学実習
兼担	助教	兵藤　史武 (35) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 統計学
兼担	助教	福井　夕希子 (34) 〈令和2年4月〉 修士（教育学） 文章表現
兼担	助教	藤原　篤之 (38) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習）
兼担	助教	山形　高司 (38) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学） 健康体育実技（レクリエーション系） 健康体育実技（フィットネス系）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
兼担	教授	橋本　美香 (53) 〈平成31年4月〉 博士（文学） 文章表現 日本語リテラシー
兼担	講師	林　泰子 (43) 〈平成31年4月〉 博士（医学） 解剖学実習 保育実習
兼担	講師	山根　嵩史 (33) 〈平成31年4月〉 博士（心理学） 教育心理学
兼担	助教	田邉　聖 (45) 〈平成31年4月〉 修士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習）
兼担	助教	池内　由子 (43) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学） 臨床心理学
兼担	助教	戸田　淳氏 (39) 〈令和2年4月〉 修士（保健医療学） 解剖学実習 言語心理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ
兼担	助教	兵藤　史武 (36) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 統計学
兼担	助教	福井　夕希子 (35) 〈令和2年4月〉 修士（教育学） 文章表現
兼担	助教	藤原　篤之 (39) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習）
兼担	助教	山形　高司 (39) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学） ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	助教	種村　暁也 (35) 〈令和3年4月〉 修士（社会福祉学） 保育実習
兼担	助教	星野　さくら (23) 〈令和3年4月〉 学士（子ども医療福祉学） 保育実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 / 担当授業科目名
兼担	教授	橋本　美香 (54) 〈平成31年4月〉 博士（文学） 文章表現 日本語リテラシー
兼担	講師	林　泰子 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医学） 解剖学実習 保育実習 医学概論
兼担	講師	山根　嵩史 (34) 〈平成31年4月〉 博士（心理学） 教育心理学
兼担	助教	藤田　美佳 (24) 〈令和4年4月〉 修士（感覚矯正学） 社会福祉（含実習） 生物学実習
兼担	助教	池内　由子 (44) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学） 臨床心理学
兼担	助教	戸田　淳氏 (40) 〈令和2年4月〉 修士（保健医療学） 解剖学実習 言語心理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 高次脳機能障害学 言語聴覚臨床実習Ⅰ 言語聴覚臨床実習Ⅱ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ 失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害概論 言語聴覚臨床実習Ⅲ 言語聴覚障害学演習 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ 言語聴覚診断学 言語聴覚診断学演習
兼担	助教	兵藤　史武 (37) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 統計学
兼担	講師	藤原　篤之 (40) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学） ~~社会福祉（含実習）~~ 解剖学実習
兼担	助教	種村　暁也 (36) 〈令和3年4月〉 修士（社会福祉学） 保育実習
兼担	助教	星野　さくら (24) 〈令和3年4月〉 学士（子ども医療福祉学） 保育実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
												兼担	助教	大内　遼央 （23） 〈令和4年4月〉 修士（感覚矯正学）
														保育実習
兼任	講師	稲川　喜一 （53） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	稲川　喜一 （52） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	稲川　喜一 （53） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学 言語聴覚障害学演習						
兼任	講師	犬伏　正幸 （52） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学	兼任	講師	犬伏　正幸 （51） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学									
兼任	講師	内田　修子 （66） 〈令和3年4月〉 短期大学 保育実習	兼任	講師	内田　修子 （64） 〈令和3年4月〉 短期大学 保育実習	兼任	講師	内田　修子 （65） 〈令和3年4月〉 短期大学 保育実習						
兼任	講師	戎谷　昭吾 （46） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	戎谷　昭吾 （45） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	戎谷　昭吾 （46） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	戎谷　昭吾 （47） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	戎谷　昭吾 （48） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	大石　智洋 （49） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学	兼任	講師	大石　智洋 （48） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学	兼任	講師	大石　智洋 （49） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学	兼任	講師	大石　智洋 （50） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学	兼任	講師	大石　智洋 （51） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学
兼任	講師	太田　千明 （57） 〈令和2年4月〉 教育学士 地域言語聴覚学	兼任	講師	太田　千明 （56） 〈令和2年4月〉 教育学士 地域言語聴覚学									
兼任	講師	金尾　晃 （40） 〈令和2年4月〉 博士（歯学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	金尾　晃 （39） 〈令和2年4月〉 博士（歯学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	金尾　晃 （40） 〈令和2年4月〉 博士（歯学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	金尾　晃 （41） 〈令和2年4月〉 博士（歯学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	金尾　晃 （42） 〈令和2年4月〉 博士（歯学） 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	川本　豊 （63） 〈令和2年4月〉 医学士 小児病学	兼任	講師	川本　豊 （62） 〈令和2年4月〉 医学士 小児病学	兼任	講師	川本　豊 （63） 〈令和2年4月〉 医学士 小児病学						
兼任	講師	國塩　勝三 （67） 〈令和2年4月〉 医学博士 画像診断学 脳・神経学	兼任	講師	國塩　勝三 （66） 〈令和2年4月〉 医学博士 画像診断学 脳・神経学									
兼任	講師	佐藤　康守 （63） 〈令和2年4月〉 医学博士 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学	兼任	講師	佐藤　康守 （62） 〈令和2年4月〉 医学博士 口腔科学・臨床歯科学・形成外科学									
兼任	講師	水津　英仁 （33） 〈平成31年4月〉 学士（理学） 医学概論	兼任	講師	水津　英仁 （33） 〈平成31年4月〉 学士（理学） 医学概論	兼任	講師	水津　英仁 （34） 〈平成31年4月〉 学士（理学） 医学概論	兼任	講師	水津　英仁 （35） 〈平成31年4月〉 学士（理学） 医学概論	兼任	講師	水津　英仁 （36） 〈平成31年4月〉 学士（理学） 医学概論
兼任	講師	曽根　照喜 （61） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学	兼任	講師	曽根　照喜 （60） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学	兼任	講師	曽根　照喜 （61） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学	兼任	講師	曽根　照喜 （62） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学	兼任	講師	曽根　照喜 （63） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 画像診断学
兼任	講師	田中　孝明 （43） 〈令和2年4月〉 学士（医学） 小児病学	兼任	講師	田中　孝明 （42） 〈令和2年4月〉 学士（医学） 小児病学	兼任	講師	田中　孝明 （43） 〈令和2年4月〉 学士（医学） 小児病学	兼任	講師	田中　孝明 （44） 〈令和2年4月〉 学士（医学） 小児病学	兼任	講師	田中　孝明 （45） 〈令和2年4月〉 学士（医学） 小児病学
兼任	講師	谷本　泰正 （66） 〈平成31年4月〉 理学修士 化学	兼担	准教授	谷本　泰正 （66） 〈平成31年4月〉 理学修士 化学	兼担	准教授	谷本　泰正 （67） 〈平成31年4月〉 理学修士 化学	兼担	准教授	谷本　泰正 （68） 〈平成31年4月〉 理学修士 化学	兼担	准教授	谷本　泰正 （69） 〈平成31年4月〉 理学修士 化学
兼任	講師	辻　星児 （70） 〈平成31年4月〉 文学修士 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	辻　星児 （70） 〈平成31年4月〉 文学修士 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	辻　星児 （71） 〈平成31年4月〉 文学修士 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	辻　星児 （72） 〈平成31年4月〉 文学修士 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	辻　星児 （73） 〈平成31年4月〉 文学修士 言語学Ⅰ 言語学Ⅱ 音声学・音響学Ⅰ 音声学・音響学Ⅱ 言語聴覚障害学演習
兼任	講師	永井　清久 （64） 〈令和2年4月〉 医学士 画像診断学	兼任	講師	永井　清久 （63） 〈令和2年4月〉 医学士 画像診断学	兼任	講師	永井　清久 （64） 〈令和2年4月〉 医学士 画像診断学						
兼任	講師	永田　博 （70） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 言語心理学	兼任	講師	永田　博 （69） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 言語心理学	兼任	講師	永田　博 （70） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 言語心理学						
兼任	講師	中野　貴司 （61） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	中野　貴司 （60） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	中野　貴司 （61） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	中野　貴司 （62） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学 言語聴覚障害学演習	兼任	講師	中野　貴司 （63） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 小児病学 言語聴覚障害学演習
兼任	講師	村上　伸治 （56） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 精神医学	兼任	講師	村上　伸治 （55） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 精神医学	兼任	講師	村上　伸治 （56） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 精神医学	兼任	講師	村上　伸治 （57） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 精神医学	兼任	講師	村上　伸治 （58） 〈令和2年4月〉 博士（医学） 精神医学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山田　順子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	山本　雅之 (58) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	和迩　大樹 (43) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山田　順子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	山本　雅之 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	和迩　大樹 (42) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山田　順子 (48) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	山本　雅之 (58) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	高木　準史 (37) 〈令和2年4月〉 学士（歯学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	竹内　省吾 (37) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	画像診断学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山田　順子 (49) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	山本　雅之 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	高木　準史 (38) 〈令和2年4月〉 学士（歯学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	竹内　省吾 (38) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	画像診断学
兼任	講師	原　浩貴 (57) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	音声障害
兼任	講師	大杉　青子 (44) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山田　順子 (50) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	高木　準史 (39) 〈令和2年4月〉 学士（歯学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学
兼任	講師	竹内　省吾 (39) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	画像診断学
兼任	講師	原　浩貴 (58) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	音声障害
兼任	講師	大杉　青子 (45) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	口腔科学・臨床歯科学・形成外科学

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・教育内容充実のため、平成31年4月に専任教員として宮崎彰子講師、原山秋助教、山﨑志穂助教が就任。
・兼担教員の谷原弘之、根来麻子、秦久美子、藤森旭人が辞任。後任として兼担教員に谷野宏美、橋本美香、永見慎輔、林泰子、田邊聖、藤田美佳、山根嵩史が就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の澤原光彦、竹中麻由美、山内泰子が准教授から教授に、北澤正志、瀧川真也が講師から准教授に昇任。また、兼担教員の平井敏弘が兼任教員に、兼任教員の谷本泰正が兼担教員に変更。

【令和２年度】

・健康上の理由により専任教員の小坂美鶴教授が退職。後任の専任教員として、令和3年度就任予定だった永見慎輔助教を、講師として令和2年4月に前倒して就任、また、専任教員として飯村大智助教、小浜尚也助教を採用。学科内の教育体制充実のため、担当科目を再配置した。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の野澤亮平、虫明基、吉岡リサ、伊藤隆男、桃原（羽原）司、中尾有子、林泰子、藤田美佳、兼任教員の犬伏正幸、太田千明、国塩勝三、佐藤康守、和迩大樹が辞任。後任として、兼担教員に荒尾信一、小野（木村）敦、杉原尚、園田祐治、長崎和則、三村浩朗、文谷知明、宮川健、村上龍文、石本恭子、クレメニック,M.J、五反田龍宏、松田英治、土家槙夫、矢納陽、岡崎利治、クレミンソン,T.J、藤本誠、プレバッテ,J、池内由子、植谷利英、戸田淳氏、兵藤史武、福井夕希子、藤原篤之、山形高司、兼任教員に高木淳史、竹内省吾が就任。

【令和３年度】

・池野雅裕講師及び宮﨑彰子講師が准教授に昇任、また小谷優平助教を採用した。学科内の教育体制充実のため担当科目を再配置した。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の高﨑裕子、竹田（国光）恵子、長崎和則、入江慶太、藤本誠、谷野宏美、植谷利英、兼任教員の稲川喜一、内田修子、川本豊、永井清久、永田博が辞任。後任として、兼担教員に米谷正造、赤松恵美、石田実知子、大江由美、三宅美智子、藤澤（中務）智子、林泰子、種村暁也、星野さくら、兼任教員に原浩貴、大杉育子が就任。

【令和４年度】

・矢野実郎講師が准教授に昇任。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の井上桂子、田口豊郁、寺本房子、益田芳樹、小原謙一、小崎順子、谷川智宏、平田智子、クレミンソン・T・J、田邊聖、山形高司、山本雅之が辞任。後任として、兼担教員に高﨑裕子、武政睦子、泰山浩司、中尾有子、三宅沙知、藤田美佳、大内達央が就任。

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
6	3	4	0	13	0	5	6	3	5	19	0
(5)	(3)	(5)	(2)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
5	6	3	5	19	0	5	6	3	5	19	0
[△1]	[3]	[△1]	[5]	[6]	[0]	[△1]	[3]	[△1]	[5]	[6]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 （平成27年4月採用より） 歳	1 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{13} = 146.15\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{19} = 5.26\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学院】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）			

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●●	●●	●●			

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]			

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●●	●●	●●	●●	●●	●●
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）		●● （●●）		●●	●●	●●		●●	
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]		●● [ ]		●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]		●● [ ]	

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）		

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●●	●●	●●	●●		

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]		

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		変更なし					
2							

合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	小坂　美鶴	R2.3	必修	感覚矯正学概論（関係法規を含む）	①	R2.3.31付けで健康上の理由により退職。（２）
				必修	言語発達心理学	①	
				必修	言語聴覚障害概論	①	
				必修	言語聴覚診断学	①	
				必修	言語聴覚診断学演習	①	
				必修	言語発達障害Ⅰ	①	
				必修	嚥下障害Ⅰ	①	
				必修	言語聴覚臨床実習Ⅰ	①	
				必修	言語聴覚臨床実習Ⅱ	①	
				必修	言語聴覚臨床実習Ⅲ	①	
				選択	地域言語聴覚学	①	
				必修	言語発達障害学演習Ⅰ	①	
				必修	言語発達障害学演習Ⅱ	①	

合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	12　科目	必修	12　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	1　科目	選択	1　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	13　科目	計	13　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	12　科目	必修	12　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	1　科目	選択	1　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	13　科目	計	13　科目	計	0　科目	計	0　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{13} = 7.69\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0	人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		変更なし				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今後の学科内体制充実のために小谷優平を助教として採用したことで、演習・実習科目に対する学生への教育の質保証を図った。教員充足率としては充実しており、段階的な教授や准教授への昇任も行えている。なお、専任教員が変更となったことについては、年度初めに行うガイダンスによって学生へ周知を図っている。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜リハビリテーション学部　言語聴覚療法学科＞

（1） 設置計画変更事項等　※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）
（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。
（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。
（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。
（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する－系統的実習教育の実現に向けた取り組み－」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学Ⅰ・Ⅱ』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　ー効果的なリメディアル教育を目指してー」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。
今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。
各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。
また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

言語聴覚療法学科は、聴覚・言語・嚥下に関わる機能と病態を理解した上で、それらの機能検査法と病態診断法の修得、障害を克服するための科学的根拠に基づくリハビリテーション（及びハビリテーション）の技術を修得させることを教育方針としており、言語聴覚障害に関する医療の向上に寄与できる言語聴覚士を養成することを目的に設置された。

入学時のガイダンスでは、効果的に初年次教育を行うため、本学の教育目標と教育目標に基づく教育課程の編成・実施方針を理解させることに取り組み、特に編成・実施方針について周知徹底を行った。

１年次（令和元年度）には、基礎医学の実習を通じて嚥下器官や聴覚器の構造と機能について深く理解させることで、科学的根拠に基づくリハビリテーション（及びハビリテーション）の技術を修得するための基礎能力を養うことが出来たと考えている。そして２年次（令和２年度）では、習得した基礎医学の知識が基となる幅広い臨床分野（嚥下障害、聴覚障害、音声言語医学、失語症、言語発達障害）についての教育を段階的に行うことができたと考えている。３年次（令和３年度）では言語聴覚療法の各分野の講義・演習（発声発語・嚥下障害学演習、聴覚障害学演習、言語発達障害学演習、失語・高次脳機能障害学演習）、実習（言語聴覚臨床実習）を通じて臨床に必要な知識と能力を習得させながら、川崎医科大学附属病院での臨床実習を実施することができたと考えている。４年次（令和４年度）には、春学期は個々の障害者の障害とニーズを把握し、適切な対応が行えることを目標として、外部の医療施設において言語聴覚障害者への臨床活動の流れを学び、評価と訓練について実習する。秋学期は、言語聴覚障害演習で計45時間程度の領域別の国家試験対策講義により国家試験合格に必要な知識を習得する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 〔 (有) ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ (公表後２～３ヶ月以内) ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 (ウェブサイトへの掲載) ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F133310109607
注３

設置年度　　平成　　31年度

計画の区分：　学部の設置
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部　　視能療法学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部

＜視能療法学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）	（ フ リ ガ ナ ） 氏　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
学 部 長	（ タネムラ　ジュン ） 種村　純 （平成31年４月）	（クニヤス　カツシ ） 國安　勝司 （令和３年４月）	人事異動のため（３）
学科長等	（オカ　マユミ ） 岡　真由美 （平成31年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
リハビリテーション学部 視能療法学科 学士（視能療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	40人	年次 —人	160人		医療技術部感覚矯正学科視能矯正専攻

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人	人 40 （ － ） [－]	人	人 40 （ － ） [－]	人	人 40 （ － ） [－]	人	人 40 （ － ） [－]	人	1.01倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	93 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	108 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	79 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	45 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	91 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	108 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	79 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	45 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	70 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	64 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	57 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	42 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	39 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	47 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	46 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	30 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A			0.97		1.17		1.15		0.75				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] (　)	[　] (　)	39 [－] (－)	－ [－] (－)	47 [－] (－)	－ [－] (－)	46 [－] (－)	－ [－] (－)	30 [－]	－ [－]	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	39 [－] (－)	－ [－] (－)	47 [－] (－)	－ [－] (－)	46 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	36 [－] (－)	－ [－] (－)	45 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	35 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] (　)		39 [－] (－)		86 [－] (－)		129 [－] (－)		156 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	39 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	86 人	2 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	2 人	0 人	就職(1人)、精神的問題(1人)、転学科(1人)を除く
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	129 人	2 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	転学科(1人)を除く
			令和2年度	2 人	0 人	精神的問題(1人)、進路変更(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	156 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 39 = 0 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 2 / 86 = 2.32 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 2 / 129 = 1.55 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 156 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜リハビリテーション学部　視能療法学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計　44　科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	36

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学**(未開講)**	1前後		2							
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								**1**
	基礎英語Ⅱ	1後	2								**1**
	英会話**(未開講)**	1前後		2							
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング**(未開講)**	1前後		2							
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論**(未開講)**	1前後		2							
	生活環境論**(未開講)**	1前		2							
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計　44　科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	**38**

専門科目	医学概論	1後	2			3					12
	解剖学	1前	1			1	1				
	解剖学実習	1後	1			1	1				
	生理学	1前	1			1	1				
	生理学実習	1後	1			1	1				
	小児病学	2前		1							5
	発達心理学	2後		2							1
	心理測定法	2後		1							1
	学習・認知心理学	2前		2							1
	臨床心理学	2後	2								1
	言語心理学	2後		2							1
	生物学実習	1前	1			1	1				
	教育心理学	1前	2								2
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	内科学	2後		2							1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前		2							3
	精神保健学	1後		2							1
	脳機能学	3前	2			1	1				
	眼科薬理学	2後	1								3
	画像診断学	3前		2							4
	視覚生理学	1後	2				1				
	生理光学	1後	2					1			
	視器の機能解剖学	1後	2			1					
	感覚矯正学概論（関係法規を含む）	1前	1			3	2				6
	リハビリテーション医学	2後		2							1
	保育	1後	2								2
	保育実習	3前	1								1
	社会福祉（含実習）	1前	2				1	1			2
	視能学概論	1前	1			3	2	1			
	基礎視能学Ⅰ	2前	2				1	1	1		1
	基礎視能学Ⅱ	2後	2			1			1		1
	基礎視能学Ⅲ	3後	1				2	1			
	基礎視能学実習	2後	1					2	1		
	視能学研究法	3前	1				1				
	生理光学実習	2前	1					1			1
	視覚生理学実習	2前	1				2	1			1
	基礎視能検査学	1後	2			2	1	1			
	視能検査学Ⅰ	2前	2			2	1	2			1
	視能検査学Ⅱ	2後	2			1	1	1			
	視能検査学Ⅲ	3前	2			1	1	1			
	視能検査学実習Ⅰ	2前	2			2	1	2	1		1
	視能検査学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	1		
	眼疾病学	1後	2			1					
	神経眼科学	3前	2			2					1
	小児眼科学	3前	1			1					2
	ロービジョン学	3前	1				1	2			5
	臨床視能学Ⅰ	3前	2			3	1	2			4
	臨床視能学Ⅱ	3後	2			2	1	1			
	臨床視能学Ⅲ	3後	1			2	1	2	1		
	視能訓練学Ⅰ	4前	1			1					1
	視能訓練学Ⅱ	4後	2			2	1	2	1		
	視能訓練学Ⅲ	4後	2			3	2	2	1		4
	臨床視能学実習Ⅰ	3前	2			2	1	2	1		1
	臨床視能学実習Ⅱ	3後	2			2	1	2	1		1
	視能臨地実習Ⅰ	2後	2				1	2	1		3
	視能臨地実習Ⅱ	3前	2			2	1	2	1		
	視能臨地実習Ⅲ	3後	3			3	1	2	1		1
	視能臨地実習Ⅳ	4前	10			3	2	2	1		
	卒業研究Ⅰ	3前	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅲ	4前	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅳ	4後	1			4	3	2	1		
	小計（64科目）	－	93	18	0	4	3	2	1	0	61
合計（108科目）		－	109	85	0	4	3	2	1	0	95

専門科目	医学概論	1後	2			2		1			11
	解剖学	1前	1								1
	解剖学実習	1後	1			1	2	1			2
	生理学	1前	1			1	1				
	生理学実習	1後	1			1	2				1
	小児病学	2前		1							4
	発達心理学	2後		2							1
	心理測定法	2後		1							3
	学習・認知心理学	2前		2							1
	臨床心理学	2後	2								2
	言語心理学	2後		2							5
	生物学実習	1前	1			1	1				2
	教育心理学	1前	2								1
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1			1	1				2
	内科学	2後		2							1
	脳・神経学	2後	2			1					
	精神医学	2前		2							2
	精神保健学	1後		2							1
	脳機能学	3前	2			1	1				
	眼科薬理学	2後	1								2
	画像診断学	3前		2							9
	視覚生理学	1後	2				1				
	生理光学	1後	2				1				
	視器の機能解剖学	1後	2			1					
	感覚矯正学概論（関係法規を含む）	1前	1			3	2				6
	リハビリテーション医学	2後		2							1
	保育	1後	2								2
	保育実習	3前	1					1	1		6
	社会福祉（含実習）	1前	2			1	2				6
	視能学概論	1前	1			4	1	2	1		
	基礎視能学Ⅰ	2前	2					1	1		1
	基礎視能学Ⅱ	2後	2			2			1		1
	基礎視能学Ⅲ	3後	1				1				
	基礎視能学実習	2後	1				1	2	1		1
	視能学研究法	3前	1				1				
	生理光学実習	2前	1				1				2
	視覚生理学実習	2前	1			1	1	1	1		1
	基礎視能検査学	1後	2			1		2	1		
	視能検査学Ⅰ	2前	2			2	1	2			
	視能検査学Ⅱ	2後	2			1					
	視能検査学Ⅲ	3前	2			1	1	2			
	視能検査学実習Ⅰ	2前	2			3	1	2	2		1
	視能検査学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	2		1
	眼疾病学	1後	2			1					
	神経眼科学	3前	2			2					
	小児眼科学	3前	1			1					2
	ロービジョン学	3前	1				2	1			5
	臨床視能学Ⅰ	3前	2			4		2	1		3
	臨床視能学Ⅱ	3後	2			2	1		1		
	臨床視能学Ⅲ	3後	1			1	1	2			
	視能訓練学Ⅰ	4前	1			1					1
	視能訓練学Ⅱ	4後	2			3	2				1
	視能訓練学Ⅲ	4後	2			2		1			3
	臨床視能学実習Ⅰ	3前	2			3	1	2	2		1
	臨床視能学実習Ⅱ	3後	2			3	1	2	2		3
	視能臨地実習Ⅰ	2後	2				1	3	2		4
	視能臨地実習Ⅱ	3前	2			2	1	2	1		
	視能臨地実習Ⅲ	3後	3			4	1	2	2		1
	視能臨地実習Ⅳ	4前	10			3	3	2	2		1
	卒業研究Ⅰ	3前	1			5	3	2	1		
	卒業研究Ⅱ	3後	1			5	3	2	1		
	卒業研究Ⅲ	4前	1			5	3	2	1		
	卒業研究Ⅳ	4後	1			5	3	2	1		
	小計（64科目）	－	93	18	0	6	3	2	2	0	70
合計（108科目）		－	109	85	0	6	3	2	2	0	117

卒業要件及び履修方法
基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。 専門科目:「専門基礎分野」から必修30単位を含む35単位以上(「医学概論」「解剖学」「解剖学実習」「生理学」「生理学実習」「小児病学」「発達心理学」「心理測定法」「学習・認知心理学」「臨床心理学」「言語心理学」から必修8単位を含む11単位以上、「生物学実習」「教育心理学」「病理学」「病理学実習」「内科学」「脳・神経学」「精神医学」「精神保健学」から必修7単位を含む9単位以上、「脳機能学」「眼科薬理学」「画像診断学」「視覚生理学」「生理光学」「視器の機能解剖学」「感覚矯正学概論(関係法規を含む)」から必修科目を含む10単位以上及び「リハビリテーション医学」「保育」「保育実習」「社会福祉(含実習)」から必修科目を含む5単位以上)、「専門分野」「卒業研究科目」から必修63単位。専門科目の卒業要件は必修93単位を含む98単位以上。 基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修109単位を含む124単位以上。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計　44　科目)	―	16	67	0	0	0	0	0	0	35

卒業要件及び履修方法
基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。 専門科目:「専門基礎分野」から必修30単位を含む35単位以上(「医学概論」「解剖学」「解剖学実習」「生理学」「生理学実習」「小児病学」「発達心理学」「心理測定法」「学習・認知心理学」「臨床心理学」「言語心理学」から必修8単位を含む11単位以上、「生物学実習」「教育心理学」「病理学」「病理学実習」「内科学」「脳・神経学」「精神医学」「精神保健学」から必修7単位を含む9単位以上、「脳機能学」「眼科薬理学」「画像診断学」「視覚生理学」「生理光学」「視器の機能解剖学」「感覚矯正学概論(関係法規を含む)」から必修科目を含む10単位以上及び「リハビリテーション医学」「保育」「保育実習」「社会福祉(含実習)」から必修科目を含む5単位以上)、「専門分野」「卒業研究科目」から必修63単位。専門科目の卒業要件は必修93単位を含む98単位以上。 基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修109単位を含む124単位以上。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計　44　科目)	―	16	67	0	0	0	0	0	0	41

専門科目	医学概論	1後	2			3					12
	解剖学	1前	1			1	1				
	解剖学実習	1後	1			2	1	1			
	生理学	1前	1			1	1				
	生理学実習	1後	1			1	1				
	小児病学	2前		1							5
	発達心理学	2後		2							1
	心理測定法	2後		1							1
	学習・認知心理学	2前		2							1
	臨床心理学	2後	2								1
	言語心理学	2後		2							1
	生物学実習	1前	1			1	1				
	教育心理学	1前	2								1
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	内科学	2後		2							1
	脳・神経学	2後	2								1
	精神医学	2前		2							3
	精神保健学	1後		2							1
	脳機能学	3前	2			1	1				
	眼科薬理学	2後	1								3
	画像診断学	3前		2							4
	視覚生理学	1後	2				1				
	生理光学	1後	2					1			
	視器の機能解剖学	1後	2			1					
	感覚矯正学概論（関係法規を含む）	1前	1			4	2				5
	リハビリテーション医学	2後		2							1
	保育	1後	2								2
	保育実習	3前	1								1
	社会福祉（含実習）	1前	2				1	1			7
	視能学概論	1前	1			3	1	3			2
	基礎視能学Ⅰ	2前	2				1	1	1		1
	基礎視能学Ⅱ	2後	2			1			1		1
	基礎視能学Ⅲ	3後	1				2	1			
	基礎視能学実習	2後	1					2	1		
	視能学研究法	3前	1				1				
	生理光学実習	2前	1					1			1
	視覚生理学実習	2前	1				2	1			1
	基礎視能検査学	1後	2			2	1	1			
	視能検査学Ⅰ	2前	2			2	1	2			1
	視能検査学Ⅱ	2後	2			1	1	1			
	視能検査学Ⅲ	3前	2			1	1	1			
	視能検査学実習Ⅰ	2前	2			2	1	2	1		1
	視能検査学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	1		
	眼疾病学	1後	2			1					
	神経眼科学	3前	2			2					1
	小児眼科学	3前	1			1					2
	ロービジョン学	3前	1				1	2			5
	臨床視能学Ⅰ	3前	2			3	1	2			4
	臨床視能学Ⅱ	3後	2			2	1	1			
	臨床視能学Ⅲ	3後	1			2	1	2	1		
	視能訓練学Ⅰ	4前	1			1					1
	視能訓練学Ⅱ	4後	2			2	1	2	1		
	視能訓練学Ⅲ	4後	2			3	2	2	1		4
	臨床視能学実習Ⅰ	3前	2			2	1	2	1		1
	臨床視能学実習Ⅱ	3後	2			2	1	2	1		1
	視能臨地実習Ⅰ	2後	2				1	2	1		3
	視能臨地実習Ⅱ	3前	2			2	1	2	1		
	視能臨地実習Ⅲ	3後	3			3	1	2	1		1
	視能臨地実習Ⅳ	4前	10			3	2	2	1		
	卒業研究Ⅰ	3前	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅲ	4前	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅳ	4後	1			4	3	2	1		
	小計（64科目）	－	93	18	0	4	3	2	1	0	64
合計（108科目）		－	109	85	0	4	3	2	1	0	96

専門科目	医学概論	1後	2			3					12
	解剖学	1前	1								1
	解剖学実習	1後	1			2	2		2		
	生理学	1前	1			1	1				
	生理学実習	1後	1			1	2		1		
	小児病学	2前		1							5
	発達心理学	2後		2							1
	心理測定法	2後		1							1
	学習・認知心理学	2前		2							1
	臨床心理学	2後	2								2
	言語心理学	2後		2							1
	生物学実習	1前	1			1	1				
	教育心理学	1前	2								1
	病理学	2前	1								1
	病理学実習	2後	1								1
	内科学	2後		2							1
	脳・神経学	2後	2			1					
	精神医学	2前		2							2
	精神保健学	1後		2							2
	脳機能学	3前	2			1	1				
	眼科薬理学	2後	1								3
	画像診断学	3前		2							4
	視覚生理学	1後	2				1				
	生理光学	1後	2					1			
	視器の機能解剖学	1後	2			1					
	感覚矯正学概論（関係法規を含む）	1前	1			4	2				5
	リハビリテーション医学	2後		2							1
	保育	1後	2								2
	保育実習	3前	1								1
	社会福祉（含実習）	1前	2				1	1	2		6
	視能学概論	1前	1			3	1	3	1		
	基礎視能学Ⅰ	2前	2					1	1		1
	基礎視能学Ⅱ	2後	2			2			1		1
	基礎視能学Ⅲ	3後	1				2	1			
	基礎視能学実習	2後	1					1	2		
	視能学研究法	3前	1				1				
	生理光学実習	2前	1					1			1
	視覚生理学実習	2前	1				2	1	1		1
	基礎視能検査学	1後	2			2	1	1			
	視能検査学Ⅰ	2前	2			2	1	2			
	視能検査学Ⅱ	2後	2			1					
	視能検査学Ⅲ	3前	2			1	1	1			
	視能検査学実習Ⅰ	2前	2			2	1	2	2		
	視能検査学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	2		
	眼疾病学	1後	2			1					
	神経眼科学	3前	2			2					1
	小児眼科学	3前	1			1					2
	ロービジョン学	3前	1				1	2			5
	臨床視能学Ⅰ	3前	2			3	1	2			4
	臨床視能学Ⅱ	3後	2			2	1	1			
	臨床視能学Ⅲ	3後	1			2	1	2	1		
	視能訓練学Ⅰ	4前	1			1					1
	視能訓練学Ⅱ	4後	2			2	1	2	1		
	視能訓練学Ⅲ	4後	2			3	2	2	1		4
	臨床視能学実習Ⅰ	3前	2			2	1	2	1		1
	臨床視能学実習Ⅱ	3後	2			2	1	2	1		1
	視能臨地実習Ⅰ	2後	2				1	3	2		2
	視能臨地実習Ⅱ	3前	2			2	1	2	1		
	視能臨地実習Ⅲ	3後	3			3	1	2	1		1
	視能臨地実習Ⅳ	4前	10			3	2	2	1		
	卒業研究Ⅰ	3前	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅲ	4前	1			4	3	2	1		
	卒業研究Ⅳ	4後	1			4	3	2	1		
	小計（64科目）	－	93	18	0	5	3	2	2	0	67
合計（108科目）		－	109	85	0	5	3	2	2	0	107

卒業要件及び履修方法
基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。 専門科目:「専門基礎分野」から必修30単位を含む35単位以上(「医学概論」「解剖学」「解剖学実習」「生理学」「生理学実習」「小児病学」「発達心理学」「心理測定法」「学習・認知心理学」「臨床心理学」「言語心理学」から必修8単位を含む11単位以上、「生物学実習」「教育心理学」「病理学」「病理学実習」「内科学」「脳・神経学」「精神医学」「精神保健学」から必修7単位を含む9単位以上、「脳機能学」「眼科薬理学」「画像診断学」「視覚生理学」「生理光学」「視器の機能解剖学」「感覚矯正学概論(関係法規を含む)」から必修科目を含む10単位以上及び「リハビリテーション医学」「保育」「保育実習」「社会福祉(含実習)」から必修科目を含む5単位以上)、「専門分野」「卒業研究科目」から必修63単位。専門科目の卒業要件は必修93単位を含む98単位以上。 基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修109単位を含む124単位以上。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

卒業要件及び履修方法
基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。 専門科目:「専門基礎分野」から必修30単位を含む35単位以上(「医学概論」「解剖学」「解剖学実習」「生理学」「生理学実習」「小児病学」「発達心理学」「心理測定法」「学習・認知心理学」「臨床心理学」「言語心理学」から必修8単位を含む11単位以上、「生物学実習」「教育心理学」「病理学」「病理学実習」「内科学」「脳・神経学」「精神医学」「精神保健学」から必修7単位を含む9単位以上、「脳機能学」「眼科薬理学」「画像診断学」「視覚生理学」「生理光学」「視器の機能解剖学」「感覚矯正学概論(関係法規を含む)」から必修科目を含む10単位以上及び「リハビリテーション医学」「保育」「保育実習」「社会福祉(含実習)」から必修科目を含む5単位以上)、「専門分野」「卒業研究科目」から必修63単位。専門科目の卒業要件は必修93単位を含む98単位以上。 基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修109単位を含む124単位以上。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（　44　科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	42

専門科目	医学概論	1後	2			2						12
	解剖学	1前	1									1
	解剖学実習	1後	1			2	2					2
	生理学	1前	1			1	1					
	生理学実習	1後	1			1	2					1
	小児病学	2前		1								5
	発達心理学	2後		2								1
	心理測定法	2後		1								1
	学習・認知心理学	2前		2								1
	臨床心理学	2後	2									2
	言語心理学	2後		2								5
	生物学実習	1前	1			1	1					1
	教育心理学	1前	2									1
	病理学	2前	1									1
	病理学実習	2後	1									1
	内科学	2後		2								1
	脳・神経学	2後	2			1						
	精神医学	2前		2								2
	精神保健学	1後		2								1
	脳機能学	3前	2			1	1					
	眼科薬理学	2後	1									2
	画像診断学	3前		2								9
	視覚生理学	1後	2				1					
	生理光学	1後	2					1				
	視器の機能解剖学	1後	2			1						
	感覚矯正学概論（関係法規を含む）	1前	1			2	3					6
	リハビリテーション医学	2後		2								1
	保育	1後	2									2
	保育実習	3前	1					1				6
	社会福祉（含実習）	1前	2				1	1	2			6
	視能学概論	1前	1			3	1	3	1			
	基礎視能学Ⅰ	2前	2					1	1			1
	基礎視能学Ⅱ	2後	2			2			1			1
	基礎視能学Ⅲ	3後	1				1					
	基礎視能学実習	2後	1					2	3			
	視能学研究法	3前	1				1					
	生理光学実習	2前	1					1				1
	視覚生理学実習	2前	1				2		2			1
	基礎視能検査学	1後	2			1	1	1	1			
	視能検査学Ⅰ	2前	2			1	1	2	1			
	視能検査学Ⅱ	2後	2			1						
	視能検査学Ⅲ	3前	2			1		2	1			
	視能検査学実習Ⅰ	2前	2			2	1	2	3			
	視能検査学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	3			
	眼疾病学	1後	2			1						
	神経眼科学	3前	2			2						
	小児眼科学	3前	1			1						2
	ロービジョン学	3前	1				1	2				5
	臨床視能学Ⅰ	3前	2			3	1	1	1			3
	臨床視能学Ⅱ	3後	2			2	1		1			
	臨床視能学Ⅲ	3後	1				1	2	1			
	視能訓練学Ⅰ	4前	1			1						1
	視能訓練学Ⅱ	4後	2			2	1	2	1			
	視能訓練学Ⅲ	4後	2			3	2	2	1			4
	臨床視能学実習Ⅰ	3前	2			2	1	2	3			
	臨床視能学実習Ⅱ	3後	2			2	1	2	3			
	視能臨地実習Ⅰ	2後	2				1	3	3			2
	視能臨地実習Ⅱ	3前	2			1	1	2	2			
	視能臨地実習Ⅲ	3後	3			3	1	2	2			
	視能臨地実習Ⅳ	4前	10			3	2	2	1			
	卒業研究Ⅰ	3前	1			4	3	2	2			
	卒業研究Ⅱ	3後	1			4	3	2	2			
	卒業研究Ⅲ	4前	1			4	3	2	1			
	卒業研究Ⅳ	4後	1			4	3	2	1			
	小計（64科目）	－	93	18	0	5	3	2	3	0		70
合計（108科目）		－	109	85	0	5	3	2	3	0		111

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「国際コミュニケーション分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目：「専門基礎分野」から必修30単位を含む35単位以上（「医学概論」「解剖学」「解剖学実習」「生理学」「生理学実習」「小児病学」「発達心理学」「心理測定法」「学習・認知心理学」「臨床心理学」「言語心理学」から必修8単位を含む11単位以上、「生物学実習」「教育心理学」「病理学」「病理学実習」「内科学」「脳・神経学」「精神医学」「精神保健学」から必修7単位を含む9単位以上、「脳機能学」「眼科薬理学」「画像診断学」「視覚生理学」「生理光学」「視器の機能解剖学」「感覚矯正学概論(関係法規を含む)」から必修科目を含む10単位以上及び「リハビリテーション医学」「保育」「保育実習」「社会福祉(含実習)」から必修科目を含む5単位以上）、「専門分野」「卒業研究科目」から必修63単位。専門科目の卒業要件は必修93単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修109単位を含む124単位以上。
（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を
黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・教育内容充実のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・退職のため、「教育心理学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「感覚矯正学概論（関係法規を含む）」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・兼６」から「教授４・准教授２・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・兼２」から「准教授１・講師１・兼７」に変更。
・配置変更のため、「視能学概論」の専任教員等の配置を「教授３・准教授２・講師１」から「教授３・准教授１・講師３・兼２」に変更。

【令和2年度】

・配置変更のため、「解剖学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師1」から「教授2・准教授2・助教2」に変更。
・教育内容充実のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授2・助教1」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床心理学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「脳・神経学」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・配置変更のため、「精神医学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1・兼7」から「准教授1・講師1・助教2・兼6」に変更。
・配置変更のため、「視能学概論」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師3・兼2」から「教授3・准教授1・講師3・助教1」に変更。
・配置変更のため、「基礎視能学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1・助教1・兼1」から「講師1・助教1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「基礎視能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・助教1・兼1」から「教授2・助教1・兼1」に変更。
・配置変更のため、「基礎視能学実習」の専任教員等の配置を「講師2・助教1」から「講師1・助教2」に変更。
・教育内容充実のため、「視覚生理学実習」の専任教員等の配置を「准教授2・講師1・兼1」から「准教授2・講師1・助教1・兼1」に変更。
・配置変更のため、「視能検査学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1」に変更。
・配置変更のため、「視能検査学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教1・兼1」から「教授2・准教授1・講師2・助教2」に変更。
・教育内容充実のため、「視能検査学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2・助教1」から「教授1・准教授1・講師2・助教2」に変更。
・教育内容充実のため、「視能臨地実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・講師2・助教1・兼3」から「准教授1・講師3・助教2・兼2」に変更。

【令和3年度】

・教員変更のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授3・兼12」から「教授2・兼12」に変更。
・教員変更のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2・助教2」から「教授2・准教授2・助教2」に変更。
・教員変更のため、「生理学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2・助教1」から「教授1・准教授2・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「言語心理学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
・教育内容充実のため、「生物学実習」の専任教員等の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
・教員変更のため、「精神保健学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教員変更のため、「眼科薬理学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「画像診断学」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼9」に変更。
・教員変更のため「感覚矯正学概論（関係法規を含む）」の専任教員等の配置を「教授4・准教授2・兼5」から「教授2・准教授3・兼6」に変更。
・教育内容充実のため、「保育実習」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1・兼6」に変更。
・教員変更のため「基礎視能学Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授2・講師1」から「准教授1」に変更。
・教育内容充実のため、「基礎視能学実習」の専任教員等の配置を「講師1・助教2」から「講師2・助教3」に変更。
・教員変更のため「視覚生理学実習」の専任教員等の配置を「准教授2・講師1・助教1・兼1」から「准教授2・助教2・兼1」に変更。
・教員変更のため「基礎視能検査学」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師1」から「教授1・准教授1・講師1・助教1」に変更。
・教員変更のため「視能検査学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2」から「教授1・准教授1・講師2・助教1」に変更。
・教育内容充実のため、「視能検査学Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・講師2・助教1」に変更。
・教育内容充実のため、「視能検査学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教2」から「教授2・准教授1・講師2・助教3」に変更。
・教育内容充実のため、「視能検査学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2・助教2」から「教授1・准教授1・講師2・助教3」に変更。
・教員変更のため「神経眼科学」の専任教員等の配置を「教授2・助教1」から「教授2」に変更。
・教員変更のため「臨床視能学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師2・兼4」から「教授3・准教授1・講師1・助教1・兼3」に変更。
・教員変更のため「臨床視能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師1」から「教授2・准教授1・助教1」に変更。
・教員変更のため「臨床視能学Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教1」から「准教授1・講師2・助教1」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床視能学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教1・兼1」から「教授2・准教授1・講師2・助教3」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床視能学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教1・兼1」から「教授2・准教授1・講師2・助教3」に変更。
・教育内容充実のため、「視能臨地実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3・助教2・兼2」から「准教授1・講師3・助教3・兼2」に変更。
・教員変更のため「視能臨地実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教1」から「教授1・准教授1・講師2・助教2」に変更。
・教員変更のため「視能臨地実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師2・助教1・兼1」から「教授3・准教授1・講師2・助教2」に変更。
・教育内容充実のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師2・助教1」から「教授4・准教授3・講師2・助教2」に変更。
・教育内容充実のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師2・助教1」から「教授4・准教授3・講師2・助教2」に変更。

【令和4年度】

・開講科目数削減のため、「基礎英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・開講科目数削減のため、「基礎英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・教員変更のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「教授2・兼12」から「教授2・講師1・兼11」に変更。
・教員変更のため、「解剖学実習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2・兼2」から「教授1・准教授2・講師1・兼2」に変更。
・教員変更のため、「小児病学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
・教育内容充実のため、「心理測定法」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・教育内容充実のため、「生物学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼1」から「教授1・准教授1・兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「生物学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼1」から「教授1・准教授1・兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「病理学実習」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1・准教授1・兼2」に変更。
・昇任のため、「生理光学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・昇任のため、「感覚矯正学概論（関係法規を含む）」の専任教員等の配置を「教授2・准教授3・兼6」から「教授3・准教授2・兼6」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「社会福祉（含実習）」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1・助教2・兼6」から「教授1・准教授2・兼6」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「視能学概論」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師3・助教1」から「教授4・准教授1・講師2・助教2」に変更。
・昇任及び教員変更「基礎視能学実習」の専任教員等の配置を「講師2・助教3」から「准教授1・講師2・助教1・兼1」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「生理光学実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「准教授1・兼2」に変更。
・昇任のため、「視覚生理学実習」の専任教員等の配置を「准教授2・助教2・兼1」から「教授1・准教授1・講師1・助教1・兼1」に変更。
・教員変更のため、「基礎視能検査学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・助教1」から「教授1・講師2・助教1」に変更。
・昇任のため、「視能検査学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2・助教1」か「教授2・准教授1・講師2」に変更。
・教員変更のため、「視能検査学Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1・講師2・助教1」か「教授1・准教授1・講師2」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「視能検査学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教3」から「教授3・准教授1・講師2・助教2・兼1」に変更。
・教員変更のため、「視能検査学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2・助教3」から「教授1・准教授1・講師2・助教2・兼1」に変更。
・昇任のため、「ロービジョン学」の専任教員等の配置を「准教授1・講師2・兼5」から「准教授2・講師1・兼5」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床視能学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師1・助教1・兼3」から「教授4・講師2・助教1・兼3」に変更。
・昇任のため、「臨床視能学Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1・講師2・助教1」から「教授1・准教授1・講師2」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「視能訓練学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教1」から「教授3・准教授2・兼1」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「視能訓練学Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授2・講師2・助教1・兼4」から「教授2・講師1・兼3」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床視能学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教3」から「教授3・准教授1・講師2・助教2・兼1」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「臨床視能学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・講師2・助教3」から「教授3・准教授1・講師2・助教2・兼3」に変更。
・教育内容充実のため、「視能臨地実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3・助教3・兼2」から「准教授1・講師3・助教2・兼4」に変更。

・昇任のため、「視能臨地実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2・助教2」から「教授2・准教授1・講師2・助教1」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「視能臨地実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師2・助教2」から「教授4・准教授1・講師2・助教1・兼1」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「視能臨地実習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授3・准教授2・講師2・助教1」から「教授3・准教授3・講師2・助教2・兼1」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師2・助教2」から「教授5・准教授3・講師2・助教1」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師2・助教2」から「教授5・准教授3・講師2・助教1」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師2・助教1」から「教授5・准教授3・講師2・助教1」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授4・准教授3・講師2・助教1」から「教授5・准教授3・講師2・助教1」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
63 科目	45 科目	0 科目	108 科目	63 科目 [0]	45 科目 [0]	0 科目 [0]	108 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	経済学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
2	英会話	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
3	英語リーディング	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
4	情報学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
5	生活環境論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年度より基礎教育科目のカリキュラム改正に伴う科目の未開講について、令和3年度履修登録時に学生には周知済み。また、既存の学生の単位修得状況を確認し、他開講科目で充足可能と判断した。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{108} = \boxed{4.62}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	

(2) 校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0 ㎡)	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため (2)(3) 職員構成変更のため (4) 大学全体
	50室 ~~48室~~	49室 ~~45室~~ ~~46室~~	130室 ~~132室~~ ~~135室~~	4室 ~~2室~~ (補助職員5人 ~~4人 1人~~)	2室 (補助職員3人 ~~2人 1人~~)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	
	リハビリテーション学部　視能療法学科	10 ~~8~~ ~~7~~ 室	1室を2名で使用する場合がある 教員構成変更のため (2) (4)

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	リハビリテーション学部 視能療法学科	5,161〔1,221〕 (5,303〔1,230〕) ~~(5,247〔1,223〕)~~ ~~(5,518〔1,219〕)~~ ~~(5,141〔1,199〕)~~ ~~(5,161〔1,221〕)~~	22〔11〕 (22〔11〕) ~~(21〔10〕)~~ ~~(22〔11〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	9 (9)	2,149 ~~2,231~~ (1,944) ~~(2,029)~~ ~~(2,094)~~ ~~(2,149)~~ ~~(2,231)~~	59 ~~66~~ (51) ~~(58)~~ ~~(59)~~ ~~(66)~~	電子ジャーナルは大学全体 既存備品の整理と拡充を図ったため（元） (2) (3) (4)
	計	5,161〔1,221〕 (5,303〔1,230〕) ~~(5,247〔1,223〕)~~ ~~(5,518〔1,219〕)~~ ~~(5,141〔1,199〕)~~ ~~(5,161〔1,221〕)~~	22〔11〕 (22〔11〕) ~~(21〔10〕)~~ ~~(22〔11〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	9 (9)	2,149 ~~2,231~~ (1,944) ~~(2,029)~~ ~~(2,094)~~ ~~(2,149)~~ ~~(2,231)~~	59 ~~66~~ (51) ~~(58)~~ ~~(59)~~ ~~(66)~~	

(6) 図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	2,482.94㎡	606	210,275	

(7) 体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52 ㎡ 第２武道場　262.11 ㎡	温水プール　25ｍ×7コース

大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員１人当り研究費等	528千円	664千円 ~~558千円~~ ~~485千円~~	図書購入費	― 千円	3,692千円	3,692千円
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	10,000千円	5,000千円	5,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,700 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

共同研究費は大学全体
図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む
教員構成変更のため (2) (4)

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士（医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士（臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士（子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士（保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士（保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士（理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士（作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士（言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士（視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士（臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士（診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士（臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士（臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士（健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士（医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士 （臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士 （医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士 （医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士 （医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学部	6	126	－	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	－	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	－	752	学士 （医学）	1.00	1.00	－	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	
医学研究科	4	25	－	100	博士	0.63	0.88	－	昭和51		
医科学専攻	4	25	－	100	（医学）	0.63	0.88	－	昭和51		
大学院全体	－	25	－	100	－	0.63	0.88	－	－		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	―	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	―	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	―	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜リハビリテーション学部　視能療法学科＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	岡　真由美 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 神経眼科学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	高崎　裕子 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視能学概論 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	彦坂　和雄 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 解剖学 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	三木　淳司 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視器の機能解剖学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 眼疾病学 神経眼科学 小児眼科学 臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	岡　真由美 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 神経眼科学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	高崎　裕子 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視能学概論 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**
専任	教授	彦坂　和雄 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 解剖学 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	三木　淳司 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視器の機能解剖学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 眼疾病学 神経眼科学 小児眼科学 臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	岡　真由美 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 神経眼科学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習** **基礎視能学Ⅱ**
専任	教授	高崎　裕子 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視能学概論 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**
専任	教授	彦坂　和雄 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 **解剖学** 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	三木　淳司 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視器の機能解剖学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 眼疾病学 神経眼科学 小児眼科学 臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	岡　真由美 （54） ＜平成31年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能検査学 ~~視能検査学Ⅰ~~ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 神経眼科学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ **臨床視能学Ⅲ** 視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習** **基礎視能学Ⅱ** **医学概論**
専任	教授	高崎　裕子 （67） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	**医学概論** 視能学概論 **基礎視能検査学** 視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ **臨床視能学Ⅲ** 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ ~~視能臨地実習Ⅱ~~ **視能臨地実習Ⅲ** 視能臨地実習Ⅳ ~~卒業研究Ⅰ~~ ~~卒業研究Ⅱ~~ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習** ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~
専任	教授	彦坂　和雄 （67） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	**医学概論** **解剖学** 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	教授	三木　淳司 （54） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視器の機能解剖学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 眼疾病学 神経眼科学 小児眼科学 臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

【令和4年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	岡　真由美 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 **基礎視能検査学** ~~視能検査学Ⅰ~~ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 神経眼科学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ **臨床視能学Ⅲ** 視能訓練学Ⅰ ~~視能訓練学Ⅱ~~ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **解剖学実習** **基礎視能学Ⅱ** **医学概論**
専任	教授	高崎　裕子 （68） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	**医学概論** 視能学概論 **基礎視能検査学** 視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ **臨床視能学Ⅲ** 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ ~~視能臨地実習Ⅱ~~ **視能臨地実習Ⅲ** 視能臨地実習Ⅳ ~~卒業研究Ⅰ~~ ~~卒業研究Ⅱ~~ **卒業研究Ⅲ** **卒業研究Ⅳ** **解剖学実習** ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ **社会福祉（含実習）**
専任	教授	彦坂　和雄 （68） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	**医学概論** **解剖学** 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **病理学実習**
専任	教授	三木　淳司 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論 視器の機能解剖学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 眼疾病学 神経眼科学 小児眼科学 臨床視能学Ⅰ **視能訓練学Ⅲ** 視能臨地実習Ⅲ **視能臨地実習Ⅳ** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **視能訓練学Ⅱ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	河本　けい(健一郎) (48) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	視覚生理学 社会福祉（含実習） 視能学概論 基礎視能学Ⅲ 視能学研究法 視覚生理学実習 ロービジョン学 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	細川　貴之 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	解剖学 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	山下　力 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅲ 視覚生理学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	河本　けい(健一郎) (48) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	視覚生理学 社会福祉（含実習） **視能学概論** 基礎視能学Ⅲ 視能学研究法 視覚生理学実習 ロービジョン学 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	細川　貴之 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	解剖学 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	山下　力 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅲ 視覚生理学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		村上　龍文 **(62)** **＜令和2年4月＞** **博士（医学）**	
専任	**教授**		**脳・神経学**
専任	准教授	河本　けい(健一郎) (49) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	視覚生理学 社会福祉（含実習） **視能学概論** 基礎視能学Ⅲ 視能学研究法 視覚生理学実習 ロービジョン学 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **生理学実習**
専任	准教授	細川　貴之 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	**解剖学** 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	准教授	山下　力 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 ~~基礎視能学Ⅰ~~ 基礎視能学Ⅲ 視覚生理学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ ~~視能検査学Ⅱ~~ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		村上　龍文 **(63)** **＜令和2年4月＞** **博士（医学）**	
専任	**教授**		**脳・神経学** **視能臨地実習Ⅲ** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ**
専任	准教授	河本　けい(健一郎) (50) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	視覚生理学 社会福祉（含実習） **視能学概論** 基礎視能学Ⅲ 視能学研究法 視覚生理学実習 ロービジョン学 視能訓練学Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **生理学実習** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）**
専任	准教授	細川　貴之 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	**解剖学** 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **臨床視能学Ⅱ**
専任	准教授	山下　力 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 ~~基礎視能学Ⅰ~~ ~~基礎視能学Ⅲ~~ 視覚生理学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ ~~視能検査学Ⅱ~~ ~~視能検査学Ⅲ~~ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅰ ~~臨床視能学Ⅱ~~ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		村上　龍文 **(64)** **＜令和2年4月＞** **博士（医学）**	
専任	**教授**		**脳・神経学** **視能臨地実習Ⅲ** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **卒業研究Ⅲ** **卒業研究Ⅳ**
専任	准教授	河本　けい(健一郎) (51) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	視覚生理学 社会福祉（含実習） **視能学概論** 基礎視能学Ⅲ 視能学研究法 視覚生理学実習 ロービジョン学 **視能訓練学Ⅲ** 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **生理学実習** **感覚矯正学概論（関係法規を含む）** **視能訓練学Ⅱ**
専任	准教授	細川　貴之 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	**解剖学** 解剖学実習 生理学 生理学実習 生物学実習 脳機能学 感覚矯正学概論（関係法規を含む） 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **臨床視能学Ⅱ** **病理学実習** **視能臨地実習Ⅳ** **視能訓練学Ⅱ**
専任	准教授	山下　力 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 視能学概論 ~~基礎視能学Ⅰ~~ ~~基礎視能学Ⅲ~~ 視覚生理学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ ~~視能検査学Ⅱ~~ ~~視能検査学Ⅲ~~ 視能検査学実習Ⅰ ~~視能検査学実習Ⅱ~~ 臨床視能学Ⅰ **臨床視能学Ⅱ** 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ ~~視能訓練学Ⅲ~~ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ ~~視能臨地実習Ⅰ~~ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ **解剖学実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	林　泰子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	視能学概論 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅲ 基礎視能学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	講師	米田　剛 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理光学 社会福祉（含実習） 基礎視能学実習 生理光学実習 視覚生理学実習 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専任	助教	田邉　聖 (44) ＜令和2年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 基礎視能学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	林　泰子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	視能学概論 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅲ 基礎視能学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 解剖学実習
専任	講師	米田　剛 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理光学 社会福祉（含実習） 基礎視能学実習 生理光学実習 視覚生理学実習 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論
専任	助教	田邉　聖 (43) ＜平成2年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 基礎視能学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論 社会福祉（含実習）
兼担	助教	田邉　聖 (43) ＜平成31年4月＞ 修士（感覚矯正学）	視能学概論 社会福祉（含実習）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	林　泰子 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	視能学概論 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅲ 基礎視能学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅱ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 解剖学実習
専任	講師	米田　剛 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理光学 社会福祉（含実習） 基礎視能学実習 生理光学実習 視覚生理学実習 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論
専任	助教	田邉　聖 (44) ＜令和2年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 基礎視能学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論 社会福祉（含実習）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	林　泰子 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	視能学概論 基礎視能学Ⅰ ~~基礎視能学Ⅱ~~ 基礎視能学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ ~~視能検査学Ⅱ~~ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 解剖学実習 視能検査学Ⅲ 保育実習
専任	講師	米田　剛 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理光学 社会福祉（含実習） ~~基礎視能学実習~~ 生理光学実習 ~~視覚生理学実習~~ 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 ~~臨床視能学Ⅰ~~ ~~臨床視能学Ⅱ~~ 臨床視能学Ⅲ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論
専任	助教	田邉　聖 (45) ＜令和2年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 基礎視能学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ~~臨床視能学Ⅲ~~ 視能訓練学Ⅱ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論 社会福祉（含実習） 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	林　泰子 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	視能学概論 基礎視能学Ⅰ ~~基礎視能学Ⅱ~~ 基礎視能学実習 基礎視能検査学 視能検査学Ⅰ ~~視能検査学Ⅱ~~ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ ~~視能訓練学Ⅱ~~ 視能訓練学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 解剖学実習 ~~視能検査学Ⅲ~~ 保育実習 医学概論
専任	准教授	米田　剛 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理光学 社会福祉（含実習） ~~基礎視能学実習~~ 生理光学実習 ~~視覚生理学実習~~ 視能検査学Ⅰ 視能検査学Ⅲ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ロービジョン学 ~~臨床視能学Ⅰ~~ ~~臨床視能学Ⅱ~~ 臨床視能学Ⅲ ~~視能訓練学Ⅱ~~ ~~視能訓練学Ⅲ~~ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論 解剖学実習
専任	助教	田邉　聖 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ ~~基礎視能学実習~~ 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ ~~臨床視能学Ⅲ~~ ~~視能訓練学Ⅱ~~ ~~視能訓練学Ⅲ~~ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 視能学概論 社会福祉（含実習） 臨床視能学Ⅰ 臨床視能学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	井上　桂子 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論
兼担	教授	伊禮　功 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病理学 病理学実習 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	宇野　雅子 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	柏原　洋子 （61） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング
兼担	教授	北中　明 （55） ＜令和2年4月＞ 医学博士	内科学
兼担	教授	姜　波 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	小坂　美鶴 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	塩見　将志 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	進藤　貴子 （54） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	医学概論 視能訓練学Ⅲ
兼担	教授	田口　豊郁 （65） ＜平成31年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （50） ＜令和2年4月＞ 博士（臨床心理学）	発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	井上　桂子 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論
兼担	教授	伊禮　功 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病理学 病理学実習 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~
兼担	教授	宇野　雅子 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	柏原　洋子 （61） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング
兼担	教授	北中　明 （54） ＜令和2年4月＞ 医学博士	内科学
兼担	教授	姜　波 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	小坂　美鶴 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	塩見　将志 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	進藤　貴子 （54） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	医学概論 視能訓練学Ⅲ
兼担	教授	田口　豊郁 （65） ＜平成31年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （49） ＜令和2年4月＞ 博士（臨床心理学）	発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	藤原　篤之 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	社会福祉（含実習） 基礎視能学実習 視覚生理学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ
兼担	教授	飯田　淳子 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	井上　桂子 （67） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論
兼担	教授	伊禮　功 （54） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病理学 病理学実習 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~
兼担	教授	柏原　洋子 （62） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ ~~実践英会話~~ 英語インテンシブリーディング 英語リーディング
兼担	教授	北中　明 （55） ＜令和2年4月＞ 医学博士	内科学
兼担	教授	姜　波 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	塩見　将志 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	進藤　貴子 （55） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	医学概論 視能訓練学Ⅲ
兼担	教授	田口　豊郁 （66） ＜平成31年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （50） ＜令和2年4月＞ 博士（臨床心理学）	発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	藤原　篤之 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	社会福祉（含実習） 基礎視能学実習 視覚生理学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 基礎視能検査学 視能検査学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能検査学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	大内　遼央 （24） ＜令和3年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学実習 視覚生理学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ
兼担	教授	飯田　淳子 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	井上　桂子 （68） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	医学概論
兼担	教授	伊禮　功 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病理学 病理学実習 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~
兼担	教授	柏原　洋子 （63） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ ~~実践英会話~~ 英語インテンシブリーディング 英語リーディング
兼担	教授	北中　明 （56） ＜令和2年4月＞ 医学博士	内科学
兼担	教授	姜　波 （62） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	塩見　将志 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	進藤　貴子 （56） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	医学概論 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	田口　豊郁 （67） ＜平成31年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武井　祐子 （51） ＜令和2年4月＞ 博士（臨床心理学）	発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	藤原　篤之 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	~~社会福祉（含実習）~~ 基礎視能学実習 視覚生理学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 基礎視能検査学 視能検査学Ⅲ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅲ 視能検査学Ⅰ 臨床視能学Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 解剖学実習 臨床視能学Ⅰ 視能臨地実習Ⅳ 卒業研究Ⅳ
専任	助教	大内　遼央 （25） ＜令和3年4月＞ 修士（感覚矯正学）	基礎視能学実習 視覚生理学実習 視能検査学実習Ⅰ 視能検査学実習Ⅱ 臨床視能学実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ 視能臨地実習Ⅰ 保育実習 基礎視能検査学 視能臨地実習Ⅲ 視能臨地実習Ⅳ
兼担	教授	飯田　淳子 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	伊禮　功 （56） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	病理学 病理学実習 ~~感覚矯正学概論（関係法規を含む）~~
兼担	教授	柏原　洋子 （64） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ ~~実践英会話~~ 英語インテンシブリーディング 英語リーディング
兼担	教授	北中　明 （57） ＜令和2年4月＞ 医学博士	内科学
兼担	教授	姜　波 （63） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	塩見　将志 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	進藤　貴子 （57） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	医学概論 視能訓練学Ⅲ
兼担	教授	武井　祐子 （52） ＜令和2年4月＞ 博士（臨床心理学）	発達心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	竹田（国光）　恵子 （57） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	谷原　弘之 （56） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	教育心理学
兼担	教授	種村　純 （66） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法
兼担	教授	寺本　房子 （67） 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	医学概論
兼担	教授	野澤　亮平 （64） 〈平成31年4月〉 理学博士	統計学
兼担	教授	橋本　勇人 （59） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	林　明弘 （60） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼担	教授	平井　敏弘 （68） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論 医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （47） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 リハビリテーション医学
兼担	教授	福岡　欣治 （50） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	福永　真哉 （55） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論
兼担	教授	保野　孝弘 （58） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （69） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	升野　光雄 （62） 〈令和2年4月〉 医学博士	小児病学
兼担	教授	虫明　基 （69） 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	矢野　博己 （53） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） 〈平成31年4月〉 修士（比較文化）	英会話 英語リーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	竹田（国光）　恵子 （57） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授		
兼担	教授	種村　純 （66） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法
兼担	教授	寺本　房子 （67） 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	医学概論
兼担	教授	野澤　亮平 （64） 〈平成31年4月〉 理学博士	統計学
兼担	教授	橋本　勇人 （59） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	林　明弘 （60） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼任	講師	平井　敏弘 （68） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論 医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （47） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 リハビリテーション医学
兼担	教授	福岡　欣治 （50） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	福永　真哉 （55） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論
兼担	教授	保野　孝弘 （58） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （69） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	升野　光雄 （61） 〈令和2年4月〉 医学博士	小児病学
兼担	教授	虫明　基 （69） 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	矢野　博己 （53） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） 〈平成31年4月〉 修士（比較文化）	英会話 英語リーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	竹田（国光）　恵子 （58） 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授		
兼担	教授	種村　純 （67） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法
兼担	教授	寺本　房子 （68） 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	医学概論
兼担	教授	橋本　勇人 （60） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	林　明弘 （61） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼任	講師	平井　敏弘 （69） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論 医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （48） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 リハビリテーション医学
兼担	教授	福岡　欣治 （51） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	福永　真哉 （56） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 社会福祉（含実習）
兼担	教授	保野　孝弘 （59） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （70） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	升野　光雄 （62） 〈令和2年4月〉 医学博士	小児病学
兼担	教授	矢野　博己 （54） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	宮川　健 （59） 〈令和2年4月〉 博士（教育学）	医療福祉学概論 医療と福祉
兼担	教授	杉原　尚 （68） 〈令和2年4月〉 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	長崎　和則 （61） 〈令和2年4月〉 文学修士	精神保健学
兼担	教授	園田　祐治 （52） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	解剖学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	種村　純 （68） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法 言語心理学
兼担	教授	寺本　房子 （69） 〈平成31年4月〉 博士（栄養学）	医学概論
兼担	教授	橋本　勇人 （61） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	林　明弘 （62） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼任	講師	平井　敏弘 （70） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論 医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （49） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 リハビリテーション医学
兼担	教授	福岡　欣治 （52） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	福永　真哉 （57） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 社会福祉（含実習）
兼担	教授	保野　孝弘 （60） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （71） 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	升野　光雄 （63） 〈令和2年4月〉 医学博士	小児病学
兼担	教授	矢野　博己 （55） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	宮川　健 （60） 〈令和2年4月〉 博士（教育学）	医療福祉学概論 医療と福祉
兼担	教授	園田　祐治 （53） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	解剖学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	種村　純 （69） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論 医学概論 心理測定法 言語心理学
兼担	教授	橋本　勇人 （62） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	教授	林　明弘 （63） 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼任	講師	平井　敏弘 （71） 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論 医学概論
兼担	教授	平岡　崇 （50） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 リハビリテーション医学
兼担	教授	福岡　欣治 （53） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	福永　真哉 （58） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	医学概論 社会福祉（含実習）
兼担	教授	保野　孝弘 （61） 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	升野　光雄 （64） 〈令和2年4月〉 医学博士	小児病学
兼担	教授	矢野　博己 （56） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	宮川　健 （61） 〈令和2年4月〉 博士（教育学）	医療福祉学概論 医療と福祉
兼担	教授	園田　祐治 （54） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	解剖学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） ＜平成31年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	小原　謙一 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	医学概論
兼担	准教授	澤原　光彦 （61） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学
兼担	准教授	竹中　麻由美 （58） ＜平成31年4月＞ 社会学修士	医学概論
兼担	准教授	田中　順子 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	中川　智之 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）	保育
兼担	准教授	八田　徳高 （57） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	准教授	福島　康弘 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	山内　泰子 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） ＜平成31年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	小原　謙一 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	澤原　光彦 （60） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	准教授	田中　順子 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	中川　智之 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）	保育
兼担	准教授	八田　徳高 （57） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 社会福祉（含実習）
兼担	准教授	福島　康弘 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	教授	山内　泰子 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	文谷　知明 （61） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習
兼担	准教授	小原　謙一 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	澤原　光彦 （61） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	教授	田中　順子 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （53） ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	中川　智之 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）	保育
兼担	准教授	八田　徳高 （57） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 社会福祉（含実習）
兼担	准教授	福島　康弘 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	山内　泰子 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	土家　禎夫 （62） ＜令和2年4月＞ 学士（理学）	数学
兼担	准教授	矢納　陽 （47） ＜令和2年4月＞ 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	太田　信子 （59） ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	文谷　知明 （62） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習
兼担	教授	荒尾　信一 （55） ＜令和3年4月＞ 学士（保健衛生学）	画像診断学
兼担	教授	小野（木村）　敏 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	画像診断学
兼担	教授	宮本　修 （65） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	入門医学概論
兼担	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	画像診断学
兼担	教授	米谷　正造 （60） ＜令和3年4月＞ 教育学修士	健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	教授	小原　謙一 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（保健学）	医学概論
兼担	教授	澤原　光彦 （62） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	教授	田中　順子 （62） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （54） ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	教授	中川　智之 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）	保育 保育実習
兼担	准教授	八田　徳高 （59） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 社会福祉（含実習）
兼担	教授	福島　康弘 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	山内　泰子 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	土家　禎夫 （63） ＜令和2年4月＞ 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 （48） ＜令和2年4月＞ 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	太田　信子 （59） ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	文谷　知明 （63） ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習
兼担	教授	荒尾　信一 （56） ＜令和3年4月＞ 学士（保健衛生学）	画像診断学
兼担	教授	小野（木村）　敏 （60） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	画像診断学
兼担	教授	三村　浩朗 （62） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	画像診断学
兼担	教授	米谷　正造 （61） ＜令和3年4月＞ 教育学修士	健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	教授	杉原　尚 （68） ＜令和4年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	武政　睦子 （59） ＜令和4年4月＞ 博士（健康科学）	医学概論
兼担	教授	泰山　浩司 （65） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	生物学
兼担	教授	澤原　光彦 （63） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	精神医学
兼担	教授	竹中　麻由美 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	医学概論
兼担	教授	田中　順子 （63） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （55） ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	教授	中川　智之 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）	保育 保育実習
兼担	准教授	八田　徳高 （60） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 社会福祉（含実習）
兼担	教授	福島　康弘 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 生命倫理学
兼担	教授	山内　泰子 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	土家　禎夫 （64） ＜令和2年4月＞ 学士（理学）	数学
兼担	教授	矢納　陽 （49） ＜令和2年4月＞ 博士（工学）	物理学
兼担	准教授	太田　信子 （60） ＜令和2年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論（関係法規を含む） 言語心理学 医学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担	准教授	時田　泰樹 (40) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	兼担	准教授	時田　泰樹 (41) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	兼担	准教授	時田　泰樹 (42) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）
								感覚矯正学概論（関係法規を含む）			感覚矯正学概論（関係法規を含む）			感覚矯正学概論（関係法規を含む）
														社会福祉（含実習）
											画像診断学			画像診断学
						兼担	准教授	クレメニック，Ｍ．Ｊ (53) 〈令和2年4月〉 文学修士	兼担	准教授	クレメニック，Ｍ．Ｊ (54) 〈令和2年4月〉 文学修士	兼担	准教授	クレメニック，Ｍ．Ｊ (55) 〈令和2年4月〉 文学修士
								基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			~~基礎英語Ⅰ~~
								基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			~~基礎英語Ⅱ~~
														実践英会話
						兼担	准教授	クレミンソン (45) 〈令和2年4月〉 修士（MASTER　OF RESEARCH）	兼担	准教授	クレミンソン (46) 〈令和2年4月〉 修士（MASTER　OF RESEARCH）			
								基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			
								基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			
						兼担	准教授	谷野　宏美 (45) 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）						
								ヒューマンセクシャリティー論						
									兼担	准教授	五反田　龍宏 (40) 〈令和3年4月〉 博士（保健学）	兼担	准教授	五反田　龍宏 (41) 〈令和3年4月〉 博士（保健学）
											画像診断学			画像診断学
									兼担	准教授	石田　実知子 (57) 〈令和3年4月〉 博士（保健看護学）	兼担	准教授	石田　実知子 (58) 〈令和3年4月〉 博士（保健看護学）
											医学概論			医学概論
									兼担	准教授	赤松　直美 (48) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	兼担	准教授	赤松　直美 (49) 〈令和3年4月〉 博士（看護学）
											ヒューマンセクシャリティー論			ヒューマンセクシャリティー論
									兼担	准教授	松田　英治 (63) 〈令和3年4月〉 修士（学術）	兼担	准教授	松田　英治 (64) 〈令和3年4月〉 修士（学術）
											画像診断学			画像診断学
												兼担	准教授	矢野　爽郎 (36) 〈令和4年4月〉 博士（歯学）
														社会福祉（含実習）
兼担	講師	入江　慶太 (42) 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	兼担	講師	入江　慶太 (42) 〈平成31年4月〉 修士（心理学）	兼担	講師	入江　慶太 (43) 〈平成31年4月〉 修士（心理学）						
		保育			保育			保育						
兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (39) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (39) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (40) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）	兼担	講師	大山(大谷)　早紀子 (42) 〈平成31年4月〉 博士（社会福祉学）
		精神保健学			精神保健学			精神保健学			精神保健学			精神保健学
兼担	講師	川上　紀子 (46) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）	兼担	講師	川上　紀子 (46) 〈平成31年4月〉 博士（感覚矯正学）									
		社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習）									
兼担	講師	北澤　正志 (58) 〈平成31年4月〉 文学士	兼担	准教授	北澤　正志 (58) 〈平成31年4月〉 文学士	兼担	准教授	北澤　正志 (59) 〈平成31年4月〉 文学士	兼担	准教授	北澤　正志 (60) 〈平成31年4月〉 文学士	兼担	准教授	北澤　正志 (61) 〈平成31年4月〉 文学士
		文章表現			文章表現			文章表現			文章表現			文章表現
兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (44) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (45) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (46) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）
		文章表現			文章表現			文章表現			文章表現			文章表現
兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	小池　大介 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	准教授	小池　大介 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	准教授	小池　大介 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）
		コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習
		コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	講師	小崎　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	講師	小崎　順子 (52) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	准教授	小崎　順子 (53) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士			
		基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			
		基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			
兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (48) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (49) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (50) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）
		健康体育基礎理論			健康体育基礎理論			健康体育基礎理論			健康体育基礎理論			健康体育基礎理論
		健康体育実技（レクリエーション系）			健康体育実技（レクリエーション系）			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~
								健康体育実技（スポーツ系）			健康体育実技（スポーツ系）			健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	瀧川　真也 (38) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	兼担	准教授	瀧川　真也 (37) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	兼担	准教授	瀧川　真也 (38) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	兼担	准教授	瀧川　真也 (39) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	兼担	准教授	瀧川　真也 (40) 〈令和2年4月〉 博士（文学）
		学習・認知心理学			学習・認知心理学			学習・認知心理学			学習・認知心理学			学習・認知心理学
兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	谷川　智宏 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	谷川　智宏 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）			
		情報学概論			情報学概論			情報学概論			情報学概論			
兼担	講師	桃原　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	兼担	講師	桃原（羽原）　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	兼担	講師	桃原（羽原）　司 (44) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）						
		健康体育基礎演習			健康体育基礎演習			健康体育基礎演習						
		健康体育実技（スポーツ系）			健康体育実技（スポーツ系）			~~健康体育実技（スポーツ系）~~						
兼担	講師	中尾　竜二 (40) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	講師	中尾　竜二 (40) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	講師	中尾　竜二 (41) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	准教授	中尾　竜二 (42) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）	兼担	准教授	中尾　竜二 (43) 〈平成31年4月〉 修士（保健福祉学）
		医学概論			医学概論			医学概論			医学概論			医学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 （42） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	根来　麻子 （38） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	講師	秦　久美子 （59） 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	平田（森）　智子 （37） 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	藤森　旭人 （36） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	教育心理学
兼担	講師	藤原　有子 （41） 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	講師	山根　真由美 （52） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	助教	後藤　大輔 （32） 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 （42） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田（森）　智子 （37） 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	中尾　有子 （41） 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	講師	山根　真由美 （52） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	助教	後藤　大輔 （32） 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	准教授	橋本　美香 （51） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	講師	三村　邦子 （53） 〈平成31年4月〉 社会学士	社会福祉（含実習）
兼担	助教	永見　慎輔 （34） 〈平成31年4月〉 修士（人間文化学）	社会福祉（含実習）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 （43） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田（森）　智子 （38） 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山根　真由美 （53） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	講師	プレパッテ，J （56） 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	英会話 実践英会話
兼担	講師	岡崎　利治 （43） 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	ボランティア入門
兼担	講師	池野　雅裕 （37） 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	社会福祉（含実習）
兼担	講師	小柳（矢野）　えり （39） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	健康体育基礎理論
兼担	准教授	橋本　美香 （52） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 （44） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	平田（森）　智子 （39） 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山根　真由美 （54） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	講師	プレパッテ，J （57） 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	英会話 実践英会話
兼担	講師	岡崎　利治 （44） 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	ボランティア入門
兼担	准教授	池野　雅裕 （38） 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	社会福祉（含実習） 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	講師	小柳（矢野）　えり （40） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	健康体育基礎理論
兼担	講師	荒井　佐和子 （39） 〈令和3年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	三宅　美智子 （64） 〈令和3年4月〉 準学士	保育実習
兼担	講師	大江　由美 （67） 〈令和3年4月〉 準学士	保育 保育実習
兼担	講師	藤澤（中務）　智子 （44） 〈令和3年4月〉 博士（健康科学）	保育実習
兼担	助教	後藤　大輔 （34） 〈令和3年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	橋本　美香 （53） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 （45） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	医療福祉の歴史 和の伝統文化
兼担	講師	中尾　有子 （43） 〈平成4年4月〉 博士（健康科学）	健康体育実技（フィットネス系）
兼担	准教授	山根　真由美 （55） 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ 英会話（海外研修）
兼担	講師	プレパッテ，J （58） 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	英会話 実践英会話 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	講師	岡崎　利治 （45） 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	ボランティア入門
兼担	准教授	池野　雅裕 （39） 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	~~社会福祉（含実習）~~ 感覚矯正学概論（関係法規を含む）
兼担	講師	小柳（矢野）　えり （41） 〈令和2年4月〉 博士（医学）	健康体育基礎理論
兼担	准教授	荒井　佐和子 （40） 〈令和3年4月〉 博士（心理学）	臨床心理学
兼担	講師	三宅　美智子 （65） 〈令和3年4月〉 準学士	保育実習
兼担	講師	大江　由美 （68） 〈令和3年4月〉 準学士	保育 保育実習
兼担	講師	藤澤（中務）　智子 （45） 〈令和3年4月〉 博士（健康科学）	保育実習
兼担	講師	三宅（井関）　沙知 （36） 〈令和4年4月〉 博士（健康科学）	医学概論
兼担	助教	後藤　大輔 （35） 〈令和3年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	橋本　美香 （54） 〈平成31年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼担	助教	永見　慎輔 （36） 〈令和4年4月〉 修士（人間文化学）	心理測定法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	助教	藤田　美佳 (24) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）						
					社会福祉（含実習） 視能学概論						
			兼担	助教	山根　崇史 (31) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	兼担	助教	山根　崇史 (32) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	兼担	講師	山根　崇史 (33) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）
					教育心理学			教育心理学			教育心理学
						兼担	助教	山形　高司 (38) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	兼担	助教	山形　高司 (39) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）
								健康体育実技（レクリエーション系）			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~
								健康体育実技（フィットネス系）			健康体育実技（フィットネス系）
						兼担	助教	門利　知美 (35) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	兼担	助教	門利　知美 (36) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）
								健康体育基礎演習			健康体育基礎演習
						兼担	助教	兵藤　史武 (35) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	兼担	助教	兵藤　史武 (36) 〈令和2年4月〉 博士（理学）
								統計学			統計学
						兼担	助教	福井　夕希子 (35) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	兼担	助教	福井　夕希子 (36) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）
								文章表現			文章表現
						兼担	助教	山崎　志穂 (27) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	兼担	助教	山崎　志穂 (28) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）
								社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習）
						兼担	助教	原山　秋 (30) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	兼担	助教	原山　秋 (31) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）
								社会福祉（含実習）			社会福祉（含実習） 言語心理学 画像診断学 解剖学実習
						兼担	助教	池内　由子 (43) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）	兼担	助教	池内　由子 (44) 〈令和2年4月〉 修士（臨床心理学）
								臨床心理学			臨床心理学
						兼担	助教	植谷　利英 (44) 〈令和2年4月〉 感覚矯正学修士			
								解剖学実習			
						兼担	助教	戸田　淳氏 (39) 〈令和2年4月〉 修士（保健医療学）	兼担	助教	戸田　淳氏 (40) 〈令和2年4月〉 修士（保健医療学）
								解剖学実習			解剖学実習 言語心理学
						兼担	助教	小浜　尚也 (31) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	兼担	助教	小浜　尚也 (32) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）
								生理学実習			生理学実習 言語心理学
									兼担	助教	福村　暁也 (34) 〈令和3年4月〉 修士（社会福祉学）
											保育実習
									兼担	助教	小谷　優平 (32) 〈令和3年4月〉 修士（感覚矯正学）
											生物学実習
									兼担	助教	星野　さくら (22) 〈令和3年4月〉 学士（子ども医療福祉学）
											保育実習
兼任	講師	荒木　俊介 (32) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	兼任	講師	荒木　俊介 (31) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	兼任	講師	荒木　俊介 (32) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	兼任	講師	荒木　俊介 (33) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）
		視能臨地実習Ⅰ			視能臨地実習Ⅰ			視能臨地実習Ⅰ			視能臨地実習Ⅰ
兼任	講師	池田　明博 (60) 〈令和3年4月〉 専門学校卒	兼任	講師	池田　明博 (58) 〈令和3年4月〉 専門学校卒	兼任	講師	池田　明博 (59) 〈令和3年4月〉 専門学校卒	兼任	講師	池田　明博 (60) 〈令和3年4月〉 専門学校卒
		臨床視能学Ⅰ			臨床視能学Ⅰ			臨床視能学Ⅰ			臨床視能学Ⅰ
兼任	講師	犬伏　正幸 (53) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	兼任	講師	犬伏　正幸 (51) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	兼任	講師	犬伏　正幸 (52) 〈令和3年4月〉 博士（医学）			
		画像診断学			画像診断学			画像診断学			
兼任	講師	内田　修子 (66) 〈令和3年4月〉 短期大学卒	兼任	講師	内田　修子 (64) 〈令和3年4月〉 短期大学卒	兼任	講師	内田　修子 (65) 〈令和3年4月〉 短期大学卒			
		保育実習			保育実習			保育実習			

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (49) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	金子　弘 (67) 〈令和2年4月〉 工学士	生理光学実習
兼任	講師	鎌尾　浩行 (43) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	眼科薬理学
兼任	講師	川本　豊 (63) 〈令和2年4月〉 医学士	小児病学
兼任	講師	岸　哲志 (58) 〈令和3年4月〉 文学士	ロービジョン学
兼任	講師	木村　久 (66) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 視覚生理学実習 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	國塩　勝三 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士	脳・神経学 画像診断学
兼任	講師	正条　智広 (38) 〈令和3年4月〉 学士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	水津　英仁 (33) 〈平成31年4月〉 学士（理学）	医学概論
兼任	講師	曽根　照喜 (62) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	画像診断学
兼任	講師	高田　俊一 (57) 〈令和3年4月〉 経済学士	視能臨地実習Ⅲ
兼任	講師	瀧澤　剛 (34) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ
兼任	講師	田中　孝明 (43) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	小児病学
兼任	講師	田邉　正明 (62) 〈令和3年4月〉 教育学士	ロービジョン学
兼任	講師	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	田淵　昭雄 (77) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 神経眼科学 小児眼科学 ロービジョン学
兼任	講師	玉置　明野 (57) 〈令和2年4月〉 教育学士	視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ
兼任	講師	永井　清久 (65) 〈令和3年4月〉 医学士	画像診断学
兼任	講師	長尾　長彦 (45) 〈令和3年4月〉 修士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	永田　博 (65) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	言語心理学
兼任	講師	中野　貴司 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	西村　淳 (43) 〈令和3年4月〉 学士（工学）	臨床視能学Ⅰ 臨床視能学実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (48) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	金子　弘 (66) 〈令和2年4月〉 工学士	生理光学実習
兼任	講師	鎌尾　浩行 (42) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	眼科薬理学
兼任	講師	川本　豊 (62) 〈令和2年4月〉 医学士	小児病学
兼任	講師	岸　哲志 (56) 〈令和3年4月〉 文学士	ロービジョン学
兼任	講師	木村　久 (65) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 視覚生理学実習 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	國塩　勝三 (66) 〈令和2年4月〉 医学博士	脳・神経学 画像診断学
兼任	講師	正条　智広 (36) 〈令和3年4月〉 学士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	水津　英仁 (33) 〈平成31年4月〉 学士（理学）	医学概論
兼任	講師	曽根　照喜 (60) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	画像診断学
兼任	講師	高田　俊一 (55) 〈令和3年4月〉 経済学士	視能臨地実習Ⅲ
兼任	講師	瀧澤　剛 (33) 〈令和2年4月〉 修士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ
兼任	講師	田中　孝明 (42) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	小児病学
兼任	講師	田邉　正明 (60) 〈令和3年4月〉 教育学士	ロービジョン学
兼担	准教授	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	田淵　昭雄 (76) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 神経眼科学 小児眼科学 ロービジョン学
兼任	講師	玉置　明野 (56) 〈令和2年4月〉 教育学士	視能検査学Ⅰ 視能検査学実習Ⅰ
兼任	講師	永井　清久 (63) 〈令和3年4月〉 医学士	画像診断学
兼任	講師	長尾　長彦 (43) 〈令和3年4月〉 修士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	永田　博 (64) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	言語心理学
兼任	講師	中野　貴司 (60) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	西村　淳 (41) 〈令和3年4月〉 学士（工学）	臨床視能学Ⅰ 臨床視能学実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (49) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	金子　弘 (67) 〈令和2年4月〉 工学士	生理光学実習
兼任	講師	鎌尾　浩行 (43) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	眼科薬理学
兼任	講師	川本　豊 (63) 〈令和2年4月〉 医学士	小児病学
兼任	講師	岸　哲志 (57) 〈令和3年4月〉 文学士	ロービジョン学
兼任	講師	木村　久 (66) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 視覚生理学実習 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	國塩　勝三 (67) 〈令和3年4月〉 医学博士	脳・神経学 画像診断学
兼任	講師	正条　智広 (37) 〈令和3年4月〉 学士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	水津　英仁 (34) 〈平成31年4月〉 学士（理学）	医学概論
兼任	講師	曽根　照喜 (61) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	画像診断学
兼任	講師	高田　俊一 (56) 〈令和3年4月〉 経済学士	視能臨地実習Ⅲ
兼任	講師	田中　孝明 (43) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	小児病学
兼任	講師	田邉　正明 (61) 〈令和3年4月〉 教育学士	ロービジョン学
兼担	准教授	谷本　泰正 (67) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	田淵　昭雄 (77) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 神経眼科学 小児眼科学 ロービジョン学
兼任	講師	永井　清久 (64) 〈令和3年4月〉 医学士	画像診断学
兼任	講師	長尾　長彦 (44) 〈令和3年4月〉 修士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	永田　博 (65) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	言語心理学
兼任	講師	中野　貴司 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	西村　淳 (42) 〈令和3年4月〉 学士（工学）	臨床視能学Ⅰ 臨床視能学実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (50) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	金子　弘 (68) 〈令和2年4月〉 工学士	生理光学実習
兼任	講師	鎌尾　浩行 (44) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	眼科薬理学
兼任	講師	川本　豊 (64) 〈令和2年4月〉 医学士	小児病学
兼任	講師	岸　哲志 (58) 〈令和3年4月〉 文学士	ロービジョン学
兼任	講師	木村　久 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 視覚生理学実習 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	正条　智広 (38) 〈令和3年4月〉 学士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	水津　英仁 (35) 〈平成31年4月〉 学士（理学）	医学概論
兼任	講師	曽根　照喜 (62) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	画像診断学
兼任	講師	田中　孝明 (44) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	小児病学
兼任	講師	田邉　正明 (62) 〈令和3年4月〉 教育学士	ロービジョン学
兼担	准教授	谷本　泰正 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	田淵　昭雄 (78) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 神経眼科学 小児眼科学 ロービジョン学
兼任	講師	長尾　長彦 (45) 〈令和3年4月〉 修士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	中野　貴司 (62) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	西村　淳 (43) 〈令和3年4月〉 学士（工学）	臨床視能学Ⅰ 臨床視能学実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大石　智洋 (51) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	金子　弘 (69) 〈令和2年4月〉 工学士	生理光学実習
兼任	講師	鎌尾　浩行 (45) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	眼科薬理学
兼任	講師	岸　哲志 (59) 〈令和3年4月〉 文学士	ロービジョン学
兼任	講師	木村　久 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 視覚生理学実習 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	正条　智広 (39) 〈令和3年4月〉 学士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	水津　英仁 (36) 〈平成31年4月〉 学士（理学）	医学概論
兼任	講師	曽根　照喜 (63) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	画像診断学
兼任	講師	田中　孝明 (45) 〈令和2年4月〉 学士（医学）	小児病学
兼任	講師	田邉　正明 (63) 〈令和3年4月〉 教育学士	ロービジョン学
兼担	准教授	谷本　泰正 (69) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	田淵　昭雄 (79) 〈令和2年4月〉 医学博士	眼科薬理学 基礎視能学Ⅰ 基礎視能学Ⅱ 神経眼科学 小児眼科学 ロービジョン学
兼任	講師	長尾　長彦 (46) 〈令和3年4月〉 修士（感覚矯正学）	ロービジョン学
兼任	講師	中野　貴司 (63) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	小児病学
兼任	講師	西村　淳 (44) 〈令和3年4月〉 学士（工学）	臨床視能学Ⅰ 臨床視能学実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	長谷部　佳世子 (59) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ
兼任	講師	長谷部　聡 (61) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児眼科学
兼任	講師	林　京子 (64) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	春石　和子 (39) 〈令和2年4月〉 学士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ
兼任	講師	深井　小久子 (78) 〈令和4年4月〉 家政学学士	視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	星原　徳子 (47) 〈令和3年4月〉 博士（感覚矯正学）	臨床視能学実習Ⅱ
兼任	講師	村上　伸治 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼任	講師	山田　順子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	和迩　大樹 (43) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	長谷部　佳世子 (57) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ
兼任	講師	長谷部　聡 (59) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児眼科学
兼任	講師	林　京子 (62) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
専任	講師	春石　和子 (38) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ 視能学概論
兼任	講師	深井　小久子 (75) 〈令和4年4月〉 家政学学士	視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	星原　徳子 (45) 〈令和3年4月〉 博士（感覚矯正学）	臨床視能学実習Ⅱ
兼任	講師	村上　伸治 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼任	講師	山田　順子 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	和迩　大樹 (42) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	長谷部　佳世子 (58) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ
兼任	講師	長谷部　聡 (60) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児眼科学
兼任	講師	林　京子 (63) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
専任	講師	春石　和子 (39) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ 視能学概論
兼任	講師	深井　小久子 (76) 〈令和4年4月〉 家政学学士	視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	星原　徳子 (46) 〈令和3年4月〉 博士（感覚矯正学）	臨床視能学実習Ⅱ
兼任	講師	村上　伸治 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼任	講師	山田　順子 (48) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	後藤　克聡 (38) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	長谷部　佳世子 (59) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ
兼任	講師	長谷部　聡 (61) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児眼科学
兼任	講師	林　京子 (64) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
専任	講師	春石　和子 (40) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ 視能学概論
兼任	講師	深井　小久子 (77) 〈令和4年4月〉 家政学学士	視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	村上　伸治 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼任	講師	山田　順子 (49) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	後藤　克聡 (39) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ
兼任	講師	竹内　省吾 (38) 〈令和3年4月〉 学士（医学）	画像診断学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	長谷部　佳世子 (60) 〈令和3年4月〉 文学士	臨床視能学Ⅰ
兼任	講師	長谷部　聡 (62) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	小児眼科学
専任	講師	春石　和子 (41) 〈平成31年4月〉 学士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ 視能学概論
兼任	講師	深井　小久子 (78) 〈令和4年4月〉 家政学学士	視能訓練学Ⅰ 視能訓練学Ⅲ
兼任	講師	村上　伸治 (58) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	精神医学
兼任	講師	山田　順子 (50) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	社会福祉（含実習）
兼任	講師	後藤　克聡 (40) 〈令和2年4月〉 博士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ 臨床視能学実習Ⅱ
兼任	講師	竹内　省吾 (39) 〈令和3年4月〉 学士（医学）	画像診断学
兼任	講師	水上　寮美 (29) 〈令和4年4月〉 学士（感覚矯正学）	視能臨地実習Ⅰ

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・教育内容充実のため、平成31年4月に専任教員として春石和子講師が就任。
・兼担教員の谷原弘之、根来麻子、秦久美子、藤森旭人が辞任。後任として兼担教員に谷野宏美、橋本美香、三村邦子、永見慎輔、藤田美佳、山根嵩史が就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の澤原光彦、竹中麻由美、山内泰子が准教授から教授に、北澤正志、瀧川真也が講師から准教授に昇任。また、兼任教員の谷本泰正が兼担教員に変更。

【令和２年度】

・教育内容充実のため、専任教員として村上龍文教授、藤原篤之助教が就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の宇野雅子、小坂美鶴、野澤亮平、虫明基、吉岡リサ、伊藤隆男、川上紀子、中尾有子、後藤大輔、三村邦子、永見慎輔、藤田美佳、兼任教員の瀧澤剛、玉置明野、和迩大樹が辞任。後任として兼担教員に宮川健、杉原尚、長崎和則、園田祐治、文谷知明、土家槙夫、矢納陽、太田信子、時田春樹、クレメニック,M.J、クレミンソン,T.J、谷野宏美、プレバッテ，J、岡崎利治、池野雅裕、小柳（矢野）えり、山形高司、門利知美、兵藤史武、福井夕希子、山崎志穂、原山秋、池内由子、植谷利英、戸田敦氏、小浜尚也、兼任教員として後藤克聡が就任。

【令和３年度】

・教育内容充実のため、専任教員として大内達央助教が就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の谷野宏美、入江慶太、桃原（羽原）司、植谷利英、兼任教員の犬伏正幸、内田修子、國塩勝三、髙田俊一、永井清久、永田博、星原徳子が辞任。後任として兼担教員に荒尾信一、小野（木村）敦、宮本修、三村浩朗、米谷正造、五反田龍宏、石田実知子、赤松恵美、松田英治、荒井佐和子、三宅美智子、大江由美、藤澤（中務）智子、後藤大輔、種村暁也、小谷優平、星野さくら、兼任教員として竹内省吾が就任。

【令和４年度】

・学科内の教育体制充実のため担当科目を再配置した。
・大学内の教育体制変更のため、山下力が准教授から教授に、米田剛、山根真由美、荒井佐和子が講師から准教授に、藤原篤之、門利知美が助教から講師に昇任。兼担教員の井上桂子、田口豊郁、寺本房子、益田芳樹、宮本修、小原謙一、クレミンソン・T・J、小﨑順子、谷川智宏、平田（森）智子、福井夕希子、兼任教員の川本豊、林京子が辞任。後任として兼担教員の杉原尚、武政睦子、泰山浩司、矢野実郎、中尾有子、三宅（井関）沙知、永見慎輔、藤田美佳、兼任教員の水上菜美が就任。

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
4	3	2	1	10	0	5	3	2	2	12	0
(4)	(3)	(3)	(0)	(10)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
5	3	2	2	12	0	5	3	2	2	12	0
[1]	[0]	[0]	[1]	[2]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[2]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 （平成27年4月採用より） 歳	3 名	3 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{10} = 120\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{12} = 25\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（D）			後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
	必修	0 科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0 人	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0 科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）			後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
	必修	0 科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0 人	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0 科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
	必修	0 科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
0 人	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0 科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{10} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤ 令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜リハビリテーション学部　視能療法学科＞

（1） 設置計画変更事項等　※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）

（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。

（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。

（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する－系統的実習教育の実現に向けた取り組み－」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学Ⅰ・Ⅱ』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　－効果的なリメディアル教育を目指して－」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。
今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。
各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。
また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

視能療法学科は、少子高齢社会における疾病構造の複雑化、回復の長期化にあって、低視覚者に対するケア（ロービジョンケア）、複視や眼球運動障害に対するリハビリテーションにより日常生活の質の向上や社会参加の促進、眼科医療の進歩に伴い幅広い視能検査によって病態評価ができる専門知識と実践技術を備え、チーム医療に必要なコミュニケーション能力を身につけた視能訓練士を育成することを目的として設置された。
教育課程において、初年度は改組となった社会的背景や本学および学科の教育方針を理解させ、視能訓練士のあり方や業務内容を学ぶため隣接する関連病院施設での早期体験学習を行うなど、基礎教育科目を中心に専門基礎分野を履修させた。一昨年度は、視能療法に必要な専門分野の講義科目および実習科目を履修させ、臨地実習で基礎的視能療法の実践を行った。昨年度は臨床思考力を修得させるため、問題指向型診療システムを活用した各症例のシミュレーション実習を実施した。本年度は長期学外臨地実習で医療従事者としての態度（倫理、安全管理、社会性）および視能療法技術を修得させる。また講義科目において視能学全般の知識を統合させるとともに、高齢者や重複障害児（者）に対する視能療法の実践にむけて専門知識を修得させる予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画
・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ （公表後２～３ヶ月以内） ・ 公表後３ヶ月以降 〕
c 公表方法 〔 （ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F133310109607
注３

設置年度　　平成　　31年度

計画の区分：　学部の設置
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学　　保健看護学部　　保健看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　○○大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

保健看護学部

＜保健看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）	（ フ リ ガ ナ ） 氏　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
学 部 長	（ ナミカワ　キョウコ ） 波川　京子 （平成31年４月）	（モリヤ　フミオ ） 守屋　文夫 （令和３年４月）	人事異動のため（３）
学科長等	（ ナカニイ　ミホコ ） 中新　美保子 （平成31年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健看護学部 保健看護学科 学士（保健看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4年	120人	年次 —人	480人		医療福祉学部 保健看護学科

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人	人 120 （ － ） [－]	人	人 120 （ － ） [－]	人	人 120 （ － ） [－]	人	人 120 （ － ） [－]	人	1.07倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	992 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	1023 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	598 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	541 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	980 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	1017 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	586 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	523 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	263 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	223 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	203 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	247 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	130 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	132 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	129 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	128 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A			1.08		1.10		1.07		1.06				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] (　)	[　] (　)	130 [－] (－)	－ [－] (－)	132 [－] (－)	－ [－] (－)	129 [－] (－)	－ [－] (－)	128 [－]	－ [－]	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	130 [－] (－)	－ [－] (－)	131 [－] (－)	－ [－] (－)	128 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	126 [－] (－)	－ [－] (－)	130 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	125 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] (　)		130 [－] (－)		262 [－] (－)		386 [－] (－)		511 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	130 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	262 人	5 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	4 人	0 人	進路変更(4人)
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和3年度	386 人	2 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	除籍(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	転学科(1人)を除く
			令和3年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和4年度	511 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		7 人		7 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 130 = 0 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 5 / 262 = 1.9 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 2 / 386 = 0.51 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 511 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜保健看護学部　保健看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	35

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								1
	基礎英語Ⅱ	1後	2								1
	英会話	1前後		2							
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							
	生活環境論	1前		2							
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	33

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	感染と免疫	1前	1								1
	生化学	1前	1								2
	栄養学	1後	2								3
	構造と機能Ⅰ	1前	2								1
	構造と機能Ⅱ	1後	2								1
	薬理学	1後	2			1					
	病理病態学	1後	2								1
	看護内科病態学Ⅰ	2前	1			1					2
	看護内科病態学Ⅱ	2後	1			1					2
	看護外科病態学Ⅰ	2前	1			1					
	看護外科病態学Ⅱ	2後	1			1					
	保健統計学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1		1			
	公衆衛生学	4後	2			1	1	2			1
	疫学	4前		2							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後		2				2			
	看護学概論	1前	2				1	1			1
	対人関係援助論	1前	1			1		1			1
	看護理論	1後	1					1			
	生活援助技術論	1後	3				1	3	1		
	診療補助技術論	2前	2				1	3	1		
	フィジカルアセスメント	2前	1				1	3	1		6
	看護過程論	2後	1				1	3	1		
	基礎統合論	2後	1				1	3	1		
	健康生活支援実習	1後	1			1	2	3	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1				1	3	5		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				2	3	2		
	成人看護学概論	2後	2			1	2	1			
	急性期看護援助論	3前	2			1	1	2	1		
	慢性期看護援助論	3前	2			1	1	2	2		
	臨床看護実践論	3前	1			1	3	4	3		
	がん看護援助論	4前		1		1	2				2
	クリティカルケア論	4前		1			1	2	1		
	急性期看護学実習	3後	3				2	2	1		
	慢性期看護学実習	3後	3				1	2	2		
	精神看護学概論	2後	2			1		1			
	老年看護学概論	2後	2			1		2			
	精神看護援助論	3前	2			1		1			
	老年看護援助論	3前	2			1		2			2
	地域精神看護論	4前		1		1		1			
	認知症看護論	4前		1		1					
	精神看護学実習	3後	2			1		1			
	老年看護学実習	3後	3			1		2			
	小児看護学概論	2後	2			1			1		
	母性看護学概論	2後	2				1	2			
	小児看護援助論	3前	2			1			1		
	母性看護援助論	3前	2				2	2			
	小児健康支援論	4前		1		1			1		
	女性健康支援論	4前		1			1	2			
	小児看護学実習	3後	2			1			1		
	母性看護学実習	3後	2				2	2			
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1	1	1			
	家族看護論	2前		1		1					
	学校保健	2前		2		1					1
	在宅看護概論	2後	2			1		1			
	保健指導論	2後	2				1	2			
	在宅看護援助論	3前	2			1		1			
	産業看護学	3前		2		1	1	2			2
	公衆衛生看護活動Ⅰ	3前		1		1	1	2			
	公衆衛生看護活動Ⅱ	4前		2			1	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	感染と免疫	1前	1								1
	生化学	1前	1								1
	栄養学	1後	2								2
	構造と機能Ⅰ	1前	2								1
	構造と機能Ⅱ	1後	2								1
	薬理学	1後	2			1					
	病理病態学	1後	2								1
	看護内科病態学Ⅰ	2前	1			1					4
	看護内科病態学Ⅱ	2後	1			1					5
	看護外科病態学Ⅰ	2前	1			1					
	看護外科病態学Ⅱ	2後	1			1					
	保健統計学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1				1		1		
	公衆衛生学	4後	2			1	1				3
	疫学	4前		2		1					1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後		2				1			
	看護学概論	1前	2			1					1
	対人関係援助論	1前	1			1	1	1			
	看護理論	1後	1			1					
	生活援助技術論	1後	3			1		2	1		
	診療補助技術論	2前	2			1		2	1		
	フィジカルアセスメント	2前	1				1	2	1		
	看護過程論	2後	1			1		2	1		
	基礎統合論	2後	1			1		2	1		
	健康生活支援実習	1後	1			1		2	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			3		2	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1		2	1		
	成人看護学概論	2後	2			1	2				
	急性期看護援助論	3前	2				2	1			1
	慢性期看護援助論	3前	2				1	2	1		
	臨床看護実践論	3前	1			1	3	3	1		1
	がん看護援助論	4前		1		1	1	1	1		
	クリティカルケア論	4前		1			2	1			1
	急性期看護学実習	3後	3				2	1			1
	慢性期看護学実習	3後	3				1	2	1		
	精神看護学概論	2後	2			1	1	1			
	老年看護学概論	2後	2			1	1	2			
	精神看護援助論	3前	2			1	1	1			
	老年看護援助論	3前	2			1	1	2			1
	地域精神看護論	4前		1		1	1	1			
	認知症看護論	4前		1		1	1	2			
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1			
	老年看護学実習	3後	3			1	1	2			
	小児看護学概論	2後	2			1		1	1		
	母性看護学概論	2後	2			1		2			1
	小児看護援助論	3前	2			1		1	1		1
	母性看護援助論	3前	2					2	1		2
	小児健康支援論	4前		1		1		1	1		
	女性健康支援論	4前		1				2	1		
	小児看護学実習	3後	2			1		1	1		
	母性看護学実習	3後	2			1	1	2	1		1
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1		1			
	家族看護論	2前		1			2	1			
	学校保健	2前		2							1
	在宅看護概論	2後	2				1				2
	保健指導論	2後	2			1	1		1		
	在宅看護援助論	3前	2				1				2
	産業看護学	3前		2		1			1		4
	公衆衛生看護活動Ⅰ	3前		1		1	1	1	1		
	公衆衛生看護活動Ⅱ	4前		2		1	1	1	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	コミュニティアセスメント	4前		1		1	1	2			
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	1				4
	健康危機管理論	4後	1			1					
	在宅看護実習	3後	2			1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2		1	1	2			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		3		1	1	2			
	アカデミックスキル	1前	1			1	1	1			
	医療安全論	2前	1					1			2
	国際看護学	2前	1				1				1
	看護研究方法論	3前	1			1	2				
	チーム医療論	4前	1				1	2			
	看護倫理	4後	1			1					
	看護管理学(キャリア開発を含む)	4後	1								1
	看護教育学	4後		1		1					
	災害看護学	4後		1		1		2			
	統合看護学実習	4前	2			6	7	15	5		
	卒業研究Ⅰ	4前	1			7	7	15	5		
	卒業研究Ⅱ	4後	1			7	7	15	5		
	小計(78科目)	－	97	27	0	9	7	15	5	0	34
合計(122科目)		－	113	94	0	9	7	15	5	0	69

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「基礎医学分野」「保健福祉分野」「基礎看護学」「療養看護学」「包括看護学」「育成看護学」「広域看護学」「広域看護学」「統合」から必修科目98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修97単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	コミュニティアセスメント	4前		1		1	1	1	1		
	公衆衛生看護管理論	4後		1		1	1	1	1		3
	健康危機管理論	4後	1			1					1
	在宅看護実習	3後	2			1	2	1	1		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2		1	1	1	1		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		3		1	1	1	1		
	アカデミックスキル	1前	1			1					
	医療安全論	2前	1					2	1		2
	国際看護学	2前	1			1					3
	看護研究方法論	3前	1				1				
	チーム医療論	4前	1			1		1			
	看護倫理	4後	1			1	2				
	看護管理学(キャリア開発を含む)	4後	1				1				1
	看護教育学	4後		1		1					
	災害看護学	4後		1							1
	統合看護学実習	4前	2			6	7	12	5		1
	卒業研究Ⅰ	4前	1			8	8	12	5		1
	卒業研究Ⅱ	4後	1			8	8	12	5		1
	小計(78科目)	－	97	27	0	12	8	12	5	0	43
合計(122科目)		－	113	94	0	12	8	12	5	0	74

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「基礎医学分野」「保健福祉分野」「基礎看護学」「療養看護学」「包括看護学」「育成看護学」「広域看護学」「広域看護学」「統合」から必修科目98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修97単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	34

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	36

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	感染と免疫	1前	1								2
	生化学	1前	1								2
	栄養学	1後	2								3
	構造と機能Ⅰ	1前	2								1
	構造と機能Ⅱ	1後	2								1
	薬理学	1後	2			1					
	病理病態学	1後	2								1
	看護内科病態学Ⅰ	2前	1			1					2
	看護内科病態学Ⅱ	2後	1			1					2
	看護外科病態学Ⅰ	2前	1			1					
	看護外科病態学Ⅱ	2後	1			1					
	保健統計学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1		1			
	公衆衛生学	4後	2			2		2			1
	疫学	4前		2							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後		2				2			
	看護学概論	1前	2				1	3	1		1
	対人関係援助論	1前	1			1		1			2
	看護理論	1後	1				1	3	1		1
	生活援助技術論	1後	3				1	3	1		1
	診療補助技術論	2前	2				1	3			
	フィジカルアセスメント	2前	1				1	3			6
	看護過程論	2後	1				1	3			
	基礎統合論	2後	1				1	3			
	健康生活支援実習	1後	1			2	3	3	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1				1	3	4		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				2	3	1		
	成人看護学概論	2後	2			1	2	1			
	急性期看護援助論	3前	2			1	1	1	1		
	慢性期看護援助論	3前	2			1	1	2	2		
	臨床看護実践論	3前	1			1	3	3	3		
	がん看護援助論	4前		1		1	2				2
	クリティカルケア論	4前		1			1	1	1		
	急性期看護学実習	3後	3				2	1	1		
	慢性期看護学実習	3後	3				1	2	2		
	精神看護学概論	2後	2			1		1			
	老年看護学概論	2後	2			1		1			
	精神看護援助論	3前	2			1		1			
	老年看護援助論	3前	2			1		1			2
	地域精神看護論	4前		1		1		1			
	認知症看護論	4前		1		1					
	精神看護学実習	3後	2			1		1			
	老年看護学実習	3後	3			1		1			
	小児看護学概論	2後	2			1			1		
	母性看護学概論	2後	2				1	2			
	小児看護援助論	3前	2			1			1		
	母性看護援助論	3前	2				2	2			
	小児健康支援論	4前		1		1			1		
	女性健康支援論	4前		1			1	2			
	小児看護学実習	3後	2			1			1		
	母性看護学実習	3後	2				2	2			
	公衆衛生看護学概論	1後	2			2		1			
	家族看護論	2前		1				1			
	学校保健	2前		2		1					1
	在宅看護概論	2後	2					1			
	保健指導論	2後	2			1		2			
	在宅看護援助論	3前	2					1			
	産業看護学	3前		2		2		2			2
	公衆衛生看護活動Ⅰ	3前		1		2		2			
	公衆衛生看護活動Ⅱ	4前		2		1		2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	感染と免疫	1前	1								2
	生化学	1前	1								2
	栄養学	1後	2								3
	構造と機能Ⅰ	1前	2								1
	構造と機能Ⅱ	1後	2								1
	薬理学	1後	2			1					
	病理病態学	1後	2								1
	看護内科病態学Ⅰ	2前	1			1					2
	看護内科病態学Ⅱ	2後	1			1					2
	看護外科病態学Ⅰ	2前	1			1					
	看護外科病態学Ⅱ	2後	1			1					
	保健統計学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1					
	公衆衛生学	4後	2			2		2			1
	疫学	4前		2							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後		2				2			
	看護学概論	1前	2				1				1
	対人関係援助論	1前	1			1		2			1
	看護理論	1後	1				1				
	生活援助技術論	1後	3				1	4			2
	診療補助技術論	2前	2				1	4			2
	フィジカルアセスメント	2前	1				1	3	1		
	看護過程論	2後	1				1	4			1
	基礎統合論	2後	1				1	4			6
	健康生活支援実習	1後	1			1	1	5	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1				1	4	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				1	5			
	成人看護学概論	2後	2			1	1	2			1
	急性期看護援助論	3前	2			1	1	2			
	慢性期看護援助論	3前	2			1	1	2	2		
	臨床看護実践論	3前	1			1	3	4	2		
	がん看護援助論	4前		1		1	2				2
	クリティカルケア論	4前		1			1	2			
	急性期看護学実習	3後	3				2	2			
	慢性期看護学実習	3後	3				1	2	2		
	精神看護学概論	2後	2			1		2			
	老年看護学概論	2後	2			1		2	1		
	精神看護援助論	3前	2			1		1			
	老年看護援助論	3前	2			1		1			2
	地域精神看護論	4前		1		1		1			
	認知症看護論	4前		1		1					
	精神看護学実習	3後	2			1		1			
	老年看護学実習	3後	3			1		1			
	小児看護学概論	2後	2			1			2		
	母性看護学概論	2後	2			1		2	1		
	小児看護援助論	3前	2			1			1		
	母性看護援助論	3前	2				2	2			
	小児健康支援論	4前		1		1			1		
	女性健康支援論	4前		1			1	2			
	小児看護学実習	3後	2			1			1		
	母性看護学実習	3後	2				2	2			
	公衆衛生看護学概論	1後	2			2		2			
	家族看護論	2前		1		2		2			
	学校保健	2前		2							1
	在宅看護概論	2後	2			1	1				1
	保健指導論	2後	2			1		2			1
	在宅看護援助論	3前	2				1				
	産業看護学	3前		2		2		2			2
	公衆衛生看護活動Ⅰ	3前		1		2		2			
	公衆衛生看護活動Ⅱ	4前		2		1		2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	コミュニティアセスメント	4前		1		2		2			
	公衆衛生看護管理論	4後		1		2					4
	健康危機管理論	4後	1			1					
	在宅看護実習	3後	2					1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2		2		2			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		3		2		2			
	アカデミックスキル	1前	1			1	1	2			
	医療安全論	2前	1					1			2
	国際看護学	2前	1				1				1
	看護研究方法論	3前	1			1	2				
	チーム医療論	4前	1				1	1			
	看護倫理	4後	1			1					
	看護管理学(キャリア開発を含む)	4後	1								1
	看護教育学	4後		1		1					
	災害看護学	4後		1		1		2			
	統合看護学実習	4前	2			6	6	13	4		
	卒業研究Ⅰ	4前	1			7	6	13	4		
	卒業研究Ⅱ	4後	1			7	6	13	4		
	小計(78科目)	－	97	27	0	10	5	13	5	0	38
合計(122科目)		－	113	94	0	10	5	13	5	0	72

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「基礎医学分野」「保健福祉分野」「基礎看護学」「療養看護学」「包括看護学」「育成看護学」「広域看護学」「広域看護学」「統合」から必修科目98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修97単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	コミュニティアセスメント	4前		1		2		2			
	公衆衛生看護管理論	4後		1		2					4
	健康危機管理論	4後	1			1					
	在宅看護実習	3後	2				1				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2		2		2			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		3		2		2			
	アカデミックスキル	1前	1			1					
	医療安全論	2前	1			1					2
	国際看護学	2前	1			2					1
	看護研究方法論	3前	1			1	2				
	チーム医療論	4前	1				1	1			
	看護倫理	4後	1			1					
	看護管理学(キャリア開発を含む)	4後	1								1
	看護教育学	4後		1		1					
	災害看護学	4後		1		1		2			
	統合看護学実習	4前	2			6	7	11	3		
	卒業研究Ⅰ	4前	1			7	7	11	3		
	卒業研究Ⅱ	4後	1			7	7	11	3		
	小計(78科目)	－	97	27	0	10	7	15	5	0	41
合計(122科目)		－	113	94	0	10	7	15	5	0	76

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「基礎医学分野」「保健福祉分野」「基礎看護学」「療養看護学」「包括看護学」「育成看護学」「広域看護学」「広域看護学」「統合」から必修科目98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修97単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1前	2								3
	日本語リテラシー	2前後		2							1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								4
	基礎英語Ⅱ	1後	2								4
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	2前後		2							1
	英語インテンシブリーディング	2前後		2							1
	初修外国語	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	1後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								3
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							1
	コンピュータ基礎演習	1前後		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	38

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	感染と免疫	1前	1								1
	生化学	1前	1								1
	栄養学	1後	2								2
	構造と機能Ⅰ	1前	2								1
	構造と機能Ⅱ	1後	2								1
	薬理学	1後	2			1					
	病理病態学	1後	2								1
	看護内科病態学Ⅰ	2前	1			1					5
	看護内科病態学Ⅱ	2後	1			1					6
	看護外科病態学Ⅰ	2前	1			1					
	看護外科病態学Ⅱ	2後	1			1					
	保健統計学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	1			1					
	公衆衛生学	4後	2			2	1	1			1
	疫学	4前		2							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後		2			1	1			
	看護学概論	1前	2				1				1
	対人関係援助論	1前	1			1	1	1			1
	看護理論	1後	1			1					
	生活援助技術論	1後	3			1	1	3	1		1
	診療補助技術論	2前	2			1	1	3	1		
	フィジカルアセスメント	2前	1			1	1	3	1		
	看護過程論	2後	1			1	1	3	1		
	基礎統合論	2後	1			1	1	3	1		5
	健康生活支援実習	1後	1			1	1	3	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			3	1	3	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	3	1		
	成人看護学概論	2後	2			1	1	1			1
	急性期看護援助論	3前	2				1	1			1
	慢性期看護援助論	3前	2				1	1	1		
	臨床看護実践論	3前	1			2	2	2	1		1
	がん看護援助論	4前		1		3	1				1
	クリティカルケア論	4前		1			1	2			
	急性期看護学実習	3後	3				1	1			1
	慢性期看護学実習	3後	3				1	1	1		
	精神看護学概論	2後	2			1	1	1			
	老年看護学概論	2後	2			1		2	1		
	精神看護援助論	3前	2			1	1	1			
	老年看護援助論	3前	2			1		2	1		3
	地域精神看護論	4前		1		1	1				
	認知症看護論	4前		1		1					
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1			
	老年看護学実習	3後	3			1		2	1		
	小児看護学概論	2後	2			1			2		
	母性看護学概論	2後	2			1		2			1
	小児看護援助論	3前	2			1			2		1
	母性看護援助論	3前	2			1	2	2	1		2
	小児健康支援論	4前		1		1			1		
	女性健康支援論	4前		1			1	2			
	小児看護学実習	3後	2			1			2		
	母性看護学実習	3後	2			1	2	2	1		
	公衆衛生看護学概論	1後	2			2	1	1			
	家族看護論	2前		1		2	2				
	学校保健	2前		2							1
	在宅看護概論	2後	2				1		1		2
	保健指導論	2後	2			1	1	1			
	在宅看護援助論	3前	2				1		1		2
	産業看護学	3前		2		1					2
	公衆衛生看護活動Ⅰ	3前		1		2	1	1			
	公衆衛生看護活動	4前		2		1	1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	コミュニティアセスメント	4前		1		2	1	1			
	公衆衛生看護管理論	4後		1		2					4
	健康危機管理論	4後	1			1					
	在宅看護実習	3後	2			1	2	1	1		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2		2	1	1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		3		2	1	1			
	アカデミックスキル	1前	1			1					
	医療安全論	2前	1					1	1		2
	国際看護学	2前	1				1				1
	看護研究方法論	3前	1				2				
	チーム医療論	4前	1				1				
	看護倫理	4後	1			1					
	看護管理学(キャリア開発を含む)	4後	1								1
	看護教育学	4後		1		1					
	災害看護学	4後		1		1	1	1			
	統合看護学実習	4前	2			7	8	7	3		
	卒業研究Ⅰ	4前	1			8	8	7	3		
	卒業研究Ⅱ	4後	1			8	8	7	3		
	小計(78科目)	－	97	27	0	13	7	11	7	0	49
合計(122科目)		－	113	94	0	13	7	11	7	0	86

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む6単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「基礎医学分野」「保健福祉分野」「基礎看護学」「療養看護学」「包括看護学」「育成看護学」「広域看護学」「広域看護学」「統合」から必修科目98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修97単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

(注)
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・昇任したため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・兼１」から「教授２・講師２・兼１」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１」から「教授２・講師１」に変更。
・昇任したため、「保健指導論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２」から「教授１・講師２」に変更。
・昇任したため、「産業看護学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・兼２」から「教授２・准教授１・兼２」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生看護活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「教授２・講師２」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生看護活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２」から「教授１・講師２」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・兼１」から「教授２・講師２・兼１」に変更。
・昇任したため、「コミュニティアセスメント」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼４」から「教授２・講師２」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・兼１」から「教授２・講師２・兼１」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生看護管理論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼４」から「教授２・兼４」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「教授２・講師２」に変更。
・昇任したため、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「教授２・講師２」に変更。
・昇任、退職したため、「統合看護学実習」の専任教員等の配置を「教授６・准教授７・講師１５・助教５」から「教授６・准教授６・講師１４・助教４」に変更。
・昇任、退職したため、「統合看護学実習」の専任教員等の配置を「教授６・准教授７・講師１５・助教５」から「教授６・准教授６・講師１４・助教４」に変更。
・昇任、退職したため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授７・准教授７・講師１５・助教５」から「教授７・准教授６・講師１４・助教４」に変更。
・昇任、退職したため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授７・准教授７・講師１３・助教５」から「教授７・准教授６・講師１３・助教４」に変更。
・昇任、退職したため、「診療補助技術論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１」から「准教授１・講師３」に変更。
・昇任、退職したため、「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１・兼６」から「准教授１・講師３・兼６」に変更。
・昇任、退職したため、「看護過程論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１」から「准教授１・講師３」に変更。
・昇任、退職したため、「基礎統合論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１」から「准教授１・講師３」に変更。
・昇任、退職したため、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教５」から「准教授１・講師３・助教４」に変更。
・昇任、退職したため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２・講師３・助教２」から「准教授２・講師３・助教１」に変更。

・教育内容充実のため、「看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・兼１」から「准教授１・講師３・助教１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「看護理論」の専任教員等の配置を「講師１」から「准教授１・講師３・助教１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「生活援助技術論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１」から「准教授１・講師３・助教１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「健康生活支援実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師３・助教１」から「教授２・准教授３・講師３・助教１」に変更。
・退職のため、「基礎看護実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教５」から「准教授１・講師３・助教４」に変更。
・退職のため、「基礎看護実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２・講師３・助教２」から「准教授２・講師３・助教１」に変更。
・退職のため、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・講師１」に変更。
・退職のため、「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・兼２」から「教授１・講師１・兼２」に変更。
・退職のため、「老年看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「アカデミックスキル」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師２」に変更

【令和2年度】

・配置変更のため、「保健医療福祉行政論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
・退職したため、「看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3・助教1・兼1」から「准教授1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「対人関係援助論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼2」から「教授1・講師2・兼1」に変更。
・退職したため、「看護理論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師3・助教1・兼1」から「准教授1」に変更。
・退職したため、「生活援助技術論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3・助教1・兼1」から「准教授1・講師4・兼2」に変更。
・退職したため、「診療補助技術論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3」から「准教授1・講師4・兼2」に変更。
・退職したため、「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3・兼6」から「准教授1・講師3・助教1」に変更。
・退職したため、「看護過程論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3」から「准教授1・講師4・兼1」に変更。
・退職したため、「基礎統合論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3」から「准教授1・講師4・兼6」に変更。
・昇任、退職したため、「健康生活支援実習」の専任教員等の配置を「教授2・准教授3・講師3・助教1」から「教授1・准教授1・講師5・助教1」に変更。
・昇任、退職したため、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1・講師3・助教4」から「准教授1・講師4・助教1」に変更。
・昇任、退職したため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2・講師3・助教1」から「准教授1・講師5」に変更。
・配置変更のため、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2・講師1」から「教授1・准教授1・講師2・兼1」に変更。
・昇任したため、「急性期看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・助教1」から「教授1・准教授1・講師2」に変更。
・昇任したため、「臨床看護実践論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授3・講師3・助教3」から「教授1・准教授3・講師4・助教2」に変更。
・昇任したため、「クリティカルケア論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1・助教1」から「准教授1・講師2」に変更。
・昇任したため、「急性期看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授2・講師1・助教1」から「准教授2・講師2」に変更。
・昇任したため、「精神看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・講師2」に変更。
・教育内容充実のため、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・講師2・助教1」に変更。
・教育内容充実のため、「小児看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・助教2」に変更。
・配置変更のため、「母性看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1・講師2・助教１」から「准教授1・講師2」に変更。
・教育内容充実のため、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授2・講師1」から「教授2・講師2」に変更。
・教育内容充実のため、「家族看護論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授2・講師2」に変更。
・配置変更のため、「学校保健」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「在宅看護概論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「保健指導論」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・講師2・兼1」に変更。
・昇任したため、「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・昇任したため、「在宅看護実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・配置変更のため、「アカデミックスキル」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師2」から「教授1」に変更。

・教育内容充実のため、「医療安全論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1・兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「国際看護学」の専任教員等の配置を「准教授1・兼1」から「教授2・兼1」に変更。
・昇任、退職したため、「統合看護学実習」の専任教員等の配置を「教授6・准教授6・講師13・助教4」から「教授6・准教授7・講師11・助教3」に変更。
・昇任、退職したため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授6・講師13・助教4」から「教授7・准教授7・講師11・助教3」に変更。
・昇任、退職したため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授6・講師13・助教4」から「教授7・准教授7・講師11・助教3」に変更。

【令和3年度】

・教員変更のため、「感染と免疫」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「生化学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「栄養学」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「看護内科病態学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・兼２」から「教授１・兼５」に変更。
・教育内容充実のため、「看護内科病態学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・兼２」から「教授１・兼６」に変更。
・昇任のため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授２・講師２・兼１」から「教授２・准教授１・講師１・兼１」に変更。
・昇任のため、「保健医療福祉行政論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師２」から「准教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「対人関係援助論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・兼１」から「教授１・准教授１・講師１・兼１」に変更。
・昇任のため、「看護理論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「生活援助技術論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師４・兼２」から「教授１・准教授１・講師３・助教１・兼１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「診療補助技術論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師４・兼２」から「教授１・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教１」から「教授１・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「看護過程論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師４・兼１」から「教授１・准教授１・講師３・助教１・兼１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「基礎統合論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師４・兼６」から「教授１・准教授１・講師３・助教１・兼５」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「健康生活支援実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師５・助教１」から「教授１・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師４・助教１」から「教授３・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師５」から「教授１・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・退職のため、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・兼１」から「教授１・准教授１・講師１・兼１」に変更。

・配置変更及び教員変更のため、「急性期看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「准教授１・講師１・兼１」に変更。
・配置変更及び教員変更のため、「慢性期看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・助教２」から「准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「臨床看護実践論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師４・助教２」から「教授２・准教授２・講師２・助教１・兼１」に変更。・教員変更のため、「臨床看護実践論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師４・助教２」から「教授２・准教授２・講師２・助教１・兼１」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「がん看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・兼２」から「教授３・准教授１・兼１」に変更。
・配置変更及び教員変更のため、「急性期看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授２・講師２」から「准教授１・講師１・兼１」に変更。
・退職のため、「慢性期看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２・助教２」から「准教授１・講師１・兼１」に変更。
・昇任のため、「精神看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「精神看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・兼２」から「教授１・講師２・助教１・兼５」に変更。
・昇任のため、「地域精神看護論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１」に変更
・教育内容充実のため、「老年看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・講師２・助教１」に変更
・教員変更のため、「母性看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１」から「教授１・講師２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「小児看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・助教１」から「教授１・助教２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「母性看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授２・講師２」から「教授１・准教授２・講師２・助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授２・講師２」から「教授１・准教授２・講師２・助教１」に変更。
・昇任のため、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授２・講師２」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「家族看護論」の専任教員等の配置を「教授２・講師２」から「教授２・准教授２」に変更。
・教育内容充実及び教育変更のため、「在宅看護概論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼１」から「准教授１・助教１・兼２」に変更。
・昇任及び教員変更のため、「保健指導論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・兼１」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「産業看護学」の専任教員等の配置を「教授２・講師２・兼２」から「教授１・兼２」に変更。

・昇任のため、「公衆衛生看護活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・講師２」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「公衆衛生看護活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「コミュニティアセスメント」の専任教員等の配置を「教授２・講師２」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「在宅看護実習」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・准教授２・講師１・助教１」に変更。・昇任のため、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・講師２」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・講師２」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「医療安全論」の専任教員等の配置を「教授１・兼２」から「講師１・助教１・兼２」に変更。
・教員変更のため、「国際看護学」の専任教員等の配置を「教授２・兼１」から「准教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「看護研究方法論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「准教授２」に変更。
・退職のため、「チーム医療論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「准教授１」に変更。
・昇任のため、「災害看護学」の専任教員等の配置を「教授１・講師２」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・昇任及び退職のため、「統合看護学実習」の専任教員等の配置を「教授６・准教授７・講師１１・助教３」から「教授７・准教授８・講師７・助教３」に変更。
・昇任及び退職のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授７・准教授７・講師１１・助教３」から「教授８・准教授８・講師７・助教３」に変更。
・昇任及び退職のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授７・准教授７・講師１１・助教３」から「教授８・准教授８・講師７・助教３」に変更。

【令和4年度】

・開講科目削減のため、「基礎英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・開講科目削減のため、「基礎英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・教員変更のため、「看護内科病態学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・兼５」から「教授１・兼４」に変更。
・教員変更のため、「看護内科病態学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・兼６」から「教授１・兼５」に変更。
・教員変更のため、「保健統計学」の専任教員等の配置を「兼１」から「助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１・兼１」から「教授１・准教授１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「疫学」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「保健医療福祉行政論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１」から「講師１」に変更。
・教員変更のため、「看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授１・兼１」から「教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「対人関係援助論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・兼１」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「生活援助技術論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教１・兼１」から「教授１・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「診療補助技術論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教１」から「教授１・准教授１・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教１」から「准教授１・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「看護過程論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授１・講師３・助教１」から「教授1・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「基礎統合論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教１・兼５」から「教授１・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「健康生活支援実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教１」から「教授１・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授３・准教授１・講師３・助教１」から「教授３・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師３・助教１」から「教授１・講師２・助教１」に変更。
・教員変更のため、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・兼１」から「教授１・准教授２」に変更。
・教育内容充実のため、のため、「急性期看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・兼１」から「准教授２・講師１・兼１」に変更。

・教育内容充実のため、「慢性期看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・助教１」から「准教授１・講師２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床看護実践論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師２・助教１・兼１」から「教授１・准教授３・講師３・助教１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「がん看護援助論」の専任教員等の配置を「教授３・准教授１・兼１」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「クリティカルケア論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２」から「准教授２・講師１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「急性期看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・兼１」から「准教授２・講師１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「慢性期看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・助教１」から「准教授１・講師２・兼１」に変更。
・教員変更のため、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１」から「教授１・准教授１・講師２」に変更。
・教員変更のため、「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・助教１・兼３」から「教授１・准教授１・講師２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「地域精神看護論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「教授１・准教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「認知症看護論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１・准教授１・講師2」に変更。
・昇任のため、「老年看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１・講師2・助教1」から「教授１・准教授１・講師２」に変更。
・昇任のため、「小児看護学概論」の専任教員等の配置を「教授１・助教２」から「教授１・講師１・助教１」に変更。
・昇任のため、「小児看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・助教２・兼１」から「教授１・講師１・助教１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「母性看護援助論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師２・助教１・兼２」から「講師２・助教１・兼２」に変更。
・昇任及び教育内容充実のため、「小児健康支援論」の専任教員等の配置を「教授１・助教1」から「教授１・講師1・助教1」に変更。
・教員変更のため、「女性健康支援論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２」から「講師２・助教１」に変更。
・昇任のため、「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１・助教２」から「教授１・講師１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師２・助教１」から「教授１・准教授１・講師２・助教１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１」から「教授１・講師１」に変更。

・教員変更のため、「家族看護論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師１」から「准教授2・講師１」に変更。
・教員変更のため、「在宅看護概論」の専任教員等の配置を「准教授１・助教１・兼２」から「准教授１・兼２」に変更。
・教員変更のため、「保健指導論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授１・助教１・兼２」から「准教授１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「産業看護学」の専任教員等の配置を「教授１・兼２」から「教授１・助教１・兼４」に変更。
・教員変更のため、「公衆衛生看護活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「公衆衛生看護活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「コミュニティアセスメント」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「公衆衛生看護管理論」の専任教員等の配置を「教授２・兼４」から「教授１・准教授１・講師１・助教１・兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「健康危機管理論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教員変更のため、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「医療安全論」の専任教員等の配置を「講師１・助教１・兼２」から「講師２・助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「国際看護学」の専任教員等の配置を「准教授１・兼１」から「教授１・兼３」に変更。
・教員変更のため、「看護研究方法論」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授１」に変更。
・教育内容充実のため、「チーム医療論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・講師１」に変更。
・教育内容充実のため、「看護倫理」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１・准教授２」に変更。
・教育内容充実のため、「看護管理学（キャリア開発を含む）」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「災害看護学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「統合看護学実習」の専任教員等の配置を「教授７・准教授８・講師７・助教３」から「教授６・准教授７・講師１２・助教５」に変更。
・教育内容充実のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授８・准教授８・講師７・助教３」から「教授８・准教授８・講師１２・助教５・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授８・准教授８・講師７・助教３」から「教授８・准教授８・講師１２・助教５・兼１」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
68 科目	54 科目	0 科目	122 科目	68 科目 [0]	54 科目	0 科目 [0]	122 科目	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	経済学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
2	英会話	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
3	英語リーディング	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
4	情報学概論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し
5	生活環境論	2	1	一般	選択	カリキュラム改正の為、代替措置は無し

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年度より基礎教育科目のカリキュラム改正に伴う科目の未開講について、令和3年度履修登録時に学生には周知済み。また、既存の学生の単位修得状況を確認し、他開講科目で充足可能と判断した。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{122} = \boxed{4.09\ \%}$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	

(2) 校舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0 ㎡)	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	50室 ~~48室~~	49室 ~~45室~~ 46室	130室 ~~132室~~ ~~135室~~	4室 ~~2室~~ (補助職員5人 ~~4人 1人~~)	2室 (補助職員3人 ~~2人 1人~~)	教室等の使用用途を一部変更したため (2) (3) 職員構成変更のため (4) 大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	備考
	保健看護学部　保健看護学科	23 ~~21.5~~ ~~13.5~~ ~~11~~ 室	1室を2人で使用する場合がある。 専任教員の研究室の割り当てを変更したため (元) (2) (4)

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	保健看護学部 保健看護学科	17,656〔2,166〕 (19,970〔2,182〕) ~~(19,512〔2,182〕)~~ ~~(19,053〔2,174〕)~~ ~~(18,431〔2,145〕)~~ ~~(17,656〔2,166〕)~~	47〔15〕 (47〔15〕) ~~(43〔14〕)~~ ~~(44〔14〕)~~ ~~(47〔15〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	101 ~~89~~ (110) ~~(108)~~ ~~(104)~~ ~~(101)~~ ~~(89)~~	2,037 ~~2,068~~ (2,124) ~~(2,116)~~ ~~(2,037)~~ ~~(2,068)~~ ~~(2,275)~~	291 ~~302~~ (306) ~~(299)~~ ~~(291)~~ ~~(302)~~ ~~(442)~~	教育環境を充実させるため（元）(2) (3) (4) 電子ジャーナルは大学全体
	計	17,656〔2,166〕 (19,970〔2,182〕) ~~(19,512〔2,182〕)~~ ~~(19,053〔2,174〕)~~ ~~(18,431〔2,145〕)~~ ~~(17,656〔2,166〕)~~	47〔15〕 (47〔15〕) ~~(43〔14〕)~~ ~~(44〔14〕)~~ ~~(47〔15〕)~~	890〔885〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~ ~~(949〔942〕)~~ ~~(936〔931〕)~~ ~~(890〔885〕)~~	101 ~~89~~ (110) ~~(108)~~ ~~(104)~~ ~~(101)~~ ~~(89)~~	2,037 ~~2,068~~ (2,124) ~~(2,116)~~ ~~(2,037)~~ ~~(2,068)~~ ~~(2,275)~~	291 ~~302~~ (306) ~~(299)~~ ~~(291)~~ ~~(302)~~ ~~(442)~~	

(6) 図書館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	2,482.94㎡	606	210,275	

(7) 体育館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52 ㎡ 第２武道場　262.11 ㎡	温水プール　25ｍ×７コース	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
		教員１人当り研究費等	528千円	540千円 ~~520千円~~ ~~485千円~~	図書購入費	— 千円	2,951千円	2,951千円	共同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄ含む）を含む 教員構成変更のため (2) (4) 授業料の適正化を行ったため (2)
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	10,000千円	5,000千円	5,000千円	
	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次		
		1,800 千円 ~~1,750 千円~~	1,500 千円 ~~1,450 千円~~	1,500 千円 ~~1,450 千円~~	1,500 千円 ~~1,450 千円~~	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等							

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士（医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士（臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士（子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士（保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士（保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士（理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士（作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士（言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士（視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士（臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士（診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士（臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士（臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士（健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士（医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士 （臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士 （医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士 （医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士 （臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士 （医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士 （医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士 （医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士 （医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学部	6	126	－	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	－	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	－	752	学士 （医学）	1.00	1.00	－	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	
医学研究科	4	25	－	100	博士	0.63	0.88	－	昭和51		
医科学専攻	4	25	－	100	（医学）	0.63	0.88	－	昭和51		
大学院全体	－	25	－	100	－	0.63	0.88	－	－		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	—	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	—	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	—	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び
高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の
入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を
記入してください。

5　教員組織の状況

＜保健看護学部　保健看護学科＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	大城　義之 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 看護内科病態学Ⅱ
専任	教授	大田　直実 (57) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	健康生活支援実習 成人看護学概論 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	竹田（国光）　恵子 (58) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 看護教育学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	塚原　貴子 (62) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	中新　美保子 (62) 〈令和2年4月〉 博士（医療福祉学）	小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	波川　京子 (65) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 学校保健 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 健康危機管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護倫理 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	羽井佐　実 (62) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護外科病態学Ⅰ 看護外科病態学Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	大城　義之 (55) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 看護内科病態学Ⅱ
専任	教授	大田　直実 (57) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	健康生活支援実習 成人看護学概論 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	竹田（国光）　恵子 (57) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 看護教育学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 認知症看護論 家族看護論
専任	教授	塚原　貴子 (62) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	中新　美保子 (61) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ アカデミックスキル
専任	教授	波川　京子 (65) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 学校保健 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 健康危機管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護倫理 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	羽井佐　実 (61) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護外科病態学Ⅰ 看護外科病態学Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	大城　義之 (56) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 看護内科病態学Ⅱ
専任	教授	大田　直実 (58) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	健康生活支援実習 成人看護学概論 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 国際看護学 医療安全論
専任	教授	竹田（国光）　恵子 (58) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 看護教育学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 認知症看護論 家族看護論
専任	教授	塚原　貴子 (63) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康生活支援実習 家族看護論
専任	教授	中新　美保子 (62) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ アカデミックスキル
専任	教授	波川　京子 (66) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 学校保健 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 健康危機管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護倫理 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 国際看護学 在宅看護概論
専任	教授	羽井佐　実 (62) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護外科病態学Ⅰ 看護外科病態学Ⅱ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大城　義之 (57) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	~~看護内科病態学Ⅰ~~ 看護内科病態学Ⅱ
専任	教授	大田　直実 (59) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	健康生活支援実習 成人看護学概論 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 国際看護学 医療安全論
専任	教授	竹田（国光）　恵子 (59) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 看護教育学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 認知症看護論 家族看護論
専任	教授	塚原　貴子 (64) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康生活支援実習 家族看護論
専任	教授	中新　美保子 (63) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ アカデミックスキル
専任	教授	波川　京子 (67) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 学校保健 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 健康危機管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護倫理 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 国際看護学 在宅看護概論
専任	教授	羽井佐　実 (63) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護外科病態学Ⅰ 看護外科病態学Ⅱ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	大田　直実 (60) 〈平成31年4月〉 博士（看護学）	健康生活支援実習 成人看護学概論 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 国際看護学 医療安全論 チーム医療論
専任	教授	竹田（国光）　恵子 (60) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 看護教育学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 認知症看護論 家族看護論
専任	教授	塚原　貴子 (65) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康生活支援実習 家族看護論
専任	教授	中新　美保子 (64) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ アカデミックスキル 国際看護学
専任	教授	羽井佐　実 (64) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護外科病態学Ⅰ 看護外科病態学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	松本　啓子 （54） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	認知症看護論 家族看護論 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	守屋　文夫 （59） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	薬理学 アカデミックスキル 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	若井　和子 （55） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	健康生活支援実習
専任	准教授	赤松　恵美 （48） 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	母性看護援助論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	古賀　雄二 （42） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	成人看護学概論 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 看護研究方法論 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	谷野　宏美 （45） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	守屋　文夫 （59） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	薬理学 **アカデミックスキル** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	**教授**	**若井　和子 （55） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）**	**健康生活支援実習**
専任	准教授	赤松　恵美 （46） 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	母性看護援助論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	古賀　雄二 （41） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	成人看護学概論 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 看護研究方法論 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	谷野　宏美 （44） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **ヒューマンセクシャリティー論**
兼担	**准教授**	**谷野　宏美 （44） 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学）**	**ヒューマンセクシャリティー論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	守屋　文夫 （60） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	薬理学 **アカデミックスキル** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	**教授**	**若井　和子 （56） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）**	**健康生活支援実習** **母性看護学概論**
専任	准教授	赤松　恵美 （47） 〈令和3年4月〉 博士（看護学）	母性看護援助論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	古賀　雄二 （42） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	**成人看護学概論** 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 看護研究方法論 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **小児看護学概論**
専任	准教授	谷野　宏美 （45） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	**母性看護学概論** 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **ヒューマンセクシャリティー論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	守屋　文夫 （61） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	薬理学 **アカデミックスキル** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	**教授**	**若井　和子 （57） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）**	**健康生活支援実習** **母性看護学概論** **母性看護学実習** **母性看護援助論**
専任	**教授**	**久米　輝善 （46） 〈令和3年4月〉 博士（医学）**	**看護内科病態学Ⅰ** **看護内科病態学Ⅱ**
専任	**教授**	**新　美保恵 （56） 〈令和3年4月〉 専門学校**	**基礎看護学実習Ⅰ**
専任	准教授	赤松　恵美 （48） 〈令和4年4月〉 博士（看護学）	母性看護援助論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **ヒューマンセクシャリティー論** **家族看護論** **看護研究方法論**
兼担	**准教授**	**赤松　恵美 （48） 〈令和3年4月〉 博士（看護学）**	**母性看護援助論** **母性看護学実習** **ヒューマンセクシャリティー論** **家族看護論** **看護研究方法論**
専任	准教授	古賀　雄二 （43） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	**成人看護学概論** 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 看護研究方法論 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **小児看護学概論**
専任	准教授	谷野　宏美 （46） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	**母性看護学概論** 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **ヒューマンセクシャリティー論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	守屋　文夫 （62） 〈平成31年4月〉 博士（医学）	薬理学 **アカデミックスキル** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	**教授**	**若井　和子 （58） 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）**	**健康生活支援実習** **母性看護学概論** **母性看護学実習** **母性看護援助論** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ**
専任	**教授**	**久米　輝善 （47） 〈令和3年4月〉 博士（医学）**	**看護内科病態学Ⅰ** **看護内科病態学Ⅱ**
専任	**教授**	**新　美保恵 （57） 〈令和3年4月〉 専門学校**	**基礎看護学実習Ⅰ**
兼担	**准教授**	**赤松　恵美 （49） 〈令和3年4月〉 博士（看護学）**	**母性看護援助論** **母性看護学実習** **ヒューマンセクシャリティー論** **家族看護論** **看護研究方法論**
専任	准教授	古賀　雄二 （44） 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	**成人看護学概論** 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 看護研究方法論 **チーム医療論** 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **小児看護学概論** **看護倫理**
専任	准教授	谷野　宏美 （47） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	**母性看護学概論** **母性看護援助論** **女性健康支援論** 母性看護学実習 **統合看護学実習** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **ヒューマンセクシャリティー論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専任	准教授	富田　早苗 （51） 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	富田　早苗 （51） 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	富田　早苗 （52） 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	富田　早苗 （53） 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 在宅看護実習	専任	教授	富田　早苗 （54） 〈平成31年4月〉 博士（保健看護学） 公衆衛生学 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 在宅看護実習 疫学 健康危機管理論
専任	准教授	永井　庸央 （45） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 慢性期看護学実習 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	永井　庸央 （45） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 慢性期看護学実習 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	永井　庸央 （46） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 慢性期看護学実習 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ フィジカルアセスメント	専任	准教授	永井　庸央 （47） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 慢性期看護学実習 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ フィジカルアセスメント	専任	准教授	永井　庸央 （48） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 がん看護援助論 慢性期看護学実習 看護研究方法論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ フィジカルアセスメント
専任	准教授	廣川　恵子 （50） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 臨床看護実践論 がん看護援助論 急性期看護学実習 アカデミックスキル 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	廣川　恵子 （50） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 臨床看護実践論 がん看護援助論 急性期看護学実習 アカデミックスキル 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	廣川　恵子 （51） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 臨床看護実践論 がん看護援助論 急性期看護学実習 アカデミックスキル 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護理論	専任	教授	廣川　恵子 （52） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 臨床看護実践論 がん看護援助論 急性期看護学実習 アカデミックスキル 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護理論 フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論	専任	教授	廣川　恵子 （53） 〈平成31年4月〉 博士（看護学） 臨床看護実践論 がん看護援助論 急性期看護学実習 アカデミックスキル 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護理論 フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 看護学概論
専任	准教授	山本　加奈子 （46） 〈平成31年4月〉 博士（健康科学） 看護学概論 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 国際看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	山本　加奈子 （46） 〈平成31年4月〉 博士（健康科学） 看護学概論 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 国際看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護理論	専任	准教授	山本　加奈子 （47） 〈平成31年4月〉 博士（健康科学） 看護学概論 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 国際看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護理論	専任	准教授	山本　加奈子 （48） 〈平成31年4月〉 博士（健康科学） 看護学概論 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 国際看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護理論			
専任	講師	赤田　いづみ （46） 〈平成31年4月〉 修士（看護学） 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	赤田　いづみ （46） 〈平成31年4月〉 修士（看護学） 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護学概論 看護理論										

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	石井　陽子 （50） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	石田　実知子 （56） 〈平成31年4月〉 修士（社会福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	上野　瑠子 （54） 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習
専任	講師	太田　浩子 （54） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 アカデミックスキル 医療安全論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	小野　聡子 （47） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	看護学概論 看護理論 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	石井　陽子 （49） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**
専任	講師	石田　実知子 （56） 〈平成31年4月〉 修士（社会福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	上野　瑠子 （54） 〈平成31年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習
専任	講師	太田　浩子 （54） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 アカデミックスキル 医療安全論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	小野　聡子 （47） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	看護学概論 看護理論 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	石井　陽子 （50） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論** **公衆衛生看護学概論**
専任	講師	石田　実知子 （57） 〈平成31年4月〉 修士（社会福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**
専任	講師	上野　瑠子 （55） 〈平成31年4月〉 **博士（スポーツ健康科学）**	**健康生活支援実習** **老年看護学概論**
専任	講師	太田　浩子 （55） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 **アカデミックスキル** **医療安全論** 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **フィジカルアセスメント**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**准教授**	石井　陽子 （51） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 保健指導論 **産業看護学** 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論** **公衆衛生看護学概論** **在宅看護実習**
専任	**准教授**	石田　実知子 （58） 〈平成31年4月〉 修士（社会福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**
専任	講師	上野　瑠子 （56） 〈平成31年4月〉 **博士（スポーツ健康科学）**	**健康生活支援実習** **老年看護学概論** **老年看護学実習** **老年看護援助論**
専任	講師	太田　浩子 （56） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 **アカデミックスキル** **医療安全論** 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **フィジカルアセスメント** **成人看護学概論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	**准教授**	石井　陽子 （52） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	公衆衛生学 **保健医療福祉行政論Ⅱ** 保健指導論 **産業看護学** 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論** **公衆衛生看護学概論** **在宅看護実習** **保健医療福祉行政論Ⅰ** **公衆衛生看護管理論**
専任	**准教授**	石田　実知子 （59） 〈平成31年4月〉 修士（社会福祉学）	対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 地域精神看護論 精神看護学実習 **災害看護学** 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**
専任	**准教授**	**伊藤　真理** **（54）** **〈令和3年10月〉** **博士（看護学）**	**卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **成人看護学概論** **急性期看護援助論** **臨床看護実践論** **クリティカルケア論** **看護倫理** **統合看護学実習** **急性期看護学実習**
専任	**准教授**	上野　瑠子 （57） 〈平成31年4月〉 **博士（スポーツ健康科学）**	**健康生活支援実習** **老年看護学概論** **老年看護学実習** **老年看護援助論** **卒業研究Ⅰ** **卒業研究Ⅱ** **認知症看護論** **看護管理学（キャリア開発を含む）** **統合看護学実習**
専任	講師	太田　浩子 （57） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 **アカデミックスキル** **医療安全論** 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **フィジカルアセスメント** **成人看護学概論** **がん看護援助論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	講師	小薮　智子 （41） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	小薮　智子 （40） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **アカデミックスキル**	専任	講師	小薮　智子 （41） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **アカデミックスキル**	専任	講師	小薮　智子 （42） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **アカデミックスキル**	専任	講師	小薮　智子 （43） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **アカデミックスキル** **認知症看護論**
			兼担	**講師**	**小薮　智子 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（保健看護学）**						
					アカデミックスキル						
専任	講師	白岩　千恵子 （41） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ									
専任	講師	滝川　節子 （53） ＜令和2年4月＞ 博士（医科学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	滝川　節子 （52） ＜令和2年4月＞ 博士（医科学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	滝川　節子 （53） ＜令和2年4月＞ 博士（医科学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **フィジカルアセスメント**	専任	講師	滝川　節子 （54） ＜令和2年4月＞ 博士（医科学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **フィジカルアセスメント**	専任	講師	滝川　節子 （55） ＜令和2年4月＞ 博士（医科学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **フィジカルアセスメント**
専任	講師	中瀬　雄大 （34） ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） 生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ									
専任	講師	西田　洋子 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） 保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	西田　洋子 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） 保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	西田　洋子 （43） ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） ~~保健医療福祉行政論Ⅰ~~ 公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	西田　洋子 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） ~~保健医療福祉行政論Ⅰ~~ 公衆衛生学 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 保健指導論 **産業看護学** 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **在宅看護実習**	専任	講師	西田　洋子 （45） ＜平成31年4月＞ 修士（看護学） ~~保健医療福祉行政論Ⅰ~~ **公衆衛生学** 保健医療福祉行政論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 保健指導論 **産業看護学** 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護活動Ⅱ コミュニティアセスメント 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **在宅看護実習** **公衆衛生看護管理論**
専任	講師	西村　祐枝 （50） ＜令和3年4月＞ 修士（保健学） 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ									
専任	講師	原田　さゆり （44） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	原田　さゆり （43） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	講師	原田　さゆり （44） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**	専任	講師	原田　さゆり （45） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**	専任	講師	原田　さゆり （46） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学） 母性看護学概論 母性看護援助論 女性健康支援論 母性看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ **家族看護論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	細川　京子 （48） 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼担	講師	細川　京子 （47） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論
専任	講師	光井　綾子 （46） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	森戸　雅子 （59） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	藤原　由泰 （38） 〈令和2年4月〉 修士（保健学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 対人関係援助論 精神看護学概論
専任	講師	宮脇　倫子 （45） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	細川　京子 （46） 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼担	講師	細川　京子 （45） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論
専任	講師	光井　綾子 （45） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	森戸　雅子 （58） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	藤原　由泰 （39） 〈令和2年4月〉 修士（保健学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習
専任	講師	宮脇　倫子 （44） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	細川　京子 （47） 〈令和3年4月〉 修士（看護学）	急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 成人看護学概論
兼担	講師	細川　京子 （47） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論
専任	講師	光井　綾子 （46） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 チーム医療論 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	森戸　雅子 （59） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	藤原　由泰 （38） 〈令和2年4月〉 修士（保健学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 対人関係援助論 精神看護学概論
専任	講師	宮脇　倫子 （45） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	細川　京子 （48） 〈令和4年4月〉 修士（看護学）	急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 成人看護学概論
兼担	講師	細川　京子 （48） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	成人看護学概論 急性期看護援助論 臨床看護実践論 急性期看護学実習
専任	准教授	森戸　雅子 （60） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	藤原　由泰 （39） 〈令和2年4月〉 修士（保健学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習
専任	講師	宮脇　倫子 （46） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 フィジカルアセスメント

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	細川　京子 （49） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 災害看護学 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 国際看護学 健康危機管理論
専任	准教授	森戸　雅子 （61） 〈令和2年4月〉 博士（保健看護学）	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 家族看護論
専任	講師	藤原　由泰 （40） 〈令和2年4月〉 修士（保健学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅱ 対人関係援助論 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域精神看護論 家族看護論 統合看護学実習
専任	講師	宮脇　倫子 （47） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 フィジカルアセスメント 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 統合看護学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	池上　邦子 （38） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	井上　清香 （35） 〈令和2年4月〉 修士（保健看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	大坂　卓 （33） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	長崎　恵美子 （47） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	池上　邦子 （37） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	井上　清香 （34） 〈令和2年4月〉 修士（保健看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	大坂　卓 （33） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	基礎看護学実習Ⅰ 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	長崎　恵美子 （47） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	生活援助技術論 診療補助技術論 フィジカルアセスメント 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護学概論 看護理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	園田　由美 （50） 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論
専任	講師	大倉　美穂 （53） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論
専任	助教	池上　邦子 （38） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 基礎看護学実習Ⅱ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	助教	井上　清香 （35） 〈令和2年4月〉 修士（保健看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	大坂　卓 （34） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康生活支援実習
専任	講師	長崎　恵美子 （48） 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	生活援助技術論 診療補助技術論 ~~フィジカルアセスメント~~ 看護過程論 基礎統合論 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 看護学概論 看護理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	園田　由美 （51） 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論
専任	講師	大倉　美穂 （54） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 フィジカルアセスメント
専任	助教	池上　邦子 （39） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 医療安全論
専任	助教	井上　清香 （36） 〈令和2年4月〉 修士（保健看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	大坂　卓 （35） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康生活支援実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	園田　由美 （52） 〈令和2年4月〉 博士（看護学）	フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 医療安全論 チーム医療論 統合看護学実習
専任	講師	大倉　美穂 （55） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 ~~フィジカルアセスメント~~ 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	池上　邦子 （40） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ ~~基礎看護学実習Ⅱ~~ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 医療安全論 フィジカルアセスメント がん看護援助論
専任	講師	井上　清香 （37） 〈令和2年4月〉 修士（保健看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児健康支援論 小児看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	講師	大坂　卓 （36） 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 急性期看護援助論 臨床看護実践論 クリティカルケア論 急性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 健康生活支援実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	助教	松田　美鈴 （44） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 基礎看護学実習Ⅰ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	松田　美鈴 （43） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） 基礎看護学実習Ⅰ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	松田　美鈴 （44） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 老年看護学概論	松田　美鈴 （45） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習	松田　美鈴 （46） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学） ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 慢性期看護援助論 臨床看護実践論 慢性期看護学実習 統合看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 認知症看護論
			中桐　亜紀 （39） ＜平成31年4月＞ 修士（看護保健学）	中桐　亜紀 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（看護保健学）	中桐　亜紀 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（看護保健学）	中桐　亜紀 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（看護保健学）
			専任　助教 健康生活支援実習 看護学概論 看護理論 生活援助技術論	専任　助教 健康生活支援実習 看護学概論 看護理論 生活援助技術論 フィジカルアセスメント 母性看護学概論	専任　助教 健康生活支援実習 看護学概論 看護理論 生活援助技術論 フィジカルアセスメント 母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習	専任　助教 健康生活支援実習 看護学概論 看護理論 生活援助技術論 フィジカルアセスメント 母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 女性健康支援論 統合看護学実習
			香西　早苗 （34） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学）	香西　早苗 （35） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学）	香西　早苗 （36） ＜令和2年4月＞ 修士（保健看護学）
			専任　助教 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学概論	専任　助教 健康生活支援実習 ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習	専任　助教 健康生活支援実習 ~~基礎看護学実習Ⅰ~~ 小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 小児健康支援論 統合看護学実習
				渡邊　朱美 （36） ＜令和3年4月＞ 修士（保健看護学）	
				専任　助教 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習	
				宮川　豊 （36） ＜令和3年4月＞ 修士（保健福祉学）	宮川　豊 （37） ＜令和3年4月＞ 修士（保健福祉学）
				専任　助教 フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 統合看護学実習	専任　助教 フィジカルアセスメント 健康生活支援実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 生活援助技術論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 統合看護学実習
					岩本　真弓 （56） ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
					専任　助教 コミュニティアセスメント 公衆衛生看護活動Ⅱ 保健医療福祉行政論Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 保健指導論 産業看護学 公衆衛生看護活動Ⅰ 公衆衛生看護管理論 在宅看護実習 統合看護学実習
兼担	教授	秋定　健 （61） ＜令和2年4月＞ 医学博士 看護内科病態学Ⅱ	秋定　健 （60） ＜令和2年4月＞ 医学博士 看護内科病態学Ⅱ	秋定　健 （61） ＜令和2年4月＞ 医学博士 看護内科病態学Ⅱ	秋定　健 （62） ＜令和2年4月＞ 医学博士 看護内科病態学Ⅱ	秋定　健 （63） ＜令和2年4月＞ 医学博士 看護内科病態学Ⅱ
兼担	教授	飯田　淳子 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 人類学 異文化理解（海外研修）	飯田　淳子 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 人類学 異文化理解（海外研修）	飯田　淳子 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 人類学 異文化理解（海外研修）	飯田　淳子 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 人類学 異文化理解（海外研修）	飯田　淳子 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 人類学 異文化理解（海外研修）
兼担	教授	梅田　勝 （66） ＜令和4年4月＞ 医学博士 疫学	梅田　勝 （63） ＜令和4年4月＞ 医学博士 疫学	梅田　勝 （64） ＜令和4年4月＞ 医学博士 疫学	梅田　勝 （65） ＜令和4年4月＞ 医学博士 疫学	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	柏原　洋子 (61) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング
兼担	教授	河原　和枝 (67) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	教授	姜　波 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	田口　豊郁 (65) 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	武政　睦子 (57) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	栄養学
兼担	教授	種村　純 (66) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	野澤　亮平 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士	統計学
兼担	教授	橋本　勇人 (59) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼担	教授	平井　敏弘 (68) 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	福岡　欣治 (50) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 (58) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 (69) 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	虫明　基 (69) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	矢野　博己 (53) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	山田　作夫 (67) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	感染と免疫
兼担	教授	山田　佐登美 (64) 〈平成31年4月〉 専門学校	看護学概論 医療安全論 看護管理学（キャリア開発を含む）
兼担	教授	吉岡　リサ (66) 〈平成31年4月〉 修士（比較文化）	英会話 英語リーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	柏原　洋子 (61) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） 実践英会話 英語インテンシブリーディング
兼担	教授	河原　和枝 (67) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	教授	姜　波 (60) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	田口　豊郁 (65) 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	種村　純 (66) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	野澤　亮平 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士	統計学
兼担	教授	橋本　勇人 (59) 〈平成31年4月〉 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	教授	林　明弘 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士	哲学
兼任	教授	平井　敏弘 (68) 〈平成31年4月〉 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	福岡　欣治 (50) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 (58) 〈平成31年4月〉 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 (69) 〈平成31年4月〉 理学士	生物学
兼担	教授	虫明　基 (69) 〈平成31年4月〉 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	矢野　博己 (53) 〈平成31年4月〉 博士（医学）	健康科学論
兼担	教授	山田　作夫 (67) 〈平成31年4月〉 博士（薬学）	感染と免疫
兼担	教授	山田　佐登美 (64) 〈平成31年4月〉 専門学校	看護学概論 医療安全論 看護管理学（キャリア開発を含む） 看護理論
兼担	教授	吉岡　リサ (66) 〈平成31年4月〉 修士（比較文化）	英会話 英語リーディング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	柏原　洋子 (62) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ 実践英会話 英語インテンシブリーディング 英語リーディング
兼担	教授	姜　波 (61) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼担	教授	田口　豊郁 (66) 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	文谷　知明 (61) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	柏原　洋子 (63) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ 実践英会話 英語インテンシブリーディング 英語リーディング
兼担	教授	姜　波 (62) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼任	講師	田口　豊郁 (67) 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論
兼担	教授	文谷　知明 (62) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	柏原　洋子 (64) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	~~基礎英語Ⅰ~~ ~~基礎英語Ⅱ~~ ~~英会話（海外研修）~~ 実践英会話 英語インテンシブリーディング 英語リーディング
兼担	教授	姜　波 (63) 〈平成31年4月〉 博士（学術）	初修外国語 異文化理解
兼任	講師	田口　豊郁 (68) 〈平成31年4月〉 医学博士	生活環境論 公衆衛生学
兼担	教授	文谷　知明 (63) ＜令和2年4月＞ 教育学修士	健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	市川　和子 (63) ＜平成31年4月＞ 短期大学
		栄養学
兼担	准教授	伊藤　隆男 (64) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	鐵原　拓雄 (63) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		病理病態学
兼担	准教授	園田　祐治 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		構造と機能Ⅰ 構造と機能Ⅱ フィジカルアセスメント
兼担	准教授	田中　順子 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		社会学
兼担	准教授	福島　康弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		ボランティア入門
兼担	准教授	松本　義信 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（食品栄養学）
		生化学
兼担	准教授	山内　泰子 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）
		生命倫理学 生命科学
兼担	講師	北澤　正志 (58) ＜平成31年4月＞ 文学士
		文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	市川　和子 (63) ＜平成31年4月＞ 短期大学
		栄養学
兼担	准教授	伊藤　隆男 (64) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	鐵原　拓雄 (63) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		病理病態学
兼担	教授	園田　祐治 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		構造と機能Ⅰ 構造と機能Ⅱ フィジカルアセスメント
兼担	准教授	田中　順子 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		社会学
兼担	准教授	福島　康弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		ボランティア入門
兼担	准教授	松本　義信 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（食品栄養学）
		生化学
兼担	教授	山内　泰子 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）
		生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	北澤　正志 (58) ＜平成31年4月＞ 文学士
		文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	宮川　健 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		医療福祉学概論 医療と福祉
兼担	教授	竹内　仁司 (70) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		入門医学概論
兼担	准教授	市川　和子 (64) ＜平成31年4月＞ 短期大学
		栄養学
兼担	准教授	鐵原　拓雄 (64) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		病理病態学
兼担	教授	園田　祐治 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		構造と機能Ⅰ 構造と機能Ⅱ フィジカルアセスメント 基礎統合論
兼担	教授	田中　順子 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (53) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		社会学
兼担	准教授	松本　義信 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（食品栄養学）
		生化学
兼担	教授	山内　泰子 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）
		生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	北澤　正志 (59) ＜平成31年4月＞ 文学士
		文章表現
兼担	准教授	藤澤　早美 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（健康科学）
		栄養学
兼担	准教授	土家　禎夫 (62) ＜令和2年4月＞ 学士（理学）
		数学
兼担	准教授	クレメニック，Ｍ．Ｊ (53) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話
兼担	准教授	石本　恭子 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（社会健康医学）
		健康体育基礎理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	宮川　健 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		医療福祉学概論 医療と福祉
兼担	教授	正木　久男 (69) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		入門医学概論
兼担	教授	米谷　正造 (60) ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	教授	園田　祐治 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		構造と機能Ⅰ 構造と機能Ⅱ フィジカルアセスメント 基礎統合論
兼担	教授	田中　順子 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (54) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		社会学
兼担	教授	山内　泰子 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）
		生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	北澤　正志 (60) ＜平成31年4月＞ 文学士
		文章表現
兼担	准教授	藤澤　早美 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（健康科学）
		栄養学
兼担	准教授	土家　禎夫 (63) ＜令和2年4月＞ 学士（理学）
		数学
兼担	准教授	クレメニック，Ｍ．Ｊ (54) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話
兼担	准教授	石本　恭子 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（社会健康医学）
		健康体育基礎理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	宮川　健 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		医療福祉学概論 医療と福祉
兼担	教授	米谷　正造 (61) ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	教授	泰山　浩司 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		生物学
兼担	教授	石原　克彦 (65) ＜令和4年4月＞ 医学（博士）
		入門医学概論
兼担	教授	園田　祐治 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		構造と機能Ⅰ 構造と機能Ⅱ フィジカルアセスメント 基礎統合論
兼担	教授	田中　順子 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		社会学
兼担	教授	山内　泰子 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）
		生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	北澤　正志 (61) ＜平成31年4月＞ 文学士
		文章表現
兼担	准教授	藤澤　早美 (49) ＜令和2年4月＞ 博士（健康科学）
		栄養学
兼担	准教授	土家　禎夫 (64) ＜令和2年4月＞ 学士（理学）
		数学
兼担	准教授	クレメニック，Ｍ．Ｊ (55) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話
兼担	准教授	石本　恭子 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（社会健康医学）
		健康体育基礎理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担	准教授	矢納　陽 (47) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	兼担	教授	矢納　陽 (48) 〈令和2年4月〉 博士（工学）	兼担	教授	矢納　陽 (49) 〈令和2年4月〉 博士（工学）
								物理学			物理学			物理学
									兼担	准教授	中尾　竜二 (42) 〈令和3年4月〉 博士（保健福祉学）	兼担	准教授	中尾　竜二 (43) 〈令和3年4月〉 博士（保健福祉学）
											在宅看護概論			在宅看護概論
兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (43) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (44) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (45) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）	兼担	講師	國弘　保明 (46) 〈平成31年4月〉 修士（言語教育学）
		文章表現			文章表現			文章表現			文章表現			文章表現
兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	小池　大介 (44) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	小池　大介 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	准教授	小池　大介 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	准教授	小池　大介 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）
		コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習			コンピュータ基礎演習
		コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習			コンピュータ活用演習
兼担	講師	小崎　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	講師	小崎　順子 (51) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	講師	小崎　順子 (52) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	准教授	小崎　順子 (53) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士	兼担	准教授	小崎　順子 (54) 〈平成31年4月〉 英語教授法 TESOL英語教育修士
		基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ
		基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ
兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (47) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (48) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (49) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	朱　容仁 (50) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）
		健康体育基礎理論			健康体育基礎理論			健康体育基礎理論			健康体育基礎理論			健康体育基礎理論
		健康体育実技（レクリエーション系）			健康体育実技（レクリエーション系）			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~			~~健康体育実技（レクリエーション系）~~
								健康体育実技（スポーツ系）			健康体育実技（スポーツ系）			健康体育実技（スポーツ系）
兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	谷川　智宏 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	谷川　智宏 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）	兼担	講師	谷川　智宏 (47) 〈平成31年4月〉 博士（医療情報学）			
		情報学概論			情報学概論			情報学概論			情報学概論			
兼担	講師	桃原　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）	兼担	講師	桃原（羽原）　司 (43) 〈平成31年4月〉 修士（体育学）									
		健康体育基礎演習			健康体育基礎演習									
		健康体育実技（スポーツ系）			健康体育実技（スポーツ系）									
兼担	講師	中村　博範 (42) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	中村　博範 (42) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	准教授	中村　博範 (43) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	准教授	中村　博範 (44) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	准教授	中村　博範 (45) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）
		生化学			生化学			生化学			生化学			生化学
兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (42) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (43) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (44) 〈平成31年4月〉 博士（文学）	兼担	講師	西脇　藍 (45) 〈平成31年4月〉 博士（文学）
		医療福祉の歴史			医療福祉の歴史			医療福祉の歴史			医療福祉の歴史			医療福祉の歴史
		和の伝統文化			和の伝統文化			和の伝統文化			和の伝統文化			和の伝統文化
兼担	講師	根来　麻子 (38) 〈平成31年4月〉 博士（文学）												
		文章表現												
		日本語リテラシー												
兼担	講師	秦　久美子 (59) 〈平成31年4月〉 修士（看護学）												
		ヒューマンセクシャリティー論												
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	兼担	講師	平田（森）　智子 (37) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	兼担	講師	平田（森）　智子 (38) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）	兼担	講師	平田（森）　智子 (39) 〈平成31年4月〉 修士（医療福祉マネジメント学）			
		経済学			経済学			経済学			経済学			
兼担	講師	藤原　有子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）	兼担	講師	中尾　有子 (41) 〈平成31年4月〉 博士（健康科学）									
		健康体育基礎演習			健康体育基礎演習									
		健康体育実技（フィットネス系）			健康体育実技（フィットネス系）									
兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	講師	山根　真由美 (52) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	講師	山根　真由美 (53) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	講師	山根　真由美 (54) 〈平成31年4月〉 修士（文学）	兼担	准教授	山根　真由美 (55) 〈平成31年4月〉 修士（文学）
		基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			~~基礎英語Ⅰ~~
		基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			~~基礎英語Ⅱ~~
								英会話（海外研修）			英会話（海外研修）			英会話（海外研修）
兼担	講師	米嶋　美智子 (47) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	兼担	講師	米嶋　美智子 (46) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	兼担	講師	米嶋　美智子 (47) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）						
		学校保健			学校保健			学校保健						
						兼担	講師	岡崎　利治 (43) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	兼担	講師	岡崎　利治 (44) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）	兼担	講師	岡崎　利治 (45) 〈令和2年4月〉 修士（社会福祉学）
								ボランティア入門			ボランティア入門			ボランティア入門
						兼担	講師	中川　麻衣子 (40) 〈令和2年4月〉 修士（教育学）						
								健康体育基礎演習						
						兼担	講師	プレバッテ，J (55) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	兼担	講師	プレバッテ，J (56) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）	兼担	講師	プレバッテ，J (57) 〈令和2年4月〉 修士（MA TESOL/Curriculum Design）
								基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ			基礎英語Ⅰ
								基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ			基礎英語Ⅱ
								実践英会話			実践英会話			実践英会話

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	近末　久美子 (54) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	感染と免疫
兼担	准教授	笹埜　三世里 (61) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	准教授	橋本　美香 (52) 〈令和元年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼任	講師	青木　省三 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	阿部　利則 (66) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	保健統計学
兼任	講師	飯田　忠行 (49) 〈令和4年4月〉 博士（医学）	公衆衛生学
兼任	講師	植月　尚子 (65) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	小野　公嗣 (40) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	鎌田　智有 (58) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	産業看護学
兼任	講師	下屋　浩一郎 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	樋田　一徳 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	中野　貴司 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 国際看護学
兼任	講師	中野　宏子 (66) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	中村　悠 (38) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	那須　淳子 (61) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	後藤　大輔 (32) 〈平成31年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	近末　久美子 (54) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	感染と免疫
兼担	准教授	笹埜　三世里 (61) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	准教授	橋本　美香 (52) 〈令和元年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼任	講師	青木　省三 (66) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	阿部　利則 (65) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	保健統計学
兼任	講師	飯田　忠行 (49) 〈令和4年4月〉 博士（医学）	公衆衛生学
兼任	講師	植月　尚子 (62) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	小野　公嗣 (39) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	鎌田　智有 (56) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	産業看護学
兼任	講師	下屋　浩一郎 (58) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼担	准教授	谷本　泰正 (66) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	樋田　一徳 (58) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	中野　貴司 (60) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 国際看護学
兼任	講師	中野　宏子 (63) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	中村　悠 (37) 〈令和2年4月〉 修士（医科学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	那須　淳子 (58) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	山形　高司 (38) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	助教	兵藤　史武 (35) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	統計学 保健統計学
兼担	教授	近末　久美子 (55) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	感染と免疫
兼担	准教授	笹埜　三世里 (62) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	准教授	橋本　美香 (53) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼任	講師	飯田　忠行 (47) 〈令和4年4月〉 博士（医学）	公衆衛生学
兼任	講師	植月　尚子 (63) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	小野　公嗣 (40) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	フィジカルアセスメント 基礎統合論
兼任	講師	鎌田　智有 (57) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	産業看護学
兼任	講師	下屋　浩一郎 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	谷本　泰正 (67) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	樋田　一徳 (59) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	フィジカルアセスメント 基礎統合論
兼任	講師	中野　貴司 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 国際看護学
兼任	講師	中野　宏子 (64) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	那須　淳子 (59) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	後藤　大輔 (34) 〈令和3年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	助教	山形　高司 (39) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	助教	兵藤　史武 (36) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	統計学 保健統計学
兼担	助教	門利　知美 (35) 〈令和3年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	近末　久美子 (56) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	感染と免疫
兼担	准教授	笹埜　三世里 (63) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	教授	橋本　美香 (54) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼任	講師	飯田　忠行 (48) 〈令和4年4月〉 博士（医学）	公衆衛生学
兼任	講師	植月　尚子 (64) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	下屋　浩一郎 (60) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼担	准教授	谷本　泰正 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	中野　貴司 (62) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 国際看護学
兼任	講師	中野　宏子 (65) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	那須　淳子 (60) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	後藤　大輔 (35) 〈令和3年4月〉 修士（スポーツ健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	助教	山形　高司 (40) 〈令和2年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 ~~健康体育実技（レクリエーション系）~~ 健康体育実技（フィットネス系）
兼担	助教	兵藤　史武 (37) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	統計学 保健統計学
兼担	助教	門利　知美 (36) 〈令和3年4月〉 博士（健康科学）	健康体育基礎演習
兼担	教授	近末　久美子 (57) 〈平成31年4月〉 博士（保健学）	感染と免疫
兼担	准教授	笹埜　三世里 (64) 〈平成31年4月〉 短期大学	栄養学
兼担	教授	橋本　美香 (55) 〈令和2年4月〉 博士（文学）	文章表現 日本語リテラシー
兼任	講師	飯田　忠行 (49) 〈令和4年4月〉 博士（医学）	公衆衛生学 疫学
兼任	講師	下屋　浩一郎 (61) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼担	准教授	谷本　泰正 (69) 〈平成31年4月〉 理学修士	化学
兼任	講師	中野　貴司 (63) 〈令和2年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ 国際看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西野　由理江 (57) 〈令和3年4月〉 高等学校	老年看護援助論
兼任	講師	西村　瑞穂 (53) 〈令和3年4月〉 短期大学	老年看護援助論
兼任	講師	野津　英司 (40) 〈令和2年4月〉 修士（生物資源科学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	平松　貴子 (55) 〈令和4年4月〉 短期大学	がん看護援助論
兼任	講師	平本　美津恵 (55) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	藤田　有香 (36) 〈令和3年4月〉 専門学校	産業看護学
兼任	講師	堀江　沙和 (37) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	村下　志保子 (62) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	義村　禮子 (67) 〈平成31年4月〉 専門学校	対人関係援助論
兼任	講師	六原　純子 (47) 〈令和4年4月〉 専門学校	がん看護援助論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西野　由理江 (55) 〈令和3年4月〉 高等学校	老年看護援助論
兼任	講師	西村　瑞穂 (51) 〈令和3年4月〉 短期大学	老年看護援助論
兼任	講師	野津　英司 (39) 〈令和2年4月〉 修士（生物資源科学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	平松　貴子 (52) 〈令和4年4月〉 短期大学	がん看護援助論
兼任	講師	平本　美津恵 (54) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	藤田　有香 (34) 〈令和3年4月〉 専門学校	産業看護学
兼任	講師	堀江　沙和 (36) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	フィジカルアセスメント
兼任	講師	村下　志保子 (59) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	義村　禮子 (67) 〈平成31年4月〉 専門学校	対人関係援助論
兼任	講師	六原　純子 (44) 〈令和4年4月〉 専門学校	がん看護援助論
兼任	講師	濵松　恵子 (51) 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	生活援助技術論 対人関係援助論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西野　由理江 (56) 〈令和3年4月〉 高等学校	老年看護援助論
兼任	講師	西村　瑞穂 (52) 〈令和3年4月〉 短期大学	老年看護援助論
兼任	講師	野津　英司 (40) 〈令和2年4月〉 修士（生物資源科学）	~~フィジカルアセスメント~~ 基礎統合論
兼任	講師	平松　貴子 (53) 〈令和4年4月〉 短期大学	がん看護援助論
兼任	講師	藤田　有香 (35) 〈令和3年4月〉 専門学校	産業看護学
兼任	講師	堀江　沙和 (37) 〈令和2年4月〉 博士（保健学）	~~フィジカルアセスメント~~ 基礎統合論
兼任	講師	村下　志保子 (60) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	義村　禮子 (68) 〈平成31年4月〉 専門学校	対人関係援助論
兼任	講師	六原　純子 (45) 〈令和4年4月〉 専門学校	がん看護援助論
兼任	講師	濵松　恵子 (52) 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	生活援助技術論 対人関係援助論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論
兼任	講師	赤木　美代子 (35) 〈令和2年4月〉 学士(保健看護学)	成人看護学概論
兼任	講師	川上　由紀 (37) 〈令和2年4月〉 修士（看護学）	生活援助技術論 診療補助技術論
兼任	講師	万代　京央子 (57) 〈令和2年4月〉 学士（児童学）	在宅看護概論
兼任	講師	石原　武士 (54) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	松田　真哉 (45) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	坪田　香 (44) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	西井　研治 (64) 〈令和2年4月〉 医学博士	保健指導論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	平松　貴子 (54) 〈令和4年4月〉 短期大学	がん看護援助論 基礎看護学実習Ⅰ
兼任	講師	村下　志保子 (61) 〈令和4年4月〉 専門学校	公衆衛生看護管理論
兼任	講師	義村　禮子 (69) 〈平成31年4月〉 専門学校	対人関係援助論
兼任	講師	六原　純子 (46) 〈令和4年4月〉 専門学校	がん看護援助論
兼任	講師	濵松　恵子 (53) 〈平成31年4月〉 修士（保健看護学）	生活援助技術論 対人関係援助論 診療補助技術論 基礎統合論 看護過程論
兼任	講師	万代　京央子 (58) 〈令和2年4月〉 学士（児童学）	在宅看護概論
兼任	講師	石原　武士 (55) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	松田　真哉 (46) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	坪田　香 (45) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	阿部　由美 (54) 〈令和3年4月〉 専門学校	母性看護学概論
兼任	講師	井上　雅子 (52) 〈令和3年4月〉 専門学校	産業看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	平松　貴子 (55) 〈令和4年4月〉 短期大学	がん看護援助論 基礎看護学実習Ⅰ 看護倫理
兼任	講師	万代　京央子 (59) 〈令和2年4月〉 学士（児童学）	在宅看護概論
兼担	講師	石原　武士 (56) 〈令和2年4月〉 医学博士	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	松田　真哉 (47) 〈令和2年4月〉 専門学校	医療安全論
兼任	講師	阿部　由美 (55) 〈令和3年4月〉 専門学校	母性看護学概論
兼任	講師	井上　雅子 (53) 〈令和3年4月〉 専門学校	産業看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	奥江　由衣 (41) 〈令和3年4月〉 専門学校	老年看護援助論
兼任	講師	横西　哲広 (41) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	基礎統合論
兼任	講師	久本　由香 (44) 〈令和3年4月〉 専門学校	老年看護援助論
兼任	講師	久德　弓子 (44) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	近藤　敏範 (46) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	三宅　真由美 (53) 〈令和3年4月〉 専門学校	母性看護援助論
兼任	講師	三谷　良子 (39) 〈令和3年4月〉 短期大学	母性看護援助論
兼任	講師	小林　博久 (60) 〈令和3年4月〉 短期大学	病理病態学
兼任	講師	松本　啓志 (50) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	大西　真由美 (61) 〈令和3年4月〉 学士	老年看護援助論
兼任	講師	大石　智洋 (50) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	長洲　晶子 (39) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	嶋　雄一 (50) 〈令和3年4月〉 博士（理学）	基礎統合論
兼任	講師	八十川　直哉 (37) 〈令和3年4月〉 学士（医学）	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	林　周一 (40) 〈令和3年4月〉 博士（理学）	基礎統合論
兼任	講師	岡﨑　由美子 (66) 〈令和3年4月〉 修士(教育学)	学校保健
兼任	講師	吾浦　恵美苗 (36) 〈令和3年4月〉 専門学校	小児看護援助論
兼任	講師	江田　純子 (64) 〈令和3年4月〉 短期大学	在宅看護援助論
兼任	講師	山﨑　真基子 (40) 〈令和3年4月〉 学士（保健看護学）	産業看護学
兼任	講師	赤瀬　佳代 (43) 〈令和3年4月〉 専門士	在宅看護援助論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	久本　由香 (45) 〈令和3年4月〉 専門学校	老年看護援助論 医療安全論
兼任	講師	久德　弓子 (45) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	近藤　敏範 (47) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	三宅　真由美 (54) 〈令和3年4月〉 専門学校	母性看護援助論
兼任	講師	三谷　良子 (40) 〈令和3年4月〉 短期大学	母性看護援助論
兼任	講師	小林　博久 (61) 〈令和3年4月〉 短期大学	病理病態学
兼任	講師	松本　啓志 (51) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅰ
兼任	講師	大石　智洋 (51) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	長洲　晶子 (40) 〈令和3年4月〉 博士（医学）	看護内科病態学Ⅱ
兼任	講師	岡﨑　由美子 (67) 〈令和3年4月〉 修士(教育学)	学校保健
兼任	講師	吾浦　恵美苗 (37) 〈令和3年4月〉 専門学校	小児看護援助論
兼任	講師	江田　純子 (65) 〈令和3年4月〉 短期大学	在宅看護援助論
兼任	講師	山﨑　真基子 (41) 〈令和3年4月〉 学士（保健看護学）	産業看護学
兼任	講師	赤瀬　佳代 (44) 〈令和3年4月〉 専門士	在宅看護援助論
兼任	講師	大元　和歌子 (43) 〈令和4年4月〉 学士（保健看護学）	産業看護学
兼任	講師	判　真衣 (37) 〈令和4年4月〉 修士（看護学）	産業看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	唐井　幸子 (57) ＜令和4年4月＞ 専門学校
		公衆衛生看護管理論
兼任	講師	本田　順子 (54) ＜令和4年4月＞ 専門学校
		公衆衛生看護管理論
兼任	講師	中津　朋子 (59) ＜令和4年4月＞ 専門学校
		公衆衛生看護管理論
兼任	講師	植田　あゆみ (38) ＜令和4年4月＞ 専門学校
		老年看護援助論
兼任	講師	鳳尾　弘恵 (42) ＜令和4年4月＞ 専門学校
		国際看護学

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・平成31年4月就任予定だった中瀬雄大講師（専任教員）が健康上の事情により就任辞退。学科内で科目分担を変更するとともに、後任として中桐亜紀助教（専任教員）が就任。
・令和2年4月就任予定だった松本啓子教授（専任教員）、白岩千恵子講師（専任教員）が、いずれも家庭の事情により就任辞退。後任として若井和子教授（専任教員）、上野瑞子講師（専任教員）が就任。
・令和3年4月就任予定だった西村祐枝講師（専任教員）が、家庭の事情により就任辞退。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の武政睦子、根来麻子、秦久美子が辞任。後任として、兼担教員に谷野宏美、小藪智子、近末久美子、笹埜三世里、兼任教員に濱松恵子が就任。
・大学内の教育体制変更のため、専任教員の富田早苗が准教授から教授に、長崎恵美子が助教から講師に昇任。また、兼担教員の平井敏弘が兼任教員に、兼任教員の谷本泰正が兼担教員に変更。

【令和２年度】

・他大学への就任のため、専任教員の赤田いづみ講師、小野聡子講師が退職。後任の専任教員として、藤原由泰講師、宮脇倫子講師、園田由美講師、大倉美穂講師、香西早苗助教を採用。学科内の教育体制充実のため、担当科目を再配置した。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の河原和枝、種村純、野澤亮平、平井敏弘、虫明基、吉岡リサ、伊藤隆男、福島康弘、桃原（羽原）司、中尾有子、後藤大輔、兼任教員の青木省三、阿部利則、中村悠、平本美津恵が辞任。後任として、兼担教員に文谷知明、宮川健、竹内仁司、藤澤早美、土家槙夫、クレメニック,M.J、石本恭子、矢納陽、岡崎利治、中川麻衣子、プレバッテ,J、山形高司、兵藤史武、兼任教員に赤木美代子、川上由紀、万代京央子、石原武士、松田真哉、坪田香、西井研治が就任。

【令和３年度】

・専任教員の光井綾子講師、長崎恵美子講師が退職。後任の専任教員として、久米輝善教授、新美保恵教授、渡邊朱美助教、宮川藍助教、を採用。学科内の教育体制充実のため、担当科目を再配置した。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の山田作夫、竹内仁、市川和子、鐵原拓雄、松本義信、米嶋美智子、中川麻衣子、兼任教員の小野公嗣、鎌田智有、樋田一徳、西野由理江、西村瑞穂、野津英司、藤田有香、堀江沙知、赤木美代子、川上由紀、西井研治が辞任。後任として、兼担教員に正木久男、米谷正造、後藤大輔、門利知美、兼任教員に阿部由美、井上雅子、奥江由衣、横西哲広、久本由香、久徳弓子、近藤敏範、三宅真由美、三谷良子、小林博久、松本啓志、大西真由美、大石智洋、長洲晶子、嶋雄一、八十川直哉、林周一、岡崎由美子、吾浦恵美苗、江田純子、山崎真基子、赤瀬佳代が就任。
・旧学科及び新学科との教員調整のため、赤松恵美准教授、細川京子講師の専任発令を１年延期。
・専任教員の調整のため、大城義之教授の専任発令を兼任発令に変更。

【令和４年度】

・学科内の教育体制の充実のため担当科目を再配置した。
・上野瑞子、山根真由美が講師から准教授に昇任、松田美鈴、池上邦子が助教から講師に昇任。
・教員間の科目分担変更のため、波川京子、山本加奈子、渡邊朱美、兼担教員の梅田勝、益田芳樹、正樹久男、谷川智宏、平田（森）智子、兼任教員の植月尚子、中野宏子、那須淳子、村下志保子、義村禮子、六原純子、濱松恵子、奥江由衣、横西哲広、大西真由美、嶋雄一、八十川直哉、林周一、大城義之が辞任。後任として伊藤真理、岩本真弓、兼担教員の泰山浩司、石原克彦、兼任教員の大元和歌子、判真衣、唐井幸子、植田あゆみ、鼠尾弘恵が就任。

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
15 名	8 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
9	7	15	5	36	0	12	8	12	5	37	0
(7)	(4)	(7)	(1)	(19)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
12	8	12	5	37	0	12	8	12	5	37	0
[3]	[1]	[△3]	[0]	[1]	[ ]	[3]	[1]	[△3]	[0]	[1]	[ ]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 （平成27年4月採用より） 歳	1 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{36} = 102.77\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{37} = 2.7\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）			

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●●	●●	●●			

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]			

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]

研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数
●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]	●● [　　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・　専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）		

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●●	●●	●●	●●		

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]		

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● [　]	●● [　]	●● [　]	●● [　]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	松本　啓子	H31.3	選択	認知症看護論	①	H31.3家庭の事情のため就任辞退（元）
				選択	家族看護論	①	
				必修	在宅看護概論	①	
				必修	在宅看護援助論	①	
				必修	在宅看護実習	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
2	講師	白岩　千恵子	H31.3	必修	老年看護学概論	①	H31.3家庭の事情のため就任辞退（元）
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
3	講師	中瀬　雄大	H31.3	必修	生活援助技術論	①	H31.3健康上の理由のため就任辞退（元）
				必修	診療補助技術論	①	
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	看護過程論	①	
				必修	基礎統合論	①	
				必修	健康生活支援実習	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
4	講師	西村　祐枝	H31.3	必修	急性期看護援助論	①	H31.3家庭の事情のため就任辞退（元）
				必修	臨床看護実践論	①	
				選択	クリティカルケア論	①	
				必修	急性期看護学実習	①	
				必修	チーム医療論	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
5	准教授	赤松　恵美	R4.3	必修	母性看護援助論	①	R4.3旧学科に専任として発令されているため就任辞退（４）
				必修	母性看護学実習	②	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
				選択	ヒューマンセクシャリティー論	②	
				選択	家族看護論	①	
				必修	看護研究方法論	①	
6	講師	細川　京子	R4.3	必修	急性期看護援助論	②	R4.3旧学科に専任として発令されているため就任辞退（４）
				必修	臨床看護実践論	②	
				選択	クリティカルケア論	②	
				必修	急性期看護学実習	②	
				選択	災害看護学	②	
				必修	卒業研究Ⅰ	②	
				必修	卒業研究Ⅱ	②	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
6 人	必修	41	科目	必修	35	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
	選択	7	科目	選択	4	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	48	科目	計	39	科目	計	9	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	赤田　いづみ	R2.3	必修	生活援助技術論	①	R2.3他大学の就任のため退職（２）
				必修	診療補助技術論	①	
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	看護過程論	①	
				必修	基礎統合論	①	
				必修	健康生活支援実習	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
				必修	看護学概論	①	
				必修	看護理論	①	
2	講師	小野　聡子	R2.3	必修	看護学概論	①	R2.3他大学の就任のため退職（２）
				必修	看護理論	①	
				必修	生活援助技術論	①	
				必修	診療補助技術論	①	
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	看護過程論	①	
				必修	基礎統合論	①	
				必修	健康生活支援実習	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
3	講師	光井　綾子	R3.3	必修	成人看護学概論	①	R3.3他大学の就任のため退職（３）
				必修	慢性期看護援助論	①	
				必修	臨床看護実践論	①	
				必修	慢性期看護学実習	①	
				必修	チーム医療論	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
4	講師	長崎　恵美子	R3.3	必修	生活援助技術論	①	R3.3他大学の就任のため退職（３）
				必修	診療補助技術論	①	
				必修	看護過程論	①	
				必修	基礎統合論	①	
				必修	健康生活支援実習	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
5	教授	波川　京子	R4.4	必修	保健医療福祉行政論Ⅰ	①	R4.3他大学の就任のため退職（４）
				必修	公衆衛生学	①	
				必修	公衆衛生看護学概論	①	
				選択	産業看護学	①	
				選択	公衆衛生看護活動Ⅰ	①	
				選択	コミュニティアセスメント	①	
				選択	公衆衛生看護管理論	①	
				必修	健康危機管理論	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	
				必修	看護倫理	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
6	准教授	山本　加奈子	R4.4	必修	看護学概論	①	R4.3他大学の就任のため退職（３）
				必修	生活援助技術論	①	
				必修	診療補助技術論	①	
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	看護過程論	①	
				必修	基礎統合論	①	
				必修	健康生活支援実習	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	国際看護学	①	
				必修	統合看護学実習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
6 人	必修	65	科目	必修	65 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	6	科目	選択	6 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	71	科目	計	71 科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
12 人	必修	106	科目	必修	100 科目	必修	6	科目	必修	0	科目
	選択	13	科目	選択	10 科目	選択	3	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	119	科目	計	110 科目	計	9	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{12}{36} = 33.33\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（3）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		変更なし				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・教育内容充実のため、伊藤真理准教授、岩本貴弓助教を専任教員として採用し、学科内教員を昇任させ教員充足率を落とすことなく進行している。この採用に伴い、実習や演習科目において学生に対する、教育の質の向上が期待できると考える。なお、これらの担当教員の変更にかかる情報については、年度初めのガイダンス等で学生への周知を図っている。
・細川京子講師については、発令上の問題のため旧学科の専任としている。本学科では兼担として本来専任として担当する予定の科目全てを担当しているため、実質の教育内容には変更はない。
・赤松恵美准教授については、発令上の問題のため旧学科の専任としている。健康上の理由から、担当する予定の科目を一部減らしているが、他の専任教員によって補充を行っているため、実質の教育内容には変更はない。

（注）・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜保健看護学部　保健看護学科＞

（1） 設置計画変更事項等　※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）

（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。

（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。

（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する－系統的実習教育の実現に向けた取り組み－」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学Ⅰ・Ⅱ』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　－効果的なリメディアル教育を目指して－」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。
今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。
各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。
また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

保健看護学科は、質の高い実践力のある看護職者の養成環境を充実することを目的に保健看護学部として独立し、4年目を迎えた。1年次で看護と医療福祉の視座を修得することができた。2年次は基礎看護学実習を実施し、体験的に学修できた。3年次は各領域の実習を履修、2単位となった在宅看護実習についても現地で実施できた。4年次は新たに設けた統合看護学実習を各専門分野に分散して実施する。昨年度から準備を重ね、より学生の興味のある分野での実習が実施されることで看護実践能力の更なる積み上げや卒後のキャリアアップにつながる体制を整えている。主な実習先となる2つの病院との連携は構築されておりコロナ禍においても感染予防対策を充分に行い臨地で学びを得られる環境下にある。保健看護学部保健看護学科の完成年度となる本年は、看護実践力向上に向けた評価として各領域の技術の洗い出しを行い学生への指導の充実を図り、また、4年間の教育評価となる国家試験・就職の100%達成を目指す。教育理念・教育目的の達成に向けて教員が一丸となって取り組むことを学科会議にて周知した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ （公表後２～３ヶ月以内） ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 （ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F133310109607
注３

設置年度　　令和　　3年度
計画の区分：　研究科の専攻の設置又は課程の変更
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学大学院　　医療技術学研究科　　医療技術学専攻（修士課程）

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医療技術学研究科

＜医療技術学専攻（修士課程）＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　31
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
研究科長	（ ミヤカワ　タケシ ） 宮川　健 （平成31年４月）		
専攻主任	（モチヅキ　セイイチ ） 望月　精一 （令和３年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療技術学研究科 医療技術学専攻 （修士課程） 修士（医療技術学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	2年	8人	年次 人	16人		医療技術学研究科臨床工学専攻（修士課程

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 8 （ － ） [－]	人 （ － ） [－]	人 8 （ － ） [－]	人 （ － ） [－]	0.62倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	6 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	4 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	6 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	4 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	6 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	4 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	6 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	4 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A							0.75		0.50				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	6 [－] (－)	－ [－] (－)	4 [－]	－ [－]	
２年次			[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	6 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					[　] (　)	[　] (　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] (　)		[　] (　)		[　] (　)		6 [－] (－)		10 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	6 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	10 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 6 = 0 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 10 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜医療技術学研究科　医療技術学専攻（修士課程）＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
医療技術学基礎研究	医療技術学研究特論	1前	2			3	1				2
	英語文献特論	1前	2			2					1
	英語プレゼンテーション特論	1後	2			2					
	医療情報解析学特論	1前		2		1					
	臨床病態学特論	1前		2		1	1				1
	医用画像特論	1後		2			1				
	総合画像検査学特論	1前		2		2	1				
	生体医工学特論	1前		2		3	4				
臨床工学研究	臨床工学特論	1前		2		1	1				
	臨床工学演習	1後		2		1	1				
	先進医療学特論	1前		2		1	1				
	先進医療学演習	1後		2		1	1				
	先端医療機器学特論	1前		2		1	3				
	先端医療機器学演習	1後		2		1	1				
	医療安全学特論	1前		2		1	1				
	医療安全学演習	1後		2		1	1				
	生体情報システム工学特論	1前		2		1	1	2			
	生体情報システム工学演習	1後		2		1	1				
	生体機能解析学特論	1前		2		1	2				
	生体機能解析学演習	1後		2		1	2				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特論	1前		2		1		1			
	高次生理機能解析学演習	1後		2		1		1			
	臨床化学分析学特論	1前		2		2		1			
	臨床化学分析学演習	1後		2		2		1			
	臨床検査情報解析学特論	1前		2		2		1			
	臨床検査情報解析学演習	1後		2		2		1			
	分子病態解析学特論	1前		2		1		1			
	分子病態解析学演習	1後		2		1		1			
	組織・形態解析学特論	1前		2		2	1				
	組織・形態解析学演習	1後		2		2	1				
	感染防御学特論	1前		2		2					
	感染防御学演習	1後		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特論	1前		2			2				
	画像情報理工学演習	1後		2			2				
	放射線計測管理学特論	1前		2			2				
	放射線計測管理学演習	1後		2			2				
	放射線画像検査学特論	1後		2		1	1				
	放射線画像検査学演習	2前		2		1	1				
	医用画像検査学特論	1前		2		2					
	医用画像検査学演習	2前		2		2					
	放射線治療学特論	1後		2				1			1
	放射線治療学演習	2前		2				1			1
	代謝・機能画像検査学特論	1後		2		2					
	代謝・機能画像検査学演習	2前		2		2					
医療技術学特別研究Ⅰ		2前	2			13					2
医療技術学特別研究Ⅱ		2後	2			13					2
合計（46科目）		－	10	82	0	13	10	6	0	0	2

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
医療技術学基礎研究	医療技術学研究特論	1前	2			3	1				2
	英語文献特論	1前	2			2					**2**
	英語プレゼンテーション特論	1後	2			2	**1**				**1**
	医療情報解析学特論	1前		2		1					
	臨床病態学特論	1前		2		1	1				1
	医用画像特論	1後		2		**1**					
	総合画像検査学特論	1前		2		2	1	**1**			
	生体医工学特論	1前		2		3	**3**				**1**
臨床工学研究	臨床工学特論	1前		2		1	1				
	臨床工学演習	1後		2		1	1				
	先進医療学特論	1前		2		1	1				
	先進医療学演習	1後		2		1	1				
	先端医療機器学特論	1前		2		**2**	**2**				
	先端医療機器学演習	1後		2		**2**					
	医療安全学特論	1前		2			1				**1**
	医療安全学演習	1後		2			1				**1**
	生体情報システム工学特論	1前		2			**2**	**1**			**1**
	生体情報システム工学演習	1後		2			1				**1**
	生体機能解析学特論	1前		2		**2**	**1**				
	生体機能解析学演習	1後		2		**2**	**1**				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特論	1前		2		1	**1**				
	高次生理機能解析学演習	1後		2		1	**1**				
	臨床化学分析学特論	1前		2		**1**		1			
	臨床化学分析学演習	1後		2		**1**		1			
	臨床検査情報解析学特論	1前		2		2		1			
	臨床検査情報解析学演習	1後		2		2		1			
	分子病態解析学特論	1前		2		1		1			**1**
	分子病態解析学演習	1後		2		1		1			**1**
	組織・形態解析学特論	1前		2		2	1				
	組織・形態解析学演習	1後		2		2	1				
	感染防御学特論	1前		2		2					
	感染防御学演習	1後		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特論	1前		2		**1**	**1**				
	画像情報理工学演習	1後		2		**1**	**1**				
	放射線計測管理学特論	1前		2			2				
	放射線計測管理学演習	1後		2			2				
	放射線画像検査学特論	1後		2			1	**1**			
	放射線画像検査学演習	2前		2			1	**1**			
	医用画像検査学特論	1前		2		**1**		**1**			
	医用画像検査学演習	2前		2		**1**		**1**			
	放射線治療学特論	1後		2		**1**	**1**				
	放射線治療学演習	2前		2		**1**	**1**				
	代謝・機能画像検査学特論	1後		2		2					
	代謝・機能画像検査学演習	2前		2		2					
医療技術学特別研究Ⅰ		2前	2			**12**					**2**
医療技術学特別研究Ⅱ		2後	2			**12**					**2**
合計（46科目）		－	10	82	0	**13**	**11**	**4**	0	0	**4**

修了要件及び履修方法
■臨床工学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、臨床工学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床検査学研究、診療放射線技術学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。 ■臨床検査学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、臨床検査学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床工学研究、診療放射線技術学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。 ■診療放射線技術学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、診療放射線技術学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床工学研究、臨床検査学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

修了要件及び履修方法
■臨床工学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、臨床工学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床検査学研究、診療放射線技術学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。 ■臨床検査学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、臨床検査学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床工学研究、診療放射線技術学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。 ■診療放射線技術学研究コース [修了要件] 医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、診療放射線技術学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。 [履修方法] ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床工学研究、臨床検査学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療技術学基礎研究	医療技術学研究特論	1前	2			3	1				2
	英語文献特論	1前	2			2					2
	英語プレゼンテーション特論	1後	2			2	1				1
	医療情報解析学特論	1前		2		1					
	臨床病態学特論	1前		2		1	1				1
	医用画像特論	1後		2		1					
	総合画像検査学特論	1前		2		2	1				
	生体医工学特論	1前		2		3	3				1
臨床工学研究	臨床工学特論	1前		2		1	1				
	臨床工学演習	1後		2		1	1				
	先進医療学特論	1前		2		1	1				
	先進医療学演習	1後		2		1	1				
	先端医療機器学特論	1前		2		2	2				
	先端医療機器学演習	1後		2		2					
	医療安全学特論	1前		2			1				1
	医療安全学演習	1後		2			1				1
	生体情報システム工学特論	1前		2			2	1			1
	生体情報システム工学演習	1後		2			1				1
	生体機能解析学特論	1前		2		2	1				
	生体機能解析学演習	1後		2		2	1				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特論	1前		2		1	1				
	高次生理機能解析学演習	1後		2		1	1				
	臨床化学分析学特論	1前		2		2		1			
	臨床化学分析学演習	1後		2		2		1			
	臨床検査情報解析学特論	1前		2		2		1			
	臨床検査情報解析学演習	1後		2		2		1			
	分子病態解析学特論	1前		2		1		1			1
	分子病態解析学演習	1後		2		1		1			1
	組織・形態解析学特論	1前		2		2	1				
	組織・形態解析学演習	1後		2		2	1				
	感染防御学特論	1前		2		2					
	感染防御学演習	1後		2		2					

診療放射線技術学研究	画像情報理工学特論	1前		2		1	1				
	画像情報理工学演習	1後		2		1	1				
	放射線計測管理学特論	1前		2			2				
	放射線計測管理学演習	1後		2			2				
	放射線画像検査学特論	1後		2		1	1				
	放射線画像検査学演習	2前		2		1	1				
	医用画像検査学特論	1前		2		2					
	医用画像検査学演習	2前		2		2					
	放射線治療学特論	1後		2		1		1			
	放射線治療学演習	2前		2		1		1			
	代謝・機能画像検査学特論	1後		2		2					
	代謝・機能画像検査学演習	2前		2		2					
医療技術学特別研究Ⅰ		2前	2			14					1
医療技術学特別研究Ⅱ		2後	2			14					1
合計(46科目)		－	10	82	0	14	11	4	0	0	4

修了要件及び履修方法

■臨床工学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、臨床工学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床検査学研究、診療放射線技術学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
■臨床検査学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、臨床検査学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床工学研究、診療放射線技術学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
■診療放射線技術学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より8単位以上(必修6単位、選択2単位以上)、診療放射線技術学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース(臨床工学研究、臨床検査学研究)の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・教育内容拡充のため、「英語文献特論」の専任教員等の配置を「教授２・兼１」から「教授２・兼２」に変更。
・教育内容拡充のため、「英語プレゼンテーション特論」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・准教授１・兼１」に変更。
・昇任のため、「医用画像特論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・昇任及び配置変更のため、「生体医工学特論」の専任教員等の配置を「教授３・准教授４」から「教授３・准教授３・兼１」に変更。
・昇任のため、「先端医療機器学特論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３」から「教授２・准教授２」に変更。
・昇任のため、「先端医療機器学演習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「教授２」に変更。
・配置変更のため、「医療安全学特論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「准教授１・兼１」に変更。
・配置変更のため、「医療安全学演習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「准教授１・兼１」に変更。
・昇任及び配置変更のため、「生体情報システム工学特論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「准教授２・講師１・兼１」に変更。
・配置変更のため、「生体情報システム工学演習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「准教授１・兼１」に変更。
・昇任変更のため、「生体機能解析学特論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・昇任のため、「生体機能解析学演習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・昇任のため、「高次生理機能解析学特論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。
・昇任のため、「高次生理機能解析学演習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。
・教育内容拡充のため、「分子病態解析学特論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・講師１・兼１」に変更。
・教育内容拡充のため、「分子病態解析学演習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・講師１・兼１」に変更。
・昇任のため、「画像情報理工学特論」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１・准教授１」に変更。
・昇任のため、「画像情報理工学演習」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１・准教授１」に変更。
・配置変更のため、「放射線治療学特論」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「教授１・講師１」に変更。
・配置変更のため、「放射線治療学演習」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「教授１・講師１」に変更。
・配置変更のため、「医療技術学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１３・兼２」から「教授１４・兼１」に変更。
・配置変更のため、「医療技術学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１３・兼２」から「教授１４・兼１」に変更。

【令和4年度】

・教育内容充実のため、「総合画像検査学特論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１」から「教授２・准教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「臨床化学分析学特論」の専任教員等の配置を「教授２・講師１」から「教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「臨床化学分析学演習」の専任教員等の配置を「教授２・講師１」から「教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「放射線画像検査学特論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「准教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「放射線画像検査学演習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「准教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「医用画像検査学特論」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「医用画像検査学演習」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「放射線治療学特論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「放射線治療学演習」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
5 科目	41 科目	0 科目	46 科目	5 科目 [0]	41 科目 [0]	0 科目 [0]	46 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{46} = \boxed{0}\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分	内　　容				備考
（1）校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	
（2）校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	0㎡ (　　0㎡)	0㎡ (　　0　㎡)	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	

（3）教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため (2) (3) 職員構成変更のため (4) 大学全体
	50室	49室 ~~45室~~	130室	4室 （補助職員5人 ~~4人~~）	2室 （補助職員3人 ~~2人~~）	

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	1室を2人で使用する場合がある
	医療技術学研究科　医療技術学専攻	24.5　室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	医療技術学研究科 医療技術学専攻 （修士・博士）	8,000〔700〕 (9,918〔786〕) ~~(9,439〔777〕)~~	65〔25〕 (68〔30〕) ~~(71〔31〕)~~	900〔895〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~	25 (30) ~~(29)~~	4,211 (4,098) ~~(4,112)~~	104 (83) ~~(104)~~	電子ジャーナルは大学全体 既存備品の整理と拡充を図ったため（4）
	計	8,000〔700〕 (9,918〔786〕) ~~(9,439〔777〕)~~	65〔25〕 (68〔30〕) ~~(71〔31〕)~~	900〔895〕 (932〔923〕) ~~(942〔935〕)~~	25 (30) ~~(29)~~	4,211 (4,098) ~~(4,112)~~	104 (83) ~~(104)~~	

（6）図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	2,482.94㎡	606	210,275	

（7）体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡	温水プール　25ｍ×7コース	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	658千円 ~~632千円~~	716千円 ~~632千円~~	図書購入費	100千円	100千円	100千円	・研究科単位での算出不能なため、学部との合計 ・共同研究費は大学全体 ・教員構成変更のため (3) (4)
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	1,000千円	500千円	500千円	
	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次		
		900千円	700千円	― 千円	― 千円	― 千円	― 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、証明書発行手数料収入等							

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士（医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士（臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士（子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士（保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士（保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士（理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士（作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士（言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士（視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士（臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士（診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士（臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士（臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士（健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士（感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士（医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士（医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士（医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士（臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士（保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士（医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士（臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士（臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士（医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士（医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士（医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学部	6	126	－	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	－	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	－	752	学士 （医学）	1.00	1.00	－	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	
医学研究科	4	25	－	100	博士	0.63	0.88	－	昭和51		
医科学専攻	4	25	－	100	（医学）	0.63	0.88	－	昭和51		
大学院全体	－	25	－	100	－	0.63	0.88	－	－		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	—	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	—	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	—	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜医療技術学研究科　医療技術学専攻（修士課程）＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊禮 功 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	小野（木村）　敦 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語プレゼンテーション特論 総合画像検査学特論 医用画像検査学特論 医用画像検査学演習 代謝・機能画像検査学特論 代謝・機能画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	片岡 浩巳 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	医療情報解析学特論 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	茅野　功 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	医療技術学研究特論 生体医工学特論 医療安全学特論 医療安全学演習 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	北中 明 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学特論 分子病態解析学特論 分子病態解析学演習 感染防御学特論 感染防御学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊禮 功 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	小野（木村）　敦 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語プレゼンテーション特論 総合画像検査学特論 医用画像検査学特論 医用画像検査学演習 代謝・機能画像検査学特論 代謝・機能画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	片岡 浩巳 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	医療情報解析学特論 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	茅野　功 （44） **＜令和4年4月＞** 博士（工学）	医療技術学研究特論 生体医工学特論 医療安全学特論 医療安全学演習 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
兼担	**教授**	**茅野　功 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）**	**医療技術学研究特論 生体医工学特論 医療安全学特論 医療安全学演習 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習**
専	教授	北中 明 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学特論 分子病態解析学特論 分子病態解析学演習 感染防御学特論 感染防御学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊禮 功 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	小野（木村）　敦 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語プレゼンテーション特論 総合画像検査学特論 医用画像検査学特論 医用画像検査学演習 代謝・機能画像検査学特論 代謝・機能画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	片岡 浩巳 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	医療情報解析学特論 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
兼担	**教授**	**茅野　功 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）**	**医療技術学研究特論 生体医工学特論 医療安全学特論 医療安全学演習 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ**
専	教授	北中 明 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学特論 分子病態解析学特論 分子病態解析学演習 感染防御学特論 感染防御学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	清蔭 恵美 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	医療技術学研究特論 高次生理機能解析学特論 高次生理機能解析学演習 組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	陶山　洋二 （58） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	田淵　昭彦 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線画像検査学特論 放射線画像検査学演習 医用画像検査学特論 医用画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	近末　久美子 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	感染防御学特論 感染防御学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	永瀬　澄香 （64） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語文献特論 総合画像検査学特論 代謝・機能画像検査学特論 代謝・機能画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	望月　精一 （59） ＜令和3年4月＞ Ph.D. in Chemical Engineering （米国）	医療技術学研究特論 英語文献特論 英語プレゼンテーション特論 生体医工学特論 先端医療機器学特論 先端医療機器学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	清蔭 恵美 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	医療技術学研究特論 高次生理機能解析学特論 高次生理機能解析学演習 組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	陶山　洋二 （58） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	田淵　昭彦 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線画像検査学特論 放射線画像検査学演習 医用画像検査学特論 医用画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	近末　久美子 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	感染防御学特論 感染防御学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	永瀬　澄香 （64） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語文献特論 総合画像検査学特論 代謝・機能画像検査学特論 代謝・機能画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	望月　精一 （59） ＜令和3年4月＞ Ph.D. in Chemical Engineering （米国）	医療技術学研究特論 英語文献特論 英語プレゼンテーション特論 生体医工学特論 先端医療機器学特論 先端医療機器学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	清蔭 恵美 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	医療技術学研究特論 高次生理機能解析学特論 高次生理機能解析学演習 組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	陶山　洋二 （58） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	近末　久美子 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	感染防御学特論 感染防御学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語文献特論 総合画像検査学特論 代謝・機能画像検査学特論 代謝・機能画像検査学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	望月　精一 （59） ＜令和3年4月＞ Ph.D. in Chemical Engineering （米国）	医療技術学研究特論 英語文献特論 英語プレゼンテーション特論 生体医工学特論 先端医療機器学特論 先端医療機器学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	矢田　豊隆 （65） ＜令和3年4月＞ 医学博士	生体医工学特論 臨床工学特論 臨床工学演習 先進医療学特論 先進医療学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	准教授	有安 早苗 （57） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床病態学特論 組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習
専	准教授	小川　武人 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 臨床工学特論 臨床工学演習 先端医療機器学特論
専	准教授	五反田　龍宏 （40） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	医療技術学研究特論 放射線計測管理学特論 放射線計測管理学演習
専	准教授	竹井　泰孝 （54） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	総合画像検査学特論 放射線計測管理学特論 放射線計測管理学演習 放射線画像検査学特論 放射線画像検査学演習
専	准教授	立花　博之 （52） ＜令和3年4月＞ 博士（情報工学）	生体医工学特論 先端医療機器学特論 医療安全学特論 医療安全学演習
専	准教授	谷野　雅昭 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	先進医療学特論 先進医療学演習
専	准教授	福見　敦 （48） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	画像情報理工学特論 画像情報理工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	矢田　豊隆 （65） ＜令和3年4月＞ 医学博士	生体医工学特論 臨床工学特論 臨床工学演習 先進医療学特論 先進医療学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	准教授	有安 早苗 （57） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床病態学特論 組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習
専	准教授	小川　武人 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 臨床工学特論 臨床工学演習 先端医療機器学特論
専	准教授	五反田　龍宏 （40） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	医療技術学研究特論 放射線計測管理学特論 放射線計測管理学演習
専	准教授	竹井　泰孝 （54） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	総合画像検査学特論 放射線計測管理学特論 放射線計測管理学演習 放射線画像検査学特論 放射線画像検査学演習
専	准教授	立花　博之 （52） ＜令和3年4月＞ 博士（情報工学）	生体医工学特論 先端医療機器学特論 医療安全学特論 医療安全学演習
専	准教授	谷野　雅昭 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	先進医療学特論 先進医療学演習
専	准教授	福見　敦 （48） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	画像情報理工学特論 画像情報理工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	矢田　豊隆 （65） ＜令和3年4月＞ 医学博士	生体医工学特論 臨床工学特論 臨床工学演習 先進医療学特論 先進医療学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	准教授	有安 早苗 （57） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床病態学特論 組織・形態解析学特論 組織・形態解析学演習
専	准教授	小川　武人 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 臨床工学特論 臨床工学演習 先端医療機器学特論
専	准教授	五反田　龍宏 （40） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	医療技術学研究特論 放射線計測管理学特論 放射線計測管理学演習
専	准教授	竹井　泰孝 （54） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	総合画像検査学特論 放射線計測管理学特論 放射線計測管理学演習 放射線画像検査学特論 放射線画像検査学演習
専	准教授	立花　博之 （52） ＜令和3年4月＞ 博士（情報工学）	生体医工学特論 先端医療機器学特論 医療安全学特論 医療安全学演習
専	准教授	谷野　雅昭 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	先進医療学特論 先進医療学演習
専	准教授	福見　敦 （48） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	画像情報理工学特論 画像情報理工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	逸見　知弘 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習
専	准教授	矢納　陽 （47） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	医用画像特論 画像情報理工学特論 画像情報理工学演習
専	准教授	山本　健一郎 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 先端医療機器学特論 先端医療機器学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習
専	講師	上野　浩司 （38） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	高次生理機能解析学特論 高次生理機能解析学演習
専	講師	近藤　真史 （35） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特論
専	講師	榊原　佳奈枝 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	分子病態解析学特論 分子病態解析学演習
専	講師	中原　貴子 （46） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	逸見　知弘 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習
専	**教授**	矢納　陽 （47） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	医用画像特論 画像情報理工学特論 画像情報理工学演習
専	**教授**	山本　健一郎 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 先端医療機器学特論 先端医療機器学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習
専	**准教授**	上野　浩司 （38） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	高次生理機能解析学特論 高次生理機能解析学演習 **英語プレゼンテーション特論**
専	講師	近藤　真史 （35） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特論
専	講師	榊原　佳奈枝 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	分子病態解析学特論 分子病態解析学演習
専	講師	中原　貴子 （46） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	逸見　知弘 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 生体情報システム工学特論 生体情報システム工学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習
専	**教授**	矢納　陽 （47） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	医用画像特論 画像情報理工学特論 画像情報理工学演習 **医療技術学特別研究Ⅰ** **医療技術学特別研究Ⅱ**
専	**教授**	山本　健一郎 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体医工学特論 先端医療機器学特論 先端医療機器学演習 生体機能解析学特論 生体機能解析学演習
専	**准教授**	上野　浩司 （38） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	高次生理機能解析学特論 高次生理機能解析学演習 **英語プレゼンテーション特論**
専	**准教授**	**成廣　直正 （60） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）**	**放射線治療学特論 放射線治療学演習**
専	講師	榊原　佳奈枝 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	分子病態解析学特論 分子病態解析学演習
専	講師	中原　貴子 （46） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特論 臨床化学分析学演習 臨床検査情報解析学特論 臨床検査情報解析学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	宮崎　仁 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特論
専	講師	山田　誠一 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線治療学特論 放射線治療学演習
兼任	教授	通山　薫 （63） ＜令和3年4月＞ 医学博士	医療技術学研究特論 英語文献特論 臨床病態学特論 分子病態解析学特論 分子病態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
兼任	教授	平塚　純一 （66） ＜令和3年4月＞ 医学博士	医療技術学研究特論 放射線治療学特論 放射線治療学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**准教授**	宮崎　仁 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特論
専	講師	山田　誠一 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線治療学特論 放射線治療学演習
兼任	教授	通山　薫 （63） ＜令和3年4月＞ 医学博士	医療技術学研究特論 英語文献特論 臨床病態学特論 分子病態解析学特論 分子病態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	平塚　純一 （66） ＜令和3年4月＞ 医学博士	医療技術学研究特論 放射線治療学特論 放射線治療学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**准教授**	宮崎　仁 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特論
専	**講師**	**舛田　隆則 （50） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）**	**総合画像検査学特論 放射線画像検査学特論 放射線画像検査学演習 医用画像検査学特論 医用画像検査学演習**
専	**講師**	**福原　真一 （41） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）**	**生体情報システム工学特論**
兼任	教授	通山　薫 （63） ＜令和3年4月＞ 医学博士	医療技術学研究特論 英語文献特論 臨床病態学特論 分子病態解析学特論 分子病態解析学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ
専	教授	平塚　純一 （66） ＜令和3年4月＞ 医学博士	医療技術学研究特論 放射線治療学特論 放射線治療学演習 医療技術学特別研究Ⅰ 医療技術学特別研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	クレミンソン, T. J (46) ＜令和3年4月＞ 修士（MASTER OF RESEARCH)
		英語プレゼンテーション特論
兼担	准教授	クレメニック，M. J (54) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		英語文献特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	クレミンソン, T. J (46) ＜令和3年4月＞ 修士（MASTER OF RESEARCH)
		英語プレゼンテーション特論
兼担	准教授	クレメニック，M. J (54) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		英語文献特論

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和３年度】

・旧専攻科との教員数調整の為、茅野功教授の就任年を１年延期。
・当初、兼任予定であった、平塚純一教授を専任教員として就任。
・教育内容充実のため、兼担教員としてクレミンソン,T. J、クレメニック，M．Ｊが就任。

【令和４年度】

・旧専攻科との教員数調整の為、茅野功教授の専任教員就任を辞任。
・田淵昭彦教授、永瀬澄香教授、近藤真史講師、山田誠一講師が辞任。後任として、成廣直正准教授、舛田隆則講師、福原真一講師が就任。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
該当なし 名	●● 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
[　]	[　]	[　]	[　]	[　]	[　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
[　]	[　]	[　]	[　]	[　]	[　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
13	10	6	0	29	0	13	13	4	0	30	0
(13)	(10)	(6)	(0)	(29)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13	16	0				13	15	0			
(13)	(16)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
13	13	4	0	30	0	13	13	4	0	30	0
[0]	[3]	[△2]	[0]	[1]	[0]	[0]	[3]	[△2]	[0]	[1]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13	15	0				13	15	0			
[0]	[△1]	[0]				[0]	[△1]	[0]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授　65 講師・助教　60 （平成27年4月採用より） 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{29} = 103.44\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{30} = 6.66\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）						
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）	●● （●●）		

現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●●	●●	●●	●●		

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]		

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]	●● [ ]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	茅野　功	R4.4	必修	医療技術学研究特論	②	R4.3旧専攻に専任として発令されているため就任辞退（４）
				選択	生体医工学特論	②	
				選択	医療安全学特論	②	
				選択	生体情報システム工学特論	②	
				選択	生体情報システム工学演習	②	
				必修	医療技術学特別研究Ⅰ	②	
				必修	医療技術学特別研究Ⅱ	②	

合計（D）						後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1	人	必修	3	科目	必修		科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択		科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	0	科目	計	7	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	田淵　昭彦	R4.4	選択	放射線画像検査学特論	①	大学院発令解除のため（４）
				選択	放射線画像検査学演習	①	
				選択	医用画像検査学特論	①	
				選択	医用画像検査学演習	①	
				必修	医療技術学特別研究Ⅰ	①	
				必修	医療技術学特別研究Ⅱ	①	
2	講師	近藤　真史	R3.9	選択	生体情報システム工学特論	①	他大学就任のため（４）
3	講師	山田　誠一	R4.4	選択	放射線治療学特論	①	大学院発令解除のため（４）
				選択	放射線治療学演習	①	

合計（F）						後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
3	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
4	人	必修	5	科目	必修	2	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	7	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	9	科目	計	7	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{29} = 13.79\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	永瀬　澄香	選択	臨床化学分析学特論	①	定年退職（４）
			選択	臨床化学分析学演習	①	
			必修	医療技術学特別研究Ⅰ	①	
			必修	医療技術学特別研究Ⅱ	①	

合計													
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			後任補充状況の集計								
					①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・茅野功教授については旧専攻科との教員数調整の為、茅野功教授の専任教員就任を辞任したが、兼担教員として本来担当する予定であった科目をすべて担当するため教育内容について問題はない。
・田淵昭彦教授、山田誠一講師については大学院の発令解除に伴う辞任だが、専任教員で補充を行った。
・近藤真史講師については、専任教員で補充を行った。
・永瀬澄香教授については、専任教員の補充自体は行わなかったが科目の特性上現在担当している教員で指導内容が補填できるため、教育内容に問題ない。
・成廣直正准教授、舛田　隆則講師、福原真一講を新たに専任教員発令し、専任教員充足率も１００％を超えるよう努力している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜医療技術学研究科　医療技術学専攻（修士課程）＞

（1） 設置計画変更事項等　※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）

（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。

（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。

（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する－系統的実習教育の実現に向けた取り組み－」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学I・II』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　ー効果的なリメディアル教育を目指してー」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。

今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。

各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。

また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療技術学専攻・修士課程は、医療技術学及び関連分野において高度な専門知識を有する高度専門職業人及び教育者・研究者の育成を目的として設置された。
2022年度は、本専攻は２年目となり、１年次４名（うち社会人１名）、２年次６名（うち社会人２名）が在籍している。１年次は３コース（臨床工学研究、臨床検査学研究、診療放射線技術学研究）に共通する基礎研究分野（英語系２科目を含む）と専門分野の科目、そして研究活動を行っている。基礎研究分野については、３コースの教員が情報共有及び連携しながら対応している。少人数であるため、各院生の様子を把握でき、討論を深めることもできている。また、研究遂行にあたり必要な研究倫理等の基礎知識は、講義・研修会等を通じて修得している。年末には３コース合同で専攻別中間研究報告会を開催し、多角的な視点からアドバイスや指導を行うことができている。２年次は、引き続き研究活動を進めつつ、学会発表や論文投稿として成果発表を行い、最終的に修士論文の完成を目指している。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期
・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

ｂ 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画
・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

ａ 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
ｂ 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・（公表後２～３ヶ月以内） ・ 公表後３ヶ月以降 〕
ｃ 公表方法 〔（ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
ｄ 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F133310109607
注３

設置年度　　令和　　3年度
計画の区分：　研究科の専攻の設置又は課程の変更
注１

届出

注2
川崎医療福祉大学大学院　　医療技術学研究科　　医療技術学専攻（博士後期課程）

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　事務部　教務課
職名・氏名　課長（カチョウ）　川西（カワニシ）　礼美（アヤミ）
電話番号　086-464-1021
（夜間）　086-464-1021
ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医療技術学研究科

＜医療技術学専攻（博士後期課程）＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年３月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年１月）		
研究科長	（ ミヤカワ　タケシ ） 宮川　健 （平成31年４月）		
専攻主任	（モチヅキ　セイイチ ） 望月　精一 （令和３年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・ 様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療技術学研究科 医療技術学専攻 （博士課程） 博士（医療技術学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	3年	2人	年次 人	6人		医療技術学研究科臨床工学専攻（博士課程）

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 （ ） [ ]	人 2 （ － ） [－]	人 （ － ） [－]	人 2 （ － ） [－]	人 （ － ） [－]	0.25倍	－倍	
志願者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	1 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	0 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	1 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	0 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	1 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	0 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	1 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	0 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A							0.50		0.00				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	1 [－] (－)	－ [－] (－)	0 [－]	－ [－]	
２年次			[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	1 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					[　] (　)	[　] (　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] (　)		[　] (　)		[　] (　)		1 [－] (－)		1 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	1 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	1 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 1 = 0 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 1 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜医療技術学研究科　医療技術学専攻（博士課程）＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			3	1				2
	英語論文特殊講義	1前		2		2					1
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2		2					
	先端医学研究特殊講義	1通		2							1
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1				
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1				
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		1	2				
	医療安全学特殊講義	1後		2		1	1				
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2		1	1	2			
	生体機能解析学特殊講義	1後		2		1	2				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		3		1			
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		1		1			1
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	感染防御学特殊講義	1前		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2			2				
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2				
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		3					
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		2					
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2				1			1
医療技術学特殊研究		1前～3後	12			13					2
合計(22科目)		－	14	40	0	13	10	6	0	0	2

修了要件及び履修方法

■臨床工学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、
臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

■臨床検査学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

■診療放射線技術学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、
診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			3	1				2
	英語論文特殊講義	1前		2		2					1
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2		2	1				
	先端医学研究特殊講義	1通		2							1
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1				
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1				
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		2	1				
	医療安全学特殊講義	1後		2			1				1
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2			2				1
	生体機能解析学特殊講義	1後		2		2	1				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		2		1			
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		1		1			1
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	感染防御学特殊講義	1前		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2		1	1				
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2				
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		2	1				
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		1		1			
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2		1	1				
医療技術学特殊研究		1前～3後	12			13					2
合計(22科目)		－	14	40	0	13	11	3	0	0	2

修了要件及び履修方法

■臨床工学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、
臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

■臨床検査学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

■診療放射線技術学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、
診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1前	2			3	1				2
	英語論文特殊講義	1前		2		2					1
	英語プレゼンテーション特殊講義	1後		2		2	1				
	先端医学研究特殊講義	1通		2							1
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1前		2		1	1				
	先進医療学特殊講義	1前		2		1	1				
	先端医療機器学特殊講義	1前		2		2	1				
	医療安全学特殊講義	1後		2			1				1
	生体情報システム工学特殊講義	1後		2			2	1			1
	生体機能解析学特殊講義	1後		2		2	1				
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	臨床化学分析学特殊講義	1後		2		3		1			
	臨床検査情報解析学特殊講義	1前		2		2		1			
	分子病態解析学特殊講義	1後		2		1		1			1
	組織・細胞解析学特殊講義	1前		2		2	1				
	感染防御学特殊講義	1前		2		2					
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1前		2		1	1				
	放射線計測管理学特殊講義	1前		2			2				
	放射線画像検査技術学特殊講義	1前		2		3					
	医用画像検査技術学特殊講義	1後		2		2					
	放射線治療技術学特殊講義	1後		2		1		1			
医療技術学特殊研究		1前～3後	12			14					2
合計（22科目）		－	14	40	0	15	10	4	0	0	2

修了要件及び履修方法

■臨床工学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、
臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

■臨床検査学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

■診療放射線技術学研究コース
[修了要件]
医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、
診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。
[履修方法]
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・教育内容拡充のため、「英語プレゼンテーション特殊講義」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「先端医療機器学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「医療安全学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１」から「准教授１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「生体情報システム工学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２」から「准教授２・講師１・兼１」に変更。
・教員変更のため、「生体機能解析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２」から「教授２・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「高次生理機能解析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授２・講師１」から「教授２・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「画像情報理工学特殊講義」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「放射線治療技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「教授１・講師１」に変更。
・昇任のため、「医療技術学特殊研究」の専任教員等の配置を「教授１３・兼２」から「教授１４・兼２」に変更。

【令和4年度】

・教員変更のため、「生体情報システム工学特殊講義」の専任教員等の配置を「准教授２・講師１・兼１」から「准教授２・兼１」に変更。
・教員変更のため、「臨床化学分析学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授３・講師１」から「教授２・講師１」に変更。
・教員変更のため、「放射線画像検査技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授３」から「教授２・准教授１」に変更。
・教員変更のため、「医用画像検査技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１・講師１」に変更。
・教員変更のため、「放射線治療技術学特殊講義」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
2 科目	20 科目	0 科目	22 科目	2 科目 [0]	20 科目 [0]	0 科目 [0]	22 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{22} = \boxed{0}\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
（1）校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	27,269.00㎡	0㎡	0㎡	27,269.00㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0㎡	0㎡	39,088.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	0㎡	0㎡	66,357.00㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡	0㎡	0㎡	66,139.28㎡	
	合　　計	132,496.28㎡	0㎡	0㎡	132,496.28㎡	
（2）校　　舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
		79,854.22㎡	0㎡	0㎡	79,854.22㎡	
		（79,854.22㎡）	（　　0㎡）	（　　0　㎡）	（79,854.22㎡）	

（3）教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため（2）(3) 職員構成変更のため（4） 大学全体
	50室	49室 ~~45室~~	130室	4室 （補助職員5人 ~~4人~~）	2室 （補助職員3人 ~~2人~~）	

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	1室を2人で使用する場合がある
	医療技術学研究科　医療技術学専攻	24.5　室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	医療技術学研究科 医療技術学専攻 （修士・博士）	8,000〔700〕 （9,918〔786〕） ~~（9,439〔777〕）~~	65〔25〕 （68〔30〕） ~~（71〔31〕）~~	900〔895〕 （932〔923〕） ~~（942〔935〕）~~	25 （30） ~~（29）~~	4,211 （4,098） ~~（4,112）~~	104 （83） ~~（104）~~	電子ジャーナルは大学全体 既存備品の整理と拡充を図ったため（4）
	計	8,000〔700〕 （9,918〔786〕） ~~（9,439〔777〕）~~	65〔25〕 （68〔30〕） ~~（71〔31〕）~~	900〔895〕 （932〔923〕） ~~（942〔935〕）~~	25 （30） ~~（29）~~	4,211 （4,098） ~~（4,112）~~	104 （83） ~~（104）~~	

（6）図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	2,482.94㎡	606	210,275	

（7）体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡	温水プール　25ｍ×7コース	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員１人当り研究費等	~~658千円~~ ~~632千円~~	716千円 ~~632千円~~	図書購入費	100千円	100千円	100千円	・研究科単位での算出不能なため、学部との合計 ・共同研究費は大学全体 ・教員構成変更のため（4）
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	1,000千円	500千円	500千円	
	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次		
		900千円	700千円	700千円	― 千円	― 千円	― 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、証明書発行手数料収入等							

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大 学 の 名 称	川崎医療福祉大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備　　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1218		0.79	0.54		平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 （医療福祉学）	0.54	0.36		平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 （臨床心理学）	1.12	0.80		平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士 （子ども医療福祉学）	0.86	0.58		平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士 （保健看護学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止 令和3年3年次編入学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	480		1.07	1.06		平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	480	学士 （保健看護学）	1.07	1.06	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
リハビリテーション学部	4	220	－	880		1.07	1.10		平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	240	学士 （理学療法学）	1.19	1.36	平成31	平成31	岡山県倉敷市松島288番地	
作業療法学科	4	60	－	240	学士 （作業療法学）	1.10	1.26	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	240	学士 （言語聴覚療法学）	0.95	0.91	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	160	学士 （視能療法学）	1.01	0.75	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1332		0.99	1.03		平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士 （臨床検査学）	1.14	1.18		平成29	岡山県倉敷市松島288番地	
診療放射線技術学科	4	60	－	240	学士 （診療放射線技術学）	1.18	1.31		平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	320	学士 （臨床工学）	0.95	0.90		平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 （臨床栄養学）	0.89	0.70		平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士 （健康体育学）	0.86	1.07		平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－		平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	－		平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898		0.48	0.28		平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療福祉経営学）	0.43	0.15		平成17	岡山県倉敷市松島288番地	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 （医療情報学）	0.47	0.38		平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療秘書学）	0.56	0.31		平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.43	0.27		平成17	同上	
大学全体	－	1186	32	4808	－	0.87	0.79	－	－	－	

大学の名称	川崎医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究科	－	69	－	117	－	0.44	0.31		平成8	－	
医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	－	20	修士（医療福祉学）	0.25	0.20		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（医療福祉学）	0.55	0.00		平成10	同上	
臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	－	52	修士（臨床心理学）	0.61	0.32		平成8	同上	
臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（臨床心理学）	0.00	0.00		平成10	同上	
保健看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士（保健看護学）	0.75	0.50		平成11	同上	
保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（保健看護学）	0.50	0.50		平成18	同上	
医療技術学研究科	－	46	－	98	－	0.35	0.28		平成8	－	
感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（感覚矯正学）	0.18	0.25		平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（感覚矯正学）	0.50	0.00		平成10	同上	
健康体育学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（健康体育学）	0.25	0.25		平成8	同上	
臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（臨床栄養学）	0.37	0.37		平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（修士課程）	2	6	－	12	修士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.33	0.33		平成11	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	0.00		平成13	同上	
健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（健康科学）	0.50	0.00		平成10	同上	
医療技術学専攻（修士課程）	2	8	－	16	修士（医療技術学）	0.62	0.50	令和3	令和3	同上	
医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	－	4	博士（医療技術学）	0.25	0.00	令和3	令和3	同上	
臨床工学専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士（臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
臨床工学専攻（博士後期課程）	3	－	－	－	博士（臨床工学）	－	－		平成23	同上	令和3年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	15	－	32	－	0.45	0.33		平成21	－	
医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	－	6	修士（医療福祉経営学）	0.50	0.00		平成21	岡山県倉敷市松島288番地	
医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	－	4	修士（医療秘書学）	0.50	0.00		平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.37	0.50		平成21	同上	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	－	8	修士（医療情報学）	0.62	0.75		平成21	同上	定員変更（△4）
医療情報学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（医療情報学）	0.16	0.00		平成21	同上	
大学院全体	－	130	－	247	－	0.40	0.30		－	－	

大学の名称	川崎医科大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医学部	6	126	－	752	学士	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
医学科	6	126	－	752	（医学）	1.00	1.00	平成29年 令和2年 令和4年	昭和45		定員変更（16） 定員変更（14） 定員変更（16）
大学全体	6	126	－	752	学士 （医学）	1.00	1.00	－	昭和45		
医学研究科	4	25	－	100	博士	0.63	0.88	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	
医科学専攻	4	25	－	100	（医学）	0.63	0.88	－	昭和51		
大学院全体	－	25	－	100	－	0.63	0.88	－	－		

大学の名称	川崎医療短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和４年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	120	－	360	短期大学士 （看護）	1.02	0.95	―	昭和48		令和4年度学科名称変更
医療介護福祉学科	3	50	－	150	短期大学士 （医療介護福祉）	0.24	0.28	―	平成13	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	令和3年度修業年限変更（3年制） 令和3年度入学定員減（△30人） 令和4年度学科名称変更
大学全体	3	170	－	510	－	0.75	0.75	―	昭和48		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜医療技術学研究科　医療技術学専攻（博士課程）＞

（1）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊禮 功 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	小野（木村）　敦 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	片岡 浩巳 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	茅野　功 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	北中 明 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊禮 功 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	小野（木村）　敦 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	片岡 浩巳 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	茅野　功 （44） **＜令和4年4月＞** 博士（工学）	医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究
兼担	**教授**	**茅野　功 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）**	**医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究**
専	教授	北中 明 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	伊禮 功 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	小野（木村）　敦 （59） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語プレゼンテーション特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	片岡 浩巳 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
兼担	**教授**	**茅野　功 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）**	**医療技術学特殊講義 医療安全学特殊講義 生体情報システム工学特殊講義 医療技術学特殊研究**
専	教授	北中 明 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	高次生理機能解析学特殊講義 分子病態解析学特殊講義 感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	清蔭 恵美 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	陶山　洋二 （58） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	田淵　昭彦 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	近末　久美子 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	永瀬　澄香 （64） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	望月　精一 （59） ＜令和3年4月＞ Ph.D. in Chemical Engineering （米国）	医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	清蔭 恵美 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	陶山　洋二 （58） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	田淵　昭彦 （55） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線画像検査技術学特殊講義 医用画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	近末　久美子 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	永瀬　澄香 （64） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	望月　精一 （59） ＜令和3年4月＞ Ph.D. in Chemical Engineering （米国）	医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	清蔭 恵美 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	医療技術学特殊講義 高次生理機能解析学特殊講義 組織・細胞解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	陶山　洋二 （58） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	近末　久美子 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	感染防御学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	三村　浩朗 （61） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	英語論文特殊講義 放射線画像検査技術学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	教授	望月　精一 （59） ＜令和3年4月＞ Ph.D. in Chemical Engineering （米国）	医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 英語プレゼンテーション特殊講義 先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 医療技術学特殊研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	矢田　豊隆 （65） ＜令和3年4月＞ 医学博士	臨床工学特殊講義 先進医療学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	准教授	有安 早苗 （57） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	組織・細胞解析学特殊講義
専	准教授	小川　武人 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	臨床工学特殊講義
専	准教授	五反田　龍宏 （40） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	医療技術学特殊講義 放射線計測管理学特殊講義
専	准教授	竹井　泰孝 （54） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線計測管理学特殊講義
専	准教授	立花　博之 （52） ＜令和3年4月＞ 博士（情報工学）	先端医療機器学特殊講義 医療安全学特殊講義
専	准教授	谷野　雅昭 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	先進医療学特殊講義
専	准教授	福見　敦 （48） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	画像情報理工学特殊講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	矢田　豊隆 （65） ＜令和3年4月＞ 医学博士	臨床工学特殊講義 先進医療学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	准教授	有安 早苗 （57） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	組織・細胞解析学特殊講義
専	准教授	小川　武人 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	臨床工学特殊講義
専	准教授	五反田　龍宏 （40） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	医療技術学特殊講義 放射線計測管理学特殊講義
専	准教授	竹井　泰孝 （54） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線計測管理学特殊講義
専	准教授	立花　博之 （52） ＜令和3年4月＞ 博士（情報工学）	先端医療機器学特殊講義 医療安全学特殊講義
専	准教授	谷野　雅昭 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	先進医療学特殊講義
専	准教授	福見　敦 （48） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	画像情報理工学特殊講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	矢田　豊隆 （65） ＜令和3年4月＞ 医学博士	臨床工学特殊講義 先進医療学特殊講義 医療技術学特殊研究
専	准教授	有安 早苗 （57） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	組織・細胞解析学特殊講義
専	准教授	小川　武人 （42） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	臨床工学特殊講義
専	准教授	五反田　龍宏 （40） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	医療技術学特殊講義 放射線計測管理学特殊講義
専	准教授	竹井　泰孝 （54） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	放射線計測管理学特殊講義
専	准教授	立花　博之 （52） ＜令和3年4月＞ 博士（情報工学）	先端医療機器学特殊講義 医療安全学特殊講義
専	准教授	谷野　雅昭 （49） ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	先進医療学特殊講義
専	准教授	福見　敦 （48） ＜令和3年4月＞ 博士（理学）	画像情報理工学特殊講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	逸見　知弘 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義 生体機能解析学特殊講義
専	准教授	矢納　陽 （47） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	画像情報理工学特殊講義
専	准教授	山本　健一郎 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義
専	講師	上野　浩司 （38） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	高次生理機能解析学特殊講義
専	講師	近藤　真史 （35） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義
専	講師	榊原　佳奈枝 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	分子病態解析学特殊講義
専	講師	中原　貴子 （46） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義
専	講師	宮崎　仁 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	逸見　知弘 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義 生体機能解析学特殊講義
専	**教授**	矢納　陽 （47） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	画像情報理工学特殊講義
専	**教授**	山本　健一郎 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 **医療技術学特殊研究**
専	**准教授**	上野　浩司 （38） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	高次生理機能解析学特殊講義 **英語プレゼンテーション特殊講義**
専	講師	近藤　真史 （35） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義
専	講師	榊原　佳奈枝 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	分子病態解析学特殊講義
専	講師	中原　貴子 （46） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義
専	**准教授**	宮崎　仁 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	逸見　知弘 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義 生体機能解析学特殊講義
専	**教授**	矢納　陽 （47） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	画像情報理工学特殊講義 **医療技術学特殊研究**
専	**教授**	山本　健一郎 （44） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	先端医療機器学特殊講義 生体機能解析学特殊講義 **医療技術学特殊研究**
専	**准教授**	上野　浩司 （38） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	高次生理機能解析学特殊講義 **英語プレゼンテーション特殊講義**
専	**准教授**	**成廣　直正 （60） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）**	**放射線治療技術学特殊講義**
専	講師	榊原　佳奈枝 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	分子病態解析学特殊講義
専	講師	中原　貴子 （46） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）	臨床化学分析学特殊講義 臨床検査情報解析学特殊講義
専	**准教授**	宮崎　仁 （39） ＜令和3年4月＞ 博士（工学）	生体情報システム工学特殊講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	山田　誠一 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学） 放射線治療技術学特殊講義	専	講師	山田　誠一 （56） ＜令和3年4月＞ 博士（保健学） 放射線治療技術学特殊講義			
						専	**講師**	**舛田　隆則** **（50）** **＜令和3年4月＞** **博士（医学）** **放射線画像検査技術学特殊講義** **医用画像検査技術学特殊講義**
兼任	教授	通山　薫 （63） ＜令和3年4月＞ 医学博士 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 先端医学研究特殊講義 分子病態解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	兼任	教授	通山　薫 （63） ＜令和3年4月＞ 医学博士 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 先端医学研究特殊講義 分子病態解析学特殊講義 医療技術学特殊研究	兼任	教授	通山　薫 （63） ＜令和3年4月＞ 医学博士 医療技術学特殊講義 英語論文特殊講義 先端医学研究特殊講義 分子病態解析学特殊講義 医療技術学特殊研究
兼任	教授	平塚　純一 （66） ＜令和3年4月＞ 医学博士 医療技術学特殊講義 放射線治療技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	**専**	教授	平塚　純一 （66） ＜令和3年4月＞ 医学博士 医療技術学特殊講義 放射線治療技術学特殊講義 医療技術学特殊研究	**専**	教授	平塚　純一 （66） ＜令和3年4月＞ 医学博士 医療技術学特殊講義 放射線治療技術学特殊講義 医療技術学特殊研究

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和３年度】

特になし。

【令和４年度】

・田淵昭彦教授、永瀬澄香教授、近藤真史講師、山田誠一講師が辞任。後任として、成廣直正准教授、舛田隆則講師が就任。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
該当なし 名	●● 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
[　]	[　]	[　]	[　]	[　]	[　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
[　]	[　]	[　]	[　]	[　]	[　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

（注）・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
13	10	6	0	29	0	13	11	3	0	27	0
(13)	(10)	(6)	(0)	(29)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13	16	0				13	15	0			
(13)	(16)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
13	11	3	0	27	0	13	11	3	0	27	0
[0]	[1]	[△3]	[0]	[△2]	[0]	[0]	[1]	[△3]	[0]	[△2]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13	15	0				13	15	0			
[0]	[△1]	[0]				[0]	[△1]	[0]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授　65 講師・助教　60 （平成27年4月採用より） 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{29} = 93.1\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{27} = 7.4\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名

（注）・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）						
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数	講義のみ担当の教員数		
●●	●●	●●	●●			●●	●●	●●	●●		
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
該当なし 名	●● 名	●● 名	●● 名

（注）・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）	（●●）

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●
（●●）	（●●）	（●●）	（●●）

現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
●●	●●	●●	●●	●●	●●
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数
●●	●●	●●	●●
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{●●}{●●} = \text{#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	茅野　功	R4. 4	必修	医療技術学特殊講義	②	R4. 3旧専攻に専任として発令されているため就任辞退（４）
				選択	医療安全学特殊講義	②	
				選択	生体情報システム工学特殊講義	②	
				必修	医療技術学特殊研究	②	

合計（Ｄ）			後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	2　科目	必修	0　科目	必修	2　科目	必修	0　科目
	選択	2　科目	選択	0　科目	選択	2　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	4　科目	計	0　科目	計	4　科目	計	0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	田淵　昭彦	R4. 4	選択	放射線画像検査技術学特殊講義	①	大学院発令解除のため（４）
				選択	医用画像検査技術学特殊講義	①	
				必修	医療技術学特殊研究	①	
2	講師	近藤　真史	R3. 9	選択	生体情報システム工学特殊講義	①	他大学就任のため（４）
3	講師	山田　誠一	R4. 4	選択	放射線治療技術学特殊講義	①	大学院発令解除のため（４）

合計（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｇ）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3　人	必修	1　科目	必修	1　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	4　科目	選択	4　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	5　科目	計	5　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4　人	必修	3　科目	必修	1　科目	必修	2　科目	必修	0　科目
	選択	6　科目	選択	4　科目	選択	2　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	9　科目	計	5　科目	計	4　科目	計	0　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{29} = 13.79\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	永瀬　澄香	選択	臨床化学分析学特殊講義	①	定年退職（４）
			必修	医療技術学特殊研究	①	

合計												後任補充状況の集計									
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）					①の合計数（a）				②の合計数（b）				③の合計数（c）			
1	人		必修	1	科目			必修	1	科目		必修	0	科目		必修	0	科目	
			選択	1	科目			選択	1	科目		選択	0	科目		選択	0	科目	
			自由	0	科目			自由	0	科目		自由	0	科目		自由	0	科目	
			計	2	科目			計	2	科目		計	0	科目		計	0	科目	

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・茅野功教授については旧専攻科との教員数調整の為、茅野功教授の専任教員就任を辞任したが、兼担教員として本来担当する予定であった科目をすべて担当するため教育内容について問題はない。
・田淵昭彦教授、山田誠一講師については大学院の発令解除に伴う辞任だが、専任教員で補充を行った。
・近藤真史講師については、専任教員で補充を行った。
・永瀬澄香教授については、専任教員の補充自体は行わなかったが科目の特性上現在担当している教員で指導内容が補填できるため、教育内容に問題ない。
・成廣直正准教授、舛田　隆則講師、福原真一講を新たに専任教員発令し、専任教員充足率も１００％を超えるよう努力している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等　※該当なし

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和〇〇年）				履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和〇〇年）	・〇〇学部〇〇学科において，～を是正すること。	是正意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和△△年）	・同一設置者が設置する既設学部等（◆◆学科）の～改善に努めること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・大学設置基準に抵触するため，改めること。（△△学部△△学科）	指摘事項 （法令違反）		履行済	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・～について是正すること。	指摘事項 （是正）		履行中	
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和□□年）	・〇〇大学の既設学部等（◆◆学科、●●学科）の～改善に努めること。	指摘事項 （改善）		履行中	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜医療技術学研究科　医療技術学専攻（博士課程）＞

（1） 設置計画変更事項等 ※該当なし

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）

（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。

（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。

（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

② 実施状況

ａ 実施内容

- FD・SD研修会
- 授業研究カンファレンス
- 卒業生（4年次生）へのアンケート
- 授業評価アンケート
- 既卒生・就職先アンケート
- 大学院生アンケート

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

・卒業生（4年次生）へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを9月から卒業式までの間に実施している。

・授業評価アンケート

学部生を対象に、令和3年度より春学期末（7月中頃）及び秋学期末（1月中旬）に全科目を対象として、Webclassを用いてアンケート調査を実施している。

・既卒生・就職先アンケート

前年度卒業生・前年度卒業生の就職先を対象に、卒業後6ヶ月後にアンケート依頼文を郵送し、回答はGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施している。

・大学院生アンケート

各専攻の院生全員を対象に、年度末（1月中旬）にポータルサイトを用いてアンケート調査を実施している。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年2, 3回開催している。

令和元年9月「学生と教員がともに学び、成長する場としての授業を考える」（参加者 149名）

令和元年12月「教育実践をつくる、評価指標生成の意義について」

「学外臨地実習に備えるためのルーブリック評価とOSCEの活用例」（参加者 293名）

令和2年4月「本学の遠隔授業について」（参加者 327名）

令和2年5月「遠隔授業について（Zoomの使い方）」（参加者 316名）

令和3年9月「これからの大学教育における『ファシリテーションとは何か』、『ワークショップはどんな学びを生み出すか』（参加者362名）

・授業研究カンファレンス

平成30年度　第1回　（参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する－系統的実習教育の実現に向けた取り組み－」

平成30年度　第2回　（参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

令和元年度　第1回　（参加者 39名）

「体験型の基礎教育科目『ボランティア入門』について」

「公衆衛生看護学実習の課題と教育方法の検討―学生への実習後調査の結果から―」

「治療機器学実習における経皮的心肺補助装置（PCPS）実習の取り組み」

令和元年度　第2回　（参加者 38名）

「和の伝統文化」での取り組み－大学教育における日本伝統文化の講義の一事例として－

「入門医学概論」の講義の工夫

「医療短期大学看護科1年生を対象とした共通教育科目『文章表現』の授業について」

令和元年度　第3回　（参加者 30名）

「検定試験合格率向上のための取り組み―経営学検定試験対策について―」

「『応用数学Ⅰ・Ⅱ』における数学教育の実践例」

「コンピュータ基礎演習における現状と今後の課題」

「多職種連携のための初年次英語教育―スピーチ活動を通して―」

令和2年度　第1回　（参加者 220名）
「Teams使用多人数講義の事例紹介」
「Keliを用いた遠隔授業の事例～音声・PDFファイルのみの講義と動画像を用いた講義との比較～」
「医療情報学科の3種の実例から」
令和2年度　第2回　（参加者 134名）
「遠隔授業（「文章表現」の実践例と打ち合わせ方法）」
「臨床栄養学科における遠隔授業への取り組みの紹介～チームでTeamsを使って～」
令和3年度　第1回　（参加者 190名）
「『医療と福祉』『医療福祉学概論』の遠隔講義実施における現状と課題」
「自然科学入門　ー効果的なリメディアル教育を目指してー」
令和3年度　第2回　（参加者 103名）
「持続可能な開発目標（SDGs）を題材とした内容理解と表現活動」
「実習事後指導における国際学会発表の取組みについて」
「視能訓練士養成教育におけるオンライン授業の有用性」

・卒業生（4年次生）へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・授業評価アンケート
平成18年度から毎年実施しており、科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・既卒生・就職先アンケート
平成18年度から3年に1度実施していたが、令和2年度から毎年実施している。 報告書をポータルサイト・HPで公開している。

・大学院生アンケート
平成20年度から毎年実施しており、結果については専攻主任に周知するとともに、報告書をポータルサイト・HPで公開している。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和3年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、遠隔授業におけるアクティブラーニングをテーマとした研修会が開催された。
研修会ではZoomのブレイクアウトルーム機能を用いたディスカッション方法、ファシリテーションの重要性などが説明された。

今後も定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質や時代の変化等に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。

各種アンケートは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつ実践的な教育改善計画を策定していく。

また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項　※該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療技術学専攻・博士後期課程は、医療技術学及び関連分野において研鑽を重ね、高度な専門知識を有するとともに、教育・研究活動が自律的に行える医療技術学領域の専門家及び指導者の育成を目的として設置された。
2022年度は、本専攻は２年目となり、２年次１名（社会人）が在籍している。１年次は３コース（臨床工学研究、臨床検査学研究、診療放射線技術学研究）に共通する基礎研究分野と専門分野の科目、そして研究活動を開始した。基礎研究分野については、３コースの教員が情報共有及び連携しながら対応した。少人数であるため、院生の様子を把握でき、討論を深めることもできている。また、研究遂行にあたり必要な研究倫理等の基礎知識は、講義・研修会等を通じて修得した。年末には３コース合同で専攻別中間研究報告会を開催し、多角的な視点からアドバイスや指導を行うことができている。２年次は、引き続き研究を推進して、学会発表や論文投稿として成果発表を行いつつ、博士論文の作成に向けて準備を進めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成19年7月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）、
令和4年4月（平成28～令和2年分）公表
令和3年度分については、「学報」として作成中。令和4年6月頃に公開予定。

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画
・令和3年9月に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月大学基準に「適合」していると認定された（認定期間は令和411年3月31日まで）。
令和10年度に、次回の大学評価（認証評価）を受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和４年度）

a 公表予定の有無 〔 (有) ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ (公表後２～３ヶ月以内) ・ 公表後３ヶ月以降 〕
c 公表方法 〔(ウェブサイトへの掲載) ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。